

# い

「い」の発音 「い」の発音には「ゆ」との間に音の変化がある。行く、言う、結う、いあげ(湯あげ、たおる)。「い」の発音は「え」との間に音の変化あり、いいーええ(よい)。「い」の発音は「う」との間に音の変化あり、いごくーウゴク(動)。「い」と「へ」の音の変化 へ → い 話の途中で省略されることが多い。て行く→てく

…い…【助詞】…え… …に… え(へ)に、方向、場所の下に付けて用いる。ヤからエを経て、或はヨから転じた(広辞苑)山イ行く、沖イ行く、「い」は省略されることもある。(三重県全域)【会話】どここ行くわ言うて、山いく 山イ行く。

いあげ【名詞】風呂から上がった時に、使用する大きなタオル。湯あげ いとゆの訛 一般に用いられるタオル

いい【胃】【名詞】消化器の一部。腹部にあつて食物を一時蓄え、胃液で消化を助ける。一拍の語が、二拍化したもの。(志、伊、鈴郡、鈴市、一、松、多、上、阿、張、名、北、尾)

いい【名詞】五

いいあるく(いひあるく)【言歩】【自カ五】あちらこちら言うて廻る 触れ歩く ふれまわす あるく参照(熊)【会話】あげんイヤアルイテ(あんなに言うて)言うて、なんやかや(色々)言うと ほん、なんやかや(本当にいろいろ)イイアルイテ 言うのな(です)。あっちこっち いて(行って) 言いさがすのを(ふらすのを)イイアルイテ。嘘八ばっか(嘘ばかり)イイアルイテ言うて、嘘ばっか 言うて あっちゃい(あちらに) いき(行き) こっちゃいいいき(こちらに行き)して あげな(あんな) 事ばっか イヤアルイとんねなあ(ていのだ)言うて。

いいいい【言言】1) 言いながら 2) 繰返して言う【用例】<sub>2)</sub> イイイイしとるうちん(して居る間に)憶えんねやれ(るのだ)。

いいいん【感動詞】否定 違います(志(船越))【会話】嫌な事を イイイン言うね(のです)。イイイン言うねよって(のだから) 三つ。三つやなあ(です) この時はいかん言う事や(だ)、いいんは、ええのやけど(よいのだけれど)、イイイン言うのは、はざん(駄目)。

いいえ 1) 駄目だ 嫌だ(志、鈴) 2) 否定を表す(志)【会話】<sub>2)</sub> そおやない(そうでない) そおやないねわい(そうでないのです) 言うのを、イイエ そ

おやないね 言うて。

いいおき(いひおき)【言置】【名詞】1) 言って置く事。

外出して不在にする時、訪問先の人が留守などの時、自らの意志を言い残して置く事。2) 遺言【会話】<sub>2)</sub> 遺言の事を イイオキ言うの(のです)。<sub>1)</sub> イイオキ言うて なんやかや(いろいろ) 畑 行くのでもイイオキ してかなはざんわれ(していかなければ駄目だ)、昼飯や(は) あしこん(あすこに) なんな(なにが) 置いて有るよって(から) 喰えよお(食べなさい)、さい(副食) も こんな(これが) して有る言うて、そげんして(そんなにして) 用事 言うたりすんの(言ったりするのを) イイオキシといて(しておいて) 来た言うて。何処やかや(何処かへ) 行く時ん(に) 用事を言うといてくのんな(言っておいて行くのに) イイオキシといてかな(しておいていかなければ) はざんわれ言うて。

いいおさめ(いひおさめ)【言納】【名詞】今までたびたび言って来た事を、それを最後としていうのをやめる事

いいおった 言って居た。言った。過去に言って居た。

いいがひ(いひがひ)【言甲斐】【名詞】言うだけの効果。言葉に出して言うだけの価値。【会話】幾ら言うても(言っても)聞かへんもんで(ないので) イイガイな(が) 無い。あれん(彼に) 言うたてて(言っても) イイガイな あろかれ(有るものか) 言うて、実行しやせん(しない) ことをな イイガイな あろかれ。

いいかえす(いひかへす)【言返】【他サ五】口答える

いいがかり(いひがかり)【言掛】【名詞】自分勝手な言葉。言いたい放題。人を責め困らすために言い立てる。なんくせ【会話】あや イイガカリやどお(だぞ) 言うて、言うと(例えれば) 喧嘩みたいな(のような) 意味や(です) イイガカリ言う事は、イイガカリして、そげな(そんな) 事言うて、喧嘩をこおてくる(吹きかける) 言うよおな意味やなあ(です)。喧嘩こおてくる(買う) 言うのは、喧嘩持ちかける言う事やなあ。

いいかけ(いひかけ)【言掛】【名詞】1) 話を始めて、その途中である事。2) 話始め【会話】<sub>1)</sub> なんやかや(いろいろ) イイカケたけど(が) 終い迄言わらった(言わなかった)。真ん中頃で ほっといて(やめて・放って置いて) 来ると、イイカケたけど ま 言

わらったな あや (あれは) なしたんかいなあ (どうしたのだから) 言うて、途中で止めると。はんぶ (半分) 言うて まあ 言わらったな、イイカケたんけど (たのだが) 誰やら (か) 来たもんで (ので) 言わらったとか。

**いいかげん (いかげん) 【形容詞】** えかげん参照 いかげに えかげに「ん」を省略することもあり。ええかげん。好い加減で使用されることもある。無責任さとの区別はアクセントにある。加減。物の具合や程度を程々にすること。また程良く整えられた具合や程度。物事の調子や状態、程度工合いなどを表す。丁度よい状態にある事の意を表す。1) よい程度 よい加減 かなりの程度にいつているので程々にしたい様 (志) 2) 無責任な様 でたため 徹底しない様 中途半端 [会話] 1) いかげんにしとかんかれ (しておきなさい)。えかげん言うて言うなあ (言うのです)。イイカゲン言うのをなあ、えかげんにしとけ、いかげんにしとけ (しておけ) とか、えかげんに しとけとか言うにげ (人間) もある。同じ意味やけど (だけど)、えっころかげんに計らうとけとか 言うてなあ。イイカゲンにせんか (しなさい) 言う事を、えかげんにしとけ 言うていうの (言うのです)。大概にしとけ (しておけ)。

**いいかた (いひかた) (言方) 【名詞】** 言葉で表現する場合の言葉の選択、抑揚、状態など、口のききかた。言葉使い。言いよう。言い様。[会話] へしこんどけ (でおけ) 言うたり、こめこんどけ とか、ねじこんどけとか、いろいろイイカタなちがうけど (が違ふけれど) 意味は一緒やわい (です)。

**いいかやす (いひかやす) (言返) 【他サ五】** 口答える。反撥して言う。言い訳をする。言い返す。[会話] なんやかや (いろいろ) 言われると、それい (それに) こんだ (今度は) かやし (返し) の言葉を、口答えすんのを、言い訳すんのをな (するのを) イイカヤス。

**いいかす (いひかす) (言聞) 【他サ五】** 宥める。説得する。言うて従える。(南) [会話] えごつと (十分) イイキカシとかな (ておかなければ) はざんわれ (駄目だ)。あげな (あんな) 事したらはざん (駄目だ) とか、どげんせな (どんなにしなければ) はざん とか言うのを、えごつと イイキカシとかな はざん、人らげい (他人の家に) いても (行っても) 恥かかれ (恥をかくぞ) とか。そして、嫁ん (に) いても 親大事ん (に) せないかんぞおとか (しなければいけないぞとか) 小姑も大事ん (に) せな、いかんど とか

言うて、親な (が) えごと イイキカシて有ると その子供ら真面目な子な (が) 出来るけど (が)、親な (が) やりっぱなし (放りっぱなし) しとるかして (しているとみえて)、舐な (が) 付いとらせんな (付いていないなあ) 言うのな (です)、イイキカサン (さない) 家は。

**いいきつとる (いひきつとる)** 1) 断言している いいきる参照 2) 盛んに言っている。言いふらす。

**いいきる (いひきる) (言切) 【他ラ五】** きっぱりと断定する。断言する。[会話] イイキツンネ (ているのだ)、こげん (こんなに) 言うてとかな。まあ (もう) そや (それは) 違うとか言うて イイキツて、まあ言うて。嘘言うのでも、嘘イイキツンネ とか、あや (彼は) まあ 嘘イイキツンネど (ているのだ)、嘘や (だ) 言うな (のは) 判つとるけど (判っているが)、嘘イイキツルもんなあ (ているから) 言うて言う時もイイキル。

**いいぐさ (いひぐさ) (言種) 【名詞】** 1) 苦情。不平。2) 口実 [会話] 2) イイグサ、あのイイグサ見よまい (見なさい)。あの言う事みよまい 言うねけど (言うのですが)、色々のイイグサ言うて、その言う事でも、わりこと (悪いこと) 言う意味やなあ (です)。イイグサ付けて (不平を言って) 言うて、いろんなイイグサ付けて言うねよって、悪りこと、悪り (悪い) 意味やなあ。

**いいくさる (いひくさる)** 言うを卑しめて言う語 (上、阿、張、名) [会話] あいな (あんな) 事ばっか (ばかり) イイクサル 言うて。何んやかや (いろいろ) 言われて、業な湧く (腹が立つ) と、あいな事 ばっか イイクサッて、わがた (自分は) 何んもせんと (少しもせずに) おって (居て) とか言うて。

**いいくされ (いひくされ)** 言え、言うておれの卑語 [会話] イイクサレ、腹の立つ時なあ (です)。

**いいぐすり 【名詞】** 胃薬 胃腸の働きをよくする薬、腹痛を止める薬

**いいくらす (いひくらす) (言暮) 【他サ五】** 常にその事を言うて日を送る [用例] 死んだ ととの事ばっか (夫の事はかり) イイクラシとんね (て居るのだ)。

**いいごと (いひごと) (言事) 【名詞】** 言い分、文句、苦情 [会話] イイゴト、あげな (あんな) こと言うて ばっか (ばかり) 居るやんかなあ。イイゴトな (が) おいいて (多くて) 言うて。言うてばっか 居って、イイゴトな、おいいて なんやらかやらと、イイゴトな (が) 多いなあ (です)。

いいこめる (いひこめる) (言籠) 【他マ下一】 言ひ伏せる 言って相手をやり込める

いいごん (いひごん) (遺言) (ゆいごん) 【名詞】 人生の生前の最後の意志に、法的効果を認めて、その実現をはかる制度。または、そうした効果を認められる法的行為。ゆいごん。[会話] 死んでく (死んでいく) 時のイイゴンやろなあ (でしょう)。ゆいごん言うの (言うのを)、イイゴン言うた (言った)。ゆいごん言やええねけど (言えばよいのに) イイゴン言うて。

いいさがす (いひさがす) 【他サ五】 1) 言い広める 言いふらす 言いまげる さんざん悪くいう。さがすは度を越すの意の接尾語 (上、阿) 2) 反対を言う。さからう 言うを卑しめて言う語 [会話] なんやかや (色々の事) イイサガシテ。あれ言い、これ言い、あげにゆや、こげに (あのように言えば、こんなに) 言うて、イイサガシテ言うて。いろんな事な (を)。白や言や (と、言えば) 黒や言うて、ゆいさがして言うて。事な、きまられん (が、決まらん) 言う事やなあ。

いいさけに。いいさけん よいですから [会話] ええよってん (良いから) 言う事を、いいから言う事、イイサケン。

いいさし (いひさし) (言止) 【他サ五】 話の途中で止める。言葉を途中で止める。いいかけ 参照 [会話] イイサシといて (ておいて) 止めて。止めとく (ておく) 言う事やなあ (です)。途中で止める言う事やなあ。さし、言うのは途中で止める言うこと。イイサシ言うし (言いますし)。食いさし言うて途中で止める言う事や。

いいさす (いひさす) (言止) 【他サ五】 言って途中で止める

いいざま (いひざま) (言様) 【名詞】 言って居る様子 いい方 言い様 [用例] あの子イイザマな (が) わりわれ (悪いのです)。

いいさらす (いひさらす) 勝手に言う。言うを罵って言う言葉 [会話] そやまあ (それは) 汚い言葉やなあ (です)。あげん (あんなに) 言うて言う事を、イイサラス言うて、ごおわかって (腹立てて) 言う言葉やなあ。腹立って、あげんイイサラシテ、サラセ言う時もある。サラシテ、と、サラセは、言う事な (が) 一緒やなあ。

いいさらせ 言え、言っておれ いいさらす参照

いいすえる (いひすえる) (言据) 【自ア下一】 1) 言い続ける 言いつのる 2) 相手に答弁させず自分の言

う事に従わせる [会話] い<sup>1)</sup> 言いまくる言う事や (だ)。イイスエル。ごおなわいて (腹が立って) ごおなわいてまあ、ゆいすえたた言うやんかい (言うでは有りませんか)。言うて言うて言いまくることを、よお似た (よく似た) 言葉や (です) 言いまくった (言ってやった) 言うてなあ。せんざり (十分に) 言うた (言ってやった) 言う事やなあ (です)。

いいすぎ (いひすぎ) (言過) 【名詞】 程度を越して言う事 [用例] あいな事言って (あんな事を言って) あや (あれは) イイスギやなあ (だ)。

いいすぎる (いひすぎる) (言過) 【他ガ上一】 程度を越して言う。

いいすて (いひすて) (言捨) 【名詞】 言いつ放しにする事。言ったままで相手の返答を待たないこと。[会話] イイステル言うて、なんでも (なにでも) イイステする言うて、がいに (あまり) 聞いても 聞かんでもええ (よい) 事は、イイスてん (に) しとくとか (しておくとか)、聞き捨てん (に) しとく とか、聞いても 聞かんふり (格好) すると、聞き捨てん (に) しといてくれえ (下さい) 言う時もあるし、イイスてとか言うのも、イイスてといた (ておいた) 言うて、がいん (あまり) とんちやくせんでも (気にしなくても) ええ (よい) ことは イイスてん (に) しとけ (しておけ) 言うて。

いいそくない (いひそくない) 【名詞】 失言、言い誤り

いいそくなう (いひそくなう)。いいそこなう (言損) 【他ワ五】 失言する 言い誤る

いいそこない。いいぞこない (いひぞこない) (言損) 【名詞】 失言 言いまちがえる事 言い誤り [会話] イイゾコナイ、わしな (私の) イイゾコナイやったなあ (でした) 言うて、まちごた (間違った) 事 言うたと (言ってしまうと)。

いいそのた (いひそのた) 失言した。誤って言ってしまった。

いいたいごお (いひたひがう) 【名詞】 言いたい放題。

自分の思う事を自由気儘に口に出して言う事。(阿、上) [会話] 何ん (に) でも、あや (彼は) イイタイゴン (に) 言うて、わがとおもた (自分で思った) 通りん (に) 言うにげ (人間) を、わがと イイタイゴに言うにげやよってんなあ (人間だから) 言うて、ま、人のこた (事は)、なんも考えんと (少しも考えずに) イイタイゴン 家で言いつけとるもんで (いつも、言っているの) 言うて。

いいたいこといい (いひたいこといひ) (言度事言) 【名

**詞】**他人の思惑など意に介しないで言いたい放題に言う人。[会話] 何ん (何) でも おもた (思った) 事 すぐん (すぐに) パット言うたるにげ (言ってやる人間)、あや (彼は) イイタイコトイイで なんでも おもた事、パッパット言うて。

**いいたくる (いひたくる)** たくるは強引にするの意。一方的にまくしたてる。いいすえる 参照 (員) [会話] イイタクルも、いいすえるも一緒やわい (です)。ゆいよな (言い方が) 色々違うもんで (ので)、言葉のわり人 (悪い人) あいな (あんな) 事、言いさらして言うたり、そげな事ぬかしやがって言うて、ぬかしでや (とか)、ゆいさらしてや言うの (のは) 腹の立つ時言う言葉や (です)。

**いいだしべえ【名詞】** 先に話を出した人、先に話し出した人

**いいだす (いひだす) (言出)【他サ五】** 言葉に出して言う。特に他に先駆けて言い始める。(三重県全域) [会話] 話をしいだす (しだす) 事を、イイダス言うの (のです)。あの家のの (が)、どおちゃら (どうだ) こおちゃら (こうだ) 言うて、あんな (彼が) 一番 (初め) イイダシテ来たねやんかあ (来たのでないか) 言うて、あの家な あ (が) こおやてわい (こうだそうです)、ああやてわい (ああだそうです) 言うて、あんな (彼が) 一番 そげな (そんな) 事イイダシテ来て言うて。

**いいたてる (言立)【他タ下一】** 1) 強く言う 2) 言いふらす [会話] なんやかや (いろいろ) イイタテルとか、言いふらすとか言うて、なん (何) でも、人のことを わりことやろと (悪い事だろうと)、ええことやろと (よいことであろうと) 言うて、あんな (彼が) イイタテテ、言いふらしてとか 言うてな。イイタテル、言いふらすも一緒やわい (です)。<sup>1)</sup> イイタテルで、相手を説き伏せる時に、いいまくる。いいまくったた言う時な (が) あんなあ (有ります)。聞いとる (ている) 人な (が) 降参した様な時をなあ、言うの (のです)。いいまくったたれ (てやった) 言うて、おや (俺は) 業な湧いて (腹が立って)、この時や (だ) おもて (思って) いいまくったとか 言うてな、わがと (自分) おもた事、ぞんぶ (存分) 言うて、いいまくった言うて。

**いいちらかす (いひちらかす) (言散)【他サ五】** 思慮分別なく、やたらに言う。言いふらす。噂をまき散らす。[会話] イイチラカス言うな (のは) なんやかや (いろいろ)、人の事わり (悪い) 事やろと (だろう

と)、ええ (よい) 事やろと あの家、こおやてわい (こおだそうです) ああやてわい (ああだそうです) 言うて、何処い (へ) いても (行っても) 言うのな あ (のです)。イイフラスとか、いいたてるとか言うて、人の家のあら (欠点) を探して 何処い (へ) いても (行っても) あえん (あんなに) いいふらすとかな (です)、あっちゃいいても (あちらへ行っても)、こつちやいいても (こちらへ行っても) なんやかや、いなん (いろいろいらぬ) 事喋る人を、あの人なんでもイイチラカス言うて。

**いいちらす (いひちらす)【他サ五】** 勝手な事をずけずけと言う いいちらかす参照 [会話] 世間一般に知らしたる (知れると)、おおぼ (一般) に知れ渡って言う時もあんなあ (有ります)、イイチラシたると、おおぼに何もかも (何も彼も) ひろがってたな あ (ていった) 言うて、なんしよんしとよ (内緒にしていよう) おもたのん (思ったのに) 言うて。

**いいつけ (いひつけ) (言付)【名詞】** 1) 目下の者に対する命令や指示。2) 告げ口 3) 言い慣れている [会話] <sup>1)</sup> イイツケを守れ。あれしとけよ (しておきなさい)、これしとけよ 言うて、子供らん (に) あれもせな (しなければ) いかん、これもせな いかん、こおせな いかん言うてな 言う事を、イイツケる言うの (のです)、教える事を。そいなわり (そんな悪い) 事したらあかん (駄目だ) とか、こげんせな (こんなにしなければ) あかん とか 言うてなあ。

**いいつけとる (いひつけとる)** 何時も言って慣れて居る いいつける参照

**いいつける (いひつける) (言付)【他カ下一】** 1) 物事を人に頼む 2) いつも言って居る 3) 告げ口する。[会話] <sup>1)</sup> イイツケル。なん (何) でも、これしとけよ (しておきなさい)、あれしとけよ 言うてな、イイツケルと おらげ (俺の家) の子ら (は) なん (何) でも言うくとと (言っておくと) そんでもすられ (それでもします) 言う家も有るし、おらげ の子ら (は) イイツケたてて (ても) なんも (少しも) すんねなし (するのでなし) 言う家も 有るしなあ。<sup>3)</sup> イイツケルで 告げ口する。<sup>2)</sup> イイツケトンネよってん (ているのだから) まあ、嘘ばっか (ばかり) イイツケとて (ていて) 言うて、人のわりくち (悪口) 言う 癖んなつとて (になっいて) イイツケトンネよってん 言うて、癖な (が) つく事をな (です)。

**いいつたえ (いひつたへ) (言伝)【名詞】** 昔から代々口から口へ語りつがれて来た語、事柄、伝説、ことわ

ざなど。[会話] イイツタエとかな（ておかなければ）はざんわれ（駄目だ）言うて、まあ 後後のこお（子）や孫になあ おらげ（俺の家）は 昔から こげんして（こななに<sup>1</sup>して）しとんねよってんなれ（しているのだから）こげんして せえよお（しなさい）言うて、嫁らん（に）言うたり、孫ん（に）言うたり すんのな（するのが）イイツタエ。昔からなれ この家 こげんして しとんねやれ（しているのだ）言うてな 昔からしとる（している）事を 後のもん（者）に 言うのを イイツタエ。

**いいつめる（いひつめる）（言詰）【他マ下一】** 極限まで言う

**いいとおす（いひとほす）（言通）【他サ五】** 強情に言う。言い張る。一度言った事を最後迄言<sup>2</sup>て譲らない。

**いいならわし【名詞】** 1) 昔から一般に言われている言葉 2) 言い伝えられている習慣、言習

**いいなり（言成）【名詞】** 言い付け通りにするさま。従順なさま。[会話] あの人の言う通りになって言うて、言うことやなあ（です）。イイナリ言うのは、言う通りになる。

**いいなれる（いひなれる）（言慣）【他ラ下一】** その言葉になれている [用例] 英語も、イイナレト 口から出て来るわい（来ます）。

**いいにくい** 1) 言うのがむづかしい 2) 言うのがためらわれる [用例] <sup>2)</sup> そいな（そんな）イイノクイ事 よお言わんわい（言えません）。

**いいにげ（いひにげ）（言逃）【名詞】** なんとかごまかして、責任がかからないようにする。言いのがれる。いいにげる参照

**いいにげる** 言い逃れる。釈明して責任をまぬがれる。[会話] イイニゲやれ（だ）そやまあ（それは）言うてなあ。どげんして（どんなにして）せなはざん（しなければ駄目だ）言うて、ああ、なあ そや（それは）そげんして、せな（そんなにしてしなければ）はざんのお（駄目ですね）言うといておって（言っているながら）、なんもせんと（少しもせずに）行くと、あやま（彼は）イイニゲしといてた（しておいて行った）とか言うてな、実行せん事を イイニゲや（だ）言うてな。人を誤魔かして、その場を逃れる事なあ（です）。その場イイニゲル言うて、いいのがれなあ（です）。有る事無いこと言うてな（言っ<sup>3</sup>ては）、いいのがれしてくのな（して行くのです）いいのがれして、その場を逃れる事なあ（です）、あやまあ（彼は）イイニゲして、うまいこと逃れたれ（た）言うて。

**いいぬくい（いひぬくい）** 1) 言いにくい。言うのが難しい。2) 言いたくない。言うのがためらわれる。

（南）[会話] <sup>1)</sup> イイヌクイ事言うのでも、はっきりと言う人を、ちやっかりもん（者）やなあ言うて。しやっかりもん（者）言うのは、しやきしやきと、ま、重々し（しく）、丁寧に言うとらんと（言<sup>4</sup>って居らずに）、ちやっかりとイイヌクイ事も パッパツと言う人を。

**いいぬける（いひぬける）（言抜）【他カ下一】** 言い逃れる なんとか誤魔かして、責任や罪をかぶらない様にする。[会話] いいにげ一緒やわい（です）イイヌケル。

**いいね（いひね）（言値）【名詞】** 売り手の言う値段 [用例] イイネで 買うもんな（者が）あるかれ（あるものか）。

**いいのがれる（いひのがれる）（言逃）【他ラ下一】** 何かと誤魔かして責任などが掛からないようにする。巧に誤魔かして苦境から脱出する。[会話] イイノガレル言うは、それを言うて（言<sup>5</sup>って）自分で罪ん（に）ならん（ぬ）様ん（に）誤魔かして、わがと（自分）抜ける事なあ（です）、イイノガレル言うて。

**いいのくい** 1) 言いにくい、言うのがむづかしい 2) 言うのがためらわれる [会話] <sup>2)</sup> イイノクイ事、はっきり言うなあ、イイノクイこと、はっきり言うにげやなあ（人間だなあ）言うて。おまや（お前は）へえひりやなあ（よく屁をする人だ）言うて、げんきんに（あからさまに）おおた（ああ）あげん、げんきんに、よお（よく）言うなあ。イイノクイ事、はっきり言うにげ（人間）をなあ、気の毒でよお言わん様（言えない様）なことを言うてさいご（その時）、イイノクイ事はよお（よく）言うなあ言うて。

**いいひろげる（いひひろげる）（言広）【他ガ下一】** 言<sup>6</sup>ってひろげる いいふらす [会話] 何処い（へ）でもいて（行<sup>7</sup>って）ふれまあす（ふれまわる）のをな、あの家どおや（どうだ）、こげなね（こんなのだ）、あの家、借金で埋ま<sup>8</sup>ってく<sup>9</sup>んてわれ（埋ま<sup>8</sup>って行くそう<sup>9</sup>だ）とか言うて、わりくち（悪口）を、あっちやい行ても（あちらへ行<sup>10</sup>っても）言<sup>11</sup>い、隣い（に）行ても言<sup>12</sup>い、すんのなあ（するのです）、イイヒロゲルまあ言うて。

**いいふらす（いひふらす）（言触）【他サ五】** 言<sup>13</sup>いふらす。世間に広く知れるように言う。吹聴する。人々の間に言<sup>14</sup>い広める。

**いいぶん（いひぶん）（言分）【名詞】** いいがかりを付け

る。反抗する。言われた内容、話された事柄、言い訳  
いいごと参照 [会話] イイブン、自分の思う事を言う。  
自己を主張する事やなあ (です)。ゆいぶん、ゆいぶ  
んな有ったらいわんかい (言いなさい)。なんと  
(何でも)、わがとの (おまえの) イイブンな (が)  
有ったら、このとき (今) 言わんかい言うて。

いいまあし (いひまあし) (言回) 名詞 表現の方法

いいまあす 言いふらす

いいまぎらかす (いひまぎらかす) (言紛) 【他サ五】言  
いまぎらす。他の事にまぎれるように言う。誤魔かす。

いいまくられた 徹底的に言い込められた。いいまくる  
参照

いいまくる (言い捲る) 【自ラ五】 一生懸命に話する。  
一方的に話する。盛んに喋って相手を圧倒する。まく  
し立てる。[会話] 言うて言うて、イイマクッタ  
(てやった)。せんぎり言うた (充分に言ってやっ  
た)。思う存分に言うた言う事や (です)。イイマク  
ル、イイマクッタ 言うのな有るやんかい (が有り  
ます)。ちょいとした事な (少しの事が)、ごおなわい  
て (腹が立って) 言うて、言うてイイマクッタ 言  
うて。言われると、イイマクラレタよお言うて。イイ  
マクッタや (てやったら)、胸な (が) すっとした  
言うて、イイマクラレテ、ごおなわいて 言うて、言  
いまげられたでやら (とか)。言われたらごおわかす  
し (腹立てるし)、イイマクッタら、むしな (気持  
ちが) すっとした言うて。

いいまげられた 【他ガ下一】 説き伏せられた。やりこめ  
られた。[会話] イイマグラレタよお言うて、何やか  
や (いろいろ) 言うて、理屈責めん (に) 責めたと  
と、イイマグラレタよお言うて、かえし (返事) よお  
言わんと (出来ない)、イイマグラレタ言うて。

いいまげられる (いひまげられる) (言曲) 【他ガ下一】  
言い負ける [会話] いいまげられたも、イイマグラレ  
ルも一緒やけどな (ですが)、言い方な (が) 違うけ  
どだ (が)、意味は一緒や (です)。いいまくったたれ  
言うてな、言う人も有るし、いいまげたたれ 言う人  
も有るしな (有ります)、おやまあ (俺はもう) 言う  
て言うて、いいまくったたれ (てやった) 言うて。イ  
イマグラレタヨオ言うて、かえし、よお言わん (返事  
出来ない)、返事をなあ (です)、なんやかや (いろい  
ろ) 言うてもな、よおかやさんと (返事出来ない) 返  
事な (が) 無いやんない (でしょう)。それ 返事  
言わんと (言わないと)、やられたよお、イイマグラ  
レタ言う訳やわい (です)、言うて言うていいまくる、

喋って喋ってわがとばっか (自分ばかり) 喋って、お  
らま (俺は)、イイマグラレタ言うて、返事よおせん  
もんで (出来ないの)。

いいまける (いひまける) (言負) 口論に負ける 言い  
争いに負ける 説き伏せられる

いいまげる (言曲) 【他ガ下一】 自分の主義、主張、意  
志を理に変える。説き伏せる やり込める 自説を主  
張して譲らない [会話] イイマゲル言うて、その人  
を負かす事、向こおのにげ (相手) を、言わさんと  
(喋らせずに)、わがと (自分)、言いまくる。そのに  
げ (人) を、わがと 頭押しつけた (頭をおさえた)  
言うわけやなあ (です)。頭押さえた、ゆいながって  
(言い撲って、言い負かして) まあ、そっちゃの人のな  
(相手の人が) 謝った言うよおな意味もあんね (有る  
のです)、言いまくったたれまあ言うて イイマグラ  
レテ言うやんかい。あんな (彼の) 口がえろおて (え  
らくて) イイマグラレタ言う。おや (俺は) 言いまく  
ったたれ (てやった) 言うて、言われたは (方は)、  
イイマグラレテ言う。口がえらいねよって (達者なの  
だから)、おら (俺ら) イイマグラレタ。

いいまるめる (いひまるめる) (言丸) 【他マ下一】 うま  
く話して誤魔かす。いいくるめる。こちらの話に相手  
を巻き込む [会話] 上手ん (に) 言うてすんのなあ  
(するのです)、イイマルメトイテ (ておいて) 来た  
言うて、まるけこむのをな、こおや 言うて、そや  
(それは) こおや (だ) 言うて、理屈つけて、道理つ  
けて、なごめるよん (なだめるように) 言うのをなあ、  
まあ、イイマルメコンデ来た。

いいもて (いひもて) 言いながら。もては、ながら  
[会話] なんやかや (いろいろ)、イイモテ 食うた  
てやら (食べたとか)、イイモテ 仕事もしてとか言  
うて、喋りもて (ながら) 仕事もして 言うにげ (人  
間) も有るしな (有ります)、喋りもて そんでも  
(それでも) てえもいごかしとる (手も働かしてい  
る) 言うにげ (人) も有るし、喋ると、手や (は) お  
るすや (留守だ) 言うにげも有るし。

いいや 【感動詞】 いやだ。あまり強くない。否定 (志  
 (片田、志島)、鳥 (桃取、答志)、鈴市、名、伊、  
尾) [会話] いいえ、言う事やなあ (です)、いまし  
の (今の) イイヤ言うて。

いいやい (いひあひ) (言合) 【名詞】 言いあい。言い争  
い。口喧嘩。口論 (鈴市、安、上、阿、張、名、伊、  
南、熊) [会話] イイヤイ言うて喧嘩する。口喧嘩す  
んのな (するのを)。

いいやう (いひあふ) 【自ワ五】 言い争う 話し合う  
いいよ (いひやう) (言様) 【名詞】 言い表し方。口の  
きき方。話しよう。いいよの末尾の脱落。[会話]  
こせこせも、こそこそも一緒やけど (だけれど)、イ  
イヨな (が) その人ん (に) よって。  
いいよった 言って居た  
いいよって。いいよる (言寄) 【自ラ五】 声をかけて集  
まる。言い集まって、一つの集団が会合する。[会話]  
イイヨル言うな (のは) 皆な集まろや (が集まりまし  
ょう) 言うて、集まって来た。寄って来た。  
いいん 否定の言葉。いいんより弱い。いいん参照  
(志、鈴市、亀) [会話] イイン言うのは、いいえ言  
うのをな (です)、イインそや (それは) そおでない  
ね (そおではありません) 言うの (のを) イイン言うて  
な。  
いいんいんいん 【感嘆詞】 幼児の泣き声。[会話] 子供  
ななあ (が)、イインインイン言うて泣くもんで (の  
で)、又イイン言うて泣いて来たれ (来た) 言うてな。  
いうこときかざ。いうこときかず 【名詞】 言うことを  
きかない子供を叱って言う。[会話] 子供らな (が)  
言うこと聞かへんと (ないと)、物置に押しこんどけ  
(こんでおけ) 言うて、此のイウコトキカズ、言うて。  
いうこときく 承知する 合点する (上、阿)  
いうた (ゆうた) 言った (志、鳥、四、北)  
いうたや (いふたや) 1) 言うたら。言ったら。尋ねた  
ら。2) 例をあげれば [会話] 1) イウタヤ まあ  
言うたけど (が)、こだった (来なかった) とか、イ  
ウタヤ、まあ 寄って来た。言うた (言った) 言う意  
味やな (です)。  
いうたら 1) 言ったら (度) 2) 例をあげれば  
いうても 1) 言うても。言っても。尋ねても。2) し  
かしながら (志、鈴郡) [会話] 1) あれん、あわらっ  
たか (彼に会わなかったか) 言うたや (ら)、なんも、  
みらったどお (全く見ませんでした) このごら、みや  
せんなあ (見ない) 言うて、あの人ん (に) 会わらっ  
たかい (会わなかったか) イウデモ、一つも (全く)  
此のごら (頃は) 見やせんわれ (見ませんです) 言う  
て。  
いうながな 言うのです [会話] 和具の人は 先生言  
わな (言わなければ) はざんのん (いけないのに) し  
えんしえ言うて しえ イウナガナ。  
いうねやろぞ。いうねやろぞい 言うだろう。言うので  
あろう。  
いうやんか 言ったでしょう。言いますよ。

いえ 【感動詞】 1) 文末に有って意を強める 2) 疑問  
を表す。(志)  
いえすじ (いへすぢ) (家筋) 【名詞】 家系。家柄。  
いえたぎりか とても言えない。義理にも言えない。  
[用例] おれん (俺に) そいな事 (そんな事) イエタ  
ギリカ。  
いえつきむすめ (いへつきむすめ) (家付娘) 【名詞】 跡  
取り娘。婿を貰って家をつぐ娘。多くは姉妹の長女  
(南) [会話] イエツキムスメ言うと、婿どり (婿を  
貰う娘) の事をな (です)、イエツキムスメ。あや  
(彼女は) イエツキムスメやよってん (だから) 言う  
て。  
いえぬし (いへぬし) (家主) 【名詞】 戸主 家長 [会  
話] イエヌシは、その家 (うち) の大将やわい (で  
す)。主人公の事やわい。家主 (うちぬし) 言うのも、  
一緒の意味やんかい (です)。うちといえの違いで。  
いえる (癒) 【自ラ下一】 1) 治る 2) 借金を返済し  
た 3) 心が穏やかになる [会話] 1) 傷がイエルと  
か 2) 借金な (が)、イエルとか 3) 心がイエルとか、  
まだ 借金もイヤサンと居んのん (居るのに)、借金  
もイエンとおんのん言うよって (言うから)。3) 心で  
くしくし、しとんのも (悲しくして居るのも) おさま  
るのも心がイエタとか言うなあ (いいます)。  
いお (いを) (魚) 【名詞】 魚 うお 上代ではウオを  
用いて居たが中世以降近世迄イオを用いる事が多い。  
(志 (浜島、甲賀、鵜方、神明、安乗)、鳥 (坂手)、  
鈴市、津、度、伊、尾、北、南、熊) [会話] 魚のこ  
と イオ。イオ釣りんいた (に行った) 言うてなあ、  
魚釣りん行た (に行った) 言う家も有るし。うお  
(魚) 言うのを イオ 言うねんなあ (言うのです)。  
イオ釣り イオをよけ (沢山) 釣って来て言うてな  
魚の事を イオや (と) 言うね (言うのです)。  
いおつり (いをつり) (魚釣) 【名詞】 魚を釣ること。さ  
かな釣り。[会話] 魚釣りや (です)。イオツリ、ゆ  
お釣り、ゆお (魚) 言うねよってんな (のだから)。  
ゆお釣りん行たね (に行ったのだ)、行たや (行っ  
たら) 大漁して来て言うてな。  
いおてさんど (祝三度) 幸運をつかんだ時、それを取り  
逃さないよう三度祈りする事。[会話] イオテサンド  
を しゃんしゃんのしゃん。三福一対して 御神酒頂  
いて 後で 祝の言葉やな (です) イオテサンドの  
しゃんしゃんのしゃん 言うて。  
いおのめ うおのめ (いをのめ) (眼、魚目) 【名詞】 表  
皮の角質の一部が、円状に増殖し皮膚内に深く入った

もの 足裏 指 手掌などに出来る。(員) [会話] イオノメ言うのは、足の裏い(に)、こつこつな(塊りが)出来て来ると、イオノメな(が)出来た言うやんかい(言います)。イオノメな(が)出来ると、みうちのもの(身内の者)に死なれるとか、離れるとか言うて、ふしい(関節へ)、よお(よく)イオノメが出来ることなあるなあ(有ります)。そおすると、うれいごとな(不幸が)ある言うて、昔は言いおったん(言って居たのです)。

**いおや (いをや) 【名詞】** 魚屋 [会話] 魚屋、イオヤで、魚こおて(買って)来た言うてな。魚屋で言うのを、昔、そいなこと(そんなこと) 言よおったんなあ(言っていました)。

**いおや。いおやんか。いおやんかあ。いおやんかい。いおやんかな (女性語)。いおやんかれ。いおやんこ。いおやんこお** 言いましょう [会話] 一緒の言葉やけど(です)、言い方な(が)違うだけや(だけです)、目下の人に言う時ん(に)、イオヤンカレ言うて、目上の人にイオヤンカナ言うて“な”をするし、親し(親しい) 人やとか(だとか)、目下の者に、イオヤンカレ言うて、イオヤンカア言うて相談する時なあ(です)、イオヤンカレ言うて、れ、を付けてもええし(よろしい)、イオヤンコ、言うて友達の親し(親しい)人は、わいらよおい(おまえさん達)イオヤンコ言うてな。

**いがい (遺骸) 【名詞】** 遺体 死んだ人の体 なきながら [会話] 死骸言うんか、死体、イガイ言うし 死骸言うしなあ(言います)。ここら死骸を片付ける言うやんかい(言うて有りませんか)。海でしにると(死ぬと)。

**いかいご 【名詞】** やまの芋の肉芽 むかご 植物の腋芽で栄養物質の貯蔵によって球状に肥大し、成熟すると地上に落ちて新しい植物体になるもの、特にやまのいもに見られる。(志) [会話] イカイゴ言うの(のは)、山の薯の花い(に) みいな(実が) なつてくんの(なつてくるのです)、底いは(地中には) 薯な(が)有ってなあ。花い(に) こんだ(今度)、こんころな(丸い物が)、ちっちゃいのな(小さいのが)。それ植えとくと(ておくと)来年なると生えんのな(生えるのです)、イカイゴ言う。

**いかい**で 行かなくて

**いかい**でも 行かなくても(北)

**いかかしとけ** 1) 活かしておけ。いかかす参照(志)

2) 行かしておけ

**いかかす** 1) 活かす。活きて居るようにする。活け魚をする。(志) 2) 行かす [会話] <sub>1)</sub> イカカシトケ言うてな 活けとけ(ておけ) 活けて生かしとけ言うの(のです)。イカカシトケ言うて、活かしとけ言うて 言うやんない(言うでしょう) それ イカカシトケ。

**いかがた (鳥賊型) 【名詞】** 漁具 イカを釣る時に使用する疑似餌 獣の骨、角で作る。けんけん参照 [会話] イカガタ、鳥賊ひきん(釣りに) 行くのんなあ(行くのに)。鳥賊の形をして、鳥賊な(が) 寄って来るよんなあ(ように)、めえ(目)も、ひっからかして(光らせて)、海いいて(へ行って)、めえ(目)光るよん(ように) 貝のめえ(目)して、今しゃ(今は) あいなの(あんなのは) 使わせんなあ(使いません)。鳥賊みたよおな(のような) かたん(形に) しといて(しておいて) 先い(え) つり(釣り針) よっけ(沢山) 付けて、光って来るよんなあ(ように)。

**いかり 【名詞】** 鳥賊釣り用の疑似餌針、いかがたに同じ [会話] あや(彼) 細工な(が) 上手なもんで(ので)、イカガリ作っても、細工な、ええもんでかいなあ(が、よいのでだろうか) いかな(が) よおつく(よく釣れる)言うて。

**いがき (蜘蛛網) 【名詞】** 蜘蛛が糸を作る事。又その糸えがきとも、い(網) 掛くの名詞化。いは糸の意。 [会話] ぐもの へんば 言うけど(が)、イガキい(に)、へがきい(に) 掛った 言うやんかい(言います)。

**いがき 【名詞】** 手袋 ゆがけ(弓懸の転か) いがけ(手甲)と同じか [会話] イガキも、掛けんと(掛けずに) 言うて、手袋のこと、今しの(今の) 軍手をイガキ言うの(のです)。きれ(布)でこさえて(作って)、刺子にしたのなあ(のです)。芋剥くのも、布でいび(指)、こしゃえて(作って) のおてしよおったね(縫ってして居たのです)。海老ひきん(捕まえに) 行く時は ひとよん(一重に) して 海老の角な(が) 当るとこ(所) だけ、さいて(厚くして、刺して) 海老ひく手袋や(だ) 言うて 木綿ののおで(ので) うっすう(薄く) てえな(手が) いごきよいよん(動きやすいように) 先はして、針で突くもんで(ので) ここだけさいて(指先だけ厚くして) 海老ひく手袋や 言うて こさえよおった(作って居たのです)。山い(に) 行くのん(に) イガキもこさえとかな(作っておかなければ) 言うて 手袋を 先だけ、さいて(厚くして) こさえよおったの。今し(今)の軍手の

代りん (に) 買山行て (行つて) 茨つこでも (掴んでも) いたないやんない (痛くないでしょう)。

いかげ 大抵、大体、おおよそ (志、鳥、南)

いかげな 1) 大体な。根拠のない。でたらめな。  
2) 大変な。

いかけや (鋳掛屋) 【名詞】 鍋などの修理を業とする人。  
鍛冶屋 いっかけや参照 (南)

いかげん 1) 大抵に。たいがい。 (志、鳥、南)  
2) 相当 [会話] 1) イカゲン言うのは、たいがい、たいがい (大体) の事えところかげん、えかげん、えところかげんな事、言うてまあ言うて。

いかざった (いからった) 行かなかった ざった しなかった (志 (浜島)、鳥) [会話] 今日<sup>は</sup>まあ、先生な (が) 来とてしたけど (来ていたが)、イカザッタねよお言うて。イカザッタ、いかだった言う人と、いからった言う人と。いからった言うたや (言ったら) だら、どろよお言わん人やわい (言えない人です)、そのにげ (人) によってなあ、口な (が) 滑り過ぎる人も有るし、回らん人も有るし、いかだった言うのな (が) ほんとやなあ (本当です)。

いかしえん (いかせん) 行かない。行きません。 (志、安、松、多、度、北、南) [会話] いかせん、今日<sup>は</sup>はイカセンネ言うて、行かまい (行かない) 思うとな、イカセンネまあ 言うて、イカセン言う人と、イカシエン言う人と、舌な (が) 回らんね (回らないのです)、イカセン言うの (のを)、イカシエン言うな (言うのは)。

いかしえんか。いかしえんかい。いかしえんかな 行きませんか。いかせん参照

いかしえんのか。いかしえんのかい。いかしえんのかな (女性語)。いかしえんのこ 行かないのですか。いかせんのか参照

いかしえんわら 行きません いかせんわら参照

いかした 1) 行かせた 2) 立派な

いかしたれ 1) 行かせてやりなさい 行かせてやれ  
2) 活かせてやりなさい

いかして 1) 行かせて 2) 行かせて下さい

いかしゃれ 行きなさい 沖に見えるは 親舟か金欄殿子の帆まいて、イカシヤレ イカシヤレ ずうずうと。

いかじよおから。いかじよから 【名詞】 鳥賊の塩辛 (志) [会話] 鳥賊のしよから (塩辛) イカジョカラ。

いかす 【自サ五】 洒落ている。立派だ。相当のものである。 (上、阿) [会話] イカスなあ言うてな、男前の人を見ると、あの人イカスわなあ言うて、物凄いええ (よ

い) 人言うんやろな (言うのでしょうか)。イカス言うのなあ (は)、立派や (だ) 言う事やなあ (です)。何でも にげや (人間で) のおてもなあ (無くても)、ええもん (よい物) 見ると、おおたこや (此は) イカスなあ言うて。

いかす 行かせる。行くようにさせる。 (鳥) [会話] あっちゃい (あちらえ) イカス、あっちゃい 行け言うて、イカス言うて。あや (彼は)、すかんよつてん (から) 行かしたれてや (強調の語)、言うて。仲間ん (に) 入れんと (入れずに)。

いかす 【他サ五】 活け魚をする。活きたままの状態を保つ。命を保たせる。 (志) [会話] 魚をイカス、魚をかんこい (船の生簀に) イカシとけ (ておけ) 言うてな、ひい (栓) 抜いて ええしお (よい海水) 入れて、イカシとかな (ておかなければ) 市場い (え) いても (行っても) ねえなしやせん (値がしない) 言うてな。かんこのひい (栓) 抜いて、ええしお 入れ替えんのなあ (るのです)。

いかず (不行) 【名詞】 不人情な事。意地悪な様、又その人。 [会話] いじわり (意地悪) する事、イカズ言うやんかなあ。あや (彼) イカズや (だ) 言うて。

いかずごけ (不嫁、不嫁後家) 【名詞】 婚期を過ぎても嫁に行かない女性。 (四、上、阿、張、名、南、熊) [会話] イカズゴケいうのは、嫁に行かんと (ずに) 居る事。

いかせん (いかしえん) 行きません (鈴市、張) [会話] イカセン、今日<sup>は</sup>はイカセン言うてな、行かまい (行かない) 思う時なあ。

いかせんか (いかしえんか)。いかせんかい。いかせんかな (女性語)。いかせんこ 行きませんか。せんかしませんか。かは疑問。せん。しない。いかせん。行かない。遊ばせん。遊ばない。 [会話] おまや (お前、貴方は)、畑、イカセンノカ (行かないのですか) 言うのやなあ (のです)。どこそこイカセンカイ 言うて イカセンコとか。あしこい (あすこえ) イカセンカイ言うて。

いかせんのか (いかしえんのか)。いかせんのかい。いかせんのかな (女性語)。いかせんのこ。いかせんのこお 行きませんか。行かないのですか。 [会話] イカセンノコ、むかしや (昔は) イカセンノコオ言うて。ほいて、行くんこお (行くのですか) 言うて、おらまあイカセンワラ (私は行かない)、わや行てこいの (貴方行つて来なさい) 言うて。行かせん言うのは、行きません。イカセンノコオ言うて誘いん (に) 行く

の、あんたらさん行こや（貴方行きましょう）言うて、今し（今）では 言うけど（が）、昔や（は）行こやんこ言うてなあ、呼びん（に）行くの（のです）。行こやんこ言うたり イカセンノコオ言うたり。

**いかせんわら**（いかしえんわら）行きません。いかせんのか参照

**いかだった**。いからった 行かなかった

**いかつい**（厳）【形容詞】 1）威張った感じである。厳つい。強い。元気だ。健康である。（志摩市全域、鳥員、鈴市、安、津、一、松、多、阿、上、度、北） 2）力が強い（志（立神））[会話] ₂）イカツイのは、強い事やなあ（です）。イカツウテ、ほんに、なんもかも、ひつかづいて（いかつくてに本当にも何もかも担いで）言うて。₁）まあ、あの おばやんな（小母さんが）イカツウテ、いつまでも長生して（していて）、そおも言うんなあ（言うのです）、おおた（ああ感嘆詞）。あの人な、イカツウテナア言うて、まめな（健康だ）言う事やなあ（です）。₂）そおすと、力の強い、喧嘩の強い言うのも、イカツイ。イカツウテ、あれ（彼）と喧嘩したてて（しても）、勝たれよかれ（勝てない）。

**いかつけ**【名詞】 いかを釣ること。いかは光に集まる習性があるので集魚灯を用いる。夜釣りに行く。（熊野灘沿岸）[会話] イカツケは、いかを釣る。夜釣りやなあ（です）。いましや（今は）、いかも昼捕りに行くけど（が）、よさや（夜は）夜釣りや（です）。いかやったら（だったら）夜釣りで 皆行とる（行っている）。あや（あれは）夜釣り、おるかして（居ると見えて）あの灯みよまあ（見なさい）一杯で。

**いかつおな** 健康そうだ。強そうだ。[会話] 色艶なよおて（がよくて）、イカツツオナなあ言うて。

**いかつとる** 1）火などが埋まって居る。（志（布施田）） 2）魚などが生簀で生きて居る。3）威張って居る。怒って居る。（志（布施田））[会話] ₂）魚が活かして有る。かんこん（船の生簀に）活かして有るよお（有ります）言うて、イカットルか だれ（どれ）見よまあ 言うて、生きとるか 見よまあ 言うのを イカットルか。₁）火鉢の中え、ひい（火）いけといたや（たら）ひいな（火が）イカットル 言うてな。イカットルよお（ています）、言うたや（言ったら）、それい（に）つんどけ（足しておけ）言うてな、炭つぐ（足す）のを、炭入れとけ（ておけ）言うのをな（です）。

**いかつなる** 1）元気になる。健康になる。2）強くな

る。

**いかな** 行かなければ（志）[会話] はよ（早く）まあ、イカナはざん（駄目だ）。おそならんよおん（遅くならないように）イカナはざんわれ（駄目だ）言うて。がっこい（学校へ）行くのでも、早よ まあイカナそや、おそなんど（それ遅くなるぞ）言うて、がっこい（学生に）せわやいて（面倒みて）、ごんぞせ かきよおったやんかい（腹を立てていました）。

**いかばつとる** 威張って居る。偉そうにしている。[会話] イカバツトル、えらそぶとる（偉そうにしている）言う事をな（です）。

**いかばる**【動詞】 威張る。威張って我意を通そうとする。（志（布施田）、北）[会話] イカバル言うのは、えらっそぶる（偉らぶる）事をな（です）。

**いかまい** 行かない。行くまい。（志（布施田）、三）[会話] 行かせん言うことや（です）イカマイ言ううのは。

**いかまいか**。いかまいかいなあ 行かずにおこうか。行かないでおこう。[会話] 今日は、イカマイカ言うてなあ、先生な（が）来るけど（けれど）、まあイカマイカ 言うのな（です）、相談する時、イカマイカ言うて。イカマイヤ言うと行かせんね（行かないのです）、きまんね（決まるのです）。イカマイカ言う時まだ決まらせん（決定しない）時。

**いかまいや** 行かないでおきましょう。[会話] 相談する時いかまいか（いかないでおこうか）言うて、イカマイヤ言うと行かせんね（行かないのです）。きまんね（決定です）、いかまいか言う時はまだ決まらせん（ない）時。

**いがます** 歪める [会話] イガマシタ（てしまった）、すじ（線）引いとんのん（ているのに）、イガマシタタレ（てしまった）、いごかすもんで（動かすので）言うて。

**いがみ**【名詞】 1）ブタイ（武鯛）科の魚 全長約60cmに達する。体は側歪した長楕円形、鱗は丸くて大きい。体色は紫橙色の地に赤と青の斑紋が散在する。雄は、青みが強く、雌は、赤みが強い。口を伸ばすことは出来ず、上顎の歯は多少癒合して居る。嗟 動物が歯をむき出して噛みつこうとする事（志、鳥、鈴市、度、伊、尾、南、熊野地方） 2）いがみあう 喧嘩する [会話] ₁）さかなのイガミ。₂）にげ（人間）でも、イガミや（だ）言うて。イガミヤイ言うやんかい（言います）。猫も嗟み合うとたら（とか）言うて。にげ（人間）でも、喧嘩すると、イガミヤイ言うて。

**いがみこんじょ**【**名詞**】意地悪。根性のひねくれている事。性格が悪いこと。ひがみ根性【**会話**】こんじょな（根性が）いがんどて（歪んでいて）言うて、こんじょな（性格が）わりのおを（悪いのを）、イガミコンジョで言うて。

**いがみやい**（**いがみあひ**）（**嗟合**）【**名詞**】喧嘩 人が互いに争う合う事。いがみあい いがみ参照

**いがみはちこく**（**歪八石**）【**俚諺**】畑の畝が曲がって行くことと収穫が多いと言う事。（志）【**会話**】畑の畝あげんな（作るのに）、イガミハチコク言うて、よけ出来んねやれ（沢山出来るのだ）言うて、いがんどると（歪んで居ると）、八石よけ（多く）穫れる。

**いがみんちよ**【**名詞**】歪んでいる状態 ゆがむの変 いがめる 心行いが正なくなる事。いがみんちよは、いがむを強調 ゆがむ 歪 物の本来の形が曲がったり捻れたりして少し変形する。人の性格や考え方が正常の状態でなくなる又、よこしまである。歪める 物の本来の形を曲げたりひねったりして変形させる。ある事柄をわざと現実と違うように表現する。人の性格や考え方を正常の状態でなくする。ひねくれさせる。

（志（片田、磯部）、伊、鳥、員、三、鈴市、鈴郡、安、一、松、多、上、阿、張、名、北、尾、南）【**会話**】イガミンチョ言うて、横になつてくことを（曲がる、真直なものが横にそれる）、イガミンチョ言うて。ゆがむ言う事を、いがむ言う（言います）。イガミンチョになつてて（なつていつて）、まつすぐよおせんで（出来なくて）、おらん（俺のは）、イガミンチョや（だ）言うて。

**いがむ**（**歪**）【**自マ五**】歪む、曲る。（志（浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗）、鳥、員、三、鈴郡、鈴市、安、一、松、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南）

**いがめる**【**他マ下一**】曲げる ユガメルの説（広辞苑）（志（布施田）、北、尾）

**いかよか**。いかよかい。いかよかな（**女性語**）。いかよかれ 行けない【**会話**】風な（が）吹いとて（ていて）、イカヨカレ、沖い（へ）言うて。家な（が）いそがして（忙しくて）来てくれ（下さい）言うてもそいなとこ（そんな所）イカヨカレ言うて。

**いがらい**【**形容詞**】いがらっぽい 咽が刺激される感じである。えぐい あくが強く咽を刺激するような味や感じがする。（志（布施田、鶴方）、三、鈴郡、安、張、南）【**会話**】咽がなんやら、いきぼつて（何か刺激されて）来るよおな、イガライ言うて。けぶつと、

にごおて（煙ると、苦くて）まあ、イガライ程、苦いなあ言うて、よお言う（よく言います）。薬が苦かったり、食べるもん（物）が、苦かったり言うて、ほおた（感嘆詞ああ大変）イガラいなあ 言うて。

**いからかす**。**いからす**（**稜起**）【**他サ五**】かど立たす そびえさせる

**いからかす**。**いからす** 1）生かす。2）うめる。埋める。

**いからった** 行かなかった【**会話**】行きませんでした言うのを イカラッタ言うね。

**いがらっぽい**（**苦辛**）【**形容詞**】いがらい感じ。咽を刺激する苦い感じ。いがらい参照 えぐる意（大言海）（志（立神、安乗））【**会話**】イガラッポイ言うな（のは）、なんやら（何か）食べるもんな（物が）、苦い様な時も、言うやんかい（言います）。咽な（が）ぜりぜりして苦いよおな、辛いよおなのおな（のが）有るんのお（有るのです）。食べる時ん（に）。ほすと（すると）、なんか、イガラッポイなあ こや（此は）言うて なんやら（何か）イガラッポイ様な味やなあ（だなあ）言うて。

**いかりいし**【**名詞**】三角形をした錨の代りに使う石

**いかりうつ**（**錨**）1）錨を水底に沈める。2）嫁に子供が生まれる。子供が生まれて、嫁の座が安定する。3）長居する【**会話**】<sub>1)</sub>イカリウツ言うな、錨ほりこむ言う事をな、イカリウツケよお言うてな。今日は潮な（が）早いよつて（から）、ひとばか（少し）休むのん（のに）イカリウツケ、錨ほりこんどけ（放り込んでおけ）言う訳やなあ。<sub>2)</sub>嫁さんに 子供が出来る イカリウツかよつてん（から）ま、大丈夫や（だ）言うてなあ、戻つてかせん（いかない）言う事やなあ（です）。そやけど（しかし）今しの（今の）子ら いくら 錨な（が）有つても、ほつといてくれ（捨てておいて行くのです）今し（今）の子ら ほんとん（本当に）勇気なあ（が有ります）。

**いかりづな**（**碇綱**）【**名詞**】錨についている綱。海女の持つ重りについての綱（志、鳥）【**会話**】イカリズナ言うて、なあ（綱）の事。錨え ひっかけてある綱を イカリズナ。イカリズナも そや えごつと（それ完全に）たぐれよお言うて、じつばん（立派に）わあ（輪）にして たぐつとかな（ておかなければ）錨うつと、まつならかすもんで（もつれさせるので）、わあ（輪）に たぐつて しとくと（しておくと）錨うつても つるつるつるつと、ひとり（自然に）行くなてや（行くのです）。それまあ ごっちゃん（でた

らめに) しとくと (しておくと)、まつなって (もつれて) まあ そや (それ) 言うて。

**いかりやる**(錨やる) 錨をおろす(下ろす) [会話] イカリヤル言うのも うつ言うのも一緒や (です)。

**いかりよか**。いかりよかい。いかりよかな (女性語)。

**いかりよかれ** 行かれようか。行けない (志) [会話] 風な (が) 吹いとて (ていて)、いかよかれ、沖い (え) 言うて。行かれやせん (ない) イカリヨカレ言うて、行かれやせんわれ (行けません) 言うのを、いかよかれ 今日は風なえろおて言うて。家な (が) いそがして (忙しくて) 来てくれ (下さい) 言うても、そいなどこ (そんな所) いかよかれ言うて、言うのなあ (のです)。旅行え行こや (行きましよう) 言うても、そいなどこい (そんな所に) イカリヨカイ (行けません) 言うて。

**いかる** 【自ラ五】 炭火などが灰の中に埋められる。埋まる (鳥) [会話] ひいな (火が)、イカル。藁灰すると、よお (よく) イカルよってんなれ (から)、藁の灰いれな はざんわれ (入れなければ駄目だ) 言うて。火持ちなええの (がよいのです) 藁灰してなあかったあい (堅い) 灰すると 消えてて (ていつて) はざんね (駄目なのです)。藁の灰すると、ふわふわとなあ じっくん (すぐに) ひいな (火が) おきて来てなあ 何時迄も あんの (有るのです) 藁灰は。

**いかる** 【自ラ五】 生物などが生きている [会話] 魚な (が) イカットル、かんこの (船の生簀) ひいな (栓が) 抜いて有るもんで (ので)、よお (よく) イカットラレ (ている) 言うてな 生きとる (ている) 事を、なあ (です)。

**いかる** (怒) 【自ラ五】 怒る。威張る。 [会話] 威張つとんのも (ているのも)、イカル言うの (言うのです)。俺より偉いまん (者は) 来い言うて、威張つとんのも イカットラレ (ている)、いきつとられ言うてな、わがとばっか (自分ばかり)、偉いよん (ように) 言うて あやれまあ (あれあれ) 言うて。

**いかれ** 1) 行きます。2) 間抜け。夢中になっている事。いかれる参照 [会話] 1) 来てくれよ (来て下さい)、来いよお (来なさい) 言うとおお イカレ (行きます) よさり (夜) 言うてな。 よさや (夜は) 来いよお (来なさい) 言うとはい、行きます言うの、おお、イカレ言うてな。

**いかれとられ** 1) 馬鹿だ。馬鹿になっている。のぼせている。2) 悪くなっている。 [会話] 1) 頭なイカレトテ (がおかしくて)、ちよいと (少し) はちぶん (八

分に)、八分ならええけどなあ (よいが)、あや (彼は) だいぶ (大分) イカレトラレ言うて。

**いかれとる** 悪くなっている [会話] それじたいな イカレトンネよって (ているのだから) はざんやんか (駄目だ) 言うて。

**いかれとる** 1) 馬鹿だ 2) のぼせている 心を奪われて居る [会話] 1) イカレトル事を、もやしな足らん (馬鹿) 言う。

**いかれやせん** 行けない [会話] 今日はイカレヤセン、行かれん (行けない) 言うのな (です)。

**いかれやせんわい**。いかせんわな (女性語)。いかれやせんわら。いかれやせんわれ 行けません [会話] 来い言うけど (が)、よさや (夜は) 用事な (が) 有って、イカレヤセンワレ言うて。

**いかれやん** 行けない (上、阿)

**いかれられ** 行くことが出来ます [会話] よさり (夜) 俺家い (オレグえ) よんねけど (集まるのだが) が、来やれるか (来れますか) 言うたや (言ったら)、イカレラレ言うて。この時は、行く事が出来る、用事な (が) 無いよって (から) 行くわ、行かれる言う。

**いかれる** 【自ラ下一】 1) 行けます (阿、張、名) 2) してやられる 先手を打たれる (阿、張、名) 3) 物が古くなって役に立たなくなる。壊れる 4) 心を奪われる。夢中になる。5) 頭の働きがまともでなくなる。6) 盗まれる [会話] 1) よさや来やれるか (夜は来れるか) 言うたや (言ったら) イカレラレ言うてな、よさり おれげい (私の家に) よんねけど なあ (集まるのだが) 来やれるかあ言うたや おお行かれられ 言うて、行く事が 出来ます、用事な (が) 無いよって (から) 行くわ (行きます) イカレル言う事な (です)。行くわれ (行きます) 言うて。2) イカレルで 先手を打たれる 相手にやられる いかれたよお 言う時な (が) あんなあ (有ります)。やられたよお 言うて、いかれたよお 言うてな。3) 物が古くなって、イカレテクル 言うてな、ふるう (古く) なって 使われんよおん (ように) なるとな こや (これは) イカレテキタレ (来た) まあ、言うて いたんで (傷んで) 来ると。4) あや (彼は) まあ あれん (彼女に) イカレトンネド (ているのだ) イカレトテ (ていて) あやれ (あれ) 言うて、惚れとんのも (ているのも)、惚れて 曲がつとられ (ている) 言うの (のです) ま、イカレトル 言うて。5) 頭な (が) イカレトテ まあ、ちよいと、はちぶん (少し八分に)、はちぶ (八分) ならええけど (よいが) あやだいぶ

(彼は大部分) イカレトラレ (ている) 言うて。

**いかれん** 行けない 行かれない (三) [会話] 今日は、いかれやせん (行けない)、イカレン言うのな (です)。イカレン、いかれやせんわれ (行かれません) 言うてな、イカレンと さいご (その時) 今日はまあ いかれやせんわれ。

**いかん** 1) 行かない (志 (浜島)、鳥 (坂手)、鈴市、安、多、北) 2) 駄目だ (志 (立神、神明、甲賀、国府)、鳥、桑郡、桑市、員、三、鈴市、安、松、多、張、度、伊、北、南、熊) [会話] 1) イカンは、行かせん、行かない言うのを。

**いかんか。いかんかい。いかんかな (女性語)。いかんかれ** 1) 行きませんか。2) 行きなさい。行け。(志、度、南) [会話] 1) 今日はまあ、芝居見いん行くね (見に行くのだ) あんたも イカンカイ 言うし、2) そして 目下のもん (者) に言う時、イカンカレのも (お前も)、今日はおら (俺は) 芝居 見いん行くねない (見に行くのだ) 言うて。

**いかんかて** 行かなくても [用例] あいなとこ (あんな所) イカンカテ じよっとやれ (上等だ)。

**いかんこ** 行きなさい 行きませんか (度) [会話] イカンコ 言うて、友達、朋輩 (親友) に言う時なあ (です)。イカンコ わいも (お前も) 言うて、イカンコ、おら行くねない (俺は行くのだ)、行かせんのこ (行かないのですか) 言うて、すや (すると) 俺もつれててくれの (連れていって下さい) 言うてな。行こかいね (行きましょうか) 俺も そんならつれててくれるこ (それなら連れてくれますか) 言うて。

**いかんこと [名詞]** よくない事、迷惑なこと

**いかんせ** 行きなさい (張、北) [用例] あんたも (貴女も) イカンセ、私や (は) 行くねない (行くのだ)。

**いかんだ** 行かなかった (志、亀)

**いがんだ** 曲がった 歪んだ いがむ参照 [会話] イガンデタ (でいった) 言うて、曲がってくと (ていくと) こや (これは)、いがみんちよんたてた (ていった) 言うてな。畝あげても (作るのでも)、縄張りして あげると (作ると) じっばん (立派に) あがんねけど (出来るのだが) 縄張りせんと (せずに) すると、下手なもな (者は) いがみんちよんたてて (なっている) あやれ (あれ) あのだ 見よまあ (見なさい) いがみはちこく 言うて、よお (よく) 獲れんねやれ (獲れるのだ) 言うて。こんじよなわりのおも (根性が悪いのも)、あやまあ (彼は) こんじよな (根性が) イガンドテ (でいて) 言うな。いがみこん

じよ (根性) で言うてな。

**いがんでく** 歪んで行く (志 (浜島)) [会話] 曲がってく (ていく) 言うの (のです)。いがみんちよ 言うのも イガンドク 言うのも 一緒やけど (だけれど)、いがみんちよやなあ (だ) 言うて。

**いがんでた** 歪んで行った。いがんだ参照

**いかんてて** 行かなくても [会話] あいなとこい (あんな所え) イカンテテ ええわれ (よろしい)。来い言うたけど (が) 言うて。がいん (あまり) 行きたないとこな (行きたくない所が) 有るとな、来い言うたけど、あいなとこ イカンテテな言うて。わがと行きたのおて (なくて)、行かんでも ええ (よい) 時や (は)、あいなとこい イカンテテなあ言うて、そげなとこい (そんな所に) イカンテテな じよっとやれ (上等だ) 言うて。

**いかんててな** 行かなくても。いかんててに同じ

**いかんでも** 行かなくても

**いかんと** 行かずに 行かないで (伊) [会話] あしこい (あすこえ) イカント、こちらい 行こか (行こうか) 言うて。今日はあしこい (あすこえ) 来い言うたけど (が)、あしこい イカント、畑 行こか 言うて。

**いかんとく。いかんとくわ** 行かないでおく 行かない (上) [用例] 来い言うたけど (が)、イカントクワ。

**いかんとけ** 行ってはいけない 行くな [用例] 今日は沖な (が) 荒れとるよって (て居るから) イカントケ。

**いかんとこ** 行かないでおこう いかんとこん参照 (上、阿、張、名)

**いかんとこん** 行かないでおこう。行くのをやめよう。

[会話] イカントコン 言うて、行かまい (行かない) 行かんと (行かずに) おるのを、イカントコン まあ 言うて、イカントコで切らんと (切らずに)、イカントコン 言うて、行かせん (行かない) 言うて 決めた事なあ (です)。

**いがんだる** 歪んで居る (志 (甲賀)) [会話] イガンドル。こやまあ (これは) イガンドラレ (でいる) 言うてな。もおちよいと (少し) 真っ直ん (に) せなはざんわれ (しなければ駄目だ)、イガンドルやんか (でないか) こや (此は)。歪むことを、いがむ言うね (言うのです)。裁縫しても、縫うてくのん (て行くのに) 直線縫いしても、こや いがんで いがみんちよやなあ (だ) 言うて、縫うたのおな (のが) イガンドルと (でいると)、こや この縫うたの 見よまあ (見なさい) いがみんちよやない (だ) 言うて。

**いかならん** 行かなければならない【用例】 なっとしても (どうしても) イカンナランとこや (所です)。

**いき (息) 【名詞】** 海女の潜水作業で一回潜る事。またその時間 呼吸の長さ【会話】 海女さんのイキする。出て来て (海中から) イキシ (息をついで)、行く (海中へ) 言うてなあ。イキが短いとか、長いとか言うて。心臓な弱い人は イキな短いやろなあ (のでしょう)。あの、なあごおられやせん (長く居れない、潜水時間が短い) のをなあ。出て来るとやい心臓な破裂し**いよったよお** (していくようだった) 言う**よってなあ** (から)。まあ イキ一杯つめて (耐えて)、まあ 出て来た時や (は)、心臓な (が) 破裂し**いよったよお** 言うて出て来てから。イキつめる言うのは、底 (海底) でなあ、イキ一杯、まあ こんで (これで) 出てこお思とると (思っている)、鮑見つけて、そしたらまあ イキ一杯底に居ったて、出て来んの (来るのが) いっしょけんめ (一生懸命) 出て来ると、ああ 心臓な破裂してく、言うてなあ。イキつめて、イキがあるだけ (息が続く限り)、イキが一杯 底で仕事して来て、すんのを (するのを) イキ一杯。底に**這おとて** (這って居て)、イキな (が) 切れてくや (くれば) 苦して、一生懸命で出て来て、またぶう言うて。

**いきあう (行合) 【自ワ五】** 1) ある物と他の物とが略等価である。価値が同じである。2) 全体に行き渡る (志 (布施田)) 3) 出逢う【会話】 2) うめあう 言うのは、なじます言う**事や** (です)。乾い**とるとこ** (ていいる所) と、湿**とるとこ** (ていいる所) と、イキアウ**よおん** (ように) 巻い**とくと** (ておくと)、丁度**ええ** (よい) 調子**なんねてや** (になるのです)。

**いきあがる。いきやがる (生上) 【自ラ五】** 生き上がる 生き帰る 蘇生する 元気になる【会話】 イキアガル 言うのは、死んだ**よおに** しとたのおな (して居たのが)、イキアガッて来た言う**事やなあ** (事です)。元気な**出てきた** のおを (のを)、イキアガッて来た**言うやんかい** (言います)。

**いきあたらん** 1) 行き逢わない。出会わない 2) 全部に渡らない (志 (布施田))【会話】 1) 今日はなんも (全く) イキアタラ**らったよお** (なかった) 言うて、なんか (何か) 取り**んいても** (に) 行つても なんも 今日はイキアタララッタ。言うて、わがと (自分) 思う**もん** (物) に**当たらんと** (当たらないと)。2) 大勢おると**こい** (居る所え) ちよいと (少し) の**もん、もてくと** (物持っていくと)、みんなん (皆に) イキア

タララッタナア (なかった) 言うしなあ (言います)。全部に同じ様に**渡らん** (渡らない)、みんなん 一つ当り いから**った** (渡らなかつた) 事をなあ。

**いきあたり (行当) 【名詞】** 進んで行ってつき当たる事。又その場所。行き止まり。【会話】 突き当たりのことを、あすこに壁な (が) あつて、イキアタリ**やよお** (だ)、突き当たり迄 いてきた (行って来た) 言うて。詰**とると** (ていいる) とこい (所え) 迄 いたると (行ってしまふと)、いきづまり**い** (え) 迄いた (行った) 言うて、いきづまった言うて、先な無いと。

**いきあたりばったり 【名詞】 【形容詞】** 一貫した予定や計画もなく、その場その場の成り行きにまかせること。いきあたり、ゆきあたり、行きあたる事。又その場所、行当り (志 (布施田))【会話】 何でも、イキアタリバツタリ。そこらこらに有る**もん** (物)、いきなり (急激に) 持つて、そらかした (走り去つた) 言うて。イキアタリバツタリ言うて、よお言うやんかいなあ (よく言います)。なんでも あんななあ (彼ののは) イキアタリバツタリでまあ言うて、とんぢやくな (心配りが) 無い言う事を、目標たてて**せんと** (せずに)、むてつぽん (無鉄砲に) することなあ、いきなりさんばち**やれ** (だ) あや (彼は) まあ 言うて。いきなりさんばちも、イキアタリバツタリも**一緒やなあ** (です)。

**いきあたる (行当) 【自ラ五】** 1) 進んで行ってつき当たる。2) 物事が処理出来なくて困る。

**いきあわす** 出会う。出くわす。偶然に合う。相手になる。【会話】 言う事でも、あんまり (あまり) 口の**えらい** (大変な) 人に、イキアワス、おらのこてん (俺の手に) あわんわれ (合わない)。あや (彼は) 口な (が) えらい**よつてん** (から)。

**いきいっぱい (息一杯) 【名詞】** 息の続く限り いきつめる参照

**いきうせ (行失) 【名詞】** 行って行方が判らなくなる事。行方をくまらず。 (志 (布施田))【会話】 イキウセ言う**うな** (のは)、言うて、蒸発して**く** (して行く) 事を、イキウセン**いて** (に) 行つて。家い (へ) 帰つて**来んと** (来ずに) 姿見せんと (見せないと)。出てから家い (へ) 帰つて**きやせんのを** (来ないのを)、イキウセン (に) いた (行つた) 言う**の** (のです)。いきく**れかいくれ** (行つたまま) 姿見せやせんのを (見せないのです)。

**いきえさ (生餌) 【名詞】** 魚を釣る餌にする生きている鰯

**いきおい (いきほひ) (勢) 【名詞】** 他を圧倒する力、元氣、氣勢 (多、北) [会話] イキオイな (が) ええよお (よいのだ) 見よまあ (見なさい) 言うて、元氣な (が) ええのをな (よいのを) いきよいな (威勢が) ええよお 言うて。あやまあ (彼は) なんもはざんとおって (全く駄目なのに) 空元気でまあ言うて、体いごかんと (働かずに)、おって (居て) 口ばっか (ばかり) 元氣出して あや (彼は) 空元気でまあ言うて。その家な (が) 盛んになっとる (なっている) 時、イキオイな (が) あの家、今し (今) 朝日が昇るごとくでまあ言うて 運勢 朝日が昇るごとし言うな (のは) あれやなあ (だ) 言うて。

**いきおいして** 氣勢をあげて、氣負って 元氣一杯で [会話] 走りきってくのを (行くのを)、イキオイシテ走ってくのを、たてこましてたない (走りきって行った) 言うて。喜んでイキオイシテ、たてこましてたない。それ持ったや (たら)。

**いきおう (いきほふ) (勢) 【自ワ五】** 意気込む 氣負いたつ

**いきおった** 行って居た 行った

**いきおて** 1) 途中で出合つて。2) 相互に価値が同等であつて。

**いきかえり (いきかへり) (行帰) 【名詞】** 往復、行きと帰り (志) [会話] 往復する言うう (のです)。イキカエリ、なんやかや (いろいろ) 持ってく (ていく) 行きと帰り言うね (言うのです)。行きにも帰りにも行きんも (にも) 持てて (持っていつて)、帰りん (に) もまた貰るて (貰つて) くる事をイキカエリ。昔の人ら往復こおて (買つて) 言うて。

**いきかえる (いきかへる) 【自ラ五】** 元気になる 活力を取り戻す

**いきかう (いきかふ) 【自ハ五】** 行ったり来たりする

**いきがき 【名詞】** 生垣 樹木を植え並べて作った垣 [会話] あかめ 言うて イキガキン (に) しとんのなあ (しているのです)。花みたいん (のように) 美しくしてええのなあ (美しくてよいのです)。家の周囲のイキガキ言うう (のです)、垣をなまの (生きている) きい (木) で してあんのを (有るのを) イキガキ言ううのな (です)、イキガキな (が) して有つて、あの家言うて。

**いきがけ (行掛) 【名詞】** 行くときの途中、行こうと思つて居る時 いきし など同様に使用することあり。ゆきがけ [会話] イキガキ言うのは、うち (家) 出掛ける時。誰それな来て、話な、なごなつて (が、長く

なつて)、家 出よ思とると、人な来て (出ようと思つて居ると来客があつて) 言ううのを、イキガキ。イキガキに、人な来て、遅なつてて言うんなあ (遅くなつてしまつて言うのです)。

**いきき (行来、往来) 【名詞】** 行く事と来る事。交際。

つきあい ゆきき [会話] イキキ 行たり来たり、往復言ううのを行たり来たり。あの家と何時もイキキしとんねよお (しているのだ) 言うて、交際して 親して (親しくて)。行たり来たりしとる (している) 言うて、親しい (親しく) する事を。

**いききしとる** 交際している いきき 参照

**いききつてく** 1) 行つてしまう 2) 行つたまま帰らない

**いきぎも (生肝) 【名詞】** 生きて居る生物の肝 驚いた時 キモは古くは臟腑の総稱 コリモノ (凝物) の約略 (大言海) [会話] イキギモヌカレタヨオ言うて、びつくりした様な事な (が) 有ると、あらざも取られた 言ううのも有るし (有ります)。

**いきぎもとられる。いきぎもぬかれる** 非常に驚いた 驚く いきぎも 参照

**いききる (息切) 【自ラ五】** 1) 息を引き取る。臨終になる。しまうとも言う。2) 息がされる 参る 息きつて走る。(桑) [会話] い イキキル言ううのも、海女さんが息一杯いる (潜つて居る)、入つて イキキッテ、又 入つて。ほおたまあ (ああ) イキキッテ 走つて来たよお言うて、走つてイキキル 思た (思つた) よお言うて言うのと。1) 死んでく (死んでいく)、言う事やなあ (です)。イキキル言ううのは、息が途絶えてしもた (しまった) 言う事や (です)。しまう言ううのも、死んだ言う意味。

**いきくさい 【形容詞】** 小便可さい 陰部の匂い [会話] 夜中ん (に) 目あいた時ん (に)、かかな (妻の) 内股い (へ)、首突つ込んで寝とて (て居て)、けえな (毛が)、鼻いあたんのを (に当たるのを) 口な (が)、そして どいらい (大変)、イキクサイ男や思て (だ思つて)。おたべ (女陰) 臭いのおを (のを) しよんべ (小便) 臭いのおを (のを) イキクサイ言う。

**いきくさる** 行くを卑しめて言う語 (松、上、阿、張、名) [会話] イキクサル言うて、はよ (早く) 行け言う事を、すかん人 (嫌な人) を、はよ まあ、イキクサヤ (れば) ええのんなあ (よいのに) 言うて、業な湧く時なあ (腹の立つ時に)、早よ まあイキクサリヤええのん 言うてな。

**いきくされ** 行けの卑語 いきさ せ参照

**いきぐされ (生腐) 【名詞】** 魚などが新しいようにして居て腐敗して居る事 新しいのに悪くなっている事  
[会話] 鯖のイキグサレ、生きておって (居ながら)、腐とんの (ているのです) 鰻なあ (がです)。脂な (が) あんでえらいやろな (あれで多いのでしょう)、脂で煮えてくんやろん (て行くのでしょうか)。

**いきくれかいくれ** 行ったまま ゆきくれ 行き暮れる 歩いて行く途中で日が暮れる。かいくれ (掻い暮れ) 下に打ち消しの言葉を伴って まるで 皆目。かいくらみどき、掻い暗み時。日暮れどき たそがれ 夕方 (志 (布施田)) [会話] イキクレ帰って来やせん われ (帰って来ない)、まあ、朝 出たや (出ていったら)、イキクレカイクレ来やせんない (帰って来ない)。どこにいたんやら、一つも来やせん (何処へ行ったのか全く来ない)。イキクレ帰って来やせんなあ、言う時に使う言葉

**いきごし (行腰) 【名詞】** 行こうとしている態度。又その時 [会話] イキゴシ言うて、行こ (行こう) 行こ、おもてなあ (思つて)。イキジリ抱えとんのをなあ (ているのを)、イキゴシしとる (している) 言うてなあ。イキジリ抱えとる (ている) 言う人も有るしな あ (有ります)。イキジリ抱えとても (ていても) まあ話や (は) 切れんで (切れなくて) 行きとおて (行きたくて) イキジリ抱えとんねけど (ているのだが) 行かれやせんし (行けない) 言うてなあ。ま、行きとおて 行きとおて 尻もじもじしとんの (しているのを) イキジリ抱えて。

**いきごみ (意気込) 【名詞】** 張り切った気持ち。氣勢きおい [会話] イキゴミしてやって来て、言うてなあ。あのイキゴミ見よまあ (見なさい) 言うて。物凄い元気な (が) よお (よく) して来るとな、あのイキゴミ見よまあ 言うなあ (言います)。

**いきごむ (意気込) 【自マ五】** 1) 下腹部に力を入れる。いきむ 2) 勢いをこめる。張切る 張り切った気持ちでしょうとする。(松) [会話] 2) イキゴム 言うのは、ものすごい勢い。イキゴミな違われ (ます)、あのにぎゃ (人は)。ものすご腹な立つとる (て居る) 時にそお言うて、イキゴミなえろおて (大変で) まあ言うて、ものすごお腹立てたよおな事。イキゴミ よお (よく) して来て 言うなあ。

**いきさかいし (生境) 【名詞】** 生きるか死ぬかの時。生死をさまよって居る時。[会話] 死んでく (死んでいく)、イキサカイシのさいんなあ (時に) あやまあ (彼は) しんだい (次第に) おとりやれ (弱りだ)。

**いきざかな (生魚) 【名詞】** 生きて居る魚

**いきさき (行先) 【名詞】** 行く先。向かって進んでいく方向。地点。ゆきさき。[会話] イキサキ言わん (わず) と行くと、どこやら (何処かへ) 舞い切つてた言うて。

**いきざし (息差) 【名詞】** 息づかい。呼吸の様子。ざしは様子の意 (桑)

**いきさつ (経緯) 【名詞】** 経緯。物事の経過。又込み入った事情 [会話] あれとこれとの イキサツは、あやどげなんど (あれはどんなですか) 言うて。人と人とな (が) 気まずうなつとる (なつて居る) 事を、あいらな (彼等が)、どんなイキサツど (だ)、あや (あれは) 言うて。ちょっと、気まずうなつとるのを、なんぞ (何か) 二人の間に問題があったやろ (有つたのだろう) 言う事やなあ (です)。あのイキサツな (が) 判らんなあ言うんよつて (言うのだから)。

**いきさらす** 行ってしまう 出て行く 行きやがる 目下又は敵意又は悪意を持つ相手に使用

**いきざま (生様) 【名詞】** 生活している態度 生き方

**いきさらせ (命令形)** 行けの卑語 (志 (布施田)) [会話] 行け言う事をなあ (です) 業な湧いとる (腹が立っている) 時、はよ (早く) イキサラセ言うてな イキクサレ 言うのもな イキサラセ言うのも一緒や わい (です)。顔も見たないよん (見たくないように) なつてくんのを (来るのを) イキサラセ まあ顔も見たねえわ (見たくない) 言うて。イキクサレ 行きやがれ イキサラセ 言うてな、同じ言葉やけど (だが)、まあ 汚い言葉で、業な湧くと、はよイキサラセ、まあ 早よ (早く)、うしやがれ (行け) 言うて。

**いきさる (行去) 【自ラ五】** 行き去る。去って行く。去る。さらす。するをのしつて言う言葉。しやがる。

**いきしな (行) 【名詞】** 行きしな 行くと言う行動を起こす 始めに使用 行きかけ ゆきしな。しな (接尾語) 動詞の連用形について、するその時、するその折などの意を表す。(志 (浜島)、鳥、員、三、鈴市、多、張) [会話] いきがけど よお似たもんや (よく似たものです) イキシナは。

**いきしに (生死) 【名詞】** 生きる事と死ぬ事 大変な苦難の時に使う

**いきじり 【名詞】** いきごしに同じ 行きたい 行こうと思つて居る態度 いきごし参照

**いきすぎ (行過) 【名詞】** 1) 出しゃばること 生意気 (志 (布施田)、松、尾) 2) 通り過ぎてしまう [会

話] イキスギ言うのは、ここへ行こ思とた(思って居た)のにイキスギタ時もある。1) にげ(人間)の生意気なものもあるし、にげの生意気なおを、イキスギとる(て居る)言うて、生意気なことを。

**いきずり(行摺)【名詞】** 1) 道を歩いて居る途中  
2) 行き倒れ [会話] 1) 行く途中も、イキズリ言うて。2) ゆきずり言うな(のは)倒れてしとんの(しているのを)、あや(彼は)イキズリやって(だった)言うて、拾うて(拾って)来たり、助けたりすると、あや(彼は)イキズリやったね(だったのだ)言うて、食わんと(食わずに)歩いてしたり、銭な(が)のおて(無くて)食わらったりしとんと(食べなかったりしていると)、あや(彼は)ゆきずりや(だ)とか、行き倒れとか言うて。

**いきする(息)** 1) 息を入れる 休憩する 一休みする  
2) 快復する 安心する [会話] 1) イキスル言うのは、呼吸する言う事やなあ(です)。一息入れる時も、一息入れていて(ておいて)言う時もあるしなあ(有ります)。一休みしといて、一息 まあ すやええわれ(すればよい)言う時もあるしなあ。一服しよおや(しましょう)言う事や(です)。2) えらい(大変な)仕事をして居て、少し休んで、ああ生き返った言うのが、イキスル言うのか、ひといき(休みましょう)言うて、ひといきしよおやまあ。ひと休みしよおや。

**いきそこねた。いきそこのた** 1) 行きそこなった。  
2) 婚期を失った [会話] 1) いこおもとたや(行こう思っていたら)行からった(なかった)事を、イキソコネタよお言うて、旅行い(え)、いこおもとたけど(行こうと思ったが)、用事な(が)出来て来て、イキソコノタとか、参ってこ(て行こう) 思ったけど(思ったが)、イキソコノタとか言うて、行かれらった(行けなかった)事をなあ、行かれんよん(よう)になって来た事、イキソコノタ言うてな。

**いきだし【名詞】** 息ざし [会話] 若いもんな(者が)、ふたんな(二人で)寝とると(ていとう)、婆な(が)イキダシ考えとて(ていて)、つらましや(つらいことだ)また出来たれ(子供が出来た)言うて。

**いきたない** 行きたくない

**いぎたない【形容詞】** 卑しい、意地汚い(上、阿)

**いきたねえ** 行きたくない(度) [会話] イキタネえわれ、おら(俺は)今日は なんやら(なにか) 気な(が) 進まんで 行きたないよお(進まなくて行きたくない)言うてな、行きたないなら、ええけど(よい

が)イキタネエ言う。イキタネエけど(けれど)、行こかいなあとか(行こうか)、イキタネエよおまあ言うな(言います)。今日はイキタネエ言う時も有るし、イキタネエけど(ないが) 行かなはざんやんかいなあ(行かなければ駄目だ)言うてな。

**いきちがい(いきちがひ)(行違)【名詞】** すれ違う事  
ゆきちがい

**いきづかい(いきづかひ)(息遣)【名詞】** 1) 呼吸の調子 仕方 息の出し入れ いきざし 2) 人使いが荒い [会話] 1) イキヅカイな(が)荒い言うてな、よけ(沢山)走って来たや、イキヅカイな(が) えらいわれ(大変だ)言う時も有るし、病気な(が) 重て(重くなって)来る時は、あやまあ(彼は)今日は、イキヅカイな(が) どいらい(大変)荒いなあ言う時も有るしなあ(有ります)。2) それから人を使う時なあ(です)、あんまり(あまり)無理な(に)使うと、イキヅカイな(が) あるおて(荒くて)とかな、イキヅカイな(が)荒いわい(です)、あの人、気な(が)荒い言う事を イキヅカイな(が) あるおて言うてな。

**いきつぎ(息継)【名詞】** 休憩(阿、張) [会話] 休み、音頭のイキツギな(です)、ちよいと(少し)息休めする言うのな(が)イキツギ。イキツギしよおやんか(しましょう)言うて、えらい(大変な)仕事すると、一服すんのをな(一休みするのを)イキツギしよおやんか言うてな。一休みしよおやんか(しましょう)言う事な(です)イキツギ。

**いきつく(息衝)【自カ五】** 1) よみ返ったような気がする。人心地がつく 2) 疲れる 草臥れる(志(立神、国府)、多) 3) 安心する [会話] 2) イキツイタ言うのは、ものすごくいだり(大変疲れた)と言う、くたばった(草臥れた)言うことや。くたばった言うこと、イキツイタなあ言うわい。えろおて(大変で)イキツイタよお言うて。

**いきつく(行着)【自カ五】** 1) 到着する 終る 最後  
に表れる結果 たどりつく 2) 行き詰る

**いきづく【自カ五】** 疲れる [会話] イキヅク、くたばる、疲れる言う事をなあ(です)、そんげんまあ(そんなに) せかせかと(急いで)歩いていたら(行ったら)イキヅクど(ぞ)、もっとゆっくり歩いてかな(て行かなければ)言うて。

**いきづくり(生作)【名詞】** 生きた魚を頭 尾 大骨はそのままにし肉を切って取って刺し身にし、もとの骨の上に並べて生きて居る時のような姿にして出す。日

本料理。いけすとり。

**いきつけ (行付) 【名詞】** いつも行って居る なじみ  
[用例] こか (此处は) おんな (俺の) イキツケの店  
や (だ)。

**いきってくる** 息使いを荒くして来る いきり立って来る  
興奮する

**いきっとる** 張り切っている。頑張っている。勢いよく  
している。いきごんでいる。威張って居る。氣勢をあ  
げている。[会話] 威張っとんのも (ているのも) イ  
キツラレ言うて、わがとばっか (自分ばかり) 偉い  
よん (ように) 言うて。

**いきづな (息綱) 【名詞】** 海女が水に潜る時に体に結び  
付けて行く綱。船上の相方に引っ張り上げて貰うため  
のもの (志、鳥) [会話] 夫婦で行くひとら (人達  
海女漁に行く人) な、とごってて、引いて貰うの (潜  
って行って引き上げて貰うのを) イキツナ引き揚げて  
貰うの イキツナ引いて貰う。息の綱やよって (だから)、  
息しとおて (したくて) 引いて貰うわけやよっ  
て (だから)、自分、息な (が) 切れて来た時に、揚  
げてくれ言うて、引っぱんねやんかい (綱を引いて船  
上の相手に合図する) 船の人らに。そやよって、われ  
と (だから自分と) 息一杯仕事しとて 上がってかな  
(して居て上がらなければ) 息な (が) 切れてきた思  
うと、きゅっと合図すると、上で引っ張って呉れんの  
(呉れるのです)。

**いきづまり (行詰) 【名詞】** それよりも先に行けないこ  
と。またその所。物事がうまく運ばなくてどうにもな  
らないこと。ゆきづまり [会話] イキツマリや  
(だ)、あしこで (あすこで) イキツマリやどお (だ  
ぞ) 言うてな、あしこい迄、いたや (行ったら) 道な  
(が) 無いのを、イキツマリん (に) なつとんね (な  
っているのだ)。

**いきづまる (行詰) 【自ラ五】** 進退がとれない 手のほ  
どこし様がない

**いきづむ (いきずむ) (息詰) 【自マ五】** 息を止めて力を  
入れる動作。下腹部に力を入れる。力む。息む。(志  
(布施田、甲賀、鵜方、神明、立神、国府)、松、尾、  
南) [会話] イキヅム 言うのは カ一杯気張る事を  
イキヅム 言う。

**いきづめ (行詰) 【名詞】** そこにばかり行って居ること。  
絶えず行くこと [会話] イキヅメ しとんな (して  
いるのは)、えらいわれ言うんかい (大変だ言うので  
すか)。なんやかや (いろいろ)、いいづめとか、かよ  
いづめとか、イキヅメすんなえらいな (するのは大

変だ) 言う。

**いきづめ (息詰) 息を止めて腹に力を入れよ 命令形**  
[会話] うんこすんの (大便するのに) イキヅメ言う  
し、子供うむのでも イキヅンデ まあ言うて、イキ  
ヅンデ へえひったたよお (屁をしてしまった)。

**いきづめる (息詰) 息を吸い込んでとめる。深く吸い込  
んで潜る。呼吸が苦しくなる。[会話] 息こらえる、**  
底で (海底) 息一杯、息の有る限りほおとる (探して  
居るでしょう)。それを息一杯。磯 (海女) いて (行  
って) イキツメんのも (るのも) 有るし (有ります)、  
磯い (へ) いても (行っても) 底いいて (へ行って)  
イキツメテ来て、出て来て しょんべたれたたよお  
(小便してしまった) 言う時な (が) 有るんなあ  
(有るのです)。息はたかしたたよお (使い果たし  
た) 言うてな、よけ (沢山) 底ん (に) 居りすぎてな  
あ、上って来ると しょんべも、じゃあじやあたれた  
る (してしまう) 時もあんね (有るのです)、いきづ  
んで (力入れて)、息一杯おって来ると、なつちやら  
してく (なんとかしていく) よおなのなあ (ようなの  
です)。上い (え) 出て来ると、上い (へ) 出てくん  
のん (来るのに) いっしょけんめ (一生懸命) で、こ  
んだ (今度は) 出て来ると、桶綱引くのもよお (よ  
く) 引かんよんな程 (ような程)、イキツメテ来る時  
な (が) あんねてや (有るのです)。おおびな (鮑  
が) 取りのくうて (ぬくくて)、これおいといてくや  
(残して来れば) 今度忘れたんのおもて (忘れてし  
まうのに思つて) のみ食わして、いっしょけんめ (一  
生懸命) で取れるけど (が)、底で息一杯つめたんね  
(使つてしまいます)。早い目ん (に) 出るとええね  
けど (よいのだが)、そすと いきはたかすの (使い  
果たすのです)、息はたかしたたよお言うて ううん  
言うて、首出して来ておめく (叫ぶ) 時な (が) あん  
の (有るのです)、息一杯おって来ると、イキツメテ  
まあ。

**いきどおし (いきどうし)。いきどし (息) 【形容詞】 息**  
どうし 息だわしの訛 呼吸が苦しい 不快だ 息苦  
しい 心臓の鼓動が激しくなる (志、員、一、鈴市、  
阿、張、名) [会話] イキドシ言うのは、心臓な  
(が) どんどんすることなあ (です)。づつない言う  
事や (です)。

**いきどまり (行止) 【名詞】** 先が塞がって前に進めない

**いきどまる (行止) 【自ラ五】** 行きつまる 行き詰まる  
道が無くなって先へ進めなくなる。物事が進展しなく  
なる。 [会話] 何でもする仕事な (が) イキドマッ

テ よおせん (出来ない) で言う時もあるし、道 歩  
いとでも (ていても) 道なおて (無くて) すること  
も、イキドマルやし (ですし)、仕事でも此れしよお  
思とたの (思っ居たのに) イキドマリで、よおせん  
(出来ない) いくらしても、よおせん言う事やなあ  
(です)。

**いきともない** 行きたくもない。行きたくない。ともな  
い。…たくも無い。(志 (布施田))

**いきなあがる** 1) 息切れがする 2) 死ぬ

**いきなかえりな** 行く時も帰る時も。いつも。(志 (布  
施田))

**いきなきれる** 息が切れる。死ぬ。[会話] ひとがた  
(人形) を、こさえとて (作って居て)、いのり釘  
四十九本打って、五十本目は、喉を打つてわい (打  
つのだそうです)。そんで (それで) イキナキレル言  
うて。

**いきなし** 1) いきなり。急に。2) だらしないさま  
そのまま [会話] <sub>1)</sub> いきなりやって来て言うなあ。  
なつとも言わんと (何とも言わずに) イキナシやって  
来た言う事をなあ (です)。なつとも言わんと行くと、  
イキナシ そげん (そんなに) 言うて来て言うて。

**いきなない** 1) 長い事潜って居られない 2) 風が少  
しも無い 風のイキナナイ (志 (布施田))

**いきなながい** 長時間潜って居られる。

**いきなり (行く、成る) 【副詞】** 1) 勢いよく 2) い  
ってすぐ 直ちに 突然 それまでの事態と何の関連  
もない事態が急に出現するさま 何の前触れも無く突  
然、きちんとした過程を経ずある段階を飛び越えて事  
を行う様。(志 (甲賀)) 3) 成り行きまかせであるこ  
と。又そのさま、だらしないさま。やりっぱなしでた  
らめ。いきなりさんぼ：行き成り三宝、物事をなり行  
きにまかせておくこと。物事を放りっぱなしにして置く  
こと。(志、鳥、張)

**いきなりさんばち** 急に 行き当たりばったり 目標、  
手段を定めず その場その場で処理すること 行き成  
り三宝 (阿、上、張、名) [会話] 目標立ててせんと  
(せずに) むてつぽん (無鉄砲に) することを、イキ  
ナリサンパチやれ (だ) あやまあ (彼は) 言うて。イ  
キナリサンパチも いきあたりばったりも一緒やなあ  
(です)。

**いきにくい。いきぬくい** 行くのが困難だ [会話] イキ  
ニクイなあ あしか (あすこは) どいらい (大変) 言  
う時は、道な (が) わり (悪い) かったりとか、なん  
じよお (難渋) な とこや (所だ) とか言うとな、あ

しか どのくらい イキニクウテナア言うて、敷居の高  
い家でも イキニクイしなあ。

**いきぬき (息抜) 【名詞】** 仕事から解放されて休む事  
休息 [会話] イキヌキシよおや (しましよう) 言う  
て、やすもや (休みましよう) 言うのな (です) イキ  
ヌキ しよおや イキヌキも せえな (しなければ)。  
ちよいと (少し) 一服しよおや (一休みましよう)  
言うね (言うのです)。イキヌキになあ 仕事 いっ  
しよけんめしとると (一生懸命していると) 仕事ばっ  
か (ばかり) しとると えらいもんで (していると大  
変なので)、ちよいと イキヌキシよおや言うて ち  
よいと イキヌキせなまあ (しなければ) えらいわ  
(大変だ) 言うて。

**いきぬけ (行抜) 【名詞】** 1) 通り抜けられる所。通り  
抜け。(上、阿、張) 2) 金銭にしまりのない事。[会  
話] <sub>1)</sub> はなぼらな (鼻の孔が) イキヌケン (に) な  
つてくと (なつて行くと) はなくたん (鼻声に) なつ  
てくね (なつて行くのです)。<sub>2)</sub> 浪費家 言うんかな  
(言うのですか) 銭をばんばん使う人 締まりのない  
のも あや (彼は) イキヌケやなあ (だ) 言うて、締  
まりなのおて (が無くて) 銭、貯めるこた (ことは)  
わかんねなし (判かるのでなく)、ぱつぱつと、有る  
とも 無いとも 言わんと (言わずに) つこてすんの  
を (使つてするのを) あや (彼は) まあ イキヌケや  
れ (だ) 言うて。

**いきのくい** 行くのが困難だ いきにくい参照

**いきはたかす** 息果たす。死ぬ。[会話] じんじ (海の  
祭り) になると、大島の浜でも、もみこみやいすんね  
やんかい (合いするのです)。あぶせやいして (海水  
のかけ合いして)、首突っ込んだんの (海中に突っ込  
んでやるのを) もみこむ。こんして突っ込み (こんな  
にして海中に突っこみ)、顔出してくると、又 突っ  
込んだりして。そやよつて (それだから) イキハタカ  
スねんなあ (のです)。

**いきばる (息張) 【自ラ五】** 息む。力む。いきづむ参照  
[会話] いきづむ言うのもよお (よく) 似た事や (で  
す) イキバルは。

**いきひきとる** 死ぬ

**いきふむ** 海女が海で死ぬ (志)

**いきばりくさい 【形容詞】** 喉を刺激するような臭いが  
ある。煙りくさい。きなくさい (多、飯、上) [会話]  
イキボリクサイとか言うけど (けれど)、ほとり臭い  
言うて、ほとつて (蒸されて) 来ると、むさしたると  
(てやると) 飯でも変なかざな (匂いが) 嫌な匂なす

んの (がするのを)。

**いきばる** 喉が刺激される (志 (布施田))

**いきまある。いきまわる (いきまはる) (行廻) 【自ラ五】** 行き渡る 平均に隔々迄とどく [会話] 味噌つくのん (作るのに)、塩あわせ (塩加減) して、こねると味なええんやんかい (がよいのです)。塩がイキマアッて、片肌のんどいて、うそさぶいんのん、こねおったわい (脱いでおいて、大変寒いのに、こねまわして居ました)。

**いきまいとる** 氣勢を上げている。興奮している。いきまく。烈しく怒る。イキ (気) キソフ (競) の約

**いきもせえまあ (いきもしええまあ)** 休憩もしなさい [会話] イキモセエマア、えらいやんか (大変でないか) 言うてな、ちよいと (少し) 休め言う事をなあ (です)、一服せえ (一休みしなさい) 言う事な (です)、ちよいとまあ (少し) イキモセエマア、おおた (あゝ)、えらいやんかあ 言うて。

**いきもん 【名詞】** 生物 生きて居る物 主として動物

**いきもんにえじき** 生きて居るものには餌が必要だ

**いきや** 行けば (鈴) [会話] そこらあたり (その辺) で、とてきたね (取ってきたのです) 言うて、そこらあたり、イキヤあられ (有ります) とか。

**いきやう 【自ラ五】** いきあう 1) 両者が等価である 2) 全体に行き渡る 3) 道の途中で出合う

**いきやええのん** 行けばいいのに [会話] 用事もないのん べたべた いろんな (いろいろな) 事 言うて居つて (居て)、イキヤエエノン おもても (思っても) 行かせんし (行かないので) もやもやする時な (が) 有るなあ (有ります)。

**いきやがる。いきやがる (行)** 行くを卑しめて言う語 (志 (布施田)、鳥、桑郡、松、上、阿、張、名) [会話] イキヤガッて まあ、行ってしまう 早よ行きや (早く行けば) 言う時なあ、はよ (早く) イキヤガリヤ (れぽ) ええのん (よいのに) 言うて。

**いきやがる (息) 【自ラ五】** 生き上がる いきあがる 生き帰る 元気をとり戻す いきあがる参照 [会話] イキヤガルも、生きあがるも一緒やけど (ですが)、イキヤガル言うて、ここの人ら。死んでく (でいく) よおにしとたや (して居たら)、また助かって来た言う事を、いきあがって来た言うんなあ (言うのです)。イキヤガッて来たれ。ぎや付けんの (付けるのです)。元気ずいて来た言うことや (です)。死んでく思とたや (でいく思っていたら)、イキヤガッて来た。まあ どいらい、いかつなつて来たんなあ (大変丈夫

に成ってきたのです)。いかつなつて来た言う事が、イキヤガッて来た。水飲んだや (飲んだら) イキヤガッたよお言うて、暑うて暑うて死んでく (でいく) 思たのおに (のに) 水飲んだや イキヤガッたよお 言うて。

**いきやすめ (息休) 【名詞】** 事の間に一息入れて休むこと 休憩 [会話] イキヤスメ 一服しよおや (しましよおう) 言うのな (です) イキヤスメ。

**いきよい** 行くのが容易である 行きやすい

**いきよい 【名詞】** 勢い 元気な様 威勢のよいさま。 (三、鈴市、鈴郡、松、多、上、阿、伊、度、尾) [会話] 元気な (が) ええ (よい) 言う事やなあ (です)。イキヨイしてまあ 言うてなあ。

**いきよいして** 元気一杯で、勢いよく いきよい参照

**いきよた** 行く途中で出合った

**いきよた** 相互に釣合った 損得なし

**いきりきる 【自ラ五】** すっかり興奮していきまく 苛だつ 一生懸命になる いきる (員) [会話] イキリキツトル (ている) 言うて、仕事 いっしょけめ (一生懸命) ですること、イキリキツトル言うてな。あや (彼は) イキリキツテ (ていて) あやれ (あれ) 今日は休まんと (ずに) やつとられ (している) 言うて。怒つとる いらいらしとる 腹な立つて いきつとる イキリキツとて 言うてな、あたんする (仇) 様な事するとな イキツラレ あやまあ (彼は) 言うてな。

**いきりよお (生霊) 【名詞】** 生きて居る人の怨霊で、他人にとりつき、たたりをされると言われるもの。[会話] 佛ん (死んだ人に) 取り付かれると、なんやら みよおな事 (何か 変なこと) 言うたり、してくんねなし (来るのですし)。イキリヨオん (に) 取り付かれた言うて、生きた人な (が) その人いって、いのり釘打ったとか、言うて。なんやら (なにか) 執念深い人な有るやんかい (が有ります)。ねつっこい (粘っこい) よおな人な、イキリヨオん (に) 付いて、どいらい具合なわりなつて来て (大変調子が悪くなつてきて)、とき作つて (一定の時間に) 具合なわり (が悪く) なつてくんねてや (来るのです)。

**いきる** 息苦しい。息がつまる。いきばる参照

**いきる 【自ラ五】** 1) 勢い立つ。怒りを押さえ切れず興奮する。感情を抑えられず興奮する。2) 熱くなる。熱気を帯びる。3) 息まく。勢いこむ。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、国府)、阿、張、北) 4) 蒸されたような熱気。むし暑さ。5) 生意気な態度を取る。[会話] 3) イキツて来た言うのは、ものす

ごお元気になって来たとか、いっしょけんめ（一生懸命）仕事すんのん（するのに）、イキッテ来た言うて、怠けて居ったのおが（のが）、イキッテ来て仕事しとられ言うやんか（して居る言います）。<sup>1)</sup> 喧嘩する時ん（に）も、ゆいあい（言い争い）して どおやこおや（どうだこうだ）言うて、あや（あれ）イキットラレ（て居る）言うの。

**いきれ【名詞】** むし暑い様な熱気や匂い いきれるを活用した語 くさいキレ 人イキレ

**いぎれ【名詞】** 1) 足指の裏のすじ目が切れること。（志、津、上、阿、張、北）2) 物の隙間の狭く深い所 [会話] <sup>1)</sup> イギレ言うと、足の指が切れるやんか（でしょう）。指の節々が切れるやんかい（切れます）。イギレな（が）出来て 言うやんかい（言うではありませんか）。そんな（それが）、きれやせんねてわい（切れないそうです）。てんてんじょおり（葬式に履く草履）履くと。

**いきれる（熱）【自ラ下一】** 熱くなる。むれる。イキル（熱）を活用した語（大言海）（員）

**いきわたる（行渡）【自ラ五】** すみずみ迄届く。すべての所に達する。いきまある参照 [会話] イキワタッタて みんな（皆に）配給な（が）届いたか言うの（のです）。イキワタツタか言うてな 全部に平均にイキワタツタかいなあ（だろうか）言うてな。

**いく（行く）【自カ五】** 1) 今居る所から向こうの方へ進み動く。（志（布施田）、員、鈴市、張、度、伊、南）2) 規定の大きさを越える、獲ってよいと許可される。（志（布施田））3) 帰る（志）4) 年を取る5) 性交時の絶頂感 6) 結婚する 7) 死ぬ（志、北、尾）[会話] <sup>2)</sup> はかんの、すんぼ（計るのを寸棒）、物指しの事なあ（です）。海老でも大小計かんの（計るのに）すんぼで計るやんない（でしょう）。鮑でもイクのと、いかんのと（許される、許されない）言うて、詰まるよおん（に）して、市場い（へ）行くと、はめるよおん（に）して有って、ちよいと、ちっさいなあ（少し小さい）思うと、はめて、ごそつとするといかせんね（許可されないのです）。イク言うのは合格、不合格すんの（するのです）、いかせん言うのは、ぺけで ちっそおて（小さくて）すんぼな ちよいとでも（が少しでも）足らんとはざんの（駄目なのです）。

**いぐい（いぐひ）（居食）【名詞】** 1) 仕事をして収入を得ないで手持ちの財産で暮らすこと。徒食（員）2) 居候（員）

いくいく 幾末 行く末

**いくか（幾日）【名詞】** 多くの日数 どれ程の数 幾数量程度などの多い事。甚だしい事を表す。（志）[会話] イクカ（幾日）かかったんど（のですか）こや（此は）言うて、イクカかかったか 言う事をなあ（です）、イクカ掛かったおもとんど（思っているのだ）言うて。よけ（沢山）ひにち（日数）が掛かるとこんだけすんのん（これだけするのに）、イクカ掛かったおもとんど 言うて。こやなあ（此は）しのくうて（しにくくて）しのくうてなあ ほん（本当に）イクカ掛かったおもとんど 言うて。

**いくかいり（幾替）いくかえり（いくかへり）【名詞】** いくかわり 何度 何回 どれぐらい かいりは、かえりの動詞かえる（返）の連用形の名詞化 [会話] イクカワリ言うのは きもん（着物）を、此れ着て、ここへ置いて、又 こんだ（今度）は 違うの着て ここえ置いて、又 こんだ 違うの着て言うて、イクカワリも、イクカエリも一緒やわい（です）。人などお（櫓）漕んどて（でいて）休む、代わって休むのおも（のも）替わり言うて。ほして（そうして）、ひとかわり、ふたかわり（一替 二替）言うやんかなあ（言います）。わしらな（私達が）、ふた替わりもしても、あの人な（が）替わりに来んと（来ずに）言うてなあ、よお（よく）言うやんかい。為五郎どんで、まあ、しろね（白根）が付いたれまあ（たのだ）言うて、むかしやのお（昔は）ともろと、あいども ほいて かいりとあんのやんかい（有るのです）。かいろの方に座つとるの、海女と言うと浜子。若いとき浜子しとんねよって（して居るのだから）、よお（よく）、どお（櫓）も、漕がんねやんかい（櫓を漕げないのです）、おもてに（船の前の方）座って。おもての看板、白根が生えても替わると申さん言うてなあ。どお 漕ぐのを替わらせんと、どお（櫓）漕ぐもんら（者が）催促すんね（するのです）。再々替われば催促申さん言うて、くちがみ（ロヤかましく言う 文句）言うて、白根が生えても替わると申さん言うて、白根が生える程座つとて（ていて）替わりに来やへん（来ない）言う事や。ほすと 為五郎さんな（な）土方しとたもんで（ので）為五郎 頼んで、とぐわで起こして、じょおれんでかつこめ（掻き込め）もつこでくるがせ（転がせ）言うてなあ。くちがみ言うて、座つとるとさいご（その時）嫌味みたいに（のように）言うてなあ。櫓拍子の歌 表の看板、白根が生えても替わると申さん、再々替われば催促申さん。為五郎頼んで、とぐわ

で起こして、じょうれんで搔っ込め、もっこでくるがせ。

いくかわり 物の数を表す 着物もいくかわりも有るいくかいり参照

いくきなせん 行く気にならない

いくくら 計りきれない程甚だしいさま。どんなにか非常に ひどく 何度も(南) [会話] イククラ言うても聞かへんなあ(聞かない) 言うて、よお言う(よく言います)。何回言うても、きかへん言うて(言うて)、こらら、わるうのん(子供等叱るのに)、いくら言うのも一緒やけど(ですが)、イククラ言うんけど(言うのだが)、それを早口やんかな(早口なのです)。いくら言うても聞かへんねな(ないのだ) 言うて。

いくこ 幾重。いくえ(志(布施田))

いくこ 行きますか。いくこお参照(志(越賀))

いくこお 行きますか(志、鳥(坂手)) [会話] イクコ言う時もあんなあ(有ります)、何処何処いイクコオ言うてな、言う時な(が) 有るわい(有ります)。としより(年寄り)の人の言う言葉やなあ(です)。どこぞい イクコオ、おるこお(居ますか) 言うて。おんのかい 言わんと(居ますか言わずに)、おんのこお、イクコ、おるこ言うて“の”、言わんと(言わずに)、イクコ おるこ 言うて簡単になあ(です)。今し(今)でも おるこ言う時な(が) 有る。しよんべしとると(小便していると) たれるこ言うて。

いくさき(行先)【名詞】 進んで行く先の方。目的地いきさき ゆくさき [会話] いきさきでなんやかや(いろいろ) 喋っとなね(ているのだ) 言うて、いたとこ(行った所) いて(行って)、あれと話ししとると(していると)、イクサキで喋っとなね 言うて。

いくさる(居腐)【自ラ五】 他に移らないで一つの所にいつ迄も居る事を卑しめて言う。[会話] イクサル言うな(のは)、おりくさる言うのも一緒や(です)。いきやええのん(行けばよいのに) おもても(思っても) 行かんと(行かずに) 居るのを、イクサツテまあ 言うて言うのな(です)。イクサリヤええのん(行けばよいのに) まあ イクサツトシネ(ているのだ) 言うて、居ることをな(です)。

いくしな(幾品)【名詞】 いくつもの品物 多種類の品物 [会話] イクシナ言うな(のは)、いくつて(幾つも) 品な(が) あんのを(有るのを) イクシナ 言うなあ(言います)。飯食うのも おかずを、イクシナも出して言うて言うやんない(でしょう)、つけもん(漬物) 出し 吸いもん(物) 出し おつけ(味噌

汁) 出しすると、イクシナも出してもろて(貰って)、よばれたよお(招待された) 言うて、品数な(が) 多い事 イクシナも言うて。

いくすじ(幾筋)【名詞】 細いものが幾本か有る事。多くの筋状のもの [会話] 手拭な(が) イクスジ 有るぞい(有りますか) とか、なかねな イクスジあんねてわい(有るのだそうだ) あの人言うて。絹のなかねな(腰巻が) イクスジ有んねてわい 言うて、言よおったな(言っていました)。手拭、今し(今)の人ら(は) いっぱ(一本) 言うけどな(が) ひとすじや(とか) ふたすじや(二筋だ) 言うて。タオルいっぱもろた(一本貰った) 言うて、今しや(今は) 言うけどな(が) タオルひとすじもおた(貰った) 言うてな。

いくせ(幾瀬)【名詞】 幾つかの浅瀬 多くの機会。なみなみで多い様子、心配、苦勞、恋慕などを意味する語を修飾する。一般におおくのこと、ひとかたならぬさまを言う。[会話] 姑がかりすんのを(つかえるのを)、イクセの橋をよお渡らんと(渡れなくて) 戻って来た言うて。嫁な(が)、姑の辛抱よおせんで(出来なくて) 戻ってくと(て行くと)、イクセの橋よお越さんと(越せなくて) 戻って来た言うてな、イクセの橋や(だ) 言うて、姑がかりすんのを。

いくせのはし(幾瀬の橋)。いくせのはしわたる【俚諺】 困難が重なっている [会話] 昔の人らイクセノハシやどお(だぞ)、姑がかりは言うて、イクセノハシワタンネドオ(渡るのだぞ) 言うて。今しのもんら(今の者は) イクセノハシよお渡らんやんかい(よく渡らないのです)、姑とよお居らんの(居らない)。昔しや(昔は) イクセノハシ渡らな(なければ)、姑のなんな判ろかれ(苦勞判らない) 言うて、姑ん(に) かかる(仕える) 事。イクセノハシ言うて。姑づかえすんのを(するのを) イクセノハシワタル言よおった(言っていました)。イクセノハシ言うなだ(のは)、いっちむつかし(一番むつかしい) 親に仕える事言うんやろなあ(言うのでしょうか)。

いくたて【名詞】 何種類(志(鶴方、神明、国府、安乗)、鳥、南) [会話] さと(砂糖)、下白や(とか) 中白や、三盆白や、言うて、イクタテも有るわい(有ります)。

いくたり(幾人)【名詞】 多くの人。何人。不明、不定の人数(志、員、三、北、南) [会話] 妊娠しとんのな、はよ(して居るのが早く) 生まれるよおん(に) 言うて、初のこお(子)の親に、追い出し 皆呼ぶの(招待するのです)。イクタリもすると、そげん呼ば

せんけど (そんなに招待しませんが)。

いくつて 幾つも、幾品も 数の多いさま [会話]  
幾品言うな (のは) イクツテ 品な (が) あんのを  
(有るのを) 幾品言うのな (です)。

いくで。いくでえ 1) 行きますよ 2) 帰ります

いくど。いくどお (行) 1) 行きます 行きますよ  
(度) 2) 帰ります [会話] <sub>1)</sub> まあイクド そや  
(それ) はよ (早く) のお (お前) は、なとすんど  
(どうするか) おら (俺は) イクドオ 言うて。おや  
(俺は) まあ 行くねな (行くのだ)、なあ (お前  
は) なとすんど 居るか。イクドオ 言う時と、イク  
ド、そっちゃい (そちらえ) イクド言うのも有るしな  
あ (有ります) こっちゃから (こちら) イクド言うの  
も有る。<sub>2)</sub> 家い行く、かいってく (帰って行く) 言う  
のも、家い (に) イクドオ言うてな。

いくとおり (幾通り) 多くの方法 手段 [会話] イクト  
オリてて (も) あんね (有るのだ) 言うやんかなあ  
(言うでは有りませんか)。なんでもあんのを (何で  
も有るのを)、幾つもあんのを、イクトオリてて  
(も) あるやんか (有るでないか) こや (此は) 言う  
て。赤も あや (有れば) 白も有る、きい (黄) も有  
るな (のは)。こや (此は) イクトオリもあんねなあ  
(有るのだなあ) 言うて。八幡山え登ってくんのも  
(来るのも) 表も、裏もイクトオリもあんなあ (有る  
のだ) どつから (何処から) でも行かれられ (行くこ  
とが出来る) 言う。イクトオリも あんねよって (有  
るのだから) どつからでも 来い言うてな。仕事も  
イクトオリも有るしなあ (有ります)。

いくとこ (幾所) 【名詞】 幾つかの場所 多くの所 と  
ころどころ [会話] 茶碗のふち (縁) 欠けとんのお  
な (て居るのが) よおけ (沢山) イクトコも 欠けと  
ると (て居ると)、こやまあ (此れは) かけちろやれ  
(だ) 言うの (のです)。ひととこ (一カ所) 位んの  
おは (のは) 欠けとられ (て居る) 言うんけど (言う  
のだが)。

いくとこ (行) 1) 行くところ (場所) 2) 出発するところ  
(時間) 出かけるところ

いくとせ (幾年) 多くの年月

いくな (行) 1) 行くな。禁止。2) 行くのは [会話]  
<sub>1)</sub> 行っはいけない言うのを イクナ。

いぐない 【名詞】 病弱者 長期間病気で休養している  
人 居食い (北) [会話] イグナイ言うな (のは) 弱い。  
弱々しい言う事や (だ)。弱って痛々しよお (哀  
れな様子) しとんのなあ (して居るのです)。イグナ

イやよってん (だから) 言うて。そこな (の) イグナ  
イよ言うて、怒って。何んもよおせんと (何も出来な  
いと) ごてごてして (ごてついて) ぐすぐすしとると  
(して居ると) そこのイグナイよ言うて。あや (彼)  
しゃきしゃきせやええけど (すればよいが) まあ イ  
グナイやよって に言うて、ちゃかちゃかつしたら  
なはざんわれ (してやらなければいけない) 言うて。

いくね 行きます 行くのだ [会話] イクネけどな  
(のだが) あしこい (あすこえ) 言うて。イクネけど、  
なあ (お前は) なとすんど (どうするか) 行かせんか  
あ (行かないか) 行くかあ (行くか) 言うて。問うの  
を 相談すんの (するのを) イクネけど (だが) 言う  
て。おや (俺は) イクネけど のお (お前) は なと  
すんどお (どうするか) 言うてな、すと (すると) 俺  
も 行かれ (行く) 言うてな。おや (俺は) 畑 イク  
ネやれ (のだ) 言うて。

いくねけど 行くのだが [会話] イクネけど あしこい  
(あすこへ) 言うて。イクネけど なあ (お前は) な  
とすんど (どうするか) 行かせんかあ (行かないか)  
行くか 言うて。

いくねどお 行きます [会話] イクネどオ おや (俺  
は) あしこい (あすこえ) 言うて。そしたら (そうし  
たら) 俺も いこかいなあ (行こうかな) 言う時も  
有るし (有ります) おや行かんと (俺は行かずに) 畑  
行くわ (行きます) 言う時も 有るしな。

いくねない 行くのです 行きます [会話] いかんこ  
(行きませんか) 言うて。朋輩 (友達) に 言う時な  
(です) いかんこ わい (お前) も言うて。おら (俺  
は) イクネない 行かせんのこ (行かないのですか)  
言うて。

いくねやか 行くのだろうか [会話] めあて (目的)  
な (が) 有って、行くんやれ (行くのだ) めあても無  
しん (に) あんげん (あんない) イクネやか言う時も  
有るし。

いくねやれ 行くのだ [会話] おや (俺は) あそこへ  
イクネやれ 言うて

いくねやろ。いくねやろん 行くのだろう

いくのおこ。いくのこ。いくのこお 行くのですか 行  
くのか [会話] わい (お前) も イクノこ 言うて。  
友達ん (に) 言う時はなあ (です) おや (俺は) あし  
こい (あすこえ) 行くねけど (のだが) わい (お前)  
も いくこ (行きますか) 言うて。誘う時な (です)、  
お前も 行くかい (行きますか) 言うのをな。

いくのん 行くのに

いくび (猪首) 【名詞】 猪の様に太くて短い首 (員)

いくひろ (幾尋) 【名詞】 どれ程の長さ。ひろ は長さの単位。両手を開げた時の両端の間。約 1、8 米  
[会話] 底いんのん (海底潜るのに) イクヒロ 言うて 言うやんかい (言います)。このてえ (手) 一杯を 一尋言うのな (です)。これ 一杯一尋 ふたあひろ言うてな。五尋 おけなあ (桶縄) つけといたよって (ておいたから) ええかあ (よいか) とかな、そや (それは) 短かいわれ (です) 言うも お二尋 足しとけ (ておけ) 言うて。一尋 一間やなあ (です) こんで (これで)。

いくほど (幾程) 【名詞】 1) 数量程度が不明な事。それほど大した事。2) どれだけも。なに程も (量の少ない事) [会話] ぶらぶらと、イクホドもわりねえんけど (悪くないのだが)、ぶらぶらと、どじもんなくそおて (怠けて)、何も (全く) 仕事せんと (せず) に。

いくや 行く事にします。行きます。(上、阿)

いくやない 行ってはいけない [会話] 裸でほときさん (佛さま) の前通ってもわるわれおったわい (叱られて居ました)。しょおろさん (精霊様) の前 裸でイクヤナイ言うて。

いくよさ (幾夜) 【名詞】 どれ程の夜 幾夜 多くの夜さは接尾語 [会話] イクヨサもかかって よなべ (夜業) に、こしやえた (作った) 言うてな、一晚 言うの (のを) ひとよさや (です)。ひとよさ、ふたよさ言うてな。そして 幾日もかかったのおを (のを) イクヨサや (だ) 言うて、幾晩言うのを イクヨサ 言うて。

いくら (幾) 【名詞】 どれ程 1) 数量程度の不明の時に用いる。2) 又それらの甚だしいときに用いる。(南) [会話] いくら 言うても 聞かせんねない (聞かないのだ)、もて来い (持って)、もて来い 言うて有っても もて来やせん (持って来ない) とか、イクラ言うても 来やせん とか、言うてな。いくくら (幾度)、何回言うのを イクラ 言うて、何回言うても来やへん 言う事を、イクラ言うても 来やへん (来ない) 言うて。

いくらも 1) 沢山 (志) 2) 少しも

いくらなと いくらでも。どれ程でも。

いくらやかくらや どれ程の価でも (志 (布施田))

いくらゆうても 1) どれ程、話して聞かせても 2) どれ程の値でも

いくわ 1) 行きます 2) 帰ります [会話] 1) よさ

や (夜は) 俺家い (に) 寄んねけど (集まるのだが)、来れるか 言うたや (言ったら)、用事な (が) 無いよって (から) イクワ、行かれる言う事な。2) イクワ 言うのは、帰ります言うて、まあ (もう) 行くわい (行きます、帰ります) 言う挨拶や (です)。さよなら 挨拶やわいなあ (です)。

いくわい 行きます、帰ります。[会話] 昔はイクワイ言うて、ゆっくりしてかんかい (して行きなさい) 言うて。

いくわら。いくわな (女性語)。いくわれ 行きます 帰ります [会話] 用事な (が) 無いよって (から)、イクワ (行きます)、行かれる言う事な (です) イクワレ言うて。

いくんか。いくんかい。いくんかな (女性語)。いくんこ 行くのですか いくのこ参照 (志 (立神、神明、志島、国府))

いくんど。いくんとい 行くのですか [会話] 何処い (へ)、イクンドイは、何処へ、行くのですか言うのを、何処へイクンド言うのも、何処へ 行くのですか言う事。

いくんや 1) 行くのです 2) 行きなさい、行け (命令)

いくんやな 行くのですか

いくんやれ 行くのです

いけ (生、活) 【名詞】 生かしておくこと。又生かして有る魚介類、動物。いける (生) の連用形の名詞化 [会話] イケ、活かしといて (ておいて) ある魚を、こや (此は) イケのもんやよって (物だから)、釣つて来て、直ぐののおやなしん (ので無くて) 活けてあんの (有るのを) する時なあ (です)。買うもんなん (者が) こや (これは) イケかい (ですか) 言うて言う時な (が) あるよってんなあ (有るから)。

いけ 行きなさい

いげ (湯気) 【名詞】 湯や食べ物から立ち昇る水蒸気。ゆげ (湯気) の変化した語。(志 (磯部、国府、安乗)、鳥 (加茂)、桑郡、桑市、員、三、四、鈴市、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、尾、南) [会話] イゲな (が) 出とる、イゲな (が) 立つとられ (立っている) 言うてなあ。こや (此は) まあなあ、イゲな (が) 立つとるよって (立っているから) あたたいわれ (熱いです) 言うて。まだ 湯気な (が) 出やせんやんかあ (出ないでないか) 言うて、ちゃあ炊いても (茶沸かしても) 湯気な (が) 出て来たれ (来た) 言うて、湯気言うの (のを) イゲや (だ) 言う。

いけいけ 勘定が差し引きでなしになる事。相殺（志（布施田）、阿、張、名）[会話] 一緒やなあ（同じ）言うて、言う事や（です）。イケイケしとこやんかあ（して居きましょう）、同じよおな、言う事やなあ（です）。同じよおにする言う事やなあ（です）。

いけうめ（生埋）【名詞】 いけは生かしておくの意から、生きたまま埋める事 [会話] いきうめ 生きとるうちん（ている間に）いけたんのをなあ（てやるのを）イケウメン（に）おおて（逢って）言うてな。

いけええ 行きなさい 別れの挨拶

いけがき（生垣）【名詞】 屋敷を取り囲んだ樹木の垣 樹木を植え並べて作った垣 いきがきに同じ（志、亀、阿）[会話] 家の周囲の イケガキ言うの（のです）。垣を生きのきい（木）で してあんのを（有るのを）イケガキ 言うのな（です）イケガキな（が）して有って あの家 言うて。

いけすかん 全く好きになれない。非常に気に喰わない。感じが悪い。[会話] イケスカンにげやなあ（人間だ）言う。イケスカン言うの よけ言わせんけどなあ（沢山使いませんが）、そやけど（しかし）言うやんかい（言います）イケスカンわなあ（です）、あの人 言うて。

いけだい【名詞】 1) 漁師から活きた魚を買う人 2) 漁場で生きて居る魚を買い回る船 ダイ たい、鯛の訛り。鯛のような高価な魚を買いつけたため いけは生かしておく意のいけるから。[会話] イケダイ言うな（のは）、魚を生ける、沖にあかすかの方から来てイケダイな（が）来とて（ていて）、今日は 沖、売っとて来た（沖で売っておいで来た）言うて。じょおしな（漁師が）沖売りすんのを（するのを）イケダイ 言うのな（です）。買いにくねてや、よそから（他所から買いに来るのです）。魚を生かす、生けるのを イケダイ 言うねんなあ（言うのです）。その人らな、活けててなあ（て行って）。活けてた（生けていった）のを又、わがとらな売ん（自分達が売る）ので、沖で待とて（ていて）、イケダイに 今日、売っとて来た 言うて よお（よく）言いおった。

いけとる 生かして居る

いけとる 1) 馬鹿 2) 古くなって居る 破損している（志（布施田）、一） 3) 調子づいている

いけのまこもでみをひやす【俚諺】 苦勞する

いけふね（活舟）【名詞】 取った獲物を活かしておくもの。生簀の一種。[会話] 田圃におるがに（蟹）取りんいて（に行って）イケフネえ（に）いけとて（活

かしておいて）それ持って 鯛釣んの（釣るのです）、がにな（蟹が）餌や（です）。

いけまあ 行きなさい 帰りなさい

いけもん（生け物、活物）生きたまま持ち帰った魚 生かして有る魚 [会話] イケモン言うな（のは）、いけだいと一緒やわい（です）。魚を活けんねよってやんない（活けるのだから）ぼてん（魚を生かす大きな籠）へ、昔や（は）ぼてんへ活けたり、その、いけだいなこんと（来ないと）、生かしておきたいと、ぼてんへ活けたりしおったわい。大きなぼてんな（が）あつて竹で組んだ。

いけやん 行けない 行かれない（上、阿）[会話] 今日はイケヤン。行かれん 言う事かい（ですか）。今日は用事な（が）有って 行かれやせん（行けない）言う事を、イケヤン 言うて。今日はイケヤン 用事な（が）出来て来て 言う時も有るけどな（が）、今日はあしこい 行くよん（ように）なつとたねけど（なつていたのだが）用事な（が）出来て来たもんで（ので）イケヤン 言うてな、イケヤンよんなつてた（よくなっていった）言うてな。

いける（生ける）【他力下一】 生かす。魚を生簀に入れて置く（志（布施田）、度）[会話] イケル、魚をイケルと、イケル言うし。

いける（行ける）【自力下一】 いくの可能動詞 1) うまくできている。うまく行く。2) 美味しい。食事がよく進む。よく食べる。よく酒を飲む。[会話] 2) こやまあ、イケルなあ言うて、食うもん（食べ物）でも、美味しいと、こや（此れは）イケん（る）なあ 言うし。あんたも（貴方も）、イケんのかい、こや（るのですか此れは、酒は）。イケル言うのと。

いける（埋）【他力下一】 埋めて置く。埋ける いかる 参照 1) 炭火を火鉢の灰の上に置いたり、中に埋めたりする。野菜などを保存のため土の中に穴を掘って中に埋める。2) 土に穴を掘って埋める。（志（布施田）、上、阿、度、鳥、南）[会話] 1) 灰の中へ火種をイケル。火 イケル言うて、火種をいけとけ（ておけ）言うて、昔や（昔は）火鉢い（へ）、それもイケル言うし、ちよいと（少し）音な違う。いけとけ言うのとなあ。火 イケルにしても、指図するときや（時は）いけとけ言うし、此れいけとこかいのお（いけておきましょうか）言うし、わがと（自分が）するときや（時は）、これいけとこかいのおとか同じ言葉やけど（だが）。

いけるくち【名詞】 酒の呑める人 やれるくち参照

[会話] 酒やれるくちや (だ)、イケルクチや (だ) 一緒やけど (です)。あやまあ (彼は)、やれる口やよって (だから) あんな (彼が) 来たら 一杯出さなはざんど (なければだめだ)、言う時ん (に)、だいぶ (大分) いきそおな顔しとられ (して居る) 言うて。あから顔の顔見ると、あや (彼は) いけそおな口や (だ) 言うて。飲む口も、やれる口も、イケルクチも一緒や (です)。

いけん (行) 行けない (志 (浜島)、尾)

いこ (行) 1) 行く。行こう。(志、鳥、桑市、鈴市、員、亀、安、津、多、上、阿、張、度、伊、北、南)  
2) 行きなさい 行け [会話] ① あしたどこい (明日何処へ) イコ。何処かい、イコカ (かへ、行きましよう) とか、話会う (のを) 相談。

いこいこ (行行) 1) 行きます 2) 行きなさい 3) 行きましよう

いごいご【副詞】1) 絶えず動くさま。体を細かく動かすさま。2) うごめくさま やつとの事で動くさま (志 (布施田)) [会話] ② イゴイゴして来たなあ言うて。ぐわいなわりいて寝とたけど (具合 体の調子が悪くて寝ていたが)、そや、ちょいと (それ少し) ええかして (良いと見えて) イゴイゴして来たれ言うて。元気な (が) 出て来た言うのなあ (のです)。床にばっか (だけ のみ) 入っとたけど (けれど)、ちょいと、イゴイゴして、出て来た言うて。ほすと (すると) 子供らな (が) 歩きかけでも、イゴイゴして来た言うわな (言います) 赤ちゃんらな、まだ、よお歩かざったのな (よく歩かなかったのが)、歩いてくると、イゴイゴして来たなあ言うし (いいます)。

いこお (いかう) (衣桁)【名詞】着物などを掛けて置く家具

いこお (いかう) (意向)【名詞】心の伺う所。どうするかについての意志、判断、考え、おもわく。[会話] なつと言うても (何と言うても)、人の言うこた聞かんと (事は聞かずに)、わが (自分) イコオばっか (だけ) 通すにげな (人間を)、あや (彼は) きかん気で言うて。

いこお、どつとせん 感心しない。悪い。どつとせん参照 [会話] にげ (人間) でも、ちょいと (少し) 八分ななあ (のは) あやまあ イコオドットセン 人やなあ (だ) 言うし、物でも何でも ちょつと (少し) 間に合わんよおなのおは (のは) こや、イコオドットセンけど (けれど) 言うて。

いこか 行きましようか 相手をさそう時 (志、上、張、

阿、名) [会話] あしこい (あすこに) 今日は イコカ、此処 やめといて (ておいて) あしこい イコカ 言うて 言う事やな (です)。今日は ここばな (ここを) 止めといて あしこい イコカ 相談や (です)。そすと (すると) おお (はい) 行こや (行きましよう) 言うてな、相手を相談で 誘う訳やな (です) イコカ 行かまいか (行かずにおこうか) 言うて。

いこかあ 行きましようか [用例] あしか、おんなよ おしつとるよって (あすこは俺がよく知っているから) おんな (俺が) イコカア。

いこかいなあ。いこかいのお 行きましようか [会話] 俺も一緒に (に) イコカイノオ

いごかす (動かす)【他サ五】ある動きをさせる。位置を変えうつる。ゆらしたり、ふるわせたりする。心や考えをある事に向けさせる。様子や状態を変える。運用する。動かすの変化した語。(松、多、北、尾、南) [会話] わがと (自分) いごく時は、いごくし、人をイゴカスのや (のとか)、機械をイゴカスとか。動く言う事を、いごく言う (言います)。動かす言う事を、イゴカス。そこへ どすわってばっか居らんと (ばかり居ずに) いごけまあ。どじもんぐさよ (怠け者め) 言うて。

いこかれ 行かない。行かないだろう。[会話] のげ (お前の家) い (へ) イコカレ (行かない) とか、こおかれ (来ない) とか言うてなあ のげい (お前の家へ) いかせんわ (行かない) 言うな (言うのは) イコカレ言うてなあ

いごかれやせん 動けない [会話] どこやかやな (何処彼処が) いとおて (痛くて) イゴカレヤセンねよお (のだ) 言うてな、腰な (が) いとおて イゴカレヤセンねよお 言うたり、足な (が) いとおて イゴカレヤセンよん (ように) なって来たんよお (来ました) 言うて。

いごき (動)【名詞】1) 動く事 労働 2) 海流 海底の潮の働き。うごきの変化した語。[会話] ② 波な (が) 荒いと よおいごいて (よく動いて)、海老な (が) 大漁やったよお (でした) 言うて。今日はなんも (全く) いごかせんもんで (動かないので) かかりもんな (掛り物が) なんもしとらせん (少しもしていない) 言うて。今日は よお、いごいて かかりもんな おいいて (多くて) もおや (藻だ) とか がり (腔腸動物の一種) な (が) ひつついとて (ていて) 網 捌く (のに) 星迄 かかったよお言うて。底

な(が) いごく (動く) と 網い (に) かかりもん なして 海老も 掛るし、イゴキ 言う時は 海な なあ(が) よお 底な (が) いごくの なあ (動くのです)、上ん (に) 波な (が) のお ても (無くても) うねりで 底な (が) いごく (動く) 時な (が) あん ねてや (有るのです)、底 にかして (底を動かして) 言うて。時化な(が) して来る 手前ん (に) なると 底い っとても (潜っていても) 海の底で 引っ張ったりしてな、どいらい (大変) 働きな (が) しの くいね (困難なのです)。時化な(が) して来る 前ん (に) なると、こ や (これは) どいらい 底 にかすなあ 時化な(が) して くんなあ (して来るのだなあ) 言うて 二、三日の うちん (間に) 波な (が) して くんね (荒くなつて来ます) 底で 働きな (が) どいらい しの くい (困難) なつて くん ね (来るのです)。時化な(が) して来る 前ん (に) なつて 波な (が) お ころ (荒くなる) 手前 になあ (に)。上は じっぱん しとんねけど (立派にしているのだが) 底 になあ (が) い ぎいて (動いて) どいらい (大変) 働きな (が) しの くいんやんかな (困難なのです)。そいな (そんな) 時にはだ、海老も掛ったり もお (藻) も掛ったりして その揚句に ひ いて (一日) か ふ つか (二日) の うちん (間に) 時化な(が) して くん の (くるのです)。

いごきあるく 盛んに動く

いごきのくい 動きにくい 働きのくい

いごきやすい 動くのが簡単 働きのやすい

**いごく (動く) 【自力五】** 1) 形態、位置が静止せず変わる。機能を発揮する。2) 仕事をする。活動する。心や考えが変わる。動くの変化した語。(志(布施田、片田、磯部、浜島、鶴方、立神、神明、甲賀、国府、安乗)、鳥(加茂)、三重県全域) [会話] 1) イゴク 言うのは い ぎいとる (動いている)。底 にかして 今日から 波な (が) お こつてくんねなあ (荒くなつて来るのだ) 言うてな。磯い (海女に) いと る うちん (行っている間に) わかん ね (判るのです)。波な (が) して くんね (荒くなつて来るのです)。時化な(が) して くんねなあ (して来るのだ) 言うて。海の底で どいらい (大変) 仕事 な(が) しの くいね (困難なのです)。2) イゴク 言うのは 動く 言うの(のです)。イゴク 底な (が) い ぎいてまあ (動いて) 言うて。働くのも よお (よく) イゴク あの人言うてな。まあ あの人こまめに、よお (よく) イゴク、よお 働く 人やなあ (だ) 言うて。

いごけ 動け 働け

い くてて 行こうとして。行こうと思って。[会話] 芝居な(が)、よお つんで (よく混んで) 今日は押し合い や った (だった)。我先に イコ テテ 押しあい やし やい すん ねんなあ (するのです) 言う やんか (言います)。

**いごどる** 歪んで居る いがむ参照 どる して居る (志(布施田)、度) [会話] いがんどる、曲がつとる言うのを イゴ トル 言うし、曲がつとるとも言うし。あや背中な曲がつて来た。曲がる言うのと、いがむのと 違 うんなあ (違います)。曲 なのは (曲がるのは)、真直に ま がん になし (曲がるのです)、いがむ言うのは横に よ こつち い (横の方へ) こおなあ 畝 あげたけど (畝を作ったが) いがんで た れ (で行った)、いがみんち よ した た れ (してしまった) 言うて。イゴドル言う時は、心な(が) いがんどる言うのも使うなあ。あ やまあ (彼は) い がん どんねど (歪んで居るのだ) い がん どんねな (でいるのだ) 心な(が) 言うて。

**いこに** 1) 行きましょう 2) 行こう (志、安、度) [会話] 2) ま あ (もう) イコ ニ、ま あ い こん (もう行こう) お もとる (思っている) 時、こん だ (今度は) また誰 やら (か) 来て ま あ 話 な(が) な ごなつてて (長くなっていつて) 言う時も 有 るしなあ (有ります)。ま あ (もう) イコ ニ 言うて い くにたく (行き支度) する時も有るし。1) そして、イコ ニ お もとるうちに (思っている間に) また誰か そ わりな (訪問者が) 来て、な が び てて (長くなって) 時 間な(が) お くれて た (遅くなった) 言う時も 有 るしなあ (有ります)。

**いこまいか** 行きましょう

**いこまいや** 行かないでおきましょう [用例] 今日は 雨 な(が) 降る よ って (から)、畑 イコ マイヤ。

**いこや** 行きましょう (志(鶴方)、度、北) [会話] しば や (芝居) 見に イコ ヤ 言うて。

**いこやなあ。いこやのお** 行きましょう (志、度)

**いこやんか。いこやんかあ。いこやんかい。いこやんかな** (女性語)。**いこやんから。いこやんかれ。いこやんこ** 行きましょう (志)

**いこら** 行きましょう (上、阿、北、尾、南)

**いこん (遺恨) 【名詞】** 恨み。忘れられない憎しみ。怒り恨むこと。[会話] さ ぶし えん し え な (〇〇先生が)、習字も上手で、おし えん (に) 来る 時 ん (に)、水入れで、くびた ま へ、しゅうと 水 さして お こし よ おつて (入れてよこして)、が っ こ おりと (学校卒業すると)、皆 ね た み 持 っ て (ていて)、弥宜さんに

なつてから、じんじ（祭り）に、まんど船で大島い行くやんない（へいくでしょう）。そすと 海い（へ）放り込んどいて（でおいで）突っ込んで、みんなん（に）囲まれて。がっこい（学校に）行く時ん（に）、習字書いとると（て居ると）背中い 水しておこしよ おった（入れてよこした）言うて、みんなな（が）、それを ごおわかつて（腹立てて）、アイコンにもつとて（て居て）さぶだこ突っ込んだろや（でやろう）言うて。

**いこん** 行きます 行きましょう【用例】学校の運動会 見ん（に）アイコン。

**いごん（遺言）【名詞】** 遺言 いげん ゆいごんに同じ。死に際に言い残す事。いごんが正確な言葉【会話】遺言言わんと（言わずに）、イゴン言よおったの（言つて居たのです）、イゴンに誰それに、後持たして呉れ言うといてたんでわい（言つておいて行ったそうだ）、ゆいおきや（だ）言うてな、ゆいおきに誰それに こおこおして呉れ（下さい）言うて 頼のん どいて（でおいで）いた（行った）言うて、ゆいおきにしたね（したのだ）言うてなあ。死んでく（で行く）時、なんか言うこた（事は）無いか、言うたや、まるまった（言ったら、まとまった丸い）かねや（は）嫁ん（に）やって呉れ言うて、そや（それは）、なんやかなおもて（なにかとおもて）死んでたやな（行ったら）念佛の鉦。

**いこんなあ** 行きますよ

**いさかい（いさかひ）（諍）【名詞】** 言い争う事。いざこざ 喧嘩【会話】イサカイや、なんや言いやい（とか何とか口争い）して、そいな（そんな）時ん（に）ごてる言うけど（言います）。

**いさかう（いさかふ）（諍）【自ハ五】** 言い争う 口論する

**いさぎ【名詞】** イサキ科の海魚。イサキ科 コシヨオダイ亜科 体は細長い紡錘形でわずかに側扁する。両顎に小さい円錐歯が有る。口唇は薄い。幼魚では体側に3條の黄色縦帯が有るが成長とともに消える。（志、鳥、度、北）

**いざこざ【名詞】** もめ事 争い事 いさくさ【会話】イザコザ言うな（のは）、口喧嘩なあ（です）。あれやたら（だとか）、これや（だ）言うて。あげん（あんなに）言うたやんか、こげん言うたやんか（言つたではないか）言うて、口喧嘩すんの（するのです）イザコザ言う。イザコザな（が）起きて、まあ言うて あれやこれや言うて、イザコザ起こしてまあ 言うて。

**いさまし（勇）【形容詞】** 勇敢である 勇ましい

**いざらかす。いざらす（膝行）【他サ五】** 少し動かす【会話】ちょいと（少し）イザラカシたれまあ（てやれ）言うて、ちょいと イザラカスのをなあ（動かしてやるのを）、なんか置いて有つても、邪魔ん（に）なると、そや（それ）それ ちょいと、こつちやえ（こちらえ）イザラシタレマア 言うてな。イザラス言うてな。にげ（人間）でも ちょいと イザレまあ 言うて あと（後へ）イザツテナあ、よれまあ（移れ）言うのなあ（です）。ちょいと、イザラシタレ言うてな、寄せたれ言う事を、イザラシタレ言うのな、こつちやい 寄せたれ（てやれ）、寄せとけ（ておけ）言うのを、イザラシタレ言うてな。

**いざらかせ** 少し動かせ 命令形

**いざらしたれ** 1) 動かしてやれ いざらかす参照  
2) 動かしました

**いざらせ** 少し移動して場所を変えよ。命令形【会話】なんか（何か）置いて有つても、邪魔ん（に）なると、そや（それ）それちょいと（少し）こつちや（こちら）え イザラセ言うて、寄せたれ（てやれ）言う事を、こつちやえ 寄せとけ（ておけ）、よせたれ言うのを イザラセ言うてな。

**いざりび【名詞】** 薪を燃やしている時 手元近く迄、燃えて来る火【会話】イサリビ言うても、ひざりび言うても一緒やけどなあ（です）。イサリビ言うもん（者）も有るし、ひざり火言うもん（者）も、ひいな（火が）ひざって（近よって）来ても、くべよしやせん（奥に入れようとししない）言うてなあ。ひいな（火が）燃えとんのな（ているのが）ひざって来る、いざる言うのも退く 言うねよってなあ（言うのだから）。

**いざる（膝行）【自ラ五】** 尻を床につけたまま移動する。少し動く。【会話】イザル言うのは、こおやって（尻をつけたまま前の方に動く）私足な痛いもんで（ので）、よお立たんもんで（よく立てないので）イザットンネ（いざって居るのです）。そいで（それで）脛で這おて、尻でイザル、わしや（私は）年中イザットンネ。わしらも尻よお上げんで（よく上げられない）、いざり、早速立たれえへんのやんかい（早く立てないのです）。尻つけたまま、這おて来たよお言うて、脛で這うて真つ黒にしとんね（して居るのです）脛な。わしや（私は）黒馬の金玉みたいになつてく（なつて行きます）。そやけど言うねんに（然し言うのです）。わしらな脛 ほおた、くうろおて（おおた感動詞わ

あ！黒くて）黒馬のきんだまみたいななあ（のよあだ）言うて。黒馬のきんだま、ただでさえ黒いとこ（所）やのになあ。黒馬ののおは（のは）、よけ（より）黒いやんな（でしょう）。そんで（それで）黒馬のきんだまみたいななあ言うて。

いじ【名詞】 つむじ うず 頭の旋毛 イジはウズ（渦）の転（方言俗語源辞典）（志（浜島、神明、立神、安乗）、三、四、鈴市、鈴郡、亀、安、津、久、飯、松、度、伊、鳥、南）【会話】 頭の渦巻きかい（ですか）イジは。普通ここの人な（が）、つじや言うのになあ（だ言います）。頭のすこっぺん（最上部）つじなあって言うて。そいで、にないつじな（が）有って、ふたあつ（二つ）あると、こや（此は）にないつじで、此の子は賢いねやれ（のだ）言うて。左にかたんどると（傾いて居ると）度胸な有んね（有るのだ）言うて。

いしあたま（石頭）【名詞】 1）石のように堅い頭。堅くて叩いてみても痛みを感じないような頭。2）融通が効かず、物分りの悪い頭。又その人【会話】 2）イシアタマ言うて 一概で（頑固で）かとおて（堅くて）やんない（でしょう）、なん言うたてて（何言っても）人な（が）言うこた（事は）まともん（真正直に）受けて、嘘言うてもほんどん（本当に）したりして、なんも（全く）いずうな（融通が）きかせんの（効かないのです）。そいなの（そんなのを）イシアタマ 言うてな。あや（彼は）まあ イシアタマで一概で かったいばつかで（堅いばかりで）言うてな、人の言うこた まうけんして（そのまま信じて）まあ四角なとふ（豆腐）食うたよつて（から）、四角な糞たれえよお（しなさい）言うよおなもんや（ものです）。

いしいかり【名詞】 石を錨の代用したもの【会話】 かなご（金属錨）言うな（のは）大きな船や なけな（でなければ）しよおかい（しません）。皆石をちょんちょんと、なあな（縄が）いくだけ（入るだけ）鑿でつついて、へっこましといて（凹ましておいて）すると、なあな（縄が）寄ってかせんもんで（動いていかなないので）、綱な（が）行くところ（入る所）だけこつきおったわい（つついて居ました）。そしといて（そうしておいて）綱をそれい（へ）しといて（しておいて）イシイカリ しよおった（して居ました）。そんでも（それでも）こんだ（今度は）かからしたると（引っかけてしまうと）よお取らんで（取れなくて）、切っといて（しておいて）来てすると 錨切と

いて 来たよお（来ました）言うてな、また違うのこさえて（作って）。イシイカリ言うのは船の錨やなしん（でなくて）海女さんな（が）もてく（持っている）はいから言うて、錨で 行きよおった（行って居ました）錨やつといて（入れておいて）、ふっかいとこ（深い所）は、その綱を繰って（手繰って）くりいかり 言うて 五尋有っても その錨落としといて（しておいて）錨の綱を繰って行きよおったの（手繰って行って居たのです）。そやけど（しかし）てんぐさかずく（天草採取する）時だけやなあ（です）くりいかりすんな（するのは）。イシイカリは船の錨も海女さんの持つのも皆石やつたの（でした）。

いじいじ（いぢいぢ）【副詞】 もじもじする態度や、行為がはっきりしないで、いじけて居る様子。

いしいも（石芋）【名詞】 炊いても焼いても堅くて、食べられない芋【会話】 腐つとる（ている）苳腐りな（が）しとるな（していると）、焼いても焼けやせんねてや（焼けないのです）。上は じっばん（立派に）しとんねけど（しているのだが）中の苳な（が）腐つとて（ていて）そいなのおな（そんなのが）こや（これは）イシイモやれ（だ）。かとおて焼けやへんもんで（堅くて焼けないので）、苳腐り言うて、苳な（が）腐つとて（ていて）。

いしうす（石臼）【名詞】 石で作った挽き回して粉を作る臼。 石で作った物を挽く臼 2）搗き物をする臼（張）【会話】 1）イシウス言うな（のは）、石で、麦挽くのも イシウスで そこい（そこに）いちづけん（いつも置いてに）しといて（しておいて）麦 挽いたりすんのん（するのに）イシウスでしよおったわい（しました）。きい（木）の臼は昔の家やなけな（でなければ）なかったよつてなあ（から）、イシウスん（に）しよおった（しました）、2）餅、搗いてもイシウスでなあ。こお（粉）ひく これもイシウス、そすとなあ（すると）餅 搗くのもなあ、イシウスな（です）。

いしがき。いしかけ（石垣）【名詞】 石を積み上げた垣イシカキ（石構）の意（大言海）カク（構）は組み作る意（大言海）（志（片田、鶴方、甲賀、神明、立神、国府、安乗）、鳥（坂手、鳥羽、加茂）、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、津、一、多、上、阿、張、名、度、伊、南、熊）【会話】 イシカケ言うのは、積んであんのを（有るのを）、土手を積んで、イシガケ言うしいしぐらとも言うし（言います）。

いしがけ（石垣）【名詞】 石を積み上げて作った垣。い

しがき参照 (志 (浜島)、員、鈴市、鈴郡、松、北、尾、南、熊)

**いしかけいし**【名詞】石垣を積む石 [会話] ごつごつしとる (している) 石は、御影石とか、イシカケイシとか言うて、ごつごつして 角な (が) たったり、しとんのおは (して居るのは)、そげん (そんなに) 言うし、すべすべしとんのおを (して居るのを) 真石や (です)。

**いしかけめし**【名詞】芋飯 多量の芋を切ったのに少量の米を入れて炊いた飯 いしぐら ころひちべえさん参照 (志)

**いしがっせん** (石合戦)【名詞】二手に分かれ石を投げあって争う子供の遊び。[会話] 昔や (は)、イシガッセンすんので (するので) 石で打たれて、ももん (瘤に) なって言うて、腫れる言う事 言うんかいな あ (言うのでしょうか)。

**いしがら**【名詞】小石、又小石の多く有るところ。[会話] 石はごろたやとは言わせん (だとは言いません)。イシガラなよけ (が沢山) 有って言うて、言うなあ (言います)。石ころなよけ (が沢山) 有る言うけど (けれども)、石ころとか、イシガラとか言うけど (言います)。

**いしき** (居敷)【名詞】臀部。尻。(津、上、阿) [会話] イシキ言うてなあ 尻の事を。

**いしきあて** (臀当)【名詞】浴衣 腰巻き等の臀部の当たる所に縫い付ける布。しりうち (志、鳥 (鳥羽)、多) [会話] イシキアテは、腰巻きでも、浴衣や、ひとえもん (単物) こさえる (作る) と付けるなあ (付けます)。あれ 縫い目な (が) 広がってかん (行かない) よおに、縫い目が広がってくもんで (広がっていくので)、臀がばこんと、むかう (座る) と、膨らむもんで (ので)、座る言うのも、むかう言う。

**いじきたない** (いぢきたない) (意地汚)【形容詞】食物に対して賤しい 意地を張って食うをクヒイヂ (食意地) と言い、この上略 (大言海) [会話] イジキタナイ事言う 言うてなあ。食う事言うとお、おおた (ああ) 食う事言うて、イジキタナイよおなけど (ようだが) 言うて。わがとなのおいばっか (自分ののにばかり) ええのもって (よいのをよそって) おらにや (俺には) わりの (悪いのを) したとかな、よけもって (沢山よそって) おらんのおえ (俺ののに) ちょいと (少し) もった (よそった) とか、言うてなあ。食う事言うとお べつんも (特別に) イジキタナイよおな あ (ようだ) 言うてな。食う事言うとお イジキタナイ

言うて、賤しい言うよおな。

**いしきり** (石切り)【名詞】平たい小石を水面すれすれに水平に投げて弾む回数の多いのを争う遊び。[会話] イシキリ。子供が 海の上を 石 ほって (投げて) ちょんちょんとして ぴゅんぴゅんぴゅんと 上手ん なあ (に) あや (あれは) また 男の子らやなけな (でなければ) よおえせんもん なあ (できないものです)。

**いじくさ**。いじくさり (いぢくさり)。いじくそ (意地腐)【名詞】意地の悪い人。意地っ張り。欲張り。片意地者。意地悪。こんじょくさり (志 (片田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、度、南) [会話] イジクサリ言うな (のは)、こんじょわりすんのなあ (根性悪いするのです)。根性わり言うの (のです)。イジクサリや (だ) 言うて、意地悪よ言うし、腹わりよ言うのもあるしなあ (有ります)。あの人、腹な悪いて (が悪くて)、こげな事 (こんな事) して言う時もあるし (有ります)。いじわり言うて、言う時もあるし、同じ意味やけど (ですが)、こんじょくさりも一緒やわい (です)。こんじょくさりも、意地わりも一緒や (です)。言い方な (言い回しが) 違うと、昔の人らな (人達は) こんじょくさりやよってん (だから) 言うてなあ。イジクサリ言うのも言うしなあ (とも言う)。

**いじくじ**【副詞】曲がりくねっている (志)

**いしぐら**【名詞】1) 石垣 (志、鳥 (神島)) 2) 芋飯

**いじくりまあす** (いぢくりまはす) (弄回)。いじくる (いぢくる) (弄)【他ラ五】人を困らせる。いじめる。いじる。(員、一、多、上、阿、尾、南、熊) [会話] なんやかや (何かを) するのを あげんして (あんなにして)、上手に言わんと (言わずに)、人をイジクル よおな言い方をするのを、けんけんする言うけど (言います)、人 イジクル 言うて、いじめるよおな言い方すんのを (するのを)。

**いしぐるま**【名詞】小さな小石に乗って、転がりかけたリ、転んだりした時の小石。[会話] イシグルマん (に) 乗って言うて、あれん (あれに) 乗るとおとし ねてや (怖いのです)。今しや (今は)、コンクリやもんで (なので)、石な (が) コンクリ上ん落つとと (に落ちて居ると)、はいってかせんもんで (入って行かないので)、それい (に) 登ったと (てやると) イシグルマで危ないねてや。不動さん参ってく (て行く) 時、金比羅さん通ると、石な (が) ごろごろしとて (して居て)、雨な (が) 降るとイシグルマ

い のりよおったわい (へ乗って居ました)。雨な  
(が) 降ると こお (粉・土) は、皆流れてて (て行  
って)、石ばっか (ばかり) 残って (て居て)、それ  
い (へ) 登ってイシグルマ。

いしぐるまのる 小石を踏んで転ぶ

いしくれ (石塊) 【名詞】 小石 石ころ

いじけ 【名詞】 1) 寒がり、怖がり又その人 (上、阿、  
張、名) 2) 根本 性質の悪い事、又その人 3)  
元気の無いこと、又その人 [会話] 1) ものすごお  
(すごく) 弱っとる (て居る) 言う事もあるし、2) 心  
がイジケる言うのも有るし、3) 体が弱っとる言う時も  
有るし (有ります)。どいらい (大変) イジケタナア  
(ていった)、あのひた (人は) 言うて、しょぼんと  
したりしとると (して居ると)、イジケル言うわい  
(言います)。

いしけり 【名詞】 石を蹴って行く遊び。(志 (国府、片  
田)、員、三、四、亀、津、上、阿、伊) [会話] 遊  
び。きりきつといて (線を引いて) イシケリしょおや  
(しましょう)。イシケリしょおか (しましょう) 言  
うのは、石をぼんぼん蹴ってくの (行くのです)。

いしげり (石蹴) 【名詞】 片足跳び。石を蹴って一定の  
場所に入れる事もあり、又片足で一定の場所を跳び石  
のある場所をさけ往復する事に依り、石の場所を前に  
進めることもあり、いずれも自分の持石が最終場所に入  
った処で勝ち負けを決める。いしけり参照 (志 (国  
府 片田)、上、伊)

いしける 1) 委縮する (志 (布施田)) 2) 成長しそ  
こなう [会話] 2) あかしやびの (錆) たあや (田  
だ) 言うて。出来なわり (が悪い) イシケテクのお  
(です)。稲な (が) ひとつも (少しも) 苗な (が)  
育たたせんなあ (ちません)。あかしやびな (錆が)  
入いと。

いじける (いぢける) 【自カ下一】 1) 寒さや怖さのた  
め体がちこまる。(張、上、阿) 2) 消極的でおど  
おどしている。ひねくれて引っ込み思案になる。

いしゴム 【名詞】 Y字形の木の小枝。或いは太い木をY  
字形に削り、ゴムの紐を張り、小石を撥き飛ばす子供  
の玩具 [会話] イシゴム言うな (のは)、男の子のち  
ゅうとして (ごむを引っ張って)、ばあんとはなって  
(放して)、あれ当てられると痛おて ガラスも割れ  
てくやんかい (割れていきます、割れるで有りません  
か)。じつきに (すぐ 間なしに) がっこ (学校) で、  
先生に止められて、あや (あれば) 危ない。今の子や  
ったらめったに (だったら、絶対) おとして、もたし

て貰われやせん (恐ろしくて持たして貰えない)。

いしころ (石塊) 【名詞】 石の小さいもの。小石。石の  
かけら [会話] イシコロ、そこらに 石な (が) 転  
んどると (でいると) イシコロや (だ)、イシコロば  
っかで (ばかりで) まあ 此のはたきや (煙は) 言う  
てな、石な (が) よけ (沢山) 有るとなあ、イシコロ  
ばっかの (ばかりの) 煙や (です)。

いしずえ (礎) 【名詞】 建造物の柱、壁などの下に台石  
を据える事。又その石 石据えの意から (南、熊)  
[会話] 家でも、土台を、今しや (今は) コンクリで  
するよって (から)、狂いないけど (が無いが) 昔  
のうちや (家は、イシズエな (が)、かたんでたやら  
(傾いて言ったとか)、土台をせんと (せずに)、イシ  
ズエだけやったよってん (だったから)。

いしだん (石段) 【名詞】 石を積んで作った階段 [会  
話] 寺の坂や (とか) かんのんさん (観音様) の坂  
やたらな (だとか)、石で積んである階段や (です)  
イシダン。

いじってく ずれて行く (志 (布施田))

いじっとる ずれて居る

いしづみ (石積) 【名詞】 石垣。縁の下の力持ち。動か  
ないさま。[会話] 嫁んもおて、もおてから (に貰  
って貰ってから)、休んどる (で居る) 言うこた (事  
は)、ほんとん (本当に) 子供うんだその時だけや  
(です)、けえも (少しも)。そやよってん (それだか  
ら)、ぼおふり (ボーフラ) と一緒に、蚊になる迄の  
浮き沈み言うて。イシズミでじとしとるこた無いね  
(事は無いのです)。

いしどおろ (石燈籠) 【名詞】 いしどうろうの変化した  
語 石で作った燈籠 [会話] 灯籠な (が) 立とる  
やんかい (立って居るで有りませんか) 神社え行くと  
な、石で彫ったのを、灯籠ん (に) 中え 灯りな  
(が) 点るよおん (ように) してな、石灯籠 言うて  
な とおろや (です)、灯籠言わんと (言わずに) イ  
シンドオロ言うな (言います)。

いしとり (石取り) 【名詞】 子供の遊び。海の中へ白と  
か目立つ石を放り込んで取り合いする遊び。[会話]  
潮あびる (海水浴) 時ん (に)、眼鏡かけんと (掛け  
ずに)、イシトリや (だ) 言うてすると、めえんね  
けど (見えるのだが)、ぎらぎらな はいって じっぱ  
んめえやせん (立派に見えせん)。

いしなご (石子、石投) 【名詞】 古くからの女の子の遊  
びの一つ。石を撒きその内一つを投げあげ、落ちてく  
る間に他の石をひろって共に掴みとる遊び。現在のお

手玉にも型が残る。いしなどり、いしなごとり 石を上げる代わりに、お手玉（おさら おっさら）を使用し、又石の代わりに正六面体約 1cm 角の木で作られた賽子状の物（いしなで）或いは小さな貝（かいぞろ）が使用されて居た。集め方等、遊びには、ふしがつき、唄いながら遊んだ。石、小石、巻き貝の一種をおはじきにする（かいぞろ）石なんこ（何個）から。

（志（浜島、布施田、甲賀、鵜方、神明）、鳥、多）

**いしな** 小児の語に小石をイシナと言う、伊勢に石名原あり。石=小石。いしなことり 古 斉王の坐す時に、正月に斎宮にて小石を拾い取りて、石名取の遊びと言う事ありしとなり。俊頼の歌に常磐なる竹の都の石なれば嬉しき節を数えてぞ取る、と言うは この事を讀むなれりと。今に神領の女兒の正月に石名子取と事は此の遺風也。他国に無きことなり（伊勢の浜荻）。[会話] イシナゴは、四角なのを花模様な（が）書いて有って、子供の時分に イシナゴしよったわい（して居ました）。ごんばちこ持つとて（コム張子 ゴム毬持っていて）、ゴムの張子でなあ。はなむけ（花向け）花向け、花のよおこお（横）言うて、横むけ横むけ、よこもぐんで言うてなあ。ずんべらべらべらずんべらべらべら唄いもて（ながら）、はりこ（毬）でしよったわい（して居ました）。学校行く時分（時に）おさら、おさらも、しよった（お手玉、お手玉でもしました）。おひとつ（一ヶ）落として、おっさら言うて 一つたね（種元になるもの）を持つとて（持っていて）、そして 床にいくつでも有るやろ（でしよう）。そと（そうすると）一つ掴むと、おひとつおとしておっさら言うて。こんだ、ふたあつつ（今度は二ヶ）掴んで、おふたつ落としておっさら。おみん（三ヶ）で、そいて 三つ掴むやんかい（掴むのです）。おみんでおっさら言うてなあ。そいでお手のし（お手乗せ）お手のし言うて、てえい（手へ）乗せて。お手玉こさえてくれて（作って呉れて）どんつばきしおった。どんつばきすんな（するのは）、ふたあつつ持つとて、ふたあつ（二ヶ）、みつ（三ヶ）持つとて、こお（交互に投げ上げ受け取る）するやんな。あれどんつばきや（だ）言うて、どんつばきどん、あ、落としかどん。あ、しもたかどん言うてなあ。学校へ行く時分な（時代に）、そいやってしおった（そのようにしました）。

**どんつばきの唄** いしなごの唄、おいといしの唄（西世古恒也氏 志摩の古謡から引用）どんつばきどん、落としたかどん、しもたかどん（すぼんだかどん）、

どんどの下のどろ神さんは、髪をしゃんと結うて しゃんと（きちんと）、お寺へ上げて、お寺縁から突き戻されて、一分、二分する鼻紙すてて（一分 金銭の単位）、誰が拾ったか、詮議をすれば、大阪天狗屋の娘が捨て、娘呼んで来い。盃さしよに、娘居らんで頼みが失せて、頼みかあわい（可愛い）ゆうてかあわい、爺（じじい）も呼んで来い婆も呼んで来い、酒こうて（買うて）しんじましょ（まいりましょ）。

**わしばかちやっちゃ** お二たよ お二たよ（二つ宛とる）、お三つよ お三つよ（三つ宛とる）、お四つよ お四つよ お五つよ、おつくね こつくね つくねこちよい、一ととや 二たとる 二たとや 三いとる、おかまで ひびきは おこまで花（はあな）、花むけ花むけ（花の方を上方に向ける）、横向け 横向け ずんべら ずんべら ずんべら ずんべら べらべら、ずんべら やぶこせ、やぶこせ とおこせ（指の橋をくぐらす）、やぶこせ とうにい（一、二）、とう（一）二い三四五六七八九十百、あげてわたした（まりをつく）、ひと（一）かま 二かま 三かま 四…十迄、一とひろい 二たひろい 三ひろい…十迄（指の間に挟む）、ひとがよせ ふたがよせ みかよせ 四がよせ五つがよせ…十迄、一と切り 二たきり 三きり…十迄（石なごの間を指で切る）、ざらつとかいてちよい おおさえ、（石なご六ヶの時は手に入るが、十二ヶの時 手に余る時に）、あなたの道具は手に余る

**いじにかかる（いちにかかる）** 意地張る 自分の意思を無理に通す [用例] イジニカカッテ あいな事しとんね（あんな事をして居る）。

**いじばる（いちばる）（意地張）【自ラ五】** 我意を通す 無理をして我慢する（南）

**いしひく（石引）** 田の底が締まるように、大きな石で土をしめつける。ローラをかけるような仕事。[会話] ひやけだ（日焼田）言うて、がらだ（石の多い田）で、ひやけだ言うな（のは）、水なすいてくねもんで（が漏れて行くので）、イシヒク言うて、床を締まるよおん（に）、どいらい（大きな）石な（が）有って、引っ張ったると（てやると）床な（が）、締まるもんで、締まってくと（て行くと）水な（が）持ちな（が）ちよいと（少し）ぐらいよおなんの（よくなるのです）。

**いしひろい【名詞】** 子供の海の中の遊び。放り込んだ石を海中で探す遊び。[会話] しろい（白い）よおな石、放り込んどいて（でおいて）、イシヒロイしよおや（しましろう）言うて、しろい（のを）放り込

んだると (でやると)、めえとるもんで (見えて居るので)、とりやいすんの (取り合いするのに)、眼鏡かけんとすんね (かけずにするのです)。しいろいのや (のだ) 言うと、ちよいと (少し) きらきらしいもて (しながら)、めえとんねやんかい (見えて居るので)。

**いしぶとん (石布団) 【名詞】** 石のように綿の固い布団  
[会話] 綿打って、打ってして、いくくらも (幾度) 打ってなあ。針な (が) 通らせんの (ないのを) イシブトン。イシブトンや (だ) とか、せんべぶとんや (煎餅布団だ) とか言うてな。着て着いつぶしたのおなあ (のを) うっすい (薄い) のは、せんべぶとん (煎餅布団) で、かつたい (堅い) のは、イシブトン、かつとお (堅くて) しまって (締まって) 石みたよんしとて (のようにしていて)。

**いしべきんきち。いしべきんきちかなかぶと (石部金吉) 【俚諺】** 非常にもの堅い人。融通の効かない人。石と金と二つの堅い物をならべた擬人名 (南、員)  
[会話] イシベキンキチ言うな (言うのは)、にげ (人間) いちがいの (一途で)、堅苦しなあ (しいのです)。あや (彼は) 石部やなあ (だ) 言う。かたくろし (堅苦しい) 過ぎんのやろなあ (るのでしょうか)。あんまり (余り) 融通の効かん人を言うんなあ (言います)。石頭や (だ)、言うやんかい (言うではありませんか)。それをイシベキンキチ言うて。

**いしまくり 【名詞】** 海女の作業、海底の石を裏返し、裏面についている獲物を探して採ること。(志) [会話] イシマクリ言うてな、磯い (海女に) 行くとなあ、こいな (こんな) 石な (が) 有って それをまくったるとな (裏返すと)、くだめ (流貝子) や、なにかひつついとてなあ (ていて) イシマクリ しよおった (して居ました)。ちっちゃい (小さい) 石は、てえ (手) で、まくんねけど (裏返すのだが)、こげな (こんな) 膳みたよなのおでも (のようなのでも) 踏ん張つといて (ておいて) 肩でこおして、やつからかしたるとなあ (担ってひっくり返してやると) おおび (鮑) も、みなひつついとんね (ていのです)。そやけど (しかし) そいなおつきい (そんな大きい) 石は 陸やったら (だったら) よお まくらんねけど (裏返さないが) 海やもんで (なので) まくりやすいの (のです)。こいなのお (こんなの) でもなあ いごかしといて (動かしておいて) 肩い (に) かずいて (担いで) やつからかすね。イシマクリんいこやんか (に行きましょう) 言うてな。

**いじまし (いちまし) 【形容詞】** 1) 可哀想 2) 意地汚い (志 (布施田))

**いしまめ (石豆) 【名詞】** 豆が硬くて容易に柔らかくならないもの。[会話] イシマメ言うな (のは)、幾ら炊いても煮えやせん (ない)。イシブンドで、こやまあ 煮えやせんわれ (煮えない)。めったに (全然) 煮えやせんよおななあ (ないようです)。こや (此れは) イシブンドで煮えやせんわれ、幾ら炊いても言うて。

**いじもじ 【副詞】** 落ちつきがなく、絶えず動いているさま。[会話] イジモジ。もしやもしやと、まあ、いごいてばっか (動いてばかり)。一緒に座っても、いごいてばっかおると (ばかりして居ると)、イジモジすんなまあ (するな)、よけい (あまり)、もじもじすんなまあ言うて。

**いしもち (石首魚) 【名詞】** 魚 やらいいしもち テンジクダイ科、ヤライイシモチ属は一般に体が細長く体高は低い。体側に独特な数本の縦帯が有り両顎には鋭い犬歯を持つなどの特徴がある。口内保育を雄が行う。鱗は剥げやすい。頭部に有る耳石が石に似ている事からこの名が有る。

**いしや (医者) 【名詞】** 医師 いしやどん いしやや  
[会話] イシャドン (お医者さん)。むかしや (昔は)、金持ちのうち (家) は、どんつけて。

**いしやいらず (医者不要)** いしやごろしに同じ

**いじやく (胃弱、胃癪) 【名詞】** 腹痛。常に胃の不愉快を訴える事。又その人。[会話] イジャク言うと、癪なおこった言うて、むかしや (昔は) 言うのなあ (のです)。胃な (が)、いましやと (今だと)、胃癪やとか (だとか) 病名な有んねけど (が有るのだが)、昔や 胃な悪りなつて (が悪くなつて) 来て こころ (上腹部) 突き上げて来んねやろな (来るのでしょうか)。そと (そうすると) イジャクや (だ) 言うて、癪な起こった 言うて、昔や言いおったわい (昔は言っていました)。癪な起こつて休んどん (休んでいる) 言うて、よお言う (よく言う)。癪な起こると、ものすご (大変 ものすごく) 痛いみたいやんかな (痛いようです)。そと (そうすると)、つるなやら (とか)、言うの (のを) 喰うと、こや (これは)、じゅういんじやく (溜飲癪) の薬やよつてん (だから) 言うて、味噌あえて食いおったわい (食べて居ました)。癪の薬や (だ) 言うて、じゅういんじやく言うて、癪なおこつてくると、昔の人ら (は) 言いおったわい。あやまあ (彼女は)、じゅういんじやくな

(が) おこつて来るので、じっきに (すぐに) 言うて。  
ほいてまあ (そうして)、その、つるなを茹でといて  
(ておいて)、味噌であえて、こや (此)、じゅういん  
じゃくの薬やよつてん (だから) 言うて、食わしおつ  
た (食べさせて居ました)。胃な悪いて、まあ、胃な  
(が) おこつた言うて、痛となつて来んねやろなあ  
(痛くなつて来るんでしょう)。胃な (が)、おこつた  
のを、それ じゅういんじゃく言うんやんかい (言う  
のです)。昔や、じゅういんじゃく言うて、癪な起こ  
つて来ると、胃潰瘍や (だ) とか、何や (だ) とか言  
う病名な (が) 無いもんで (ので)、知らんもんで  
(知らないの)、わがとらが (自分達が)、名付けて  
じゅういんじゃくや (だ) 言うて。じゅういんじゃく  
言う言葉からして胸焼けなすんのかなあ？あんばいな  
(状態が) 悪りよつて (悪いから)、胸もやけて来る  
わいな (来ます)。胸な (が) やける言うな しじゅ  
う言うけど (いつも言います)。癪な (が) おこる言  
うな (のは)、特別な悪り (悪い) 人ら、まあ癪な  
(が) おこるけど (が)、せんきな (仙気が) おこる  
言うのは、仙気な起こつた言うて、今の神経痛やなあ  
(です)。今して (今で) 言うて、せんな (が) おこ  
つた。すんばこな (が) 起こつた言うて、昔の人ら言  
うやんな (でしょう)。神経痛やわい (です)。どこや  
かやな (各方面が)、いと (痛く) なつて来んなよつ  
て (来るのだから)、せんな (が) おこつて寝とんね  
(寝ているのだ) 言うて。で、かぶち (橙) 煎じて、  
飲ましとけ (ておけ)、言うてよおいにおつたわい  
(よく言っていました)。

**いしゃごろし (医者殺) 【名詞】** いしゃいらず 煮魚の  
身を食べ残つた、あら (骨の部分) に煮湯をかけ、更  
に細かい身を食べその汁を吸う事。骨を喉に立てて医  
者を困らす、又滋養にとむため健康で医者がいらな  
いからとも二説有る。(志 (浜島、甲賀、鶴方、神明、  
国府、安乗)) [会話] イシャゴロシ言うな (のは)、  
魚のあらを、茶かけて飲むと美味しいもんで (ので)、  
そいて、よお (よく) 体、効くんて (体によく効く)  
イシャゴロシや (だ) 言うて。栄養なる (になる) 言  
う事を、イシャゴロシや (だ) 言うて、栄養が有つた  
ら病気しやへんやろ (しないでしょう)、そやもんで  
(それで)、イシャゴロシ言うの (のです)。そやけど  
(しかし) 反対に、それして、こんだ (今度は) 骨立  
てて、医者のとこむいて (所へ向いて 所へ)、走り  
込まな (なければ)。そやけど (それだけれど)、じい  
やんな医者でおつて (老人の医師類髯を貯えじい

の愛称で親しまれた、医者でありながら) じいやん骨  
立てた言うて、あんなれ (呼び掛けの言葉) 皆んなの  
(皆の) 茶碗をなれ (接尾語)、にこのうめやの御飯  
言うて三回言うて、あおむいとんのは (あおむいて居  
るのは)、うつぶけて (うつむけて)、うつむいとたら  
(て居たら) それ、あおむけると、まじないやよつて  
ん (だから) 言うて、じいやん医者のくせおつて (で  
ありながら)、まじないかい (まじないですか)、言う  
て。そげん (そんなに) 言うて、じいやんなおせてく  
れよつた (教えてくれて居ました)。それすると、抜  
けてきおつて (行きました) 自然となあ。いつ取れた  
のやらわからんと取れてきおつたんてや (行つたので  
す)。“にこのうめやの御飯食べ” 言うて。

**いしゃどん 【名詞】** 1) 道具 釣り道具を岩に掛け時  
に、はずす道具。竹筒で作つてある。2) 医師 医者  
参照 (鳥) [会話] 1) やまな (釣り道具が)、底の岩  
い (へ)、掛かつて、来んと (取れないと)、イシャド  
ン頼まな (なければ) 言うて、イシャドン言うて、竹  
の此の位 (20～30cm) の節の無いとこ (所) へ、  
錨の代わりに石しばつて (くくつて)、やまをそれえ  
通しといて (ておいて)、下へさがらかしたると (落  
としてやると)、イシャドンな (が)、かかつとるとこ  
(所) 行くと、取れる時なあんねやろなあ (があるの  
でしょう)。漁師の人ら (が)、よお言いおつた (よく  
言っていました)。今日は道具、底でかからしたて  
(してしまつて)、いくらしゃびいても (引っ張つて  
も)、来んで (取れなくて)、やま切つたると (てやる  
と)、勿体ないおもて (思つて)、イシャドン頼んだけ  
ど、取られらつた (取れなかった) 言うて。イシャド  
ン言うな (のは)、竹の筒い石つけたの (のを)。

**いしゃむかい (いしゃむかひ) (医者迎) 【名詞】** 医  
者を迎えに行く事。医師に往診を頼む事。[会話] い  
しゃどん (お医者様) むかいんいてこい (迎えに行つ  
て来い) 言うたり、医者ムコタネ (迎えたのだ) 言う  
てな、医者たのだね (頼んだのだ) 言わんとなあ (言  
わずに)、イシャドンムコタンテハ (迎えたそうだ)  
言うて、イシャドンな あの家 入つたなあ 言う  
てな。

**いしゃや (医者屋) 【名詞】** 医師 医院 [会話] イシ  
ヤヤ言うな (のは) いしゃどん (医者)、いしゃどん  
え いて (行つて) 来い 薬もろて (貰つて) 来い言  
うてな。病院は病院 言うねやんかい (言うのです)  
個人の医者をのお イシヤヤや (だ) 言うて。

**いしゃやばおずなかる 【俚諺】** 悟りをすました僧で

も命が惜しくて、病気になると医師に診療を受ける。  
誰でも命の惜しい例え。

**いしょ (いしゃう) (衣装) 【名詞】** 着物 着衣 衣類  
[会話] 書く遺書は、いしょ言うんなし(言うのです)、着るもん(物)は衣装言うんけどなあ(言うのですが)。イショ、イショ言うて、早口で言うたるもんで(言ってるので)。

**いしょ 【名詞】** 遺言 死後のため書き残した文書

**いしょかけ 【名詞】** 着物を掛けておくもの。えもんかけ  
[会話] 衣桁か衣紋か、衣桁をなあ イショカケ。きい(木) 塗ったのおを(のを) 部屋ん(に) 置いとる(ている)。それい(に) きもん(着物) 掛けたりなあ。今しゃ(今は) 洋服箆な(が) 有るもんで(ので)、あいなもん(あんな物) 置かせんな(置かせせん) 邪魔ん(に) なる 言うて。きい(木) の、屏風 みたよん(のように) なったのを たててなあ きもん かけな (が) あよおった (有りました)。

**いしょく。いじょく (ゐじょく) (居職) 【名詞】** 自宅で仕事をする職業。又はその人。[会話] 職人の事を言うのなあ(です)、わが(自分の) 家で仕事しとる(している) 人をイショク。あの人 手に職な(が) 有るもんで(有るので) 家で商売しとる 言うて。そして お前のしょくは 言うたや(言うたら) 芋飯と麦飯や(だ) 言うて。

**いしょくにん。いじょくにん (居職人) 【名詞】** 自宅で仕事をする人。[会話] 家で しとん(している) のをな イショクニン。

**いしょぞろい 【名詞】** 全員が盛装していること [会話] イショゾロイ言うな(のは)、ええ きもんを、着とる(着ている) 事を、今日は皆な(が) イショゾロイやなあ(だ) 言うて。ええきもん(よい着物) 着て行くとな、紋付やどけ(など) をなあ。今日はあの家 なんやら(何か) どいらい(大変) ごっつおな(御馳走が) 有るかして(とみえて) イショゾロイして いたない(行った) 言うて。皆な(が)、ええきもん 着て 盛装しとる(している) 言うんか いっちやら(晴れ着) 着たのをなあ、イショゾロエ言うけどなあ(言います)、浴衣でも こや(これは) イショゾロイやなあ(だ) 言うてな、揃とんのなあ(ついているのです) 同じがらやのおても (模様でなくても) 皆 揃ろとると(ついていると) イショゾロイやなあ(だ) 言うてな。

**いしょだい 【名詞】** 衣装の代金 着る物の代金 [会話] イショダイ。お金 いしょ(衣装) の金。イショダイ

も 払らわんと(わずに) 言うてな。

**いしょだな (衣装棚) 【名詞】** 着物を置いておく戸棚  
[会話] イショダナ言うて 棚ん(に) して有って、着るもん(物) を 皆 箱い(へ) 入れて 並べて有るやんかい(有ります)。イショダナへ すえといて (置いておいて) 来た言うてな。

**いしょつけ (衣装付) 【名詞】** 着物を着る事。特に外出着、晴れ着に着替えること。又、それをしてくれる人。  
[会話] イショツケ言うて きもん(着物) 着せてくれる人を、着付けする人なあ(です)。イショツケや(だ) 言うて。イショツケん(に) 着せて もおた(貰った) 言うて、着せてくれんのなあ(くれるのです)。いしょ(衣装) つける人らな(が) きもん(着物) 着て、帯むすで(結んで) 呉れる人 イショツケや(だ) 言うてな。

**いしょばこ (衣装箱) 【名詞】** 衣装をしまっておく箱  
[会話] ボール箱ののおい(のに) 入れて有るわい(有ります)。かしいしょや(貸衣装屋) のなあ、それ、イショバコ言うのな(です)、イショバコん(に) 入れてあんね(有るのだ) 言うてな。

**いしょびつ (衣装櫃) 【名詞】** 衣装を入れておく大形の櫃 [会話] イショビツ言うのな(が) 有りおったやんかい(有ったで有りませんか)、櫃い(に) 入れよおった(入れて居ました)。箆筥や言うて 金持ちの家や(は) 有るけど(が) 昔 皆 櫃い 入れよおったなあ(入れて居ました)、煙草入れて来る きい(木) の箱な(が) 有って、それもろて(貰って) 来て、紙で貼って 煙草櫃や(だ) 言うて。おらげ(俺の家) の嫁 煙草櫃一つ もて(持って) 来たばかや(だけだ) 言うて、よお(よく) 姑婆な(が) そげん(そんなに) 言うて 嫁のあら(欠点) 言う家 ありおったわい(有りました)。箆筥や長持や 言うて しやせん(しません)、煙草の空いた箱を、紙で貼ったのおを(のを)、それい(に) 入れて もてくのなあ(持って行くのです)。

**いしょもち (衣装持) 【名詞】** 着物を多く持って居る事。又その人 [会話] イショモチ言うな(のは) よけ(沢山) きもんな(着物が) 有る人なあ(です)。あの人 イショモチやなあ(だ) 言うて。いくかわり(幾替わり) も いしょな(衣装が) 有ると、イショモチや(だ) 言うて、おらなんも(俺は全く) いしゃ(衣装は) 無いし 北国の雷できたなりや(だ) 言うて、わがとら(自分) は 着たながり(まま) で、着たなり雷は北国で鳴るもんで(ので) 北鳴、そやもんで(そ

れで) おら、きもん (俺は着物) 無いもんで (ので)  
北国の雷や (だ) 言うて。

**いじらかす** 1) 少し動かす (北) 2) 怒らす [会話]  
1) イジラカス言うな (のは) いごかす (動かす) 事を  
言うんやんかいな (言うのです)。 こっちい (こちら  
へ) イジラカス、ちょっと (少し) 動かす、机も ち  
よいと (少し) イジラカシとけまあ (ておけ) 邪魔ん  
(に) なんのん (なるのに) 言うてなあ。

**いじらかせ** 動かせ [会話] いじらかすかい (ですか)。  
こっちい (こちらへ) 寄せたれ (てやれ) 言う事を、  
イジラセ 言うのなあ (です)。 イジラカシタレ (てや  
れ) どっちいか (どちらかへ) 寄せたれまあ (てや  
れ) 言うのな (です)、どっちいか イジラカシトケ  
マア (ておけ) 言うてな。 体も イジラカセ 言うてな、  
寄ってけ (寄って行け) 言うのをな。

**いじらし (いぢらし) 【形容詞】** 可愛い。いじらしい。  
痛々しく可哀相だ。意地を形容詞化した語。いぢはイ  
ヂケ (萎縮) の語根 (大言海) [会話] イジラシ言う  
な (のは)、可愛らしいとか、やさしい (優しい) と  
か言うわけや (です)。ほおた (ああ)、イジラシヨオ  
言いおった (言っていました)。

**いじらしがる (いぢらしがる) 【他ラ五】** いじらしい気  
持ちを表す。形容詞いじらしいの語幹に接尾語“が  
る”のついたもの。[会話] イジラシガル言うな (の  
は) 可愛らし (らしい) 言う。いじらしなあ言うて、  
可愛らし、可愛らしいなあ言うのを いじらしなあ。  
ちっさい (小さい) 子供な (が) おた いじらしよお  
見よまあ (見なさい) 言うて。やさし (優しい) 事言  
うと おおた いじらし事言うて 言うて 可愛がる  
いじらし事 ぬかすなあ (言う) 言うて。

**いじらしげ (いぢらしげ) 【形容詞】** いじらしく感じら  
れる様子。形容詞いじらしいの語幹に接尾語げのつい  
たもの。[会話] イジラシゲやなあ (だ) 言うて、可  
愛らしいよおななあ (ようだ) 言う事やろなあ (でし  
ょう)。

**いじらせ** 少し場所を移動させよ 一方に寄せよ いじ  
るの命令形 [会話] こっちい寄せたれ (こちらへ移  
せ) 言う事を イジラセ 言うのなあ (のです)。

**いじる (弄る) 【他ラ五】** 1) 手でさわったり、なで動  
かしたりする。無意味にもて遊ぶ。趣味で扱う。手な  
ぐさみする。(志 (鵜方)、上、阿) 2) 弱い者を、い  
じめる。困らせる。いびる。物を頼みて催促する語  
(物類稱呼) (志 (甲賀)、鳥 (鳥羽)) 3) 子供が無  
理を言う。むずかる (志 (甲賀)、員) 4) 位置を動

かす。場所を少し移動する。[会話] 3) イジル言うな  
(のは)、皆んな あれほし (欲しい)、こんな (此れ  
が) 欲し言うて、親をイジル言うのもあるし。1) ほて  
(そうして)、いろう (触る ふれる) のもイジル。  
よけイジンナまあ言うんやんか (多く触るな言います)。  
子供ら (達) が、なんやかやしとる (何かしている)  
事、こいなもん (此のような物) なぶって来ると よ  
けイジンナまあ、よけなぶんなまあ (あまりなぶる  
な)、とも言うし、よけ (あまり) さわるな。3) イジ  
ッテばっかおんね (ばかり居るのだ) 言うて、親にな  
んぞ (何か) 買おて呉れとか、甘えん (る) のもなあ。  
親イジッテ来たんなあ (来たのだなあ) また言うて。  
よけ、じゅうよお (勝手) 言うなまあ言うて。子供ら  
がイジルと、じゅうよお 言うてまあ、言うて。子供ら  
な (が)、ぐずって (駄々こねて)、あれしておこせ、  
此れしてくれ、無いもん (無い物) こおておこせ (買  
ってよこせ) てら (とか) 言うて、言うのをだ。ごね  
とるとか、イジルとか言う。

**いじる (居) 【自ラ五】** 1) 膝で体を移動させる。にじ  
る。いざる。(松、尾、南) 2) ずれる 曲がる [会  
話] 1) ちょっと、イジレ まあ言うて、言う時も有るん  
な (あるのです)。どすわつとると (でんと構えて座  
っている)と、邪魔になって、ちょっと 尻イジラカ  
セ (移動させよ) 言う時も有るんなあ。イジレマアと  
かなあ、よおい (おおい呼掛けの語)、ちよいと の  
けまあ (少しどきなさい)、言うのを ちよいとイジ  
レマア (なさい)。2) たあ (田)、植えんのん (に)、  
かねまくと (目印をつけると)、まっすぐん (に) な  
んねやんかい (なるのです)。かねまかと こっち  
や、イジルとか、あっちゃ、イジルとか、すじな (線  
が) いがんでく (歪んでいきます)。

**いじわり (いぢわり) (意地悪) 【名詞】** 他人、特に弱  
い者に冷たくする事。人を困らせたり、苦しめたりし  
て、性格がすなおでない事。又そのような人。いじわ  
る (南) [会話] なんやら (何か) イジワリする事を、  
いかず言うんやんかい (言います)。

**いじん (異人) 【名詞】** 1) 外国人。特に欧米人。2)  
婦人の夏に着用する、簡単服。アッパッパ [会話] 2)  
イジン言うな (のは)、服の事をイジン言うて、言  
いおったんなあ (言っていました)。アメリカのもん  
 (者) らきよった (着ていた)。1) 外国の人を言うん  
やかな (のでしょうか)。外国の人をイジン、イジン  
言うて 服着とると、皆、着物着とたの (着ていたの  
に)、服着ると、外国の人みたいしとるもんで (のよ

うにしているの)、<sup>2)</sup> イジン着て、あやれ (あれ) 言うて。同じ外国人でも、朝鮮半島や中国の人には言わざった (言わなかった)。アメリカ人を、イジンや (だ) 言うて。

**いじんさん【名詞】** 外国人 特に西欧人 (上、阿) [会話] イジンサン。外国人をイジンサン言うの (のです)。同じ外国人でも アメリカ人や イギリス人や 言うのを、欧州人は欧州人や言うけどな (言います)、アメリカ人をなあ イジンサン言うてな。○○小父な (が) 嬢 (妻) を あっちゃんおる (米国に居る) 時んなあ (に)、ひとくら (一度) つれて来てなあ △△やんな (が) ボンネット被って、いじん (洋服) 着てなあ来たや (来たら)、おおた アメリカ人やなあ (だ) 言うた (言った) 事な (が) あんね (有るのです)。

**いずいし (いづいし) (伊豆石)【名詞】** 静岡県、神奈川県の海岸から産出する安山岩。色が青黒く、江戸時代以降、庭石、石碑、建築用に用いられる。[会話] 軒先、ちよいと (少し)、がんぎ石や やるやんかい (埋めます)。がんぎ石や (だ) 言うて、イズイシを 今しや (今は) コンクリですけど (が)、がんぎいしや (石です)。

**いずう【名詞】** 融通 [会話] なんも、ゆずうな (融通が) きかんよおなの (のを)、小麦団子でかつとおて (堅くて) 言うて、かたぶつで (堅物、物堅い人) イズウな (が) きかせん (きかない) 言う。

**いすずみ【名詞】** 海魚 るりはた かすねぎ参照 てんじくいさぎ

**いずまい (いずまい) (居住)【名詞】** 行儀 座って居る様子 たたずまいに対する語 [会話] イズマイ言うのは、座るのを言うのも有るなあ (有ります)。イズマイせなはざんわれ (行儀よくしなければいけない) 言うのは、こんて (こんなにして)、横むかいし とんのを (座りして居るのを)、こやって (正座) 座れ言う事を、イズマイせな、はざんわれ、言いおった (言っていました)。イズマイ悪いの見よ (悪いのを見なさい) 言うて、横むかいし とる (して居る) と、言いおったなあ (言っていました)。おりせむかいや (おりせ人名) 言うてなあ。足を擦出して、尻ぽんと うちつけて (尻を床に付ける)、足 横い (へ) 出して、座んのを (座るのを) おりせむかいして 言いおった (言っていました)。足を投げ出して、尻べたと打ちつけて (床に付けて)、座る人もあるわい (あります)。こげんして (こんなにして)、すんのは (する

のは)、どえらい楽なねんて (大変楽だのだそうです)。ほいて (そうして)、足な (が) 痛となって来やせん ね (来ないのです)。尻で、おそわせんもんで (ので)、とんび座り 言うて 足をとんびな (鷹が) 羽広げたよ おにしとる (して居ます)。わしら (私)、しな (品、ひん)、悪いもんで (悪いので)、正座ばっかしよった けど (のみして居た)。

**いずまいただす** 行儀よくする 正座する [会話] 行儀よお (よく) する言う事をな、イズマイタダス言うな (言います)。よこずまい、しとんのを (横座りしているのを) 正座することやな (です)。正座する言うのをなあ、ちんとかしこまって そや (それ) 言うてなあ、あしこ (あそこ) の家いたら (行ったら) 行儀のわり (悪い) 事したらはざんねど (駄目なのだ)。ちんとかしこまってせな (しなければ) 言うてな。イズマイタダスは 服装からなんから きちつとしてせえ (しなさい) 言う事、正座せえ 言うだけやなしん (でなくて)。

**いずれ (いづれ) (何)【副詞】** いつかは 近い将来 [会話] イズレ言うのは、何時かは 言う事や (です)。イズレは、それ、しとかなはざん (しなければいけない) とか、イズレ行くわとか。

**いすわる (居座る)【自ラ五】** 1) 座ったまま動かない事。尻をおちつけている。2) 長期間滞在する。[会話] <sup>2)</sup> あしこい (あすこへ)、イスワットテ (て居て)、いごかせん (動かない)。誰やら (か)、他所行とて (行って居て) 帰って来て、イスワットテ、行かせんのかして (行かないのか)、イスワツタレ言うやんかい (言います)。<sup>1)</sup> そして、他所に居って 長い事おんのも (居るのも)、イスワツテ行かへんねな (行かないのだ) 言うて。尻落ち付けとる (て居る) 言う事や (です)。

**いせのみ (伊勢海)【名詞】** 伊勢湾を言う 伊勢の海の訛

**いせのみのつみかけ【俚諺】** 渥美半島の上に雲の多く表れること。風が強く吹く。ふき参照

**いせまいり (伊勢参)【名詞】** 伊勢神宮へ参拝すること (志) [会話] オイセマイリに、おおぎ (扇) を拾うて。伊勢さんえ (に) 参ってく (て行く) 言う と 外国でも行くよん (ように) まあ 宵 (前夜) から、なんもかも (すべて) ちゃんとして 逢坂道を行きよお ったもんのお (行ったものです)。仙屋ん (の) 爺やん 宵から 脚絆も履いてしたや (したら) わがと、かたつぽ (自分片一方) 履いて 庭のきねい (に) か

たっば 履かして 伊勢いたや (行ったら) わがと  
かたっば より履いとらんで (ていなくて)。そして  
弁当も持って おもたや (思ったら) 小枕つつで (包  
んで) 弁当ばな (を) 置いて来て 弁当くおおもたや  
(食べようと思ったら) 小枕で、弁当な (が) のおて  
(無くて) 昔、伊勢行くや (行くのだ) 言うと そげ  
んして (そんなにして)、宵から なんもかも (すべ  
て) ちゃあんとしよおったね (して居たのです)。歩  
いてな、じょおり (草履) も二足つ持ってなあ、あの  
逢坂道歩いてく<sup>のん</sup> (て行くのに) 古市の方い (に)  
行く、尻な (が) 切れてく (ていく) 時な (が) あよ  
おって (有って)、じょおりも、ていねん (丁寧) に  
作る人と ざっばん (雑に) 作る人と有るやんない  
(でしょう) そすと (すると) やいこい じょおり  
(雑な、柔らかい草履) は、古市行くと 尻な (が)  
切れてて (てしまつて)、引き摺りもて (ながら)、歩  
きおったもんで (歩いて居たので)、二足つじょおり  
も用意して 持って行きよおったの (行つたのです)。  
伊勢行く<sup>のん</sup> (のに)。伊勢神宮いて (行つて) 来る  
と 土産、隣中こばつて (配つて)、せんべ (煎餅)  
五、六枚つ 紙い (に) つつで (包んで) こばよおっ  
たの (配つて居たのです)、みみせんべを。そして  
どんざれがしんや言うてな。かしん (菓子) の、ちっ  
ちゃあい (小さい)、ほっそおいのおな (細いのが)  
有って、それこおて (買つて) 来て 十本位つ入れて  
なあ 隣中え、紙でひねつて (包んで) こばよおっ  
た<sup>な</sup> (配つて居たのです)。きねいはかした言うの  
は、挽きもん臼のやれぎい (手に持つ棒に) 履かした  
言う事やわい (です)。挽きもん臼 こお (粉) 挽く  
の<sup>ん</sup> (に) よお (よく) あがりたてん (上がり口に)  
置いて 有りおったわい (有りました)。

いせみち (伊勢路) 【名詞】 伊勢へ行く道。磯部から逢  
坂道を越えて内宮前に出、古市又は河崎に行く道。  
[会話] イセミチ、伊勢い (に) 行くの。逢坂道行く  
となあ おたべ石言うて、真石な (が) 立つとて (て  
いて)、上がり坂ん (に)。そすと (すると) やうちな  
(一同が) 撫でんねてや (撫でるのです) おたべみた  
よんしとて (女陰のようにしていて) おたべ石や  
(だ) 言うてな、有りおったやんかい (有りました)。  
今し (今) でも有るやろん (有るでしょう)。抜け道  
(間道) してなあ ほっそおいとこ (細い所) 抜けて  
く<sup>と</sup>こな (ていくところが) 有るやんない (有るでし  
ょう)、茶屋い (に) 出る迄ん (に)。そこんとこん  
(その所に) 立つとてなあ (ていて) ほん (本当

に) おたべみたよん 割れとてなあ (ていて) それみ  
な (皆) 撫でるもんでなあ (ので) ずべずべしとんね  
てや (滑らかにしているのです)。

いせみち (伊勢道) 【名詞】 耳の聞こえにくい人 (伊、  
桑市) [会話] 耳が遠おても (遠くても) あや (彼  
は) 耳が遠おて、問おてばつか (ばかり) おるやんな  
(居るでしょう)。そおすると あやまあ (彼は) イ  
セミチで すら (空とぼける) しとんね (して居るの  
だ)、耳な 遠い言わんと (言わずに) イセミチは遠  
いやんな (でしょう)、そやもんで (それで) イセミ  
チですらしとる (して居る) 言うて。イセミチや  
(だ) 言うんやんない (言うのでしょう) 耳な (が)  
遠いにげや (人は)。

いそ (磯) 【名詞】 1) 海、浜で貝や海草を獲ること。  
海女作業。(志) 2) 海岸 海 大きな岩塊や基盤の  
岩石の露出した海岸。[会話] ② 浜行くことなあ (で  
す)。イソや言うなあ (だ言います)。磯釣り言うたり、  
海の事をイソや 言う。イソと沖とたか (陸) 言うの  
は 沖言うのは、今日日 (きょうび近頃)、離れたと  
こ (陸から離れた所) 沖言うし (言います)。たか言  
うのは、波打ち際、せせらげの事をたかなあ (です)。  
イソ言うのは、海行こや (行きましょう) 言うねなあ  
(言うのです)。イソ行こやんかあ (行きましょう)。  
イソバタ行こや (磯端行きましょう) 言うて わしら  
な (私達が)、海女い (へ) 入らん時 (海女作業をし  
ない時)、イソバタ行こや言うて、イソバタ言うのは、  
潮な干いて来たよつて (から)、イソバタ行こやんか  
い (行きましょう) 言うて。おか (陸) 近くの島の上、  
潮な干いて来て、島な放り上がつて (頂上が表れて)、  
それがイソバタ<sup>あさ</sup>や (です)。それを漁<sup>あさ</sup>とる (漁って  
いる)。あのへたい (へ) 漁りん (に) 行こや言うて、  
ないざの事を へたや言うてなあ。たかと、ないざは  
一緒やなあ (です)。せせらぎな、ざあざあ言うところ  
(所) をないざ、ないざまで泳いで来た言うて。汀の  
事やわ (です)。

いそあけ 【名詞】 海女漁の解禁 (熊)

いそいお (いそざかな、いそうお) (磯魚) 【名詞】 海  
浜に近い所に住んで居る魚類総稱 岩礁に見られるも  
の。砂地に住む物。藻場に生活するものなどが含まれ、  
磯物の対象になる。ベラ類 ハタ類 カサゴ類 クロ  
ダイ ウツボ類 タツノオトシゴ カレイ類 コチ類  
ハゼ類 キス セイゴ アナゴ類 (伊) [会話] あか  
いおや (とか)、そこいおや (です) イソイオは。あ

おいおは、泳いで来んの（来るのを）。そといお（外魚・回遊魚・青魚）つんの（釣るの）おらし言う。

**いそいき【名詞】**海女漁に出る事

**いそいそ【副詞】** 1) 嬉しさに心はずませて、動作するさま。とを伴う事が多い。おちつきのないさま。

（員）2) 急ぐさま（員）[会話] 1) 落ちつかんとおんのも（つかずに居るのも）、ちょこちょこすんな（するな）、イソイソとすんなとか、言うなあ（言います）。イソイソと、てやら（だとか）、せかせかとか、かせわし（せわしい）事なあ（です）。

**いそいそしとる** 忙しがる。落ち着きがない。[会話] イソイソシトル事を、遊びんいたや（に行ったら）、あんな（彼が）忙しがって、しとるもんで（して居るの）言うて。イソイソスル言うな（のは）、そわそわと 出たり入ったり 立つたり座ったり、イソイソシテ言うやんかい（言います）。イソイソとせわしなあ（あわただし）。あんな（彼が）立ったり、座ったり、出たり、入ったり言うて。

**いそうお（いそうを）【名詞】** いそいお参照

**いそおけ（磯桶）はまおけ（浜桶）【名詞】** 海女が作業中に使用する桶 海女の獲物を入れる桶（志（神明、立神、国府、安乗）、鳥（石鏡））[会話] イソオケとハマオケ。イソオケは今のかちど（徒人、舟人の対、自分の能力で潜水する海女。潜るのに人 或は物の助けを借りない）の人（が）持つし（持ちます）。ハマオケ言うのは 又 ちょいと（少し）、めえかついだり（若布採ったり）、てんぐさかついだり（天草採集する）よけ（多く）する時な（に）、ハマオケですんの（するのです）。めえ（若布）する時、普通の桶では、ちっさいもんで（小さいので）ハマオケですと、大っきいもんで（大きいので）、めえかけても（入れても、端にかかっても）ぐらんぐらんせえへんよってな（しないから）、ハマオケで、めえかづいだり、てんぐさかづいだりする時や（です）。はんぎりは、あらめかつぐ（荒布採る）どでかいの（大きい）、あらめかつぐとき持つの（のが）はんぎり（大きな桶）。

**いそおり（磯下り）【名詞】** 海女が当年始めて、海女作業を開始する事。くちあけ参照 下りる。高い所から低い所へ移る。陸から海へ下りる。（志（布施田）、鳥（石鏡））[会話] 始めて入る日を、イソオリ言うの（のです）。自分一人で、じぶんとな（自分が）長い事行かんでおって（行かずに居て）、今日はイソオリや言うて、休んどいていたり（休んで居て）始めて行

く時、今日はイソオリで、耳しめせな（耳湿し、耳馴ししなければ）言うて、直ぐに入ってくと（潜水すると）耳な（が）パンパン言うもんで（ので）、ちょいと（少し）耳湿しせな 言うて、耳馴すのな（のが）、イソオリや（だ）言うて。深いとこ（所）行くと、耳が がんがん言うて、馴れて来るとええけど（よいけれど）始めて行くと、始めてのかしら（潜水する事）に、何回も入り馴れるとええねけど（よいのだが）耳が痛くなって。イソオリのひい（日）に、始めて底行くと、耳な、ばちばち、ばんばん言うて。ふたかしら（二回）みいかしら（三回）入ったと（てやると）、馴れるんやけど（馴れるのだが）、始めのひとかしら（一回の潜水）耳な（が）ばんばん言う（言います）。イソオリ、耳湿しせな 言うて、それを馴らすのに、あした（明日）、くちあけやよって（だから）今日 耳湿し行かな（なければ）言や（言えば）、馴らさな（馴らさなければ）すぐ、いつてく（潜水する）と 耳がばんばん言うね（言うのです）。馴れると深い所入っても なんともないけど（けれど）。

**いそがいしょ（磯甲斐性）【名詞】** 海女としての力量 海底での働き [会話] イソガイショ 言うななあ（のは）、同じよん（ように）かづいとてもなあ（潜っていても）よけ獲てくる（沢山獲って来る）にげ（人間）も有るしなあ、一緒のとこ（所）かづいとんねけど（潜っているのだが）なんも獲らせん（全く獲らない）にげな（人間が）有るやんない（有るでしょう）。あや（彼女は）イソガイショな（が）有るもんで（ので）偉いんなあ（のだ）言うてな、同じよん かづいとて（ように潜っていて）、一緒のとこ（所）かづいとんねけど またなあ 物獲りな（が）有るにげ（人間）と 無いにげ（人間）となあ。

**いそかがみ（磯鏡）【名詞】** 正月十一日浜祭りに持って行く鏡餅。[会話] 大きな餅を、カガミモチや（と）言うて、イソカガミ言うけど（言うけれど）、物置きへ飾りおった（つて居ました）。磯桶へ。イソカガミや（だ）言うて、十一日になると 鏡開きや（だ）言うて、浜祭りになると、ホイ、ツイヤコンコンとこついて（叩いて）、おおびのはな（鮑の行方）止める言うて。

**いそかがみもち【名詞】** 海女が磯桶に飾る鏡餅 [会話] イソカガミモチ言うて、どいらいのとんね（大きなを作るのです）。磯桶い（へ）どいらいの 一つして真ん中い（へ）小餅してなあ（乗せて）、そして 橙もしてなあ、なんもかも（なにもかも）一揃いしてな

あ 磯桶い (へ) まつりおった (祭って居ました) イソカガミや (だ) 言うて。

**いそかがり。いそかご (磯籠) 【名詞】** 海女が弁当、着替え等を入れて持って行く籠 (志、鳥) [会話] いそまげ結って、ほどけてこんよおん (来ないように)、かんじょくり (かんぜより) で、きりきり捲いて、磯から上がって来ると、イソカゴの紐い (へ) きゅっと結んどいて (でいて)、ねまきや (だ) 言うて。

**いそがし (忙) 【形容詞】** いそがしい 忙しい 多忙だ (一、北) [会話] イソガシ言うのは、仕事がよけ (多く) 有って、せわしない (忙しい) 言うの (のです)。昔はせわしない言うの (のです)。昔の人ら (は)、せわしのおて (忙しくて) 言うの (のです)。

**いそがしがる 【自ラ五】** 忙しく思う。忙しい様子をして

いる。

**いそがに (磯蟹) 【名詞】** イワガニ科のカニ、海岸の干潮線附近に見られる。甲長約25mm、甲幅約28mmの前方にやや開いた丸みの有る四角形で額は中央がややくぼんだ板状、甲羅には青緑色と濃紫色の斑が有り、鉄足の節にも濃紫色の円い斑点が有る。

**いそぎ (磯着) 【名詞】** 1) 海女が海から上って暖を取る時羽織る半纏 いそぢょつき参照 2) 海女の作業する時の服装 (鳥) [会話] ② いそじゃつと、なかね (腰巻) と、手拭と イソギなあ (です)。あがって (海から) 来てから着るのはいそもつぱ。いそもつぱも持たんと (ずに) 来て言うてなあ。袷のなあ、家で着やれんよおん (着られないように) なつたのおを (なつていったのを) いそもつぱん (に) こやまあしよおや (これはしましよう) 言うてなあ。今し (今) のこら (子供達は) わたこん (綿入に) したり あらんのおで (新しいので) するけど (が) 昔や (昔は) 陸で着やれんよおん (着れないように) となると、いそもつぱん (に) すんねやんかい (するのです)。

**いそぎもん (磯着物) 【名詞】** 海女が暖を取る時に羽織る綿入れ、半纏 いそぢょつき参照

**いそくさい (磯臭い) 【形容詞】** 魚 貝 海草などの匂いが混じった海岸特有の匂いがする事。[会話] イソクサイ言うななあ (のは)、磯の臭いな (が) する (します)。ひい (火) 当ってな、ひい (火) のけぶり (煙) のかざな (臭が) 体い (に) しゅみ込むんなあ (しみ込むのです)、そんで (それで) イソクサイんなあ (のです) 磯から来ると。海岸の臭いも、汐を焼き付けんねよって (るのだから) 当ってなあ (火に当たって) そのかざ (臭い) も有るしなあ (有り

ます)、けぶりも こお、しゅみ付くしなあ (染み付きます)。なんやらかやらで (いろいろで) イソクサイかざな (臭いが) するわい (します)。若布なあ、かずいて (獲って) 来て、干してあつてもなあ ほんとん (本当に) ぷんぷん磯の臭いな (が) して、荒布やたらなあ (だとか)、イソクサイ かざな (臭いが) するやんない (するでしょう)。そして 汐焼き 付けて、けぶりでなあ するもんで (ので)、あんでなあ (あれで) 体しゅみついとんねやろな (染み付いているのでしょう) 臭いわい (です)、イソクサイわい。そして 家 来て 風呂いって (入って) きもん (着物) も、着替えたりすや (すれば) あれやけど (よいが) 磯、そのまんまで (ままで) 居ると、臭いんなあ (のです)。

**いそぐち (磯口) 【名詞】** 海女漁 [会話] イソグチ言うと、しょんがつ (正月) の十一日ん (に) となると、イソグチ開けん (に) 行く言うて、朝 早よなあ (早く)、五時頃ん (に) となると 行てな (行きます)、餅をきぞでなあ (刻んで)、米の餅や栗の餅や、とびき (唐黍) の餅や (だ) 言うて、米としてなあ イソグチ開けん行くね (に行くのです)。石 三つ並べて、餅 そえて (供えて) すると、男の子らな (が) 拝まんうちん (間に) しゃくつてくね (取って行きます) おぼ呉れや (小母さん下さい)、おぼ呉れや 言うてな。そすと まつた (拝んだ) 後でなあ つこで (掴んで)、重箱受けとんのい (ていのへ) みな呉れんねてや (呉れるのです)。

**いそぐちあける** 海女が正月十一日に一年の豊漁を祈る行事。[会話] 正月十一日 おおび (鮑) のくちあけ (口開け 解禁)。おおびのはなくれや (供え物下さい) 言うて、貰いん (に) 行く日なあ (です)。みいくら (三度) 祭りん行くね (に行くのです)。始めイソグチアケンいて (開けに行つて)、こんだ (今度は)、まえもん持っていて (行つて)、こんだ、ぜんざいなあ (です)。まえもん言うて、鏡餅と飾るやんない (でしょう)。かぶちや (橙とか)、だいこ (大根) や、さざえ (栄螺)。さざえはかなつぼ (金壺) 言うて、海老も据えて、磯桶へ飾って 十一日ん (に) となると、イソグチアケン (に) 行くやんない (でしょう)。イソグチアケンいくな (行くのは)、米の餅と、栗の餅はやして (切つて 切るの忌み言葉)、金餅、銀餅言うて、うつつう (薄く) 切つて、米と、十一日ん (に)、磯口開けん行くんてや (に行くのです)。朝早よお (早く)、4時頃ん (に) となると、イソグチアケ

ン (に) 行くの (のです)。

**いそぐるま【名詞】** ふなど (舟人 夫婦海女)  
の潜水を助けるため、海女、又は海女の持つ鉄 又は、鉛のおもり (はいから) を上下させるため、舟につけてある滑車。(志、鳥) [会話] イソグルマ言うな (のは)、はいから (海女の持つ重り) 上げる車を言うんかい (言うのですか)、今しゃ (今は) あいなの使わへんなあ (あんなのは使いません)、機械ですんので (するので) 昔なあ、あの車で 皆 引きよおったけどなあ (引き上げて居たが)。

**いそざいら【名詞】** さより サヨリ科の海魚 全長40 cm。体型はさんまに似て細長い。下顎は著しく長く、嘴状に突出し、その前端は赤い。背側は青緑色 腹側は銀白色。肉は白く淡泊。

**いそじゃつ【名詞】** 海女が潜水時に着る上衣 (志、鳥) [会話] イソジャツ言うな (のは) 木綿着のなあ、あれを、イソジャツや (だ) 言うて、いそぢょつき言よおったの (言って居たのです)。

**いそだて【名詞】** 海女の持つ手拭 海女の作業時の手拭 (志) [会話] イソダテ言うのは鉢巻きや (です)。広い、綿 (木綿) をふたあつに折って (2つ折りにして)。いそてぬぎい (手拭)。

**いそぢょつき【名詞】** 海女作業の時、海女が上半身に着る衣服。(志) [会話] しろい (白い) 木綿でさす (刺す、縫う、作る) こさえる (作る) のを、イソヂョッキ。いそぎは海へ入る時は、しろいの (白いのを) 着るけど (けれど) 上がって来ると、ひい (火) 当たる時に巻く、こお言うの (絆纏) 着て、上へ掛けて、いましゃ (今は) 小屋で当たるよって (から) 掛けんでもええけど (よいけれど)、わしら (私ら) どてん (露天) で当たるもんで (ので)、前はぬくとおても (暖かくても) 背中なさぶいもんで (が寒いので) 袷のきもん (着物) を始めるうち (あいだ) は二枚づつして (二枚着て)、夏になると 一枚位でええけど、かけんの (かけるのです)。イソギモン言うて、綿入れて、はなのうち (初めの間) 背中へおいねとると、ぬきたいし (温かいし)、今しゃ (今は)、そいなもんいらんわい (そんな物いりません)。小屋の内で当たるよって (から)、わしらの時は、どてんやよって (露天だから) 前ばかぬくとおても (前ばかり暖かくても)、背中さはぶうて (寒くて)、綿こ (綿入れ) と、袷せと重ねたのおを (のを) 背中へ、おいねて当たりおったわい (当たって居ました)。ふんばつといて (踏張る 両膝を立て、内股を表す。座って) 踏張

らな、ぬくたのおて (無くて)、踏張ると、ぬきたいけど (が) 踏張らんと座つとると (ていとうと)、当たると、なんも (何も 少しも) ぬくたないの (のです)。踏張って当たると、体中が どえらいぬくとまんの (大変あったかくなるのです)。せやもんで (それだから) 踏張って当たらな (当たらなければ) ぬくたない (暖かくない)。内股の方から、ぬくとめて (暖めて) まえかけ (前掛) で、禪かい といて、踏張らな ぬくとないの。ぬくとまらせん。そやよって (だから) いそど 皆 踏張つとるやんな。

**いそづな【名詞】** 海女と磯桶とをつないでいる綱 磯桶に巻いてある綱 [会話] 桶綱をなあ、桶い (に) 巻いてあんの (あるのを) イソツナ。あの 棕櫚のあらんのおで (新しいので) 足 こそげたと (こすると) まいきりよおった (飛び上がりました)、いとおて (痛くて)。朝鮮行くよん (ように) になると 棕櫚をなあ、うつね (編むのです)。あれを みいこ (三本組) にしてうって (編んで) もらよおった (貰って居ました)。そやもんで (それで) かつとおて (堅くて) それを春の足な (が) 凍って 氷ん (に) なつとんのおを (なっているのを)、その棕櫚のあらんのおで (新しいので) こそげたと いとおて、まいきよおったなあ (痛くて飛び上がりました)。

**いそつぼ【名詞】** あめふらし 海牛 アメフラシ科の腹足類 巻き貝の仲間退化した、貝殻が体内に有る。体長20 cm～30 cm。体表は平滑で暗紫色の地に鮮やかな細かい多数の白斑が有る。春よく磯で見られ、触れると、濃紫色の汁を出す。卵塊を海素麺と言う。海藻を食べる。昔から、あめふらしをいじめると、雨が降ったり、海が時化になると言い伝えられている。[会話] 海になまこみたいな (のような)、イソツボ。あれ びしゃくと (潰すと)、まっかん (真つ赤に) になると、かりやや (だ) 言うて、汁な (が) 出て来ると、かりや。イソツボの事は、かりや言うなあ (言います)。

**いそてぬぎい。いそてのぐい【名詞】** 海女の白木綿の手拭 (志 (崎島)、鳥 (国崎))

**いそど【名詞】** 海女 (志摩市全域、鳥) 海女。舟人 夫婦又は男女一人ずつで組を組み、男子は舟の上で作業を助け、女子は潜水して漁をする海女。徒人自力で潜り漁をする海女。徒人 舟で沖へ行く。へたど 海岸から泳いで行く。浜子 練習中の海女。あさりかずき 稽古海女。[会話] イソドは 海女さんや (です)。

**いそどこぎ（磯人漕）【名詞】**海女舟を操る人 船頭

（志）[会話] イソドコギ言うななあ（のは）、とまえさん（船頭）のこと、イソドコギや（だ）。いそどぶねを漕ぐ 言うてな 一杯つ（沢山）、海女さん乗せて行くね（行くのです）一杯（一隻）の舟い（に）十五、六人つ 乗ってきおった（乗って行きました）。

**いそどごや（磯人小屋）【名詞】**海女小屋。海女が休憩

する小屋。道具を入れたり、暖を取ったり、食事をしたり着替えたりする（志）[会話] 今しや（今は）イソドゴヤな（が）有るけど（が）、昔 なんもねえしなあ（全く有りません）。きもん（着物）いそジョッキと着替えてすると、あがり舟（古舟）のとこい入れとくね（所に入れておきます）。そすと、子ららな（子供達が）潮あびん（海水浴に）来て、引きずり出して、はえさがしとる（散らかしている）時も有るしなあ。雨な（が）降って来ると、濡れる時も有るしなあ。今し（今）、イソドゴヤでなあ 当たったり（火に当たったり）、着替えたり、家みたよんな（のように）畳敷いて じっぱんしとんね（立派にしているのです）。おらな（私達の）時、ひいな（火が）煙って来ると、蔭い（に）来て当たんのん（火に当たるのに）蔭探すのん（のに）、いっしょけめ（一生懸命）で、まぜな（南風が）吹いて来ると、まぜ（南風）の蔭い（に）行こや（行きましょう）言うて。風のかげい、すくだり（かくれたり）しよおったのん（して居たのに）、今しの、いそだ（今の海女は）けなり（うらやましい）様ななあ（だ）言うて。まっくらなっても、電気点けてな。おら（私は）まあ 上がつて来ると、そこどこやないね（それどころでは無いのです）。市場い（に）渡して来（ていて）畑むいて（向って）そらかしよおったのん（走ったのに）今しのもん（今の者）は、とくやなあおもて（得だ思て）。

**いそどひまち（磯人日待）【名詞】**海女が休養のため、集まって会合する事。3月5月6月（旧暦）に行う。

（志（布施田））[会話] いそども（海女も）、日待するわい（します）イソドヒマチ言うて。3月と5月と6月と、その時ん（に）供養や（だ）言うて、ひまち団子握って、みんなん、ふたあつつ（皆にニケ宛）くれて。そして、船霊祭りや（だ）言うて どいらいのおを（大きいのを）、膳へして、おつきい（大きい）皿位んして（にして）、もお一つ重ねて、船霊餅や（だ）言うて、船霊さんへ祭ん（祭るのです）。

**いそどぶね（磯人船）【名詞】**海女が作業に行く船。

（志）[会話] 昔しや（昔は）、節句や（だ）言うて、皆 やまごとな行きよった（陸仕事の人が行きました）。海のもん採らんでも（物採らなくても）、浜い（へ）遊びん（に）行きおったの（行って居たのです）。今しや（今は）、船な（が）無いよって（から）、行かれやせんけど（行けませんけれど）、昔しや、イソドブネにびんしょ（便乗）、こおたり（請うたり）、たて舟（雇い舟）したりして。

**いそなあ（磯縄）【名詞】**海女の体と磯桶とを結んで居

る縄。（志）[会話] 桶へ巻いてある縄を、イソナワ。そして（そうして）おおびな言うな（のは）、腰へ、いそじょっきの上へ、そしてイソナワ、縄を、はさけんならんやんない（はさけなければならないでしょう）。せやもんで（それだから）、縄の帯締めて、昔はのみ（海女の使う鉄製のへら）も しよったもんで（たので）、おおびな言うて 太っとい（太い）注連縄みたいな（のような）、前へ太っとお（太く）して、おおびな言うのはしおったわい（して居ました）。今しは（今は）縄を切ったのするけど（するが）、昔はおおびなを、のおてもろて（なって貰って）言うて、藁で、注連縄みたいな。真中は太っとおして、すそ（端）細そお（細く）して、なえおった。おおびなを、それせんと こしずな（腰縄）から抜けてくやんか（抜けて行くのです）。イソナワを、結び玉し（として）作って 腰へはさけるとやろ（て居るでしょう）。ほと（すると）いそなかねのひぼや言う（と）（紐だと言え）ば 切れてくと（行くと）はざんやんな（いけないでしょう）。そやもんで（だから）おおびな言うて 縄帯をしおったの（して居たのです）。イソナワは、七尋（ななひろ一尋約1.5m～2m迄）十尋位せな（しなければ）桶も三つ位巻かなはざんし（巻かなければいけないし）。そして、深っかいとこ（深い所）入って、足らんと 又 それほどいて（解いて）浅っさいとこ（浅い所）行く時は、又 巻い（として）ておいて 深っかいとこ行くと、桶な（が）張るもんで（桶が引張る）。桶ん（の桶のを）解いて。桶な（が）はって深っかいとか行かれん（行けない）時あんね（有るのです）。そすと 上へ来て、桶はずして 又 それより深っかいとこ行くと、又 はずして、そんで 余裕にな、三つか四つ巻い（ています）とるわい（桶に）。

**いそなあれる** 海底に海藻類、貝類が無くなる

**いそなかね【名詞】**海女が海に潜る時の白木綿の腰巻股結びがあった。（志、鳥）[会話] 磯行く時の 腰

巻 イソナカネ またむすびなついて 今しゃしやせん (今はしません) パンツ履くよって (履くから)。そやけど (しかし) パンツしても、あれせんと ふけてなあ (捲れ上がる) 巻くれてきて、底入って ほおとると (潜水して這って獲物を探して居ると)、背中へ迄捲れてくる。せやで 捲くれん (だから捲れ上がらない) 程度に、結ぶけど (けれど) むかしや (昔は) パンツ履かせんもんで (ないので) パンツの代わりに しおったの (して居たのです)。ここの下前と真中とで、はさめおったの (挟んで居たのです)。

**いそなげき (磯嘆) 【名詞】** 海女が潜水より浮き上がったする大きな息。口笛のように聞かれる。磯は口をすばめて息を出す意のうその変化したもの。なげきは長息の意。【会話】 いそぶえ (磯笛) の事。しおなげき 言うて、出て来ると あれする思うと、楽なんてや (楽なのです)。しおなげき 言うて、息一杯つめて来といて (来ておいて) 上へ来て ホーイ言うた後、どえらい (大変) 楽になるの (のです)。息つめる言うのは こらえる。息こらえて、底で息のある限り這おとるやんな (でしょう)。それを 息一杯。息一杯おって来ると、今度上がって来てから、イソナギすんの (するのです)。まあ かいだり (だるく) て とごってくやんか (沈んで行くのです)。ちょいと (少し) 余裕して (持って) 出て来ると、ええんやけど (よいけれど) 出てこお思うの (出て来よう思っ居るのに) 鮑 見つける、そすと 置いといて来ると (置いて来ると) 忘れたる (てやる) 思て (思って) 息こらして (こらえて)、してくと (取って来ると)、まあとごってくよおなねやんかい (沈んでくようなのです)。そやけど (しかし) 置いといて来ると (置いておいて来ると)、忘れるし、潮が速かったり、濁ったりすると、それへ、こんど再び よお行かん時な (が)、あるわい (あります)。せやもんで (それだから) 無理して、してくんの (してくるのを)、息一杯。

**いそのくちあけ 【名詞】** 磯の解禁日、海藻や貝類の採集の解禁 くちあけ (志、度) 【会話】 イソノクチアケ 言うと、よおい 荒布の口な (が) あいたどよおい (開きました) 言うて、よさり (夜) ふれよおった (触れ回りました)。めえ (若布) の口な (が) あくと、よおい あした (明日) めえの口な (が) あくどよおい (開きますぞ) 言うてなあ、ふれよおったの、クチアケン (に) になると。そすと 貝の口な (が) あいたどよおい 言うて、よさり (夜) ふれんの (触れ回るのです)。クチアケ 言うと、今し (今) で言うど解

禁や (です)。

**いそば (磯場) 【名詞】** 海女の作業をする所 (志 (崎島地方)、鳥) 【会話】 イソバ 言うと、わがとらな (自分達が) 此処い降りよ (に入ろう) 思うとこなあ (所です)。舟、錨 落として 支度出来たもん (者) から 降りて (海に入って) 皆 思いで思いで (思い思い) のとこいなあ (所へ)、行きたいもな (者は) ちつかいとこ (近い所) して おえんでくもん (泳いで行く者) も有るし、舟でまた 其処い (に) 連れてて (ていって) もらうもん (者) も有るしな、作業するとこ (所)。

**いそばた (磯端) 【名詞】** 海岸にある岩礁 (志) 【会話】 島 (岩礁) のあるとこな (所です)。イソバタ 行って島のもん (物) 採るの。イソバタ行こや (行きましよう)。ないざ。波打ちぎわやなしに (でなくて)、そこらにある島。

**いそぶえ (磯笛) 【名詞】** いそなげきに同じ。海女が浮上した時に出す大きな息。(志)

**いそふご 【名詞】** 海女の持つ蓑で編んだ雑物入れ、弁当着替えなどを入れる (志) 【会話】 イソフゴ 言うて 籠、負ねて、磯籠、いそかがり 昔 籠やった (でした)、昔なあ (昔は) ふごで、今しゃ (今) 鞆や (です)。竹の籠で、にじゅうかがり 言うて、それを ひぼ (紐) つけて、負ねてしよおった (して居ました)。

**いそべさん (磯部様) 【名詞】** 磯部町にある伊雑宮の愛称 【会話】 3月は節句な (が) 有って、節句で日待ちするやんない (するでしょう)。5月は5月の節句して、6月あ (は) ごさいな有るもんで (御祭が有るので)、イソベサンへ参ったり、あおのめさん (青峯山) へ詣って、日待ちしよおったの (して居たのです)。イソベサン、ごんち (5日) 上がりごさいで、くだりごさいなるくんち (が6日)。鮫ん (に) 飲まれんよおん (ないように) 言うて、あしこい詣いんねけど、そんでも (御詣するのたがそれでも) 運な (が)、悪るけや (ければ) あれやしなあ (駄目です)。

**いそまげ 【名詞】** 海女が作業する時に頭髪を結う髪型。髪を引きつめ小さく巻いて結んだもの (志 (崎島)、鳥) 【会話】 二本指でまるけといて (丸めておいて)、きゅつとな、昔は 皆 イソマゲやった (だった)。

**いそめがね 【名詞】** 海女が作業中使用する眼鏡。(志、鳥) 【会話】 水中眼鏡な (です)。イソメガネ 一つ眼鏡 (両眼共一ヶの枠内に入れる) になったのは、わしらな (私達が) 十五・六の頃やった (でした)。私ら明治三十三年生まれやよってん (だから) それ迄は、

二つ眼鏡や(です)。二つ眼鏡の次に 鼻出して そんなで今度は そんな(それが) 終わってから、今度は ブタ眼鏡や(だ) 言うて、鼻を入れてすんの(するの)がはやって来たの。いまし(今)の眼鏡 一つ眼鏡な(です)。それ迄は鼻を出すの、はやって来て。今し(今の)一つ眼鏡でもなあ。始め掛けた時は、息を 底で ちょいと吸うたると(少し吸ってやると)喰いしばって、それを ちょいと 調節して、ふうんとすると、ええんやけど、始めそんな(それが) 判らん時は、しきしめてくるんや(引きしめて来るのです)。慣れて来ると、しきしめて来た思もたら(思ったら)鼻でふんふんしたるとええんやけど。

**いそもぐさ(磯物)【名詞】** 毒くらげの一種 かぎのてくらげ 傘穹陵状で寒天質は硬い。直径は15~20mm位である。4本の放射管と、短い口柄と多数の触手とをもっている。触手の先端近い所に吸盤をもっている。本水母は三崎から九州までに産じて、あじもの中に棲息しており、初夏に産する。よく遊泳する水母でなかなか活撥である。本種とよく似てやや小形のものに、きたかぎのてくらげがあり、東北地方から北海道にかけて産し、ほんだわらの中に棲み、時に刺胞毒が烈しいことがある。[会話] イソモグサ言うな(のは)、まるくとおて(丸くて)、わじゃわじゃと口なよけ(が、沢山)有って、そんなどいらい(それが大変) 毒な(が)有って、房が引付くと、どいらい、体な(が) 苦しなつてくんの(苦しくなつてくるのです)。口な(が)、わいわいしとるの(して居るのです)。そんな当たると、どいらい害すんねやんかい(害をするのです)。どいらいぐあいなわりなつて来て(具合、調子が悪くなつて)、海女も、ふつか、みつか(2.3日) 休まな よおせんよおなつてくの(休まなければ出来ないようになって行くのです)。

**いそもっぱ【名詞】** 海女が休憩中に羽織る上着(志(安乗)) [会話] あがって(陸に上がって)来てから着るのは、イソモツパ言うて、裕の家できやれんよおん(着れないように)なったのを、イソモツパンしょおや(にしましよう)言うて。

**いそもん(磯物)【名詞】** 1) 磯着 2) 海の岩礁に居る食用になる小貝類の総称。すがい くばたがい スガイ リュウテンサザエ科の巻き貝。殻長約2.5cm 殻は厚くほぼ球形、殻表は緑褐色で青黒いものが多い。殻口の蓋は石灰質で厚く酢につけると気泡を出しながら動く。肉は食用。イボニシ、イソダタミ、クマノコガイ、ヘソアキクボガイ、オオヒゲガイ、クボガイ

イ、スガイ、ウシノアシ、パテイラ、マシダカガンガラ(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、尾、南) [会話] 1) 海女行った時、いそぎ(磯着)を、イソモン言うた。2) そいで(そうして)貝も、イソモン言うて(言つて)食べるイソモンも有る。イソモン言うのは、ちっちゃい(小さい)のを、そいで(それで) オオイソモン言や、ちよいと(言えば少し) おっきいのおを(大きいのを)、針でむくの(のです)。浦(浦海)でとて来る(採つて来る)のは、ちっちゃいので、あおしたや(とか) しくだめや言うて、沖で採て来る大きいやと(だと) オオイソモン言うて。あらめかりも、いそもんやなあ(です)。昔 あらめかりすると(食べると)、腹な(が) いたなつてくんど(痛くなる。痛くなつて来るぞ) 言うて(言つて)、喰わざつたけど(食べなかったけれど)、今し(今) あらめかり、ねえ(値段) な、ええの(良いのです) あれのほおな(が)、皆ほつたりおつたのに(捨ててしまつて居たのに) あらめかずくと(採ると)、はんぎりな(桶に) たまつて皆ほつたりおつた(捨ててしまいました)。あれ喰わざつたわなあ(食べませんでした)。腹な(が)、いとなつてくんど、いいよつたもん(言つたから)。もの すごお、ねえなええのな(大変値がよいのです)。そいで(そうして)又、おいしいのな、食べると。あおした言うな、ふさな(が) 付いとても(て居ても)、やいこい(柔らかい) ふさな(が) 付いとんの(付いて居るのです)。しくだめ あんもおおて(甘くて)、おいしいんけど(おいしいが) こまこおて(小さくて) わしら(自分) らの、小さい時分(時)には、潮な(が) 干くと、今日は潮な(が) 干いとるよつて(て居るから) 浦い(へ) イソモン拾いん行こや(に行きましょう)言うて、そいで 拾いに行きおつた(行きました)。そすと、鍋一杯有って、それ炊いていて(ておいて)、折れとる(折れている) 針でむいて、ひとしきりいつ(長時間)、かかつて。こおとなうち(儉約して居る家)は、イソモン捨て来ると、しんしょ(身上 家計)の損や(だ) 仕事出来やせん(出来ない)言うて、それむいて喰とんの(食べて居るので)。せやけど(だがしかし) そいなもんしか(そんな物より) 無いもんで(無いので) 拾てたべんの(食べるのです)。そいなもん喰うの(食べるのが) はりあいやつたん(うれしかったでした)。

**いそやけ(磯焼)【名詞】** 1) 海水が変化して(低塩化) 生物が被害を受ける現象、海藻などが死滅して一

面に岩肌が表れる事もある。2) 海女に行つて体や顔が黒くなる事。[会話] 1) イソヤケで、磯場な(が) なんも (全く) なしん (に) なる。磯な (が) 荒れたなあ言うて、盆、過ぎると 真っ白んなつてくのなあ (になつて行くのです)。磯な (が) 荒れて、まあなあ、あがり磯みたよなあ (終わりの海のように) 言うて、真っ白ん (に) こけな (海藻が) 無いよんなつててなあ (よになつて行つて)。盆まではなあ 荒布や なんやかや (いろいろ) で、くうろお (黒く) して、島もあっこお (赤く) して、しとんのんなあ (しているのに)、盆過んでくと (で行くと) 不思議や (です) 真っ白んしとんの (にしているのです)、島の上ななあ (が)。2) 体な (が)、顔な (が) くうろお (黒く) なつたり すんな (するのは) おおた (ああ) イソヤケな (が) して あやあれ (あれ) 言うてなあ。くうろお なつたりな、かあな (皮が) 剥けたりする時な (が) 有つてなあ、おおた、イソヤケな (が) してあやれ 言う時な (が) 有るけどな (有ります)。

**いそんで (急)** 急いで [会話] イソンデ、行たり (行つたり) 来たりするとなあ、忙がしそん (そうに) やんやん言うていた (行つた) 言うて。

**いそんどる (急)** 急いで居る [会話] おおまげもんに、こまげもん、おおたかべに、こたかべ言うて その言いのくいのを (言いぬくいのを)、早口でちよつと、イソンドルと、言われやせんの (言えないのです)。

**いた (行)** 行つた 行つて 行つたの促音が略されたもの。(志 (布施田)、鳥、鈴市、安、一、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] イタて、行くのを、イタて。

**いたいた (痛痛) 【名詞】** 1) 傷 幼児語 2) 叱る時 痛い目に合すを言う 幼児語 (上、阿)

**いたいたし (痛々) 【形容詞】** 非常に可哀想だと感じられるさまで有る。大変哀れである。いたましい意の語幹のいたしを重ねて意味を強めたもの。

**いたいたしげ 【形容詞】** 1) 非常に可哀想と感じられる 気持、様子 2) 見えていて気の毒だと感じられるさま、弱々しいさま [会話] 1) 2) 弱々ししとて (弱々しくして)、あの人言うて。見たのも、イタイタシゲな なあ (だなあ) 言うて。

**いたがこい (いたがこひ) (板囲) 【名詞】** 家の周囲に張つてある板

**いたかべ (板壁) 【名詞】** 板で張つた壁

**いたされた** された 盗られた 盗まれた [会話] 盗

られたんのも (てやるのも)、ゆわされた (盗られた)、イタサレタ言うの (言うのです)。イタシテタねえ (たのだ) 言うてなあ。なつとも言わんと (何も言わずに) もてくと (持つて行くと)、あや (彼は) まあ いたして来たんどお (盗んで来たのだ) 言うて あれん (彼に) イタサレタよお (てしまった) 言うて。

**いたされたた** やられてしまった、盗られてしまった いたされた参照

**いたされる 【動詞】** 盗られる うまくやられる

**いたじき (板敷) 【名詞】** 床を板張りにすること。又そのような場所。板の間 床が板張りで畳の無い所 (上、阿) [会話] イタジキ言うな (のは)、いたのま あ (板の間です)。畳のとこん (所に) ちよいと (少し) 板な (が)、板畳言うて有りよおつたやんかい (有つたで有りませんか)、あがりたてにやなあ (入り口には)、板畳な あよおつたけどなあ (ありました)。板畳言うて 畳のとこ (所) に はあ (半端) になるととこ なあ (所です)。四畳半とか、半になるととこ (所) 板畳。板をなあちよいと (少し) 脚付けて 畳位の高さん (に) してなあ、板畳敷いて言うてなあ あんで (あれで) 畳な (が) 足らん もんでやろ のお (足らないからでしょう)。

**いたしてきた** 盗つて来た 盗んで来た 自分の物にして来た [会話] あや (彼は) イタシテキタんど (のだ) 言うてな。なつとも ことわり (なんとでも許可) なしん (に) もてくと (持つて行くと) イタシテキタんなあ (のだ) 言うてな。盗んで来た なつとも ことわり なしん もてくのなあ (持つて行くのです) あやまあ (彼は) あしこい、いたよつて (あそこへ行つたから) あれ、イタシテキタんなあ (のだ) 言うて。

**いたしてた** 1) 盗つて行つた。2) 死んでしまつた [会話] 1) やつつけられた。盗られた言う時ん (に)、あれん ゆわされたよお (彼に盗られた) 言うて、やらまい おもとんの (あげない 思つて居るのを)、もてたおりん (持つていつた時に)、盗まれたとか、とられた言うのを、やられたた (してやられた) 言うて。あんな (彼が)、ゆわしてんなあ (盗つて行つたのだ) 言うて。イタシテタ言う時も有るし。あんな (彼が)、イタシテタんかして 無いわれ (盗つて行つたのとみえて有りません) 言うて。

**いたしてたんかして** 盗すんで行つたのか いたしてた 参照

**いたしとられ** 1) 死んで居る 2) 盗んで居る [会話] 1) 死んどの (でいるのを) 見た時も、イタシ

トラレ言うて。

**いたす(致す)【他サ五】** 取る 盗む イタル(至)の他動、スル(爲)の敬語。戯れに敬語を使用する。イタスは致にて何にも用いる字なれど、此のイタスは、物をカスメ取イタスの方に必ず好き方には用いず(宇治地方の秘言)(伊)【会話】 あれ、いたして来た言うて、なんか(何か)よそのうちのもん(物)黙って ちょいと貰おてこん(少し貰って行こう)言う時、いたして来た。あのうち(彼の家) よつけ干しとたよつて(多く干して居たから) ちょいと、いたして来たよお。ぬすで(盗んで)来た言うより、ええやんかい(良いではありませんか)イタスで、ぬすで来た言うとなあ げす(下司)で 聞き取りな悪りけど(悪いけれど)聞きとりよお(よく) ちょいと、イタシタヨオ。

**いたずらもん(いたづらもん)【名詞】** 悪戯者 悪戯をする人

**いたた(行)** 1) いたの過去形。行ってしまった。(志) 2) 行ってやった(志(布施田))【会話】 1) まあ イタタレ、まあ イタタ、いってしまった。

**いただき(頂、戴)【名詞】** 頭のてっぺん。頭頂 物の一番高い所。山の一番高い所。頭上。動詞 いただく 戴の連用形の名詞化いただく参照(尾)【会話】 イタダキ言うて一番上、頂上、山のイタダキに言うて言う やんかいなあ(言います)頂上の事をな、あしこの(あすこの)山のイタダキに言うてな 頂上い(に)登ると。

**いただく(頂く、戴)【他カ下一】** 女性が物を頭に乘せて運搬する。(志、鳥、度、南)【会話】 イタダキ言うのは、物を頭に乘せてすんのをイタダキいうし。昔や(は)、皆 頂いて、わあ(輪) こしやえて(作って) こえ(肥料 大小便せせなぎ等)も皆イタダイテ、藁で編んで まあるくたいわあ(丸い輪) こしやえて頭に乘せて たあご(肥桶)も イタダキよつた(頂いて居ました)。かぶったりして(浴びたりして)、かぶった人もあつたんてわな(有ったそうです)。たごも、湿しとけよ(しておきなさい)言うて、宵から湿してなあ。私らの母親の時分は、そんなんやつたんなあ(そんなのでした)。イタダイテ 坂、上がつて、わし(私)、かあさん(母親おかあさん)のイタダキの見とて(見て居て) そすと ひとくらん(そうすると一度に)頭の上、やられやせん(頭の上にあげられない)。すね(膝)へ、こおひとつ置いといて(一回置いて)それから、すねから肩へ、ちょいと据えとく

(少し置く)それから 頭へやあ言うてイタダク。それを わしら 子供の時分(時)に 見とんね(見て居るのです)。わしら、それまねして、ちっちゃい(小さい)時分に、かしおけ持て来て、すねにしといて、そおして イタダク真似しおつたの(して居たのです)。宵になあ、はしやんどるもんで(乾燥して居るので)、水入れて湿しとくんやけど(て置くのだが) えごつと(充分に)湿った思てするやんない(思てするでしょう) そとなあ(すると) ごぼんと、頭へ落ちて来てかぶる(浴びる)人も、あつたんてわい(有ったそうです)。弱つて(困って)、あるわいなあ(あります)。底な(の) わあな(輪が) ちょいとゆるんどるな(少しゆるくなっているのは)、幾ら湿しても。私らな(が) 担う時でも、ぼたぼたぼたぼた零してなあ。底な抜けてかな(抜けて行かぬば 抜けなければ) ええのんおもて(よいのに思て) はらはらしいもて持ちよつたもんなあ(しながら持って居ました)。頭に乗せる輪、輪は打った藁で、まるけといて(丸くして) 3組にじっばん(立派に) 組んで、ひぼ(紐)付けて ちっちゃい(小さい)のから、おっきい(大きい)のから 帰りんなると、その輪ばな(を)、たあごのてえ(握り手) い、さんがらかして(吊らして)それを、こんだ(今度は) 肩へ掛けて、そして 畠ん(に) 有る 麦藁でも何でもイタダクので、肩へ掛けて、しゃく(杓)入れて、かたこと、かたこと 言うて、へえへつて(屁ひつて) 杓も入れて、かたつぽ(片一方)を 肩へ掛けて、頭へ畠で、たきもんやと(焚物だろうと) 何やと(何かと 何でも) かえりに(帰り荷)に、帰り掛けの駄賃に、イタダイテ 来んね(来るのです)。たんご、肩へ掛けて、杓も入れて、かたこと、かたこと、屁が出て来ると、びたくた、びたくたひよおし(拍子 調子を取る)入れて、そげん(そんなに)して、わしら、子供の時分みよつた(見ました)、かあさんらのすんのを(するのを)、見とりおつた(見て居ました)。あや、あれかぶるとなつとするかいなあ(何とするのだろう) 思て(思つて)。

**いたたみ(板畳)【名詞】** 板の下に棧をつけ畳の高さにして畳の代わりにしたもの、少しの隙間を埋めるのに用いた 畳の代わりに、板に畳の高さだけ脚をつけたもの【会話】 イタダミ言うて、畳のとこ(所)に はあ(半端)になるとこ、四畳半とか はん(半端)になるとこ 畳 敷かんと(敷かずに) 板を ちよいと(少し) 脚付けて、畳ぐらいの高さん(に)し

て、イタダタミ 敷いて言うて あんで (あれで) 量な (が) 足らんもんでやろのお (のでしょう)。

**いたたない** 1) 行ってしまった 2) 行ってあげました [会話] 1) あっちゃえいたない (あちらへ行った)、イタタナイ、いたたよお (行ってしまった) 言うて。

**いたたよお** 行ってしまった。いたたない参照

**いたたら** 1) 行ってしまったら 2) 行ってあげなさい 行ってあげては [用例] 1) あんな (彼が) イタタラ。かしん (菓子) くおや (食べましょう)。

**いたたれ** 1) 行ってしまった。2) 行ってあげました。  
(志) [会話] 1) イタタレ 今し (今) イタタレ言うね (言うのです)。行ってしまった言うの (のを)、イタタレ言うの (のです)。2) イタタレ まあ おんな (俺が) 言うて。お前な (が) 行く言うとたけど (言っていたが) まあ お前行かせんし (行かないし) おんな (俺が) イタタレ言う時も あんな (有ります)。行ってしまったと、私が行きました言うのと あんな (有るのです)。

**いたち** 【名詞】 魚名 あいなめの一種 くじめ イタチウオ科の海魚、全長約 60cm で体色はイタチの毛色に似て茶褐色、背鰭、尾鰭、尻鰭はすべてつながっており、上下の顎にそれぞれ三対のひげを持つ。顔、体色がいたちに似て居る。(南、熊) [会話] 魚にも、はつと、言う魚なあんなあ (有ります)。イタチ言うのもあるし (有ります)。おおび (鮑) 獲んのん (獲るのに) 島の下見ると イタチや (だ) 言うてな くうろい (黒い) のおな (のが) 髭 生やしたのおな (のが) おって (居て) 気持な (が) わりいて (悪くて)、おえんでは (泳いでは) おらせんなあ (居ません)。島の下影 みたよん (のような) とこん (所に) すくんどんねてや (ひそんでいるのです) 覗きん (に) 行くと イタチな (が) おって (居て) いやらしんよお (気持ちが悪い) 言うて。

**いたちごぼち** いたちを捕らえる罟。[会話] 狸ごぼち、よお (よく) 掛けて有って、山行くと挟まれんの (挟まれるのが)、有るやんかい (有ります)。鼠ごぼちやとか (だとか)、イタチゴボチな (が)。

**いたちころしんいく** 畑の畝作りに、往復で作らず、一つ作って又、次を作る時、最初の位置から作る事。[会話] 畝、使うのでも、左ですと畝な (が)、いがんでく (曲がっていくのです)。左からよおあげん (で) (よく作らなくて)、もとのとこ (始の所) 戻って、右からして来ると、イタチコロシニク。言うて。

もとのとこい戻ってくと (行くと)、イタチコロシトラレ (て居る) 言うて、笑われおったね (笑われて居たのです)。

**いたちのかんじべ** 【名詞】 いたちの最後尻 (志 (布施田)) [会話] イタチノカンジべ (尻) 言うて、危機一髪に出すのを、それかんだら (嗅いだら)、ほん (本当に) 半年も物喰われやせん (食べられない) 言うて、それ出したと (出してやると)、わがとは (自分は)、あんで (あれで) 気な (が) 抜けたよおんなってくん やるな (になて行くのでしょう)。そやけど (それだけれど)、それ嗅ぐと、そのにげや (人間は)、ひと月位飯喰われやせんてわい (食べられないそうです)。そやよって (だから)、どぎつい (大変臭い) 尻へると (すると)、こや (これは)、イタチノカンジべや (だ)。

**いたちのくっしよめ** 【名詞】 正確に合う事 [会話] きちん 言うわな (言います) そやよって (だから) なんでも 物な (が) きちんと合うと、イタチノクッシヨメやなあ (だ) 言うわい (言います)。

**いたちめめよし** 【俚諺】 いたちめめよしの事。いたちの醜い顔をわざと器量がよいと反対に言う語。いたちを誘い出す時に言う。

**いたちんぼ** 【名詞】 槇の木の実 槇の木 ちんぼ 陰茎 実の形態が似て居る [会話] イタチンボ言うのは、槇の木へ、先なああおおて (青くて) みいん (実に) なんと、あっこお (赤く) なって来るのな有るやんな (有るでしょう)。

**いたちんぼのきい** 【名詞】 槇の木 [会話] イタチンボの木は槇の木。

**いたて** 行っても (阿) [会話] のらな (お前達) イタテ なんの役に立つやあ (立つのか)。

**いたて** 1) 行ってしまつて 2) 行ってやった [会話] 2) いたたれ (行ってやった) 私が行ってあげました。どこそこの仕事い (に) わしな (私が) イタテ。いたてくれ。いたてくれえ。いたてくれや 行ってやって下さい。

**いたてて**。いたててな 行っても [会話] イタテテな、イタテテ あいそ (挨拶) もして呉れやへんし (ないし)、あしこい (あすこへ) イタテテ なんも (少しも) ごつあ (御馳走は) 無いしたら (とか) 言うて。イタテテ、なんも呉れんねないしなあ (なにも呉れない) 言うて。

**いたてや** 行きました [会話] イタテヤ あれも (彼も) 此処い (に) 来たけど (が) イタテヤ言うて、行

ってしまった。おんな イタテヤ、私は行きました言うのを、おんな (俺が) イタテヤ。おんな (俺が) いてきたれ言う時も有るしな。おんな いたられ (行つてやる) 言う時も有るしな。いたられ言うて、のおないかんでも (お前が行かなくても) おんな、いたられ まあ言うて。

**いたど** 行った 行ったぞ [用例] そっちゃい (そちらへ) イタド はよつかめえ (早くつかまえなさい)。

**いたど (板戸) 【名詞】** 板で作った部屋の仕切りの戸 (南) [会話] 障子の替わりに、とおな (戸が) 有り よったやんかい (有ったで有りませんか)。板のとおな (戸が)、納戸のとお (戸) は 皆 板でしてあるやんかい (して有ります) それをイタド。

**いたとこ** 1) 行った場所。いたとこ参照 2) 行つても

**いたとこしょうぶ (行所勝負) 【名詞】** 無計画 無方針 出たとこ勝負。計画や準備をしないで、その場のなりゆきで事を運ぶこと。行き当たりばったり。一貫した予定や計画も無く、その場その場のなりゆきにまかせる事。[会話] イタトコショウブやまあ (だ)。取ったか見たか、イタトコショウブや (だ) 言うて 言う事な (が) あんなあ (有ります)。取ったか見たかで、ええか (よいか)、わりか (悪いか) 判らせんけど (ないが) まあ イタトコショウブ言うてな、取ったか見たかで いてみるや (行つて見よう) 言うて。磯場賭けん (る) のもなあ、あしこは (あすこは) 今迄 いたこた (行った事は) 無いけどなあ (が) 取ったか見たかで 行てみよかあ (行つて見ようか) 言う時な あんね (が有るのです)、かけんのんな (賭けるのです)。どおあれ いてみよか 言うてな 獲れんか 判らせんけど イタトコショウブでいてみよや (行つて見ましょう) 言う時なあんね (が有るのです)。

**いたとこぼったり** 偶然に出合う事

**いたとこべったり** 行った先々で長居をすること。[会話] 行たとこ (所) 行つて、べったり喋べつとるのな (て居るのを)、イタトコベッタリ。

**いたタン 【名詞】** 表面が平らなトタン板 [会話] なみいたやなしん (波を打っているでなくて) じべたんのおは (平滑なのは) イタタン。

**いたどま 【名詞】** 船 船首の部分で板で張って、物を入れたり、寝たりする所。かつば [会話] 舟のかつば (船倉) は、雨な (が) 漏らんよおん (ないように) 言うて、張つてあんの (有るのです)。そのかつ

ばの中い (へ) 皆 布団入れて、今はカバー張るけど (けれど)、昔しや (は) 板で、イタドマ言うて、板い (へ) つけて 雨覆いにすんの (するのです)。

**いたない** 行きました 行った [会話] あつちやい (あちらへ) イタナイ、いたない (行つてしまった) 言やええのん (言えよいのに) イタナイ まあ いたたよお (行つてしまった) 言うて。

**いたない** 痛くない (伊、熊) [会話] なんも (全く) イタナイ。年寄り打つても、なんもなあ (少しも) いたのおておつて (痛くないのに) うるくさな (皮下出血が) いつてくんの (出来て来るのです)。

**いたない** 居たくない

**いたなる (痛)** 痛くなる (伊、熊) [会話] それしたら いとなつてくんど (痛くなって来るぞ) 言うてな イタナル、薬つけとかな (ておかなければ) いとなつてくんど 言うて。

**いたのおておつて (痛)** 痛くないのに [会話] 年寄りは打つても、なんも (少しも)、イタノオテオツて、うるくさないつてくんの (皮下出血がして来ます)。

**いたぶき (板葺) 【名詞】** 屋根を板で葺くこと。又その屋根の有る家 葺、瓦葺に対して言う。

**いたま (板間) 【名詞】** 板を張っただけで畳の無い所

**いたまし (痛) 【形容詞】** 相手を憐れみ、同情して心が痛む様。可哀想で見るにしのびない。いたましい 動詞 いたむ (痛) の形容詞化 [会話] イタマシよおななあ言うなあ (だ言います)、痛々しいよおななあ (だ) 言うのを イタマシ言うね (言うのです)。かわいそげな (可哀想だ) よおななあ 言うのを イタマシよおななあ 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**いたみ (痛、傷) 【名詞】** 1) 傷や病気などのために、体に苦しみを感じる事。苦痛。2) 器物、衣類、建造物等に、傷がつく事。破損。特に飲食物が腐る事。[会話] 1) イタミなやまらせん (が止まらない) 言うてな、ここ打つたや (打つたら) 薬つけたけどなあ (が) イタミな (が) やまらせん。

**いたみどめ (痛止) 【名詞】** 痛みを止めるための薬

**いたみもん (痛物) 【名詞】** 1) 腐った物 2) 腐りやすい食品

**いたむ (痛む、傷む) 【自マ五】** 痛 1) 肉体のある部分に痛さを感じる。苦痛や悲惨な状態を思い浮かべ、胸がしめつけられるようになる。なやみに思う 悲しく思う 傷 2) 出費が多く、それを負担に感ずる。3) 長い時間が経ったり、しばしば利用されて、部分的に壊れたり切れたりする。[会話] 3) 物な (が)

壊れる事なあ(です)。壊れてく(壊れて行く)。量な、擦り切れて、イタム よけ(多く) しごく(こする) と言うて。<sub>2)</sub> ほすと、自分に割り当てがおおおて(多くて) 負担に感じるよおな時も、財布な(が) イタム。<sub>1)</sub> そすると、腹が痛い。胸が痛いとか、腹を痛めた。よけ(余計 多く) 喰いすぎて腹、痛めた。なんか、こお ものすごお悲しいよおな事のあつたり(があつたり)、人にひどい事 言われたりしたら、胸がイタムわなあ(痛みます)。

**いためつける(痛付)【他カ下一】** 精神的、肉体的に苦痛を与える 厳しく責める [会話] イタメツケラレタ言うて、人を苛める事をな、イタメツケル。あれに(彼に) 言うてな、苛めるよおな事言うて、あれん(彼に) イタメツケラレタよお言うてな 苛めるとか。

**いためもん【名詞】** 油で炒めた料理。

**いためる【他マ下一】** 1) 炒める 鍋に油などを引き過熱した所へ材料を入れ、掻き混ぜながら高温で火を通す。油にて煮固むる意。イタム(傷) オ、カタムル(圧、固) 意(大言海) 2) 痛める いためつけるひどい目にあわす 痛い目にあわせる 悲しませる 3) 傷つける 壊す 4) 腐らせる [会話] <sub>1)</sub> 油でイタメルとか、<sub>2)</sub> 人をやりつけて(やり込める) まあやり込めてすんの(するの) いためつける言うのもあるし(有ります)。<sub>3)</sub> 腹の(が) イタメル。よけ(多く) 喰い過ぎて腹イタメル言うて。

**いたや(行)** いたら 行ったら 行ったならば(志、安、北、南) [会話] あしこい(あすこへ) イタヤ 人な おって(が居て) 言う時も有るしなあ(有ります) あしこい イタヤ 人な おって 戻って来たよお言うて。イタヤ言うのは 其処へ行ってみたや(見たら) 人なおるもんで(が居るので) 戻って来たよお 言う時ん(に) そお言う事を使うのな(です)。

**いたやね(板屋根)【名詞】** 板で葺いた屋根

**いたら** 行ったら(志、安、北、南) [用例] 伊勢イタラ 土産くれよお(下さい)。

**いたらざ** 行って上げます

**いたられ** 1) 行ってあげます 2) 行ってしまう [会話] <sub>1)</sub> おんな(俺が) イタラレ言うて のおな(お前が) 行かんでも おんな イタラレ言うて。

**いたらん(至)** 1) 不十分なさま 行き届かない 2) いたらん事。つまらない事。むだな事。[会話] <sub>1)</sub> まあ イタランでなあ。ちよいと(少し) 間に合わん言う事やる(事でしょう)。イタランもん(物)を言うよって(言うから) <sub>2)</sub> イタラン事してなあ。

**いたらん** 行ってやらない

**いたらんかい。いたらんかな(女性語)。いたらんかれ** 行ってやりなさい

**いたりきたり(行来)** 行ったり来たり。交際。いきき参照(志(布施田)) [会話] イタリキタリ ひゃっぺらぺん(百度、幾度) もするわ(する) 言うてな。イタリキタリすると さいご(その時)、イタリキタリ、ひゃっぺらぺんも 百度参りやなあ(だ)、言うてな。イタリキタリする言うて、交際しとんの(しているのを)、あしこと、したして(あすこと親しくて) よお(よく) イタリキタリすんなあ(します) 言うてな。

**いたる(行)** 行ってやる

**いたるところ(至所)【名詞】** 行くさきざきすべて。どこもかしこも、すべて。あちらこちら 方々。[会話] イタルトコい(に) いん(犬)の糞たれとるてやら(していると)、いたとこで言うんやんかい(言うのです)。今しは、イタルトコやけど(だが)、昔はいたとこで、なんでも(なにでも) あげんして(あんなにして) 言うて。

**いたれりつくせり** 1) 用意周到 2) 待遇がよい

**いたわい。いたわいな** 行きました

**いたわし(いたはし)(労)【形容詞】** 1) 痛々しい 弱々しい(志(布施田)) 2) 可哀想だ [会話] <sub>2)</sub> イタワシ言うたら、弱々しい人で、使うの イタワシなあ言うて、弱いもん(者)を使うのを、可哀そげな(可哀そうだ) 言う事や(です)。

**いたわしがる(いたはしがる)(痛)【他ラ五】** 気の毒に思う気持ちを外に表す。不憐に思う。形容詞いたわしいの語幹に接尾語“がる”のついたもの。[会話] よわよわしとる(弱弱しくしている)、あの人 体な(が) 弱わそおで 痛痛しなあ(しいです) いたわし よおなあ(ようだ) 言うてな。いたわし よおなあ(ようだ) 使うのに言うて、かわいそげな(可哀相だ) 言う事やわいな(です)。かわいそげな よおなあ 言うのを、いたわし よおなあ(ようだ) 言うて、ひよひよしとて(していて)。イタワシガルは 可哀相に思う。

**いたわしげ(いたはしげ)【名詞】** 気の毒と思われる様子。いたわしさ [会話] 弱弱し、しとて(しく、していて)、見たのも イタワシげなあ(だ) 言うて。

**いたわる(いたはる)(労)【自ラ五】** 1) 大切に扱う ねんごろにする 2) 養生する [会話] <sub>1)</sub> イタワツタラナ、かあいそげなれ(てやらねば可愛想だ) 言うて。イタワル言うのは、情を掛ける言うよおな意味

やんかな (です)。可愛そおななあ。なさけ掛けて。  
手伝ってやらな (やらなければ) 可愛そおやなあ  
(だ)。よお歩かん (よく歩けない) よおな人のてえ  
(手) 引いたる (てやる) とか、そお言う場合な  
(が) イタワル。<sup>2)</sup> 自分の体をイタワル。病気の後の  
時とか、あんまり (余り) 無理せん (しない) よおに  
言うて。

いだん いらない 不要 いなん参照 (三重県) [会話]  
おら そいなもん (俺はそんなもの) いなんわれ言う  
て、いなん言うのも有るし。イダン言うて、だんつけ  
るのも有るし。

いたんて 1) 行ったそうだ 2) 行ったそうですね  
[会話] <sup>2)</sup> あんた (貴方は) 富士山へ イタンテ。

いたんどり (虎杖) 【名詞】 いたどり タデ科の多年草  
各地の山野、路傍に生える長さ1m内外、茎は中空で  
節を持ち 若い茎には紅紫色の斑点がある。葉は5～  
15cmの広卵形または、卵状楕円形で先が尖る、雌  
雄異種で 夏、白または淡赤色の小さな花が葉腋に縦  
状に咲く、果実には翼がある。若い茎はやや酸味を帯  
び食用となり、根茎は利尿健胃剤などとされる。(志  
(船越、片田、布施田、浜島、越賀)、鳥 (加茂)、安、  
一、阿、張、名、南) [会話] イタンドリ言うのは、  
はあ (葉) の ひいろいのを (広いのを) めえ (芽)  
は、正月に焚くやんか 煮豆とか。豆いる (煎る) 時  
も、イタンドリ 焚くやんか (焚くで有りませんか)。  
煮豆を、わしら (私達) ただみの木はたくけど (焚く  
けれど) イタンドリは、たかせん (たかない)。

いたんどる 傷んでいる 腐って居る [会話] 食べも  
ん (物) が腐って来んのも (くるのも) いたむ。まあ、  
イタンドルかして (でいる思われて) なめなめしとら  
れ (して居る) 言うてなあ。糸引いてくるやんな (で  
しょう)。あれを なめなめ あめて (腐って) 来る  
と、糸引っ張ったよおにして来る。糸引っ張っとられ  
(ている)。あめとるよって (て居るから) 喰うな  
(食べるな) 言うて、

いち (一) 【名詞】 海魚 めいちだい 眼一鯛 フエフキ  
ダイ科の海魚 全長40cm程になる。体は卵形で、  
側扁する。体色は青紫色で腹は淡色。目から頭にかけ  
て、褐色の帯があるので、此の名がある。美味 南日  
本以南の沿岸の岩礁付近に住む。(志、鳥、度)

いちいち (一一) 【名詞】 【副詞】 一つ一つの意。こまご  
まと。ことこまかに。(南、上、阿) [会話] ひとつ  
ごとと (ごとに) なんやかや (あれこれと)、いなん  
事 (いらない事 余計な事) 指図して、イチイチあげ

な事言わんでも (あんな事言わなくても)、ええのん  
(よいのに) 言うよおな事やなあ (です)。イチイチ  
めんどくさい (面倒くさい) 事 聞かんと、たいがい  
に (聞かずにたいていに) しとけ (しておけ) 言うて。  
たいがいにしとかええのに (しておけばよいのに)。  
イチイチそいなこと問わんでも (そんな事問わなくて  
も) 判つとるやんな (判っているだろう) 言うて。

いちがい 【名詞】 1) 自分の意志を押し通すこと。強情  
な様。片意地 頑固一徹 いちず (志 (浜島、布施田、  
鶴方、神明、立神、志島、甲賀)、鳥) 2) 馬鹿正直  
(志) [会話] <sup>2)</sup> イチガイにも正直すぎて、イチガイ  
な (に) 言うの (のです)。正直に こげん言うたら  
(こんなに言ったら)、それを イチガイに守りつめ  
る言う事やなあ (です)。あんまりそればっか (あま  
りそればかり) 思いつめとて (ておって) 全然他の人  
の言う事も聞かせん (聞かない) 言うのも、わがとな  
(自分が)、思た (思った) 通り、イチガイに守りき  
っとんなあ (守り切っている)、<sup>1)</sup> わがと (自分の)  
の思た事、イチガイに守りつめとんねど (て居るの  
だ)、言うて。

いちがいきちがいあほのうち 【俚諺】 あまり馬鹿正直な  
のも馬鹿と同じだ (志 (布施田)) [会話] イチガイ  
キチガイアホノウチ 言うて あんまり (あまり) 一  
概な にげ (人間) は、いづうな効かんで (融通が効  
かなくて)、これ貸して呉れ (下さい) 言うて、ええ  
そやま (いやそれは) 隣の家ののおやよって (ものだ  
から)、あの家 いて (行って) 聞いてこな (来なけ  
れば) 貸されん 言うてな、いづうな 効かせんのを  
(ないのを) イチガイキチガイアホノウチやれ (だ)  
言うて、ちよいと貸って (少し貸りて) つかやええわ  
い (使えばよろしい) 言やええねけど (言えばよいの  
だが)、そや (それは) 隣 いて 聞いてこな、隣ん  
ねよって (ものだから) 言うて、堅苦し (しい) こと  
言うるとと (言っていると) いづうな 効かせん 言  
うてな イチガイモ キチガイ アホノウチや (だ)  
言うて、一概ん (な) 事ばっか (ばかり) 言うとても  
(言っている)、その時ん (に) よって はざん  
(駄目) 時も有るし、嘘も方便 ところに依って 宝  
ん (に) なる 言うも (言うのも) 同じ事であな、ち  
よいと、いづう 効かしやなあ (せば) 便利はかった  
やええよおなもんやけど (計ってやればよいようなも  
のだが) そのいづうな 効かんのをな あんまり 一  
概で あやまあ堅苦し (彼は堅苦しくて) 小麦団子  
で かつたいばっかで (堅いばかりで) まあ言うて。

いちがいじん (一概人) 【名詞】 頑固者 一徹者 (志 (浜島))

いちがいな 正直だ 一途である (志、鳥) [会話] あの人 イチガイナ 人や (だ) 言うて、イチガイナ人や (だ) 言うのはな、あんまり (あまり) 真面目過ぎて、あの人 気使かいな (気が許せない) 人やなあ (だ) 言うて。かたくるして (堅苦しくて) 正直すぎる。なんでも (なにでも) “度” な (程度が) 過ぎると はざんねてや (いけないのです)。

いちがい (一概) 【副詞】 1) 一生懸命に。一途に。頑固に。(上、阿、鳥) 2) 一般論としてひっくり返して、いちがいにはそうとは言えん。[会話] 1) イチガイニ それ 言わんでも (言わなくても) そやおやんかい (それはこうです) 言う時も有るやんかいなあ (有るで有りませんか)。あんまり (あまり) イチガイニ そげん (そんなに) 守りつめんでもええやんかい (守ってなくてもよろしい) 言う時も 有るやんかい。あんまり いちがいな事 言うて、そげん (そんなに) いちがいも ええけど (よいが)、いちがいも たいがい (大抵に) しときやええのん (しておけばよいのに) 思う時な (が) あるわい (有ります)。

いしかばちか (一か罰か) 一か罰か よいか悪いか 出た所勝負 決断のつかない時に言ったり、したりする事 博徒用語から出た語 殷子に一が出るかしくじるかの意を言う (大言海)

いちくち 【形容詞】 曲って居る。凹凸が有る。

いちご 一合 いちごうの末尾母音の省略 (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、度) [会話] イチゴ、にご (二合) 言うて 昔 かんじょ知らんで (勘定知らなくて) 米屋が 出来よか (出来るものか) 言うて 四、六、二十四は にしよしごや (二升四合だ) 言うて、酒 イチゴ 売ってくれ (下さい) 言うて “ご” でまあ 切つとくね (切っておくのです) ごお 言わんとな (言わずに)。

いちころ 【形容動詞】 いとも簡単なさま。一度でころりの意で簡単に倒れることから。(志 (浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)) [会話] ○○小父な、芝居 讀けおったもんなあ (興業権を買って居ったので)。そやよって (だから)、雨の (が) 三日降ったや (ら)、○○小父 首切られんの (で) (切られるので)、まあ、イチコロやわい (です)。役者ん (に)、喰わして、し ばやすや (芝居すれば) ぜん (銭) も入るけど、ひよりなわりて (天候が悪くて)、どてんやよって (露天だから) 雨な (が) 降ると、出来やへんやんかい (出

来ないのです)。そやよって (だから)、雨な (が) 降ると ○○イチコロや (だ)。

いちじき (一時期) 【名詞】 過去のある時期。一頃。

いちしちんち (一七日) 【名詞】 人の死後、七日間又は、七日に当たる日。初七日

いちじばたらき (一時働) 【名詞】 常に怠けて居て、その場になって急に働くこと

いちじょじき (いちぢふじき) (一量敷) 【名詞】 量 一枚分の広さ いちまいじき参照 [会話] 量一枚を イチジョジキ 言うね (言うのです)、量一枚分の広さを、イチジョジキ。わしらな (私達が) 朝鮮 行くと な 五量敷きえ (に) 十何人 言うて 生活すんね (するのです) 夏中。男の人ら二人と おなご (女) 十三人するやんない (するでしょう)。そすと (すると) 十五人で、言うとも 部屋 六量やなあ、あんで な (です、あれで)、艫に一枚、はさみ (中央部) に二枚、どのまい (胴の間に) 二枚とはんぶ (半分)、そして かつばな (船倉が) 一枚やよって (だから) ま、六量敷きで 生活すんね、そんでも出来んね (それでも出来るのです)。夏中 炊いて 食うて 寝てそして商売 (仕事) して そんだけで (それだけで) 夏中 半年間 暮しとんね (て居るのです)、おかや (陸には) 一日も 寝たこと無いね (無いのです) 家 踏み出すと (出発すると) 舟い (に) 寝とんね (寝て居るのです)。病気した時 ちよいと (少し) 海女小屋な (が) 有って それい (それに) 寝るけど (が) それ以外 舟 離れやせんね (離れないのです)。ねんのにかい (寝るのにです) どのまい (胴の間に) 二枚と半量 敷くね (敷きます) それい (それに) 六人、七人寝て、はさみえ 二人 二枚敷い (に) そか (そこは) はじゃんばんせんならんもんで (炊事しなくてはいけないので) 朝 おきんならんもんで (起きなければいけないので) よつたり (四人) 寝るし、艫い (に) 夫婦な (が) 二人寝る かつばい (に) 二人夫婦な (が) 寝るやんない (寝るでしょう)。そすと (すると)、なつちやらすと (なんとかすると) おら あうて (俺は暑くて) 寝やれやせんよって (寝られないから) 艫の ちりい (に) いて寝よん (行つて寝よう) 言うて、ちりい (で) 寝る時も有るしなあ (有ります)。

いちじるし (著) 【形容詞】 物事が、目立って明白である。顕著である。いちじるしい。いちちは元来副詞でしるしを強めた語。[会話] おおた (ああ) イチジルシなあ (のだ) 言うて、よお言うなあ (よく言います)、

イチジルシなあ 言うて、物凄い 言う事や(です)、目立つとか、痛いとか 痛いのも イチジルシねよお(のだ)、痛さな(が) 言うて 言うやんかい(言います)。

**いちず (いちづ) (一途) 【名詞】 【形容詞】** 一本気 他の事を省り見ないで、一つの事に、向かって行くこと。ひたすら ヒトミチサシ (一路指) [会話] いちがいも一緒にみたいな (のような) 意味や(です) イチズ言うのは。

**いちぜんめし (いっぱいめし) (一膳飯) 【名詞】** 1) 飯を一碗しか食べない事。 2) 死者の枕頭に供える盛り切りの飯。まくら飯。一杯飯。箸を立てる事が多い此の事から一膳飯は食べるな。ご飯に箸をたてるなと言われる。[会話] 1) イチゼンメシで 一杯飯。一杯飯は喰わんもんや (食べないものだ) 言うて。 たちめし (出棺前に、役付きの人が食べる飯。立ったまま食べる) も イチゼンメシやよって (だから) 葬式のおり(時)に たちめしは 一膳しか 食べやへんもんで (食べないので、イチゼンメシたべんもんや 言うんやけどな (食べないものだ 言うのですが)。そして、竹ときい(木)とで 喰わんもんや 言うの(です)。竹の箸と、きい(木)とで刺すやんない(でしょう) 枕飯。そいで (そうして)、箸と箸と挟まんもんや (挟んではいけない) 言うな (言うのは) 骨拾う時、わしの箸でやる (渡す) あんたの箸で取る。骨拾う時、そおすんの (そうするのです) 箸と箸とで骨箱い (へ) 行かれんの (入れるのです)。 せやもんで (それだから)、箸と箸と挟まんもんやれ言うて。 子供等のしとると (子供達がして居ると) 嫌うやんな (でしょう)。

**いちそおば 【名詞】** 市場の値段 市場へ売る値 市場から買う値 商人の入札の価 [会話] 市な(が) 札入れる 相場な(です)。イチソオバで売ってくれんね (くれるのです) 浜い (に) 行くと 言うて、市の相場は安いね (のです)、あきんどなしてくと (仲介人がして行くと) 市より 高いやんな (でしょう)、そやよって (だから) それな(が) イチソオバ。市の相場で 浜い (に) 買いん (に) 行くと 買われんね やんかい (買えるのです)。海女さんと 直接な (です)、市の ねえ (値) で売ってくれんの (くれるのです)。札値で、札を まあ 三円なら三円、二円なら二円 言うて、あきんどな (仲介人が) 入れるやんない (でしょう)、そすと (すると) その 入れて一番 最高のねえ (値) で 取んねよって (取るのだ

から) そすと、その ねえ (値) で 小買行くとな、売ってくれんの。じょおし (漁師) の人ら (は) 別ん そんなか (特に損得は) 無いけど あきゅうどななあ (仲介人が)、儲からへん (ない)。すと、くみやい (組合) 渡し売りすると くちぎんも (手数料も) 引くねよってん (のだから) くみやいも 儲かんねけど (儲かるのだが) そやけどな (しかし) 売ってくれるわい (くれます) イチソオバで。

**いちぞん (一存) 【名詞】** 自分一人だけの考え。一方的な考え。[会話] 俺 イチゾンじゃならせんわれ (では出来ない) 言う時なあるんなあ (が有るので) す)、皆と相談せな (しなければ)、おんな (俺の) イチゾンで なんのなら (出来るのなら)、そやまあ そしてもてけえ (そんなにして持って行きなさい) 市のねえ (値) で そんなりもてけえ (そのまま持って行け) 言うてなあ、皆と相談せな イチゾンで 出来やせんわれ (出来ません) 言うてな、皆と相談する時と、一人です時 イチゾンで そんでええやんかい (それでよろしい)、そんだけでもてけえ (それだけで持って行け) 言われるけど (が) 仲間のもんや (物だ) 言うとき イチゾンで 出来やせんやんない (出来ないでしょう)。イチゾン言うとき 自分一人の考えでは 出来やへん 言うの (のです)。わがと (自分) 一人の商売なら、イチゾンで あうても そんだけん (安くてもそれだけに) 売ったやええわ (てやればよい) 思うけど、仲間のもんや (物だ) 言うとき 仲間ん (に) 相談せな (しなければ) 俺イチゾンでは 出来やせん 言うなあ (言います)。

**いちだい (一代) 【名詞】** 人の一生 生きて居る間 (志 (布施田)) [会話] ちわずらいや (血病だ) 言うて、ぶらぶらとイチダイしとる (して居る) 人な(が)、有るやんかい (有ります)。よおいごかんと (よく働かないで)、頭なわり (が悪い) とか、のぼるとか、さがるとか、言うて、イチダイ そげん (そんなに) 言うて、ぶらぶらしとる 人な有るやんかい。

**いちだいやまい (一代病) 【名詞】** 慢性の病気 一生 治らない病気。又病気に例へて、性格、操行の悪い事。貧乏などをさすことも有る。[会話] イチダイヤマイ こさえて (作って) まあ 言うて、こお (子供) よけもおけて (沢山産んで)、おろしたるやんない (墮胎するでしょう)。そすとこんだ (すると今度は) その後な(が) ちわずらいや (血病いだ) 言うて、ちわずらいで イチダイヤマイ こさえたなあ (作ったなあ) 言うてな、おろしご (墮胎) して、しくじったる

と (失敗すると)。一代 まあ ねちゃねちゃして のぼるてやら (上るとか)、さがるてやら (下るとか) 言うて、今しゃ そげん (今はそんなに) ぶらぶらしとる (している) 人 無いけどな (が)、ああ、ああ 言うて欠伸ばっか (ばかり) して、のぼる さがる 言うて 一代 そげん (そんなに) 言うて 寝釈迦 (寝てばかりいる人) でする時んのおを (のを)、イチダイヤマイこさえた (作った) 言うてな。

**いちづけ (位置付) 【名詞】** 定まった位置に置いておく 事 [会話] 石臼 言うな (のは) 石で、麦、搗くのも 石臼で、そこい (へ) イチツケンしといて (にしておいて)、石臼で搗きおったわい (居ました)。

**いちどきに (一時) 【副詞】** 一時に、一緒に、同時に

**いちにち。いちんち (一日) 【名詞】** 1) ある日 何時ぞや 先日 過去の有る日 2) 終日 朝から晩まで (阿) [会話] 1) 〇〇〇んな イチニチ (ある日)、さんしょびらしん (くらげの一種に)、おたべ (女性器) さされて、四時間島言うて、出稼ぎイチニチ (終日) かかって、四時間もこんで (漕いで)、離れ島い (へ)、いたや (行ったら)、さんしょびらしん (に) さされて。

**いちにちおき。いちんちおき (一日置) 【名詞】** なにかするの、中に一日の間を置く事。隔日 [会話] イチニチオキ 言うのを イチンチオキ 言うて、イチンチオキに まあ 医者い (に) 通よとるてやら (つているとか) イチンチオキに どこそこい (え) いとるてやら (行っているとか) 言うてな、一日あい (間) 置いて 次の日ん (に) 行くのをな、ひいてあい (一日間) 言うてな、ひいてあいん (に) 通よとんね (つていのだ) 言うてな。

**いちにんまい (一人前) いちにんまえ (いちにんまへ) 【名詞】** 1) 一人に割り当てられた分量 2) 成人で有る事。又成人としての資格や能力の有る事 (度、南) [会話] 1) 五人まい (前) の料理とか、イチニンマイ (一人前) のぜんぶん (料理) 言うて、イチニンマイのぜんぶん (が)、いくらや (だ) 言うて注文する時ん (に)、ヒトリマイいくら言うて。

**いちね (市値) 【名詞】** 市場の値段。生産者が市場に売る値。

**いちねん (一年) 【名詞】** ある年 過去の有る年 [会話] 〇〇の姉さん (が)、イチネン、さんしょびらしん (ある年くらげに) やられて (刺されて)。

**いちねんき (一年忌) 【名詞】** 一周忌 [会話] 三年忌 七年忌言うて、一回忌あ (は) 一周忌言うしなあ (言

います) イチネンキを。三回忌やとか (だとか)、言いおった (言っていました)。今しゃ (今は) 三回忌や (とか) 七回忌や (だ) 言うけど (が) 昔は、年忌や (だ) 言うて。

**いちねんこ (一年子)。いちねんしえ。いちねんしよ (一年生)。いちねんせ (一年生) 【名詞】** 一年生。学校に入学してまだ、第一学年の過程を終了しない生徒 転じて、物事の初歩の事も言う。(南) [会話] すぼんだり、開いたり菊の花言うて、みんな (皆な)、てえ (手) 引っ張っておって (居て) 踊りおった (居ました)。イチネンセの時分に (頃に)。

**いちねんじゅう (いちねんぢゅう) (一年中) 【副詞的使用】** 絶えず いつも 年中 一年の間続いて [会話] イチネンジュウ 言うて 三百六十五日しとる (している) ことを イチネンジュウやつとんね (しているのだ) 言うてな、毎日の事や (です)、年がら年中したよな (ような) 事ばっかしとんね (ばかりしているのだ) まあ イチネンジュウ 言うてな。

**いちねんまし 一年経過する毎に**

**いちねんもん (一年物) 【名詞】** 1) 一年で収穫出来るもの 2) 一年生育したもの。一年生育した魚貝類。[会話] 1) 珠入れ (真珠の核入れ) しても、一年でむいたんのを (剥いてやるのを) イチネンモン 言うしな、さいりんやどけやなあ (細厘などです)。半年でしたと (してやると)、半年もんやとか (物だとか)、その年むいたんの (に剥いてやるのを)、イチネンモン 言うしなあ (言います)。二年 置くな (のは) 二年もん (物)、こや (これは) 二年もんやもん で (物なので) よおまいとるてやら (よく巻いているとか) 言うてな。1) 野菜やどけ (などで) 今年植えて今年獲るのは イチネンモン、一年中の内は こや (これは) 今年獲れたもんや言われんねけどな (物だ言えるのですが)、今年すんでくと (過ぎて行くと) 来年になると こやな (これは) 去年のひねんのおやれ (古いのだ) 言うてな。

**いちのじまいげ (一字眉) 【名詞】** 一の字の形のような眉 両方の眉が一の字の形になっている眉 [会話] まいげ (眉毛) の 一の字んなつとんな (になっているのです)、一の字やなあ (だ) 言うて、そして こえんして (そおしてこんなにして) しとると (していると)、あや (彼は) 八時二十分形やなあ (だ) 言うて、八の字や言わんと (と言わずに) 八時二十分形やなあ (だ)、あんな、まいのきや (彼の眉毛は) 言うて。イチノジマイゲ 言うな (のは) 棒みたよん (のよう

に)、上がり 下がりな無いね (が無いのです) あや って作くんねかいなあ (あのように作るのでしょうか)、生れつきかいなあ (だろか)。おなご (女) ま いのき (眉毛) 一つで顔な (が) 引き立つ 言うたや (言ったら) おなご まいのき 一つで ええねおも て (よいのだ思って)、かたつぽ 剃ったたね (片方剃ってしまいました)。

**いちのどおぐ (一道具) 【名詞】** 男女性器 [会話] イチノドオグ言うて、一番大事のもんやんか (物です)。子宝しえぞおせなはざん (製造しなければいけない)。男とおなご (女) のもん (物) を、イチノドオグ言うの (のです)。一番大事のもんやんか。みな子孫作って かんならん によって (作っていかねばならないから)、イチノドオグ言うの (のです)。

**いちのまき 【名詞】** 初めから終り迄の出来事を話す時に用いる。すべて、いちまきに同じ [会話] あんな (彼が) イチノマキ 話してまあ 言うて。忠臣蔵のイチノマキも一緒に、わがとな (自分が) 知とる (ている) 事をなあ ずうと まあ 終いまで 話すの (のを) イチノマキ 話して言うてな、いちまき、ありだけ (あるだけ) の事をなあ、あれ (彼の) いちまき 話、聞いたよお (聞きました) 言うてな いちまき 言うの (のです)。わがとおもとる (自分思っている) 事 一から 終い迄 言うの (のを) イチノマキ 聞かされたよお 言うて。

**いちば (市場) 【名詞】** 魚市場 [会話] 魚のイチバも有るし、野菜のイチバも有るしなあ、此処らではイチバ言うて、魚だけやわい (です)。都会えいきや (へ行けば) 青物市場 言うな (のが) 有るけど (が)。

**いちばい (一倍) 【副詞的使用】** 1) 他と比較して、数量 程度が大きいこと。いっそう、ひとしお 2) 二倍 [会話] <sub>1)</sub> 人イチバイ よお (よく) 働く人、イチバイよおさえずてやら (よく喋るとか) 言うてなあ、人の倍も 喋る 言う事やなあ (です)。人よりすぐれた事するにげなあ (人間です)。人イチバイ やなあ (だ)、あや (彼は) 言うてな。普通の人と較べると 倍もするにげ (人間) をな、人イチバイ、あや まあ、偉いねてや (のた) 口も偉いし 言うてな、なんでも (何でも) 偉いと 人イチバイ 偉いね よってん (のだから) 言うてな あや ま 手八丁、口八丁やれ (だ) 言うてな。

**いちばん (一番) 【副詞】** 1) 一倍に同じように用いる。いっそう。ひとしお。思い切って。最も (熊) 2) 鯉舟の最も老練な漁夫 (三重県全域) 3) この時 [会

話] <sub>3)</sub> ここ イチバン 言う時にや 覚悟しとれよ お 言うて。なんでも、だんどりせえ (何でも用意しなさい) 言う事なあ、ここイチバンの時や (は) きば らなはざんと (努力しなければ駄目だ) 言うてな。ここイチバン 言うた時 のおん (お前に) 頼むど (ぞ) 言うてな、偉いにげ (人間) にな。イチバン大事の時や (は)。

**いちばんあたら 【名詞】** 早朝 [会話] 小豆もじきん 行くね (採りに行くのだ) 言うて、朝はよ (早く) から、イチバンアタラん (に) になると、朝露のうちん (間に) もじいてこな (こなければ)、はっしゃんで (乾燥して) 来ると、皆 はじけてかれ (て行く) 言うて、朝はよお 日も照ってこんうちん (来ない間に)、いきおったわい (行って居ました)。

**いちばんぐさ 【名詞】** 1) 田植えの済んだ後、一番始めにする除草 くさは草取りの略 (多) 2) 天草の採取でその年一番初めに採取したもの [会話] <sub>1)</sub> 田の草、植えといて (ておいて) ありついた時分 (根付いた頃) に、イチバングサ。株 (古株) を のけたりすん のなあ (するのです)、草はよけ (あまり) 無いけど なあ (が)、えごつと (完全に) 植え直すのをなあ、イチバングサなあ (です)。草は よけ 無いけど 株の上い (に) いとらんか (いていないか)、泥のえ えとこい (よい所に) やりなおすのなあ (植え直すのです)、イチバングサは、株の上いな (に)、植えとる (ている) 時な (が) 有るもんなあ (有るのです)。株の上い (に) 据えと (植えと) ひとならせんの (大きくならないのです)。せいじんなおつそいの (成長が遅いのです)、そやよって (それだから) イチバングサに 株 よけたとなあ (除いてやると)、すいすいして来るしなあ。そやよって (だから) イチバングサにや (には) まあ、草は 無いけど (が) 株をよけんのん (除くの) のがざんと (必ず) 取らな はざん (なければ駄目です) して 二番草 三番草まで 取んね (取るのです) 三番草ん (に) になると 顔突いて、いとおてなあ (痛くて)、稗なよけ (が沢山) 生えて 稗 抜いたり。

**いちばんぐち 【名詞】** 1) 初の口開け (解禁) 2) 最初、最初の仲間 (上、阿) 3) 鯉釣りの乗組員の持場、最も老練な人の釣る位置 (熊) [会話] <sub>1)</sub> てんぐさ (天草) のイチバングチ しんがつ (四月) の ついたち (一日) に あきおって (開いて)、こんだ (今度は) 二番口な (が) じんじん (祭 旧六月一日) ぐらいに 開いて、そして 貝に 大漁な (が) 無いと

三番草もな、開けよおったわい (開けました)、今しや (今は) 開け放題やけどな (だが)。<sup>2)</sup> 今日(は)公民館で 書道なあんねけど、おら イチバングチやったよ言うて、一番初めに 行く者なあ (です) イチバングチやったよお (だった) 言うて。

**いちばんごえ (一番肥) 【名詞】** 肥料を数度に分けて施す時、一番初めに施す肥料。[会話] 麦のイチバンゴエ 言うてなあ、麦、播いて ちょいとおっきい (少し大きく) なって来ると イチバンゴエせんとおんね (せずに居るのだ) 言うて、麦 踏んで こんだ (今度(は) それい (に) イチバンゴエかけたら、土 着せて (覆せて) するとなあ、株な、はんの(で)なあ (が張るので)、踏んどいて (で(おいて) 土、着せて 今度また 二番肥、三番肥も言うて、イチバンゴエも 行き回らん (渡らない) 時な (が) 有ると かねごえこおて (金肥買って) 振ってまあ イチバンゴエもよおせんとおんね 言う時な (が) 有りおったわい (有りました)。畑よけ (沢山) 作っとるとなあ (ていとう)、こやしな (肥料が) まあせんね、そやよつて (行き渡りません、それで) 金、出したの (のを) こおて 振って、人糞だけでは、なかなかなあ 畑中 回らせんのなあ (行き渡らないのです)。豆板 言うて 自動車のタイヤみたよなのおを (のようなのを) 鉋で荒削りしといて (して(おいて) 白でつついて (搗いて) 磷酸やとか (だとか) アンモニアは おそがけん (遅くに) 流行つて来たけどなあ (来ました)。一番始めにやるこえ (肥料) イチバンゴエ、イチバンゴエもよおかけんと (掛けずに) まあ 言う時な (が) あよおつてな (有って)、畑よけ 作っとる (ていとう) 家は。そすと むしかぶみたよんしとられ (発育不良の株のようにしている) 言うて ちっちゃおて (小さくて)。

**いちばんなり (一番成) 【名詞】** 果実、野菜類で、その年の一番初めに成熟したもの。[会話] 一番にはえんのを (生えるのを)、イチバンナリなあ (です)。南瓜でも、先い (に) 植えて 五月頃な (に) なるとなあ (生ると)、イチバンナリな (が) して来るわい (来ます)。一つ ふたあつつ (二つづつ)、イチバンナリは また、美味いねや (のです)。そすとこんだ (すると今度(は) また そんな (それが) まあ ちょいとしてしずまつて (少し時間が経って、終って) 二番花な (が) 咲いて来たれ (来た) 思うとな、おそなりな、してくんの (がして来ます)。一番になったの、イチバンナリや (とか)、五月なりや (だ) 言うて、一番はんなんな (に生るのは) すえなりで、すえなり

は 美味ないの (のです) なんも (少しも)。にげ (人間) でも こおよけ (子沢山) もおけて (産んで) 一番 おとごん (末子に) になると、こやまあ、とんが (これは冬瓜) のすえなりやれ (だ) 言うて、とんが の すえなりで こや、ほん (これは本当に) よわくそやなあ (弱虫だ) 言うて。五月なりは はつもんや (初物です)。五月のうちん取れるわい (間に取れます)、早いのなあ (のです)。あや (あれば) 五月なりで 美味いんよお (のだ) 言うて。

**いちまいいた 【名詞】** 一面になる状態。

**いちまいかんばん (一枚看板) 【名詞】** いちまいもん参照 1) 晴着の一枚より無い事。唯一の晴着。2) その家の中で最も優れている者。

**いちまいじき (一枚敷) 【名詞】** 畳み一枚分の広さ [会話] 船の一番真中。胴の間言うて、胴の間のさきや (先は)、表、かつば言うて、物入れるとこ (所)。かつばや (だ) 言うて、戸棚みたよん (のように)、こさえるわい (作ります)。そすと (すると)、そこい (へ)、布団やなんやかやいれんの (とかいろんな物入れるのです)。表の先をイチマイジキンすんの (にするのです)。

**いちまいば 【名詞】** 海魚 1) てんすだい (志) 2) 河豚の一種

**いちまいもん (一枚物) 【名詞】** 1) それ一枚よりない着物、晴着、最もよい着物、ただそれ一枚だけのもの (志 (布施田)) 2) その家の最も偉い人 [会話] 1) きもん (着物) でも たつた (唯) 一枚しか (より) 無いと、これ イママイモンや (だ) 言うてなあ。<sup>2)</sup> そして にげ (人間) でも、偉いと あやまあ (彼は) イチマイモンや あの家言うてなあ。たつた (唯) 一つより無いもんや (物です)、きもん でも一つ、そして その家で 偉いとなあ、あんな (彼が) あの家じや (では) イチマイモンやれ (だ)、あんな 一人で しんしよやつとる (生計を支えている) よおなもんやれ 言うて、そいなの (そんなのを) イチマイモン。

**いちまき (一卷) 【名詞】** 始終 一部始終 一は残らずの意 いちのまき参照 (志 (布施田)) [会話] イチマキ話して、なんもかも (何もかも) 一からしまい (終わり) まで、言うの (のを)、イチマキ言うの (のです)。全部言う事や (です)。

**いちも (一文) 【名詞】** 「ん」の省略 穴あき銭 ごく少量の金銭 文は面に鑄出した文字 [会話] イチモ言うのは、ぼら (あな) のあいとるぜん (空いている銭)

いちもおぜん言うんやんか（言います）。てんぼぜん（天保銭）を、ぼらせんな（が）、イチモセン。

**いちもつ（一物）【名詞】** 1）陰茎 2）人の中に隠された企みやわだかまり ひとつの物。天下第一の物。誤りて、いちのもの（一物）をイチモツと読んだ（大言海）モツは呉言。[会話] 2）イチモツ 有る顔やなあ（だ）言うて、むつかしなあ（難しい）、ぶつとして、顔しがめて（しかめて）ねがめてしとるとなあ（睨んでいると）、イチモツある顔やなあ 言うて、六ヶの かしん（菓子）で むつかしわれ（六つ菓子、難かしい）言うて。1）男の持ちもん（物）も イチモツ。

**いちもつある** 心の中に強い自分の考へがある（志（布施田））

**いちもにもなく** すぐに、早速

**いちもんあきないみせ（いちもんあきなひみせ）。いちもんみせ【名詞】** 子供相手の小さい店（志、鳥）[会話] イチモンミセ言うのは、ちよいと（少し）ちいさい店で、こあきない（小商）しとるの（しているのを）、イチモンアキナイいうやんかい（言うで有りませんか）。大きい店や無しに、ちっちゃあい（で無くて、小さい）店で、婆さんな（が）飴 売ととるの（ているので）、あんなの イチモンミセ言うて、他のもん（物）売らんと（売らずに）、飴だけ（のみ）売ととて、あいなのおをだ（売って居てあんなのを）いうたや（言ったら）イチモンアキナイ言うて。

**いちもんだか（一文高）【名詞】** 少しでも値の高い方を選ぶ、又 尊ばれる（志（布施田））

**いちやいちゃ【副詞】** 男女が戯れたり、又は言い争うさま。いちやつくさま。男女が親しげにふざけあう事。[会話] イチャイチャトまあ、若いもん（者）が、彼氏と彼女とおつて（居て）、イチャイチャしとんの（して居るの）。いちやつく言うけどな（けれど）いちやついて 言うて。

**いちやご（一夜子）【名詞】** 一度の性交で出来た子供 [会話] 一晚 おばんこなとこ（妾の所）から 来てなあ、婢と 寝たや（ら）そしたや（そうしたら）出来たんてわい（そうです）おばんこなとこいばっか（情婦の所へばかり）いとてなあ（行っていて）家や（は）寝やせんね（寝ないのです）、たった ひとよさ（一晚）、寝たもんで（ので）そんで（それで）出来たもんで（ので）俺は イチャゴヤ てわら（だそうだ）言うて。

**いちやつく【自カ五】** うるさくつきまとう 男女が親

しくざれる（志（浜島）、張、尾）[会話] イチャツク言うな（のは）旦那と 奥さんとだ 仲よおして（好くして）どじゃこじゃ（どうだこうだ）言うてしとると（していると）、ふたんな（二人が）仲好おてイチャツイとられ（ている）。

**いちんち【名詞】** 1）ある日 過去のある日 んとにの音便 2）終日 一日中（志（志島、神明、立神、国府）、鳥、久、松、張）[会話] 2）一日言うのを イチンチ。イチンチ 言う時は 一日中と、1）イチンチ あんな（彼が）来て、あるひいや（日です）。あんな（彼が）来てなれ（です）長い事喋ったれ（喋った）言うて、イチンチや（は）あんな（彼が）来て なんも出来らったんよお（全く出来ませんでした）、まあ喋ととて（ていて）言う時も 有るし。

**いちんちおき（一日置）【名詞】** 隔日、中一日おいた日 [会話] 一日置き言わんと（言わずに）イチンチオキ、ひいておき言う時も有るしなあ（有ります）。ひいておきんまあ、あれしとんねどお言うて、一日置き言うの（のを）ひいておき 言うてな。

**いちんちじゅう（いちんちぢゅう）【名詞】** 終日（志（浜島）、鳥（坂手））[会話] イチンチジュウ 雨な（が）降とた（ていた）とかな、イチンチジュウ今日は 仕事ばっか、しとたや（ばかりしていたら）まあ くたばったれ（疲れた）言うて、一日 言わんと（言わずに）イチンチ、イチンチジュウ 言うてな あ 言うの（のです）。

**いつ【名詞】** 五（志（布施田））

**いつえ** いつですか 過去のある時期をたずねる言葉

**いっか【一荷】** 1）天秤棒の両端に掛けて、一人の肩に担う荷物。2）同類 同列 仲間 同一視する例へに言う [会話] 1）イッカ言うのは、あつちやとこつちや（あちらとこちら）ふたあつ（二つ）担のてくるやんな（でしょう）天秤棒で、ひっ掛けて、あれをイッカ言うて、ふたあつでイッカ。2）あやまあ（あれは）イッカやなあ（だ）言うて、あんごし（馬鹿）のを、あれと（彼と）イッカやれ（だ）言うやんかい（言います）。あや（あれは）担のたらイッカや（だ）、おく（天秤棒）な折れられ（折れてしまう）。あやまあ、おくな（が）折れるような、しろもんや（代物 人間だ）言うて。

**いっかあ** 行きますか

**いつかい（一蓋）【名詞】** 傘一本 傘は一かい 二かいと数える。蓋（かい、がい）貴人 尊師 仏像などの頭上にさしかける傘やおおい。カイ（蓋）はオオフ

(蓋)の意。[会話] 傘を傘一本をイツカイ。

**いっかけ (いかけ) 【動掛、沃懸】 【名詞】** 一種の溶接で、炉壺に溶解した溶金を目的の個所に注入して、凝固接合させる技術。いかけの変化した語 イカク (沃懸)の名詞形。イル (沃、鑄) カネ (諸金) をトカシ (溶) イガタ (鎔) に注ぐ。[会話] イッカケヤ言うて、鍋のうちやれや、てんどり (壊れたものとか茶釜) の うちやれを イッカケて 貰いおってなあ (貰っていました)。今しや (今は) あげなもん (物)、イッカケんでも (なくても)、あらん (新しい) のばっか (ばかり) 使うけど (けれど)、昔 イッカケて皆 使いおった。てんどり言うの (のは)、茶釜の事。

**いっかけや (沃懸屋) 【名詞】** 鉄、銅器の破損を修理して歩く旅職人、特に長い天秤棒で、ふいご其の他の諸道具を担ぎ、その棒のとどく範囲内でどこでも営業し得る特権を持って居た 夫婦者で有る事をいかけと稱する程、彼らは妻子を供ない、仲間を組んで、本格的に旅歩きをし、年に一、二度づつはきまった所を訪ね、主に鍋釜などを修理した。いっかけ参照

**いつかじお 【名詞】** 五日潮 干潮で最も海女作業に適した時期 (鳥) [会話] イツカジオ言うと じゅうごんちなあ (十五日です) じゅうごんちな (十五日が) イツカジオン (に) なんのかい (なるのですか)、ついたちな (一日が) むゆかじお (六日潮) で それから五日するとかれんなんね (になるのです)。かれは五日がれまでやんない (でしょう) しおは十日迄 イツカジオ 言うの (のは) よお干くやんかい (よく干くのです) イツカジオと六日潮は潮中で よお (よく) 干くの (のです) 一番よお干くんあ (よく干きます) 七日や八日ん (に) なって来ると 昼からん (に) なつてくもんでな (なつて行くので) そげんも干かせんけどな (そんなにも干きませんが)。イツカジオや六日潮は、よお干くねやんかい (よく干くのです)。真昼に、仕事する時間に 干くもんで (ので) ええんやろなあ (よいのでしょうか)。潮中でまあ、今日はよお (よく) 干いて言うてなあ。磯人 (海女) も、おおた (ああ) 潮中ん (に) 休すで (休すんで) 勿体ないなあ 言うて、そすと (すると)、八日も ここのかん (九日に) もなると、日の暮ん (に) なつてなあ (ていって)、作業する時間な (が) 済んでてから干くやんない (いってから干くでしょう)。そこりな (が) 三時も四時もなつてくやんない (なつて行くでしょう)。そやもんで (それで) 五日や六日や言うと そこりな (が) 十二時か一時か 丁度まっぴるや

もんで (真つ昼なので) 潮時な (が) ええよつて (よいから)、今日は 休まれやせんわれ (休めない) 言うてな、五日や六日潮ん (に) なると、よお (よく) 干くし、した (海底) の加減な (が) ええんやんかい (よいのです)。ここのかじおのにちぐらし言うて、ま 遅なつてくのなあ (遅くなつて行くのです)。ここのか (九日) 潮や 十日潮ん (に) なると。

**いつかしらん** 1) いつの間にか 2) 遠い過去のある時期

**いっかど (一廉) 【副詞】** かなりの様。よほど。相当 人より勝つて居る者 (北、尾、南) [会話] イッカドのもんやなあ (者だ) 言うて。あや (彼) まあ、イッカドのもんやなあ言うの。ちょいと (少し) 偉い人言うけど (けれど) あれ イッカドの人やなあ (だ)。

**いつから** 随分以前から 長い間 [用例] イツカラ 来ざつたやんかい (来なかつたですね)。

**いっき (一気) 【名詞】** 一気に、にを伴う事が多い。すぐに、急に、じきに (志 (甲賀)、名、員、上、阿張)

**いっき (一期、一季) 【名詞】** 一期 奉公 (ほうこう) の期限 [会話] イッキ言うのは、盆からしょんがつ (正月) までイッキ言うのも、有るしなあ。ふたあつき (二カ月) をイッキする事も有るしなあ。

**いっきに (一気) 【副詞】** 急に 一度に (志 (浜島、布施田)、鳥 (加茂)、員、上、阿、張、名) [会話] 急に 言うんか (言うのか) 一遍に言うんか (言うのか)、いっときんしたる (ににしてやる) 言うて、いっときん (に) これせななあ (しなければ) 言うてイッキニ言うのを、いっときん (に) こや したらな (これはしてやらなければ) これ置いとくと (ておくと) しのくなくてかれ (しにくなくて行く) 言う時な有るなあ (が有ります)。その仕事ん (に) よつて、あい (間) 置いたると (てやると) 固まつてく (ていく) とか、やいこなつてく (柔くなつて行く) とか 言う時な有るんあ (が有ります)。いつときのうちんしたらな (間にしてやらなければ) 言うてな、こや まあ (これは)、いつときあらそわれ (争う) 言う時なあんね (が有るのです)。

**いっきむし 【名詞】** 生一本ですぐ人の言う事に腹を立てる人

**いっきん** 急に 一度に いっきに参照

**いつく** 住みつく

**いっく (一工) 【名詞】** 一人一日の労働量 (伊、北) [会話] イック 言うのは、一日言う事やなあ (で

す)。大工さんな (が) 一日イック言うやんか (言います)。まあ なんく (幾工 何工) かかった言うやんか。大工さんでも、左官でもあえな (あんな) 人ら、イック言うて。

**いっくら** 幾ら (員、安) [用例] イックラ呼んでも 来やせん (来ない)。

**いっくらでも** どれだけでも (志 (立神))

**いっけ (一家) 【名詞】** 一つの家族 所帯 同じ家族 一族 一家の意 1) 血縁 同族 (志 (甲賀、志島、船越、布施田、浜島、神明、立神)、鳥 (国崎、相差)、桑郡、桑市、員、四、鈴郡、鈴市、亀、松、上、阿、張、名、度、伊、尾、北、南) 2) 親類 親戚 [会話] 2) イッケ言うのは、親戚の事を。主な親戚の事 言うやろな (いいます)。やうちや (とか) みうち (家内 身内) イッケじゅう (一家中) 寄って、言うねよってなあ (言うのだから)。イッケじゅう寄って まあ 今日、総寄りやった (だった) とか。

**いっこお (いっかう) (一向) 【副詞】** さっぱり駄目なこと。又その様 [会話] イッコオに涉らんとか、イッコオに まあ仕事、進ません (進まない) とか、よおそげな時 (よくそんな時) 使うけど (使います)。

**いっこく (一刻、一国) 【名詞】** 1) 頑固で我が儘な事。2) 早急に短時間 [会話] 1) あや (彼は) イッコクな にげ (人間) で、イッコクやとか (だとか)、一徹や (だ) とか、一徹短慮なにげやなあ (人間だ) 言うて。短気なにげ (人間) を 言うんやかなあ (言うのでしょうか) 一徹短慮 言うやんかいなあ (言います)。

**いっこくもん (一刻者、一国者) 【名詞】** 頑固者 一徹者 (志、員阿、張)

**いっこむ** ひっこむ しりぞく へこむ 引きこむの略か。入れ込むの訛 (方言俗語語源辞典) [会話] イッコム、イッコンドル (で居る)。イッコンデタ (行った) 言うて、まあ イッコンデタレ (入り込んでしまった)。あんなまり (余り) 打ち込んだんかいなあ (してしまったのか) あんなまり、イッコンデタなあ言うて。へっこんどる (へこんで居る) と一緒や (です)。亀のこぶね (頭) イッコンデタ (してしまった)。いっこんどるも (で居る)、へっこんどるも一緒や (です)。意味はなあ。

**いっこめる** 引っ込める

**いっこんでた** 入って行った、窪んで行った [会話] イッコンデタレ (いった) まあ言うて、此を 押したや (たら) イッコンデタよお 言うて、入ってた

(ていった) 言うのなあ (です)、イッコンデタ言う。此、押したや (たら) イッコンデタ すっばんやれ (だ) 言うて、言うやんない (言うでしょう)。そげな (そんな) 時なあ (です)、イッコンデタ、亀の首でまあ、イッコンデタない言うて。

**いっこんどる** くぼんでいる、入っている [会話] イッコンドルやんかい (です) あんな (あれが)、へっこんどる (でいる) 言うのも 有るし、一緒やなあ (です)。へっこんどるのも (でいるのも) イツコンドンのもなあ。入いりこんどる とか、イッコンドルとか、すっこんどる とか 言うてな、一緒の言葉やなあ (でいる)。

**いつざ** いつぞやは 過日は

**いっさい (一切) 【名詞】 【副詞】**。いっさいがっさい (一切合切、合財) 【名詞】 1) 物事のすべてをさして言う。全部 残らずすべて。2) 絶対に [会話] 2) おら (俺は) まあ お前げ (お前の家) のこた (事は)、イッサイ構まわせん 言うたり、イッサイまあ、お前らげ のこた、世話やかせん (やかない) 言うたり、絶対 お前らげ のこた かまわせんど (構わないぞ) 言うて。まあ ごりたよって (こりたから) まあ イッサイかまわせん言うのな (です)。ちょいと (少し) 言うても 怒って来たり、なんやかやすんのでも (いろいろするのでも) あの家のこた イッサイ、構わんよんしとかな (ようにしておかなければ) はざんわれ (駄目だ) 言うてな。

**いっさかさん** 一度にするさま。急にするさま 一目散 (志 (浜島)) [会話] イッサカサンや、いっさんに したた (仕上げた) 言うの、同じ意味やけど (です)。

**いっさつ (一札) 【名詞】** 一通の証文

**いっさん (一散、逸散) 【名詞】** 1) 急いである事。わき目もふらずする事。いっさかさん参照 2) 一度にする事

**いっしえん 【名詞】** 一銭 (北) [会話] 一銭も銭な無いわれ (が無い) 言う。おおた (ああ) 一銭の銭も無いよん (ように) なつた (なつていった) 言うてな、銭な (が) なんも (全く) 無いよんなつてくと (ようになって行くと)、イッシェンも 銭な (が) 無いよんなつた 言よおったんなあ (言っていました)。びんぼ (貧乏) で、びんぼで まあ おらげや (俺の家は) イッシェンも 銭な無いわれ (が無いです) 言うて。一銭 言わんと (言わずに)、イッシェン、イッシェン、にしえん、さんしえん、よんしえん言うて。**いっしえんぜん (一銭銭) 【名詞】** 一銭 一円の百分の

ー いっせんの訛り (北)

**いっしき (一色) 【形容詞】 【名詞】** すべて ひたすら (志 (布施田)、張) [会話] 其れイッシキに考えて言うて、イッシキに考えとるもんで (ておるので) よさり (夜) も寝やれやせん (寝れない) とか、あれイッシキに考えこんどて (で居て) とか、此れイッシキにこさえとる (作って居る) とか。

**いっしょ (一緒) 【名詞】** 同じである事 ひとまとめの意 (広辞苑) (一、北、南) [会話] イッショ言うのは、同じ事言うのを、イッショやなあ (だ) 言うて。同じやなあ (だ)。おんなきもん (俺の着物) と、イッショやとか (だとか)、イッショのがら (柄 模様) 着て、おんなのとイッショやなあ 言うて。

**いっしょ (いっしゅう) (一生) 【名詞】** いっしょう 一生の省略 生まれてから死ぬ迄

**いっしょ (一升) 【名詞】** いっしょう 一升の省略 十合、一斗の十分の一 約1. 8リットル (度)

**いっしょあげはんだい 【名詞】** 大きな飯櫃 一升の御飯の入いる飯櫃 [会話] 兵隊行くのん (に)、たち祝い (出発祝い) 言うて、呼びおったわい (招待して居ました)。そしたら、イッショアゲハンダイ 一杯炊いといて (ておいて)、こんで (これで)、よれや おもたや (充分だ思ったら)、ひとかたげん (一度の食事に) 皆、くといて (食べておいて) 来た。ほおた (ああ)、よお (よく)、喰うのお (食べる)。はんだい、イッショアゲや (とか)、にしょあげや (だ) 言うて 御櫃のこと ハンダイ。一升炊いたのをなあ、ハンダイえなあ (に) 移すの (のです)、こや (これは) イッショアゲや (だ)、にしょあげや、言うてな、よけ (沢山) こさえとよおったわい (作って居ました)。ごしょあげ (五升) も あよおった (有りました)。昔はなあ 人な (が) 死んでくと (でいくと) 爺さんでも、婆さんでも 死んでくやんない (死んでいくでしょう)。そすと (すると) 金持ちの家ななあ (が) たきだしや 言うてなあ 飯を 大鍋で 炊いて こげな (こんな) 御櫃い (へ) 移して、そして 辻、辻なあ 置いてなあ もち (握り飯) 握ってなあ 接待しよおったの (して居たのです)、炊き出しや (だ) 言うて、飯なあ はんだら (半俵) や 一俵や 言うて 炊き出ししよおったわい (して居ました)。そすと (すると) 辻、辻 置いといて (ておいて) もち 握って 子供らん (に) くれよおったの (呉れて居たのです)。接待しよおったの (したのです)。イッショアゲは 御飯 いっしょ炊くとなあ それい (え)

まあな 八分目ぐらいん (に) なるんなあ (なります)、それ イッショアゲ、こんだ (今度は) にしょあげや (だ) 言うて それの倍もあんの (有ります)。さんじょあげや (だ) 言うて、幾つも重ねてして、して (そおして) 昔 さあ ごつつおや (御馳走だ) 言うて 御櫃いなあ (に)、皆 しよおった (して居ました)。今しや (今は) ななつうれこや (だ) なんや (なんだ) 言うてなあ 御櫃 使わせんけど (使わないう)。

**いっしょいちだい (一生一代) 【名詞】** 一生の中の重大事。強く思い込んだ時に言う。[会話] イッショイチダイ あげん (あんあに) 言うて 果てんねやれ (死ぬのだ) 言うて、一生一代 あげん びんぼして (あんなに貧乏して) 果てんねやれ おらげや (我家は) 言うて。

**いっしょがい (いっしょがひ) (一升買) 【名詞】** 米や酒などを一升ずつ買う事。貧しい生活の例 [会話] 米を イッショガイいなあ (です)。いっしょ売ってくれえ (下さい)、ごご (五合) 売ってくれえ 言うて、イッショガイしよおったの (して居たのです)。そすと (すると) 婆さんな (が) まあす (升) を持ってやんない (でしょう) おやいびな (親指を) まあすいして (升に入れて) そんだけ (それだけ) へっこんでと (でいくと) そんだけの 米な (が) 儲かる。そんでも (それでも) 一年中 何十俵 言う米をあきなうねよって (売るのだから)、そんで (それで) 幾ら儲かる 言うて。こして、おやいびな (親指を) まあす (升) 持つのん (のに) してなあ、ちよいと (少し) へっこむ、そんだけでなあ、一年中 どんだけ (どれだけ) 儲かる 言うて、かんじよしよおった (計算していました)。そんだけこまかい (それだけ小さい) かんじよしよおった それやよって (それだから) あの家なあ 儲かったやんかい (です) 米屋で。

**いっしょかぶ (一升株) 【名詞】** 一升飲んでも平気な酒豪 大酒家 (南、熊) [会話] イッショカブリ言うねんなあ (言うのです)。イッショカブ 酒 いっしょ (一升) でも、にしょ (二升) でも 飲んだる (でやる) 人を、あやまあ (彼は) イッショカブリやれ (だ) 言うてな。そして 嫁んいて (に行つて) 戻つて来ても あや (彼女は) イッショカブリ、ふたあくら (二度) 戻つて来ると、にしょかぶり、あやまあ (彼女は) さんじょかぶりやよお (だ) 言うて、みいくら (三度) 戻つてくんの (来るのを)、まあ それ みいくら も たある (樽) 貰うんよってんなあ (貰うの

だから)、あや (彼女は) さんじよかぶりやれ (だ) 言うてな、よお言うわい (よく言います)。

**いっしょかぶり (一升被) 【名詞】** 1) 大酒飲み。あびる程 (かぶる) 飲む人。2) 女性の再婚を言う。いっしょざけ。いっしょかぶ参照。[会話] 1) 酒飲み言うな (のは)、よけ (沢山) 飲む人ら (を) 酒飲みや (だ) 言うて、あや (彼は) 酒飲みでイッショカブリ飲む。

**いっしょくた (名詞) 【形容詞】** いろいろな物が秩序なく一つになっていること ごちゃまぜ (志 (布施田)、上、阿、張、名、北) [会話] なんもかも (何も彼も) イッショクタン (に) してまあ 言うて、味噌も糞も 一つやれ (だ) 言うよおんな (言うように)、まあイッショクタン (に) なんもかもして 言うて、なんも (全く) 区別せんと (せずに) なんでも かん てもごっちゃごちゃん (に) したると、なんもかも イッショクタンしてまあ、味噌も糞も一緒やれ (だ) 言うて。

**いっしょぐらい 【名詞】** 一升喰い 大食漢 沢山 御飯を食べる人 [会話] 御飯よけ (沢山) 食べる人をイッショグライやれ (だ) あや (彼は) 言うて。

**いっしょけめ。いっしょけんめ (一生懸命) 【名詞】** 中世一カ所の所領を命にかけて、生活の頼みとすること。命をかけるようなさしせまった事態。命がけの事。必死。一生懸命。一所懸命。[会話] こっばい (疲れた) になつたれ 言うて、イッショケンメになった。仕事して、イッショケンメになった言う事を、こっばいみそろくん (に) なつたれ (なりました) 言うて。みそろく言うな (のは)、つけ言葉や (です)。どお (權) 漕ぐ時、替わりにこおともせんと (せずに)、表に座つとりや (ていれば)、楽なやんかな (楽です)。人がやいやい言うて、イッショケンメ漕ん どのおに (漕いでいるのに)、眺めておんねよつて (居るのだから)。

**いっしょざけ (一升酒) 【名詞】** 大酒飲み いっしょかぶり いっしょかぶ [会話] 深酒わ 命を削る飽なり親の態度を子な受ける。イッショザケ 酒喰いの (酒飲み) 事 言うんな (言うのです)。よけ (ようけ 多量) 飲むなあ (飲みます)。イッショザケ、いっしょかぶりやれ (だ) 言うて。一升かぶつた (飲んでしまった) 言うやんかい (言います)。酒のんどて (飲んでいて)。深酒は命を削る飽なりや (です)。よけ (多く) 飲んだら出てくと (出て行くと)、後 なんも (何も) 考えやんで、ええもんで (考えなくてよて

心配しなくてよいので) 親のときより、この時や (親の死んだ時よりも、此の時とばかり此一子に掛ける) 思て (思つて)、やりきつたんね (飲みきってしまうのです)。それだけで、一番最高やな (です)。家、来て、かあさんな (妻が)、まあたいがい (大抵) にしとかんかい。

**いっしょどつくり (一升徳利) 【名詞】** 一升入る徳利 [会話] せともん (瀬戸物) の イッショドツクリなあ (です)。爛すんのんなあ (するの) に あれ使うやんかい (使います) かんどつくり (爛徳利) 赤垣源藏 な (が) とつくり 提げて とつくりの別れ言うて、あれふりまわしや (ふりまあして) 歩いてなあ。

**いっしょにさせてもおて。いっしょにさせてもろて。いっしょにしてもおて** 1) 夫婦にさせて貰らつて 2) 仲間に入れて貰らつて [会話] 1) 夫婦になって布団の中で 二つして 拭くもんな (物が) 無いので、襦のはしくた (端) で拭いて。夫婦ん (に) なんの (なるのを)、イッショシテモオテ 言うてな、おやこなり (親類同士の顔合わせ) する時や (は) イッション (二) シテモオテナア (貰らつて) 言うし、おなご (女) の方でもな、初めての言葉は イッション (二) シテモオテナア、仲よお (よく) してもおて な 言うてな、イッショニシテモロテ (貰らつて)、言うな (のは) 夫婦ん (に) なつた 言う事やわい (です)。

**いっしょにする** 1) 夫婦にする。結婚させる。2) 仲間に入れる。[会話] 2) いっしょにしてくれるかい (くれますか) 言う。買山 して おれげ (我家) も したや (そうしたら) 一緒ん (に) して、仲間ん (に) なしてくれえ (入れて下さい) 言うのな (です)。皆が 仲間でする事もイッショニスル 言うてな。1) 夫婦ん (に) なんのも (なるのも) 一緒ん (に) なる言うしなあ (言います)、イッショニスル 言う時は、夫婦にする。させる。結婚させる。

**いっしょになる** 1) 夫婦になる 結婚生活に入る (上、阿) 2) 仲間になる

**いっしょのたのみ (一生の頼み) 【名詞】** 必死のお願い 一生最後の願い

**いっしょびん (一升瓶) 【名詞】** 一升入る瓶

**いっしょまき (一升蒔き) いっとまき (一斗蒔) 【名詞】** 種を一升撒くだけの広さの田地。百~二百十坪 (度) [会話] イッショマキ言うのは、いまし (今) 畝歩 (せぶ・広さ) で言うけどな (けれど)、一升五合蒔は、一畝。此処にイッショマキ、二升まき言うて、

すんの (するのです)。一升五合まきな、一畝やけど、そすと (だが、すると) 三升まき言うと二畝の事やろ (でしょう)。そやけど (しかし)、此処らは、一畝、二畝言わせんの (言わないのです)。イッショマキ、二升まき言うて言うの (のです)。一升五合まき作ると、一畝は作とんねわい (作って居るのです)。一斗まきは、その十倍、一斗五升まきは、一反になるやろ (でしょう)。そやで、一升五合まきで、一畝。十畝で一反や (です)。

**いっしょます (一升枡) 【名詞】** 一升の量を計る枡 1.8 リットル (志 (鵜方、神明、立神、国府、安乗)) [会話] 一升 量る イッショマス。一合枡、十杯 はいんの (入いるのを) イッショマスなあ (です)。そしといて (そうして) 斗桶 言うて 一斗桶な (が) 有ってなあ、イッショマスん (に) 十杯入れると 斗桶言うてな、斗桶で計ると 十杯、計らんでも、そんで (計らなくてもそれで) 十杯はいとる (入っています)。米 すんのん (計るのに)、よんとおつ (四斗づつ) たあらいすんのんなあ (俵に入れるのに)、イッショマスん (で) すると 四十杯 計らなはざんけど (なければいけないが) 斗桶い (で) すると四杯すると しとんなんねよってん (四斗になるのだから)、斗桶をなあ、有る家も 有るし、無い家も 有るよってん (から) 貸してくれ言うて 貸りんく (に行く) 家な (が) あよおったわい (有りました)。

**いっしょめし (一升飯) 【名詞】** 米一升の分量の御飯。一日一升食べるような大食家。[会話] こまさこ (人名) イッショメシくうね (食べるのだ) 言うてなあ。飯、一升 炊いて さいら (秋刀魚) じゅっぼ (十本) じゅうごほ (十五本) くうんど (食べるのだ)、おれげの (俺の家の) こまさか (こまさこは) 言うて、そんだい (その代わり) 海女な (が) えろおてなあ (上手で) 一日でも よおはいとんね (よく海に入っています) そすと (すると) まんきこ (人名) よ 腹なへつたれ (が空いた) 言うと、まんき小父な (が) もち (握り飯) 握って まあ、こべりい (舷に) つられとて (つかまって) 食うて また いりしてなあ (潜りして) そやもんで (それで) いちにちん (一日に) 一升っ (づつ) くたんねて (食べるそおです)。磯な そんだい (海女がその代り) どいらいえらいんてや (大変よく働くのです) イッショメシ、言う時は よけ (沢山) 飯 食う時も、あや (彼は) イッショメシくうねど (食べるのだ) 言うてな、御飯 よけ (沢山) 食べる人をな、いっしょぐらいやれ

(だ) あや (彼は) 言うてな。

**いっしょんする** 1) 結婚させる いっしょにする に とんの音便 2) 仲間にする 3) 二つ以上の物を混ぜ合す [会話] <sub>3)</sub> イッションスルは、いっしょにするも一緒の事。“に”と“ん”と違うだけ いっしょにする言うのをなあ、イッションスル言うのなあ (です)。

**いっしょんなとる** 1) 結婚している 同棲している (志 (布施田)) 2) 仲間になって居る [会話] <sub>1)</sub> あれとあれ (彼と彼女) と イッションナットンネてわい (ているそうだ) 言うて、ふたんな (二人が) 関係 しとるとなあ (していると) あやまあ (あれは) イッションナットル言うてな。結婚せんと (せずに) おつて (居て) ふたんな イッション ナットンノなあ (ているのです)。

**いっしょんなる** 1) 婚約する。結婚する。いっしょになる。2) 仲間になる。[会話] <sub>1)</sub> 結婚する、婚約、今しで言うと婚約やわいな イッションナル。

**いっしんちょうらい 【名詞】** 一心頂礼。心を一にして仏法僧の三宝を恭敬して礼拝する事。五体投地のこと [会話] イッシンチョオライ。そや (それは) お経に あんねやんかい (有るのです)。イッシンチョオライ言うな (のは) 信心して、いっしょけんめ (一生懸命) でなる、一心にする、一心不乱言うて 言うやんかい (言います) 一心になるとなあ、一心不乱になとる (なっている) 言うてな いっしょおけんめんなとるな。

**いっすい (一水) 【名詞】** 一滴の水や酒。ひとたらしわずかな水や酒の例えに言う [会話] よいそ いたこた (夜磯行った事は) ないし、初めていて (行つて) びっくりした。しおな (潮、海水が) イッスイも無いよおんなつてくの (ようになって行くのです)。月の満ち時、港に潮なし言うて、港にイッスイも、潮な (が)、無いよおんなつてくの。

**いっすい (一睡) 【名詞】** 一眠り。[用例] ゆんべやイッスイもせだつた (なかつた)。

**いっすん (一寸) 【名詞】** わずかな事を例えて言う。少し [会話] わしら一年、たったひとくら (唯一度)、夜磯いた (行った) 事なあんね (が有るのです)。潮な (が) 干いて、干いて、潮な (が) イッスンも無いよおな感じなすんね (がするのです)。

**いっすんむかじ 【名詞】** つめじむかで

**いっせつ (一切) 【副詞】** 全然。いっさい。(熊)

**いっせんびき** 空とぼけて居る [会話] イッセンビキし

とる(して居る)。すらしとると(とぼけて居ると)、  
イッセンビキしとて(して居て)言うて。若いもんな  
(者が)、よおでも(呼んでも)、返事せんと(しない  
と)、あやあれまあ(あれまあ)、イッセンビキして、  
まいこまれ(逃げて行く)言うて、聞いて聞かんふ  
りして。

いっそ【副詞】あれこれ考えた末、それとは違った事を  
思いきって行なう気持ちを表す むしろ[会話] 去  
年の秋の患いに、イッソ死んでしもたなら、こおした  
嘆きも有るまいものを 言うて、割木(薪)を投げて、  
なげきや(投げ木 嘆きだ)言うて。イッソの事 此  
も もてけえ(持って行きなさい) 言うてな ちょい  
と(少し) 残すとなあ そんだけやどけ(それだけな  
ど) 残さんと(残さずに) イッソのこと 皆 お前げ  
え(お前の家に) もてけえ 言うてな。

いっぞ(何時)【副詞】何時か ゴは不足の時を表す  
過去 未来共に使用する。(志、多、度、伊)[会話]  
イツゾか それしたらなはざんなあ(してやらなくて  
はいけない) とか、いつかは 言う意味や(です)。  
いつかは せな(しなければ) あかん 言う事や(で  
す)。

いっそく(一束)【名詞】1) 百(志(布施田、甲賀、  
鶴方、神明、志島、国府、安乗)、員、桑市、鈴市、  
安) 2) 稲藁を束ねたもの(十二把)(安)[会話]  
2) じょおり(草履) イッソクとか 藁イッソクとか、  
藁のイッソクはなあ 十二把をイッソク 言うのな  
(です)。十二把を イッソク言うね(言うのです)。  
1) 鯛 イッソク 鯖 イッソク さいら(秋刀魚)イ  
ッソクこおて(買って) 言うてな さいらも 百 言  
うのをな イッソクや(だ) 言うて、イッソクこおて  
しょからん(塩辛に) 漬けた言うてな 百の事を イ  
ッソクや(だ) 言うて。

いっそのこと いっそ【副詞】思い切って。一層のこと。  
あれこれと考えた末、それとは一段違った事を思い切  
って選ぶ気持ちを表す。代わりに むしろ 一層の変  
化した語(員、上、阿、伊)[会話] こげな事しとる  
より(こんな事しているよりは) イッソノコト、死ん  
だほおがええわい(良い) 言うて。まだほかに、イッ  
ソノコト 無い方なええわれ(が良いのだ) とか。

いっぞや(何時)【副詞】過去の事に関し、いつであつ  
たかを意を表す。代名詞いつに係助詞ぞ、及びやのつ  
いて出来た語。やは不定の辞、過ぎし何時の頃なりし  
かの意(大言海)[会話] イツゾや お前げい(貴方  
の家に) いた(行った) ことも あるけどなあ(有る

が) 言うて 言うなあ。イツゾや あんたげい(貴方  
の家に) 厄介ん(に) なった事も有つてなあ言うて  
過んでた(でいった) 事なあ(です)。

いつだ 何時ですか

いったい。いったいぜんたい(一体、一体全体)【副  
詞】まるで 何と ある事柄を全般的、概括的に考え  
ようとする時用いる。[会話] イッタイゼンタイ な  
んしとんねえど(何して居るのか) あやまあ(彼は)。  
イッタイ言う事は、考え事を言うよおな意味やけど  
(だけれど) イッタイゼンタイ あや なつとしとん  
ねやかな(何として居るのだろうか) 言うて、イッ  
タイゼンタイ どげんしとんのどい(どんなにして居る  
のですか)、どおなつとんねどい(どうなつて居るの  
ですか) とか言うて、そんな時使うやんか(使いま  
す)。相手に わいた(君は) 何しとんねどい(して  
居るのですか) 言うよおに、そげな(そんな) 時に使  
う言葉や。どこやかや(何処かへ) 使いに、いたりし  
とて(行つて) おっそい(遅い) と、あや(彼) イッ  
タイなとしとんのかいなあ(何として居るのだろう  
か)。

いったる 射つてやる。

いったる 煎つてやる。炒つてやる。

いったん(一旦)【名詞】【副詞】一度(上、阿、北)  
[会話] あれもこおぼし(土用干し) しとかなはざん  
われ(しておかなければいけない)。乾かして、いれ  
とても(入れて居ても) しとつと(湿気を帯びると)  
してくると、こおぼししとかなはざんわれ言うて。麦  
でも採つて イッタン干ししても、又 六月ん(に)  
こおぼしせな(しなければ) 虫がわいて来るもんで  
(ので)、土用干し言うて、土用ん(に) になると、こ  
おぼしせな言うて。

いったんばたらき【名詞】一時期に急に働く事、働き  
が長続きしない事。(北)[会話] イッタンバタラキ  
言うて、その時 いきつてしたと(勢い込んでして  
やると) 後 まあ ふさん(病氣)するにげな(人間  
が) 有つて。その時 いっしょけめ(一生懸命)でし  
て しこつて(熱心に) すると あしためん(翌日  
に) になると、ああ、どこな(が) わり(悪い)、ここ  
な(が) わり 言うて 寝る人な(が) あつて、そす  
となあ(そうすると) あやまあ(彼は) イッタンバタ  
ラキで、後な(が) 続かせんねよつてん(ないのだから)  
言うて、二日も 三日もなあ、寝る人な(が) 有  
るわい(有ります)、一日働くとな。そいなの(そん  
なのを) イッタンバタラキ言うのな(のです)。

いったんぱりき【名詞】一時的に力を出すこと、又一時的に仕事すること。

いったんぶり【名詞】一時に急激に降る雨。俄雨〔会話〕 イッタンブリ言うのは、ひとくら（一時に）曇ったおもとと（思っていると）、ざあっと降って来て、ぱたんとやんでく（行くのです）。

いっち（一）【副詞】一を強めた語。一番。最も。ものの程度や状態が最も甚しい様。（志（甲賀、志島）、鳥（加茂、国崎）、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、松、度、伊、上、阿、張、名、尾）〔会話〕 イッチええなあ（良い）言うて、一番ええ言うのをイッチええ。あやまあ、イッチええの持てたれ（持って行った）言うてなあ。一番 わがとな（自分の）好きなの。イッチええ言う事を、イッチ言うて、一番 いい言う事やなあ（です）。イッチええ言うのは、一番ええけど（けれど）、イッチ悪い言うのは、一番悪い事。イッチ悪いのを、持てけ（持って行け）とか、イッチええの（のを）呉れるわとか。

いっちいちばん【副詞】最初（志（布施田）、鳥（国崎））〔会話〕 イッチイチバンに来てまあ 言うて 一番初めん（に）くんのを（来るのを）イッチイチバン、イッチイチバンに来たね（来たのだ）今日は、きんにや（昨日は）おっそかったもんで（遅かったの）。一番 言やええもん（言えばよいのに）イッチイチバン、イッチイチバン言うてな No 1。

いっちええ 一番よい（鳥）

いっちょ（いっちやう）一丁【名詞】 1）一つ 一ケ一度 2）一度 ひとつ 試みに（副詞） 3）物を数える単位（刃物、樽など）〔会話〕 <sub>3)</sub> イッチョ 刀イッチョ そして酒樽も イッチョこかした言うやんか（言います）。酒、あの家はイッチョ 樽こかしたんてない（こかしたそうです）言うてなあ。

いっちょ 同じ 幼児語（鳥、上、阿）

いっちょまい。いっちょまえ（一丁前）【名詞】 一人前（志（浜島、神明、志島）、一）〔会話〕 イッチョマエ言うのは、一人前や（だ）。口だけはイッチョマエやなあ（だ）。なんも（何も）はざんくせに（駄目なのに）口だけは、イッチョマエやあれ（だ）。

いっちよら（いっちやうら）（一張羅）【名詞】 持っている着物で、一番上等の物。とって置きの晴れ着。たった一枚より持って居ない着物。一張 琴 弓 幕の数え方の一つ。羅 うすぎぬ 薄く織った絹布の総称。うすもの。み織りの技法により織った目の粗い絹織物。（志（越賀、片田、浜島、志島、鶴方、神明）、

鳥（桃取、答志）、桑郡、三、鈴市、安、一、松、上、阿、張、度、伊、南）〔会話〕 一番ええもん（良い物）を、大事のもん（物）イッチョラ。おら（俺）のイッチョラ着て、まあ言うて。わがと（自分）の一番ええきもん（着物）を イッチョラや（だ）。

いっちよらぎ【名詞】 晴衣（三重県全域）〔会話〕 こや（此は）おんな（俺の）イッチョラギやどお（だ）言うてな。一番大事のええきもん（よい着物）を、こやまあ おんな イッチョラギん（に）したのを のら（お前達）普段着ん（に）したて（してしまつて）言うてな とときやどお（だぞ）言うて、とておき言うのを ととき 言うのなあ（です）。一番大事のきもんをなあ いっちよらの事を とときや言うね（だ言うのです）。とときの きもん 着て、何処い（に）行くんどい（行くのですか）言うてな。いっちよら 言うんな（言うのです）。イッチョラギやちよらぎや 言うて、こやまあ（此れは）おんな（俺の）ちよらぎやどお（だ）言うて。

いっちよら。いっちよらぎ（一張羅着）【名詞】 晴れ着自分の一番良い着物 一丁蠟燭の義か たった一本でともし替えのない蠟燭の意（志（甲賀、鶴方、神明、立神、国府）、上、南、熊）〔会話〕 イッチョロギものすごおええ（ものすごくよい）のを、一番わがとな（自分が）、大事の のおを（のを）イッチョロ。イッチョロギや（だ）。

いっちわり 一番悪い

いっつき（五月）【名詞】 五ヶ月。特に妊娠してから五ヶ月目。〔会話〕 みつき（三ヶ月）よつき（四ヶ月）は 袖でも隠す 最早 臨月 隠せわしない。

いっつのむかし（何時昔）【名詞】 随分以前

いっつも（何時）【副詞】 いっつもを強めた言い方。どんな時でも。常に いっつも 代名詞 いっつに助詞もがついた語。（志（鶴方、神明、立神、志島、国府）、鳥、桑郡、員、三、鈴市、松、阿、張、名、伊、南）〔会話〕 イッツモ お前んとこん（の所に）厄介ん（に）なつてなあ 言うて、いっつも 言わんと（言わずに）イッツモ言うて。

いっつもかも【副詞】 いっつもを強めた言い方。どんな時でも。いっつもかも参照（北）〔会話〕 イッツモカモおとしや（ああ）しよびたれみたよなふう（不精者のような格好）して言うてな、そして 煮えたねやら（のか）焙（い）れたねやら（のか）判らんよおん（ように）して 言うてな、のつそらと 顔よお（しかめ面）したりしととなあ（していると）イッツモ

カモ にか瓜 噛んだよおな顔してまあ言うてな。

**いってく(潜入)【自カ五】**潜水する。海女が作業のため海底にもぐる。(志(布施田、立神、志島)、鳥(石鏡)) [会話] 海女な(が)、一扁イッテクのを、ひとかしら言うて。

**いってた** 1) 潜って行った。(志) 2) 入って行った。3) 沈んで行った。[会話] <sub>3)</sub> 日な(が) イッテタ言うし、<sub>2)</sub> なんやら(何か) 出来て来たんけど(のだが) 治ったのもなあ イッテタ。はしかな(が) 出て来たや(ら) 風ん(に) 吹かれたや イッテタレ 言う時も有るし、<sub>1)</sub> そして、底入り(潜る) すんのも(するの) イッテクね(の) 言う時も有るしなあ(有ります)。底い(へ) イッテタない あやまあ(彼は) 言うて、底入りしてくのをなあ(潜水して行くのを) イッテタない 言うてな。沈んでく(で行く) 言うのをなあ イッテタない まあ 言うてな、とごつてた(沈んでいった) 言うのも有るしなあ(有ります)。沈んでく(で行く) 言うな(のは) とごつてた言うんな(言うのです)。イッテタ 言うな(のは) 底入り(潜水) する時なあ(です)。石、放りこんだや(だら) とごつてたない(沈んで行った) 言うてな、浮いてこんと(来ずに) 底い(に) おつてくのをな(落ちて行くのを) とごつてた 言うの(のです)。いる 言うのは 底入りすんのおや イッテタ 言うの(のです)。

**いつでも(何時)【副詞】**どんな時でも。常に。代名詞 いつに格助詞でと係助詞ものついて出来たもの。(志(浜島、志島、神明、御座、片田)、桑郡)

**いってんばり(一点張)【名詞】**他を顧みないで、ただ一つだけを対象とする事。又それだけ押し通す事。一方だけ。(北) [会話] 仙屋の爺や(で) ないけど(けれど)、銭てもな(と言うものは) 稼ぎよおいもの(やすいものの) つかえのくい(使いぬくい) もんやのお(だ) 言うて、銭は出させんねよつて(出さないのだから)。たまる、イッテンバリや。

**いっと【名詞】**一斗(北) [会話] イット(一斗) にと(二斗) さんと(三斗) しと(四斗) 言うてなあ 斗桶も イット 言うしなあ。

**いっとお(いったう)(一統)【名詞】**親類 血縁 仲間 (志(鶴方、安乗)、桑市、員、四、鈴市、鈴郡、安、一、多、度、伊、南) [会話] 小村家イットオ、西岡イットオ 何家イットオ 系図の事。そすと(すると) 親類イットオ。佐藤家イットオやなあ(だ) 言うて、系図のうち(家) を その家の 血のつながりの

家 を、親類だけで 仲間も 今し(今) ここに集まる和楽荘イットオやんか(です)。老人会、イットオ言うやんか(い) (言います)。

**いっとお(一等)【名詞】**一番。先頭。とお とう 等 順序を表す(鳥(相差)) [会話] イットオ言うのは、一番。はしりやい(徒歩競走) とか 一番。

**いっとき(一時)【副詞】**1) 少しの間 しばらく(員) 2) 過去の或る時 [会話] <sub>1)</sub> イットキ言うな(のは)、ちよいと(少し) の暇言う事やなあ(です)。イットキ待とてくれえ(待って居て下さい) とか、イットキやすもや(休みましょう) とか、ちよいとの暇を言う事やろな(でしょう)。

**いっときあらそう** 急ぐ [会話] こやま(此はもう) イットキアラソウ仕事やよつてん(だから)、遅くれ(遅くなるが)、今日は 頑張つて やつて貰らおか(して貰おうか) 言うて。

**いっときしょおや** 少し休みましょう、休憩しましょう [会話] 休憩しょおや(しましょう) 言うのを イットキショオヤ 言うの(のです)。ほねやすめしょおや まあ イットキ休もや(休みましょう) 言うてなあ。

**いっときに** 急激に。速やかに。一度に。同時に(上、阿) [会話] イットキにしたたれ(してしまった) 言う時も有るし、イットキ したた(してしまった) とか イットキ くた(食べてしまった) とか。

**いっときのあい【名詞】**少しの間 (志(浜島))

**いっとく** 煎って置く

**いっとく** 射って置く

**いっとく** 入っとく 潜って置く

**いっとこ(五所)【名詞】**五ヶ所

**いっとまき【名詞】**一斗の種を撒ける田畑の広さ。一升 蒔きの十倍 一升まき参照 (度)

**いっとます(一斗枡)【名詞】**容量で一斗を量る枡 約 180リットル

**いっとらん** 入って居ない

**いっとる** 1) 入って居る 2) 稔っている (志(布施田)) 3) 煎っている 4) 射っている [会話] <sub>1)</sub> 昔は、がんぜんみたよなもん(のような物) せせかして喰わらった(面倒臭くて食べなかった)。うにばっか採りおった(ばかり採って居ました)。今しや(今は) うにな(が) すけないもんで(少ないので) がんぜんも 皆 とつてきといて(採って来ておいて) かなみ(金網) い すえて(乗せて) 焼くと そのみい(身) 取ると、どいらい(大変) イットルの(ので)

す)。うまいねてや(美味しいのです)。

いつなたっても どれ程の日時が経過しても いつになつても(志(布施田))

いつなぬか【名詞】死後三十五日 [会話] 死んでから三十五日、イツナヌカとか なななぬか(七、七日)とか 一週間に一遍な。

いつなんどき(何時何時)【副詞】どんな時に。いつ。いつどんな時に。いつを強めた語。(志(布施田)、員)

いつの(五巾)【名詞】五枚の布を横につないだ巾。又此の巾で作った布団

いつのむかし 遠い過去。随分以前。[用例] そやなあ(それは) イツノムカシの事やんかあ(だ)。

いっぱい(一杯)【名詞】1) 損得ない事 2) 船一そう。物を数える単位(北) 3) 酒を飲む事(志(浜島)、上、阿、張) 4) 限界ぎりぎり 5) 満潮(志)[会話] 2) 鮑イッパイ(一つ) 舟イッパイ(一隻) 4) 御飯よそうのも イッパイ、イッパイもつてくれえ(よそつて下さい) 言うてな。 イッパイよばれたよお(一杯頂きました) 言うて、一膳言うのを イッパイ、イッパイ食うたばかや(だけだ) 言うてな。 4) 腹イッパイ、ひい(日) イッパイ、ひい(日) イッパイ働いて かいだりわれ(疲れた) 言うてな。 1) こんで(これで) イッパイやのお(だ) 言うて かんじよおすんのなあ(計算するのに) イッパイ イッパイいたよお(行きました) 蛸のあきないやったよお(でした) 言うて。 きちっと(正確に) 行くと、イッパイ イッパイ 蛸のあきないや(だ) 言うて、でえ(出)も、入りもせんと(せずに) 丁度ええとなあ(よいと) イッパイ、イッパイいた(行った) 言うて。 3) 酒、飲むのも イッパイやろや(やりましょう) 言うてなあ よさや(夜は) イッパイやろか(やりましょうか)。

いっぱい(一杯)【名詞】沢山。一面に。(張、鳥、員、一、松、伊、尾、北、南、熊)[会話] とんぼなわく(群れて出てくる) 言うて、イッパイ出て来る。日暮れん(に) 日な(が) かたごと やってくんの(傾くと来るのです)。そすと(すると) 子供らが、イッパイたかつてくんねやんかい(集まって来るのです)。

いっぱいいっぱい(一杯一杯)【形容詞】収支がつり合っているさま。過不足がない。損得がない。一杯を重ねた語[会話] 一貫そこそこやとか、丁度やとか、イッパイイッパイの時は丁度言うし、一貫足らんと、こやそこそこやなあ。

いっぱいきげん(一杯機嫌)【名詞】酒を少し飲み、適当に酔ってよい機嫌で有る様[会話] イッパイキゲンでまあ にしよ にしよ ええ(よい) 気嫌やなあ(だ) 言うて。

いっばいのみや【名詞】小額の金で気軽に酒の呑める店

いっばいぶね(一杯船)【名詞】一隻の船 独立して漁をする船(志)[会話] イッパイブネ乗るの(のを) かこ(水夫) 言うて、イッパイブネ、十人なら十人乗ると イッパイブネのかこや(だ) 言うて。

いっばいめし(一杯飯)【名詞】一杯盛り切りの飯。人が死んですぐ枕元へ供え、多くは葬送の供をする人が墓前にまで持って供える。一膳飯に同じ。[会話] イッパイメシ食わんもんやれ(食べないものだ) 言うて、言うけど。 みな 今しや(皆今は) 一杯や(です)。一杯やんかい(です)。二杯食うもな(者は) そげん(そんなに) よくよくやなけな(でなければ)。昔もりまね(よそうまね) でもしてなあ 二杯に しよおったけど(して居たが)、死んだおりん(時に) 一杯盛るやんない(よそうでしょう)。イッパイメシ食わんもんや 言うて、そやだ(それは) 食わそ(食べさせよう) 言うて あやなあ(あれは) 言よおったんやろけど(言って居たのだろうが)、今しや 皆一杯やわい(です)。食わん(食べなく)でも もる(よそう)まねしてなあ しよおったけど(して居たが)、今しや まあなあ 一杯食うて なんも(少しも) もりまねも しやへんなあ(しません)。

いっばいやる 飲酒する。酒を飲む。(志(浜島))[会話] 一杯やろや、おみき(酒) 一杯やろやんか(飲みましょう)、よさや(夜は) えらかったよってん(大変だったから) 言うて 酒 飲む言う事 イッパイヤル。

いっばし(一端)【副詞】1) まだ未熟な者が、まるで一人前のようにふるまうさま。人なみにえらそうに 2) あざける気持ちがなくて、ひとかど、一人前、相当、かなり、の意を表す 3) 性質のかたよって居る事[会話] 3) あや(彼は) イッパシ有る にげやどお(人間だ) 言うてな。 よお言うやんかい(よく言います)。こんじよ(根性)のしっかりしとる(している) にげな(人間です)。なんやかや(いろいろ)人の言う事 ひっかけたりするとなあ あやまあ(彼は) イッパシ有るにげやなあ(人間だ) 言うてな。 あや(彼は) まあ イッパシやなあ(だ) 言うてな。 2) イッパシの事も出来やせんくせん(ないのに) 言うやんかい(言います)。一人前の事な(が) 出来やせん

(出来ない) 言う事を、あやって言うんやろな (あんなにして言うのでしょうか)。

**いっぱつ (一発) 【名詞】 【副詞】** 一回 一度 一回で決着をつける事。最初で最後此れ一回限りの気持ちを言う。[会話] イッパツで したらなはざんわれ (してやらなければ駄目だ)。イッパツで やりとげた 言う時も 有るやんかい (有ります)。イッパツで やった (してしまった)。

**いっばん (一飯) 【名詞】** 一度の食事。一食 (志 (布施田)) [会話] イッパン よばれた言うんかい (招待された言うのですか)。今日は イッパン あんねよって (有るのだから) 飯 食わんと (食べずに) 来てくれえ (下さい)。これは 一回の御飯、今日は イッパン よばれんねよってん (招待されるのだから) 来いええ (来なさい) 言うてな、よお言うやんかい (よく言います)。食事 まあ 昼なら昼、夜なら夜を イッパン よばれて (頂いて) 来て 言うてな。今日は おれげ (俺の家) で 支度 (準備) する よってん (から) 言う、あの家で イッパン よんでくれんねわれ (招待してくれるそうだ) まあ 飯 食わんと、いこやんかあ (食べずに行きましょう) 言うてな。

**いっぴつ (一筆) 【名詞】** 一通の書面 特に証文など

**いっぼうある** ふう変りである。独自のものを持っている。(志 (布施田))

**いっぶく (一服) 【名詞】** しばらく休息する事。休憩フク (服) は吞む事 (大言海) (南) [会話] イップク しよおやんかあ (しましょう) 言うて、休む、一休みする事を イップク言うてな。休憩する事をな まあ えらいのん (疲れたのに) 言うて 煙草吸うのも 煙草イップク吸え 言うしな。

**いっぶくしよおや** 休みましょう。休憩しましょう。[会話] やすもやんかあ (休みましょう) 言うて、一服吸え 言うたや (たら) 煙草すえ 言うのをな。そすと、煙草吸う人は 煙草や (です)。一服 やけどな (ですが) そやけど (しかし) 煙草吸わん人でも 休むのをな イップク しよおや 言うてな。みんな (皆) 休み時 やなあ (です)。イップク しよおや 言うてな。

**いっぶくすえ** 休憩しなさい [会話] イップクスエ 言うたや (言ったら) 煙草吸え イップクスエマア 言うて、休もやんかあ (休みましょう) 言うのを。

**いっぶくする** 休む。休憩する。[会話] 休む 休憩する 言うこと やな (です) イップクスル言うのは。一服 ん (に) になったら 今日は 仕事おくやれ (終わります) 言うて 休んだ時に。

**いっぶくやる (一服)** 休憩する [会話] 朝 はよ (早く) から、昼迄言う、えらいし (大変です)、イップク ヤンノン (するのに) お茶漬けがさがさと 喰うて (食べて) しよおったね (して居たのです)。工場 いとる (行っている) 一服に、ごみ 掻いて (掻き集めて)、かいりにゃ (帰りに)、それ にのて (担って)、行きに や 肥 (肥料) にのて、ほんとん (本当に) 体の休む暇が無かった。

**いっぺん (一遍) 【名詞】** 1) ある時、過去のある時期 2) 一度 (志 (鶴方、浜島、片田、布施田、志島、船越、国府)、鳥 (坂手、桃取、答志)、桑郡、三、鈴市、安、阿、張、名、南、熊) [会話] ② イッペンに今日は なんもかも (すべて) みな決まってる (終わった) 言う時も 有るしな (有ります)。ひとくらん (一度に) まあ なんもかも決めたて (すべて終わって) よかったなあ 言う時 ん (に) なあ。

**いっぺんごと** 一回ごとに、そのつど (北) [会話] イッペンゴット あげん (あんなに) 言うて、ひとつごと あげん 言うて 口答えすんねない (するのだ) 言う。イッペンゴット 言うのは 今の言葉やけどな (だが)、ひとつごと 言うの な (です)。昔はなあ ひとつごと いろいろと 口答えして言うて わるわれよおったなあ (叱られて居ました)。

**いっぺんに (一遍) 【副詞】** 1) 一度に 2) 急に (一) [会話] ① イッペンニ 言うね (言うのです)。ひとくら (一度) に なんもかも (すべて) 食いまく ったて (てやって) そや ええのかい (それはよいのですか) 言う時 な (が) 有るしな (有ります)。ひとくらに なんもかも まるけこんでたれ (すべて包んで行った)、ひとくら ん (に) 言う時も 有るし。ひとくらに なんもかも 皆 くたて (食べてしまつて) なんも無いわれ (何も無いのです) 言う時も 有るしな。仕事でも、ひとくらに 皆 したて (してしまつて) よかったなあ言う。イッペンニ したらなはざん (してやらなければいけない) 時も 有るしな、こやま いつとき (一時) 争う仕事 やよってん (だから) 遅くてくけど (おそくなるが) 今日はまあ 頑張つて、やつてもらおか (もらいましょうか) 言う時も 有るしな (有ります)。

**いっぺんも** 1) 一度も 2) ある時

**いっぺんより** 一度より

**いっば (一本) 【名詞】** んの省略 本、数助詞細長い物の数をかぞえるのに使用。にほ さんぼ しほ ごほろつぼ しちほ くほ じゅつぼ (志、度、北) [会

話] 足 イッポとか、箸イッポとか、棒イッポとか。

いっぽおや 専らだ、金が出るイッポウヤ

いっぽぶり 合せて丁度魚一匹分 (志 (布施田))

いっぽんづり (一本釣り) 【名詞】 1) 一人で漁に出る事 2) 一本の糸に一ヶの釣針をつけてする漁 [会話] 1) イッポンヅリ言う と あかいお (赤魚) 釣り人行く人らを イッポンヅリや (だ) 言うてな。鯖釣り ん (に) 行くのも イッポンヅリや (です)。イッポンヅリは一人で いて (行つて)、一人で釣つて くん のな あ (くるのです)。 あや (彼は) イッポンヅリでまあ 言うて イッポンヅリ な (が) 上手な ね よ つて ん (のだから) 言うて。

いつもかも (何時) 【副詞】 いつでも。いつも。絶えず。  
(志 (国府、鶴方、神明、立神、志島)、北、鳥、鈴市、尾) [会話] イツモカモ言うのは、今日も あした (明日) も、おなし (同じ) よおな 事 ば つ か (ばかり) して 言う事や な あ (です)。年がら年中言うよおな意味や な あ。今日も、明日も、まあ言うたよおな事 ば つ か 言うたり、したりして言うて、イツモカモ あげ な (あんな) 事 ば つ か 言うて。

いつもつきよで、よもはつがつで、とのものにじゅごでおればよい 【俚諺】 いつも月夜で夜も八月で殿も二十五で居ればよい 若い婦人の願望

いつものでん 【名詞】 いつもの癖。いつもの手。いつも普通の状態。平生。常に。いつもの手。でん やり方方法 [会話] イツモノデンで、あや れ (あれ) 又 やつて 来た れ (来た) 言うて、じょ つ く (いつも) するよおな事をする言う事や ろ な (でしょう)。イツモノデン言うのは。

いつやら (何時) 【副詞】 いつであったか いつぞや此の間 過去のある時期を示す。やらは やらむの変化したもの (志、員、三、一、伊) [会話] 尻、尻の菊皿や (だ) 言うて、イツヤラ 言う た や ん か い (言いました)。

いつわる (いつはる) (偽) 【他ラ五】 嘘を言う。だます

いつんなつても どれほど時間が経過しても

いて 行く 行つて (志、鈴市、津、一、松、多、阿、伊、北、尾、南、熊) [会話] あしこい (あすこに) イテ も お て (貰つて) 来い言う。医者屋い (え) イテ 薬 も お て 来い。

…いであいか いでか せずつにおくものか イテ 動詞の未然形に付く。現代語のないでに付く、上の事柄を打消し、特別の感情を持って中止する。上の事柄を打消し下の用語の修飾語となる。か 終助詞文末につく。

疑い問いかけの気持ちを表す。反語を表す。反発する気持ちを表す。さそい依頼の気持ちを表す。遠まわしに命令する気持ちをあらわす。[会話] せんと (せすに、しなくて) おく もん (もの) か。いわイデとか 言う な (言います)。 そい な (そんな) 事 言う けど (けれど) そんな事 言 わ イ デ カ、そんな事 セ イ デ (しなくて) おか イ デ イ カ、年寄りの人ら 言う けど (言います)。わしら そい な 事 (そんな事) が い に 使 わ せ ん (多く使いません)。

いてきた 行つて来た (志) [会話] あしこい (あすこに) イテ キ タ ヤ (ら) 人 な お ら ん で (が居なくて) 言う。まあ 今日は畑、イテ キ タ とかな、た あ い (田え) イテ キ タ とか 言うて、磯 い (海女に) いて来ても 磯 い (海女に) イテ キ タ 言うてな。今日は 磯 い (海女に) イテ キ テ 大漁 や つ た よ お (でした) 言うて。

いてきたない 行つて来ました

いてきたのおこ 行つて来たのですか [会話] イテ キ タ ノ オ コ、行くのこ お 言 う て、いてきたの お か い (のですか) 言うのを、イテ キ タ ノ オ コ 言うてな。イテ キ タ ノ オ コ て や (と言えは) あ て ら あ 言うてな。

いてきたのおに 行つて来たのに はやいね参照 [会話] はやい ね (お早う) 言う と、あ て ら あ (はい) 言うて、イ テ キ タ ノ オ ニ 言うて。

いてきたれ 1) 行つて来ました 2) 行つてやりなさい [会話] 1) おん な (俺が) イテ キ タ レ 言うて 行つて来ると。

いてきてくれ。いてきてくれるかい。いてきてくれるかな 行つてくれますか

いてくる (行来) 外出の時、家人にする挨拶。行つて来ます (志、一)

いてくるわ。いてくるわい。いてくるわな (女性語)。いてくるわら。いてくるわれ 行つて来ます 出かける時の挨拶 (阿、張、名) [会話] イテ ク ル ワ イ 言うて 今日は畑、イテ ク ル ワ イ とか、た あ い (田へ) イテ ク ル ワ イ、磯 い (海女に) イテ ク ル ワ イ “わい” 言うて 行つて来ます言うて て え ね え ん (丁寧) 言う言葉な イテ ク ル ワ イ 言うて イテ ク ル ワ 言うて、“わい” 言わんと イテ ク ル ワ 言うて 親 し も ん (親しい者) に 言う 時 ん (に) なあ。行つて来ます。

いてくれ 行つて下さい (南) [会話] あしこい (あすこえ) イテ ク レ 言うてな。畑 イテ ク レ とか、お れ げ (俺の家) の た あ い (田え) イテ ク レ とかな、行つ

て下さい 言うの (のを)。

いてくれたんか。いてくれたんかあ。いてくれたんかい。

いてくれたんかれ 1) 行てくれたのですか (感謝) 2) 行てくれましたか (疑問) (上、阿、張、名) [会話] 1) イテクレタンカイ おれげ (俺の家) の、のおえ (のに)、おた (ああ) 気の毒ななあ (です) 言うて。おれげの畑 イテクレタンカア 言うてなあ。そして ほん (本当に) ひとしきり行て来たね (来たのだ) 言うてなあ ひとしきり言うと ちよいと いっとき (一刻) の ひとしきり まあ いて来たれ (来ました) 言うて。

いてくれられるか。いてくれられるかい。いてくれられるかな 行てくれる事が出来ますか

いてこい (行来) (命令形) 行きなさい 行て帰て来なさい。いてこいの参照 (志 (布施田))

いてこいの 行て来なさい [会話] あしこい、イテコイ (あすこに行て来なさい)、まあ 今日は あの家な (が) なんやらやれ (何かだ) イテコイマア 言うて。イテコイノ 言うやんかい (言います)、わいら (お前達) イテコイノ 言うてな としよりな (年寄りが) イテコイノまあ 言うと ほんえ (本当ですか) そしたら いてこんねえ (それなら行て来ます) 言うて。

いてこお (行来) いてて来ます。外出のときの挨拶。行く。(張、北)

いてこおかい 行て来ましょうか

いて、こおかい 行てしまった 行て来ません

いてこおかいなあ 行ててようか 行こうかな [会話] 便所 イテコオカイナア 言うて。

いてこおんね 行て来ますよ

いてこます 1) やりこめる 2) 盗む (上、阿、張、名) 3) 行く [会話] 1) イテコマス言うのは、やり込める言うよおな意味や (です)。あの人を やり込める言うよおな意味やなあ (です)。イテコマスいうのわ。

いてこんならん 行かなければならない (安) [会話] あの家な (が) 今日は かあらおきしとんね (瓦置きしている) おらげ (俺の家) も イカンナランナア (行かねばならない) とか、イテコンナランなあとか 言うて、いかなはざん (行かなければいけない) 言う事やな (です)。あの家な (が) 今日は がいな (大変) 人な (が) あれしとんのん (騒いでいるのに) おらげも いかなはざんわれ (行かなければいけない) イテコナハザンなあ (行かなければいけない) 言うて。

いてこんねえ 行て来ます 行きます [会話] わいら (貴方達) いてこいの (行て来なさい) 言うと、ほんえ (本当ですか) そしたら (それでは) イテコンネエ言うて。

いでた 完成した 熟した [会話] 豆 ほうろくで煎て 腹な (が) ぱんと割れると、はじけて来たよって ん (から) イデタどお言うて。みいな (実が) なっと んのおな (なって居るのが) かあな (皮が) はじけんのと (けるのと)、みいな ぱんと割れると はらして来たよって (ふくれて来たから) イデタどお 言うて。

いでたち (扮装) 【名詞】姿、形、服装 身なり イデタチ (出立) イデタツ (出立) カドデ (首途) の行装より意を転ず (大言海) [会話] イデタチ 言うな (のは) ふう (格好) を 整える事を イデタチ 言うのなあ (です)。畑、行く時 脚絆もはいて てがき (手甲) もかけて イデタチ よおして (よくして) あやれ (あれ) 言うてな。こがしこいよん (すつきりとしたように) して、まあ、イデタチな (が) ええよお見よまあ (よいのを見なさい) 言うて。

いてつく (凍付) 【自カ五】 1) 凍りつく。すっかり凍りつく。(鈴) 2) 熱い [会話] 2) いりつく (煎りつく) よおななあ (だ)、イテツクも 言うやんかい (言います)。日に照られると、物凄い日な (が) 強いと、おおたまあ (ああ) イテツクよおななあ (だ) 言うて。日な (が) かんかん照って あつうて (暑くて) しんぼな (辛抱が) 出来やせん (出来ない) よおな時を おおた (ああ) イテツクよおななあ (だ) 言うて 言うのなあ (です)。1) 反対に寒い時、凍っとる (ている) 時もイテツク、あの道な (が) イテツイテなあ 言うて、氷な (が) はっとんのも言うなあ (張っているのも言います)。寒さな (が) きつい時も 言うしなあ。暑さな (が) きつい時もなあ あんまり (あまり) 厳しい照り方を すると。

いててた。いててたない。いててたれ 凍ってしまった [会話] 寒さで凍っとんのを (ているのを) イテテタレ言うて。霜でイテテタ 言うて。だいこ (大根) の切干 切って 干しといたや (ておいたら) 霜で イテテタレ 言うと、日に 干しても 乾かせんのなあ (乾かないのです)。

いてみよ 1) 行て見よう (鈴、亀、伊) 2) 行てはいけない 3) 行て見なさい [会話] 1) あしこい (あすこに) イテミヨカ 思うけど (のだが)、今日はまあ なんやら (何か) 体な (が) かげんな

(様子が) わりいて (悪くて) 市民病院え 通よとんねけど (ついているのだが) こっちゃ (こちら) の医者い (え) イテミヨカ 思うね (思うのです) 言うて、イテミヨカイナ 思うね 言う時なあ。迷よとる (ついている) 時なあ (です)、イテミヨカ 思う言うてな。行てこおかいなあ 言うて 決つとんねけど (ているが) あしこい (あすこえ) イテミヨカイ思うねよお言うてな。<sup>2)</sup> イテミヨは 其処いいたらはざん (行ったらいけない)、いたら (いったら) いかん 言うのも有るし、<sup>3)</sup> いて (行つて) 見て来い言うのも いて ミテミヨ (みなさい) まあ 言うのも有るし。

いてみよか。いてみよかいなあ 行つて見ようか (疑問) いてみよ参照

いてみよまあ 行つてみなさい 行つて来なさい [会話] イテミヨマア 言うな (のは) いてこい (行つて来い) 言う事やなあ (です)。

いてみる。いてみるわ 行く 行つて見る (北) [会話] イテミル 言うのは、其処い (え) 行く言う事。おや (俺は) イテミルワ 言うな (のは) 其処い 行く言う事や (です)。

いてもきても 行つても来ても (志 (布施田))

いてる (凍) 【自タ下一】 凍る。凍りつく。(志、鳥、員、四、鈴郡、鈴市、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] 寒さでなあ凍つとんのをなあ (ているのを) まあ イテテタレ (てしまった) 言うてな。霜で イテテタ 言うて、だいこ (大根) の切干 切つて 干しといたや (ておいたら) 霜で イテテタレ 言うて、日に干しても乾かせんのなあ (乾かないのです)。なんやら (何か) 芯な (が) うるだよおんしとて (していて) イテテタもん (物) は はざんの (駄目です)。水気の有るもん (物) を よさり (夜)、夜干ししとくと (しておくと) 霜な降りて イテテテなあ。きんこやどけ (でもなあ (芋の煮切干しなどでも) 取り込まんと (込まずに) おると びちょ びちょ しとる (している) 時ん (に) 生ののおを (のを) 置いとくと イテテ時なあんのなあ (が有るのです)。イテテテ まあ はざんよお (駄目だ) 言うて。

いといらし 【形容詞】 可愛らしい [会話] イトイラシイ 可愛らしい言う事やわい (です)。初午の唄ん (に) あるやんかい (有ります)。イトイラシイ 可愛らしいと思ひ初め言うて。

いとう (いとふ) (厭) 【他ワ五】 1) 大切にする 大事にする いたわる 力の弱い人や、因つて居る人、

病人などに、同情の気持ちを持ってやさしく接する。思いやりを持って扱う、慰労する、苦勞をねぎらう、手当てを加える、養生する、努力する、苦心する、病気で苦しむ人や動物を大切にする。2) 嫌がる キラウ (嫌) が相手を積極的に切り捨て遠ざけるに對し、イトウはいやな相手を避けて身を引く意 [会話] <sup>1)</sup> イトウ言うのは、あの体をイトウ言うやんかい (言います)。体をイトウなはざん (なければ駄目) とか。

いとうなぎ 【名詞】 うなぎの稚魚 孵化して河口から河川溪流にさかのぼる頃、糸のように細く小さい稚魚。(志 (船越、立神)、桑市、南) [会話] イトウナギ。鰻の子の事 言わせんか (言いませんか)。イトウナギ言うて、おやまのかいな みたいな (遊女の腕のようなのを) 採つて来るやんか (ではありませんか)。あれやないかいなあ (あれではありませんか)。あれ捕りん (に) みなくちもとい (水口源へ) 糸みたいん (いに) しとる (して居る) ほっそい (細い) 鰻。それ 皆 こおて (買つて) 活けて 鰻になんのを (なるのを) 捕りん 行きおつた (行つて居ました)。みなくちもとへ、ひといき (一時) はやつたなあ (流行しました)。ほっそおおい 鰻 採つて来て、それをなあ 売るとなあ、こおた (買った) 人、活けて鰻の養殖すんの (するのです)。それやねえんかい なあ (それで無いですか) イトウナギ言うな (のは)。イトウナギ言うのは、採りに行きよつたもん (行つて居ました)。鰻になるもなあ、しらす言うて、一番最初はゆりの、浦の みなくちもととおつてなあ。採りに行きおつた (行つて居ました)。かみのいち みたい なあ (髪特に女性のような、細いのやなあ (です)。かみのいちの姉みたい なん なあ (のようです)。採つて来おつた (来て居ました)。それ売つて、買おた人 生賣へその鰻、養殖に使いおつたりする (使つたりします)。

いとおし (いとほし) 【形容詞】 1) 可愛らしく思う。いつくしみ情けをかけたくなる気持ち。2) いじらしい。かわいそうだ。心、イタ (痛) はしの転 (大言海) [会話] <sup>1)</sup> イトオシイ いとし恋し いとし かわい (可愛い) と言うて 可愛い いといらしい 可愛らしい言うねやんかい (言うのです)。

いとおしがる (いとほしがる) 【他ラ五】 かわいがる

いとおて 痛くて (志) [会話] 足な (が) イトオテ歩かれんで (歩けなくて) ちんば引いとる よお (ている) 言うて。腰な (が) 痛い、腰な (が) イトオテ言うて。イトオテ イトオテ まあ 足も引き摺りや歩いとる てやら (していると) 腰も よんじり ごし

(よじり腰) しとるてやら 言うてな。イトオテ イトオテ。

**いとおなる** 痛くなる(度、伊) [会話] イトオナル 言うて すねな (膝が) いとなって来た。イトオナル 言うて まあ どこやかやな (何処 此処が) 言うてな。腹な いとなって来たとか、頭な (が) いとなって来たとか言うてな 風邪 ひいたや (引いたら) 頭な (が) イトオナル まあ 言うてな。痛くなった言うの (のを)、いとなって来て 言うの (の)です。

**いどかえ (いどかへ) (井戸替) 【名詞】** 井戸水を清めるため、井戸の中の水や、ごみをすっかり汲み出して、掃除する事 井戸さらへ (多、上、阿) [会話] イドカエや (だ) 今日は言うて、おおそおど (大騒動)。三本足 こしやえて (作って) なんぼしよおって (滑車して) そおど しよおったね (騒動して居たのです)。ふっかい (深い) 井戸はなあ (です)。イドカエや今日は言うて 一年にいっぺんは しよおったもん なあ、井戸 浚えて がら (土塊) を 皆 あげといて (ておいて) こんだ (今度は) 新し (新しい) 砂とて来といて、あろて (取って来ておいて洗って) 敷いてなあ。

**いどがみさん** 井戸の神様 (志 (布施田)、飯、阿)

**いとがる** 嫌がる

**いとがる** 痛みを訴える

**いときりば (糸切歯) 【名詞】** 糸をかみ切るのに用いる所から犬歯 (志 (浜島)、鳥 (答志)、上、阿、張、名) [会話] 前のなあ ひいろいの (広いのを) まな板歯言うて、その横はイトキリバ言うて、昔しや (昔は) カチカチと糸切りおったわい (居ました)。今しや (今は) 皆 鉄やなけなはざん (でなければいけない) ので、どいらい (たいへん) 便利なわりわい (が悪いです)。

**いとくそ 【名詞】** いとくず (糸屑) (南) [会話] イトクソ言うのは、糸屑、縫うてあんの (あるのを) 解いた糸なあ (です)。細かあいのな (小さいのが) あるやんない (有るでしょう)。あれ、いとくず言うのなあ (のです)。解くやんな (ほどくでしょう)。すうと引つ張つたんのは (てやるのは) ええんやけど (よいのだが) 引つ張られんで (引つ張れなくて) 鉄ではざん (切って) 残るのがあるやんな (有るでしょう)。あれをイトクソいうの (のです)。昔なあ、生まれて今しみたいに (今のよう)に すぐ風呂入らさせんやんな (入れないでしょう)。一週間とか、二週間とか、いつまでも しょんべむつき (小便をしたおむつ) だ

け変えて、うんこたれても (しても) 拭いてそんなり (そのまま) 包み込んで、むつきしとりおって (して居て) 風呂もそげん入らさせんし (そんなに 幾度も入れない)。そと、内股へなあ、イトクソな (が) はさかつとる (挟まって居る) 糸くず 内股の此の切れ目ん (に) 挟かつとりおったわい (挟まっていた)。赤ちゃんな (の) むつきな (です)。それ 今しみたいな (今のよう)な ええ (よい) の しやせん (しません)。そこらの悪いのおを (のを) むつきにさいてすねよって (縫って作るのだから)、その端くれもひつついたりすねわい (するのです)。むつき 禪にかかす。そと そのきれくずも挟かつたりすねわい (挟まったりするのです)。しょんべ (小便) しても、はこ (大便) しても、ちよいちよいと拭いといて (ておいて) むつき 禪にかいてしとくんよって (して置くのだから)。垢や、イトクソも、これへ挟かつとりおったわい (挟まって居ました)。

**いどぐるま 【名詞】** 井戸の上の横木に吊し釣瓶につけた縄を通し釣瓶を上下させる滑車

**いとこ (行)** 1) 行っておこう (張) 2) 行っておきなさい

**いとこ (従兄弟、愛子) 【名詞】** 親しい者同志が、互いに相手と呼ぶ語。従兄弟、方言で従兄弟以外にイトコを使う土地が多いが、一度親類同志の慣用を経て社交的に使われるようになったと思われる。(尾) [会話] 兄弟の人の子。イトコ。仲間同志や 仲のええもん (よい者) に イトコ言うて、男の人らよお言うなあ (よく言います)。イトコよいとか、きよおだいよいとか、言うな (言います)。親しい人に、おい、きよおだい、おい、イトコ 言うて。

**いどこ (居所)** いどころに同じ いどころの略 (広辞苑) 現在居る場所 [会話] イドコな (が) 判らんで言うてなあ。何処やらい (かに) いたて (行ってしまうて) イドコな (が) 判らせんね (判らないのだ) 言うね、おりどこな (居る所が) 判らせん (ない) 言うて。おるとこな (居る所が) 判らせんの (判らないのです)。イドコな (が) 判らせん (ない) 言うてな。おりどこな 判らせんね 何処い (へ) いたねやら (行ったのか) いきうせんいたたんなあ (行方不明に行ってしまったのだ) 言うて。ここん (に) おんのも (居るのも) イドコやし (です)し、何処におんのか も (居るのか) 判らん、イドコな (が) 判らへん (判らない) 言うて。

**いとこえんかよおさじるか 【俚諺】** 仲が非常によい事。

親密な関係に有る事。あおさの味噌汁は塩気が強く味が濃い事から。又、あおさは乾燥したものを入れるので薄くならない。

いどこに 行っておきましょう

いどこね【名詞】所かまわず寝る事。いどころ寝に同じ。  
(志)

いどこはとこ(従兄弟、再従兄弟)【名詞】従兄弟、従々兄弟 はとこ 従兄弟の子供同志 一族 [会話]  
いどこよお(よく)来た 入れ なむほおれんげつきよお (南無法蓮華經) 言うて、イトコや(とか)ハトコも よぶねてない (招待するそうだと) 言うてな、親戚な(が) すけないもんで (少ないので) イトコもハトコも よぶ (招待する) 家な(が) あよおったけど (有りましたが)、今しゃ (今は) 友達をよぶので (招待するので) イトコや ハトコは よばせん (招待しません)。

いどころ(居所)【名詞】現在居る場所。又住んで居る場所 [会話] イドコロモ いどこも一緒や(です)。イドコロな(が) 判らんで 言うて。

いどころね(居所寝)【名詞】所かまわず寝る事。仮寝うたた寝 ごろ寝(志(浜島、布施田、甲賀、鶴方、神明、国府、安乗)、多、員) [会話] ここへ まあすぐに 寝てく (寝て行く) 事を、イドコロネ。

いどころねのほんねなしてみたい【俚諺】うたた寝からぐっすりと寝て見たい。[会話] イドコロネノホンネナシテミタイ 言うななあ(のは)、飯 喰うて 其処い(へ) ころっと 転ぶやんない (でしょう) そすとなあ(すると) 気持ちな (が) よおて (よくて) おおた(ああ) まあ こんなり寝とりたい (このまま寝ておきたい) ことや(だ) 思うやんない。それを こな (これが) 本寝なら ええのんおもて (よいのに思って) いどころねして。いどころねや(は) そこん (其処に) 寝て 居られやせんし (居れないし) また起きて 寝床い (に) 行かなはざんやんない (行かなければいけないでしょう)。そやもんで (それで) イドコロネノホンネナシテミタイ 言うて、いどころねしとる (している) 時は まあ疲れて しとんの (している)ので 飯 喰うて 此処い(え) 転ぶと ぐうっと 寝んの (寝るのです) その疲れとんので(ている)ので 気持ちな (が) なつとも言えねなあ(なんとも言えないのです)。いどころねな(が) そやもんで (それで) イドコロネノホンネナシテミタイ 言うね (言うのです)。

いどさらえ(いどさらへ)(井戸浚)【名詞】いどかえに

同じ 井戸の掃除

いとし(愛)【形容詞】1) かわいらしい 2) 慕しい  
3) 可哀想だ 気の毒だ [会話] ₂) イトシなあ 言うて 会わんとおる (会わずに居る) 人に おおた(逢った) 時んなあ (に) おおた 長い事 あわらったなあ(会いませんでした) イトシなあ 言うて。

いとしむ【他マ五】1) 大切にする 2) 不憫に思う

いとじり(糸尻)【名詞】茶碗などの糸底 茶碗などの底の部分 成形の時に糸でろくろから切り取った底部。(阿、張、名) [会話] 茶碗のイトジリ。イトジリも かいて (洗って) 言うて、茶碗のイトジリまで かいとんね (洗っているのだ) 言うて、きれんしゃ (綺麗好き) の人はなあ その イトジリみんで (見るので)、ちゃあ (茶) 飲むのん (のに) イトジリな(が) 汚れとる (ている) 家は だめない (不潔だ) 言うて、イトジリ迄 洗らわせんやんない (洗わないでしょう)。そやもんで (それで) イトジリな(が) 汚れとる 家は だめない 家や(だ) 言うて、こしてなあ(こうして) 覗く人な (が) あよおった (有りました)。むつかし (難しい) 人らわ。

いとた 行って居た

いとたら 行って居たら(志)

いとづくり(糸作り)鳥賊の身を細く切って作った刺身(志)

いとて 行って居て

いとて(痛)痛くて

いととり(糸取)【名詞】綾取り(志、桑郡、桑市、安一、松、上、阿、張、名、南、熊) [会話] イトトリ 言うて しよおった (して居ました)。川や (だ) 山や (だ) 言うて なんも (なにも) まあ 手遊びする こた (事が) ないもんでなあ(無いので) イトトリしたり、そいな (そんな) ことを どいらい (大変な) 遊びやったね (でした)。

いどながし(井戸流)【名詞】井戸端に有る洗場

いとなってきた 痛くなって来た

いとなってきて 痛くなって来て

いとなってくんど いたくなくて来るぞ [会話] イトナツテクンド 言うて そやまあ (それは) いまし (今) のうちん (間に) 薬つけて治しとかな(ておかなければ) 後で イトナツテクンド 言うて。

いとなる 痛くなる(鈴、伊) [会話] イトナル、いとなんど (痛くなるぞ)、そげんしてしとると (そんなにしてしていると) まあ 足な (が) いとなってくんど (痛くなって来るぞ) 言うてな、曲げてばつかおる

と(ばかり居ると)足な(が)イトナル 言うてな。  
**いとはぎ【名詞】** いとひきあじ アジ科の海魚 体は側篇して、菱形に近い。全長約40cmに達す。背部は濃青色、下面は白色。背鰭と尻鰭との、前部軟条が後方に糸のように伸びており、その長さは全長の二倍にも達する。  
**いとはじく** 縫い糸が切れる【会話】 のやげ(縫上げ)も 落したて(てしまつて)、イトハジタルと(てやると)、みつともない(見苦しい)、のやげも落として言うて。  
**いどばた(井戸端)【名詞】** 井戸の周囲(志)  
**いとひいてくる** 腐りかけて居る  
**いとひいてる** 腐って粘って居る いたんだる参照  
**いとひき【名詞】** いとひきあじ いとはぎ参照  
**いどほる** 喉が渴いて 沢山の水を飲む事。【会話】 イドホルは 辛いもん(物)で、喉 渴かして 水よけ(沢山)飲むの(のを)イドホッタヨオ 言うね(言うのです)。  
**いとまき【名詞】** いとひきあじ。いとまきだい、とも言う。いとはぎ参照。  
**いとまごい(いとまごひ)(暇乞)【名詞】** 別れを告げる事。別れの挨拶。【会話】 どこやかや(何処かえ)行くよおん(に)になると、隣近所い、挨拶んなあ(に)イトマゴイ、行て来い(行て来なさい)言うて。  
**いとめめず【名詞】** 溝に居る細いみみず いとみみずあかこ 体長8~9mm、下水溝などの底泥中に群生し、尾部を水中に出し赤い糸のように見える。(南)  
**いともかいもない** 痛くも痒くもない。少しもこたえない。  
**いとより【名詞】** 海魚 いとひきあじ いとはぎ参照(志、鳥、伊、北)  
**いどらす** むらす 余熱で炊いたものを軟らかくする。(志(鵜方、神明、志島))【会話】 飯 イドラシトケ(ておけ)、はやだきせんと(早炊きせず)に、イドラシトカナはざんわれ(ておかなければ駄目だ)言うて。炊いてすぐは、イドドッラン(ていない)御飯は美味ないのなあ(です)。芯な(が)有るよおで びちよびちよしたりして美味ないの。ちょいと(少し)十分でも 十五分でも イドラシテ、電気な(が)消えたの(のを) そんなり(そのまま)蓋 取らんと(取らずに)置いとくと(ておくと)、ふうわりと芯へまで 飯も さわやかん(さっぱり)なって 美味い。そやけど(しかし) ひいな(火が)切れて 直

ぐん(に)移すと びちゃついたり、にこにこしたり芯な(が)有ったりして 美味ないの。ちょいと 蒸らす 言うてな、蒸す 言うの(のを)、イドラス 言うて、飯も イドラサンと 炊くと 美味ないわれ(不美味い)言うて。  
**いとられ** 行つて居る 。いとる参照。  
**いとる** 行つて居る【会話】 あしこい(あすこへ)イトル。今日は がっこい(学校に)イトル 言うてな、行つて居る。がっこい イトルのもな がっこい イトラレ(行つてゐる)言うし。畑 イトラレ 言うてな、畑い(へ)イトルと、いとんのをな(行つてゐるのを)イトラレ 言うの(のです)。  
**いどる** むれる【会話】 うます言う事なあ(です)。イドラシトケ言うて、豆炊いたら、しとばか(少しの間)イドラシトケ、いつとき(一時 少しの間)言うて。  
**いとわし(いとはし)(厭)【形容詞】** わずらわしい うるさい嫌だ  
**いとんね** 行つてゐるのだ【会話】 こおもおけん(お産しに)親元へ イトンネ。  
**いとんの** 行つて居ます 行つて居るのです(度)【会話】 イトンノ 言うと いとる(行つてゐる)事をなあ、今日は何処い(へ) いたんど(行つたのか)言ううと 沖い(へ)イトンノ、畑 イトンノ言うて、今日は 遊びん(に)イトンノ 言うたりして。  
**いな【名詞】** ぼらの幼魚の名(志、鳥、桑郡、桑市、鈴市、三、津、松、上、阿、伊、度、北、尾、熊)  
**いないいいないばあ** 子供をあやす仕草。顔を手、又は物陰にかくして急に顔を出す仕草。(阿、張)  
**いないば(担棒)【名詞】** 天秤棒(志(全域)、員、鈴市、亀、安、津、松、多、上、阿、度、伊、鳥、北)【会話】 いないば、おくや(天秤棒とか) いねもちぼなあ(稲持棒です)イナイボ言うの。  
**いなおる(いなほる)【自ラ五】** 1)急に態度を変へ 猛々しくなる 2)その場所から移動しない  
**いなかぶ(稲株)【名詞】** 稲を刈つた後の根の部分 稲の切り株(鳥)【会話】 たあ(田)でも ひやけうつよおん(水のない田耕すように)になると、まぐわで、イナカブせな(しなければ)普通の鯉ではざんの(駄目なのです)。  
**いなかもん【名詞】** 田舎者 田舎に住む人  
**いながら【副詞】** そのまま 即座に(阿、張、名)【会話】 イナガラしよんべん(小便)の垂れ流し言うて、座つておつて(いて)、イナガラたれたんの(垂れる

してしまう) イナガラ言うんな (言うのです)。おったとこで (居た所で) そんなり垂れたんの (そのまましてしまうのを) イナガラしょんべ 垂れて言うやん かい (言うではありませんか)。

**いなごのとき【名詞】** 若い時 未熟な時 いなごは、いな (鰯) の仔の意か [会話] イナゴノトキ 言うのは、磯 (海女作業) 行ても (行っても) 海女のなあ 稽古のしたて (し始め) や (だ) 言うのを イナゴや (だ) 言うてなあ (言って) あやまだ イナゴやよつてん (だから) 言うて、稽古中をなあ。

**いなさ【名詞】** 東南の風 さは風の転 (志 (浜島、船越、名田、鵜方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (石鏡、鳥羽)、桑市、度、北、熊) [会話] おお島とこお島 の間を、イナサもと (東南方向)。

**いなさかど【名詞】** 部屋の東南の隅 東南を向いて居る門 [会話] 座敷も、床の間の方を上、床の間より下を下座や言うし (と言います)、いなさ (東南) の方を、イナサカドや (だ) 言うし。イナサカドへ座って、やれよお (食べなさい)。ごつつお (御馳走) よけ (沢山) 喰うと、イナサカドで 引つ込め (引き入れよ 食べよ) 言うて。イナサカドは、こくながりしとるし (薄暗いして居るし)、上の方は、偉い人な座つとる (て居る)。下の方は、こやこやとしたのな (のが) 座つとる。そすと (すると) えんりよ (遠慮) 無しん (に) 食べられるもんで (ので)、イナサカドへ座れ言うう (のです)。

**いなさごち【名詞】** 東南東の風 (志 (片田、畔名、浜島、磯部、国府、志島、甲賀)、鳥 (小浜、石鏡、安楽島、相差)、度、北) [会話] おしま (大島) と、こおしま (小島) のあい (間、東南の方向) から吹いて、くんと (来ると) イナサゴチ、ほんごち言うのは、東から吹いてくんのな (来るのが) ほんごち、北ごち言うな (のは) 北から吹いてくんの (来るのです)。いなさから吹いて来ると、イナサゴチ。

**いなさもと【名詞】** 東南の方向

**いなだ【名詞】** 鰯の幼魚 体長40cm内外のもの。鰯、この魚の一尺余り二尺にも致るを江戸にていなだと (物類称呼) (志 (片田)、桑市、員、四、鈴市、安、津、上、阿、度、伊、鳥、北、尾) [会話] 魚、あぶごの親 今頃 (九・十月) ん (に) になると、イナダな (が) 湧いて (群れて) タ方ん (に) になると やあい 夜網い (に) 行くのん (に) 来いよお (来なさい) 言うて かいまずみ打ちん (夕方網を入れに) 行くねどお (行くのだ) 言うて 日な (が) おちやい

(入り合い) を かいまずみ 言うて。

**いなづま (いなづま) (稲妻)【名詞】** 雷雨の時 空中放電により生ずる雷光 (津、北、南) [会話] イナヅマ言うると、雷な (が) 鳴る時、光る時に イナヅマ言わせんかい (言いませんか)、光をなあ (です)。山な (が) ぴつかぴつか まあ いなびかりな (が) して あやれ (あれ) 言うて、光を イナヅマや (だ) 言うのなあ (です)。

**いなば【名詞】** ずる賢い、怠け者、狂言、因幡堂から出た語か (志 (布施田)、度) [会話] イナバコゾオ言うて、すれっこい (狡猾) のを言うけどなあ (言います)。すれがしこい (ずるがしこい) のを、イナバコゾオやれ (だ彼は) イナバやれ (だ)。

**いなばこそお【名詞】** 狭滑な者 いなば参照

**いなびかり (稲光)【名詞】** 雷雨の時、空中放電により生ずる雷光 (志 (布施田)、津、多、上、阿、張、名) [会話] イナビカリ言うな (のは)、それ ピカピカと、よさり光んの (夜、光るのを) イナビカリ言うう (のです)。

**いなり (稲荷)。いなりずし (稲荷鮓)【名詞】** 煮しめた油揚げを袋状に開き、それに酢飯をつめた食品。狐を稲荷の神の使いとし、あぶらげを供える事より言う (大言海) [会話] あげずし イナリズシ お稲荷さんやもんで (なので)、きつねずし、あげずし イナリズシ。

**いなん いりません いらない ら行とな行の音訛 (志 (片田、布施田、越賀)) [会話] そいなんもん、イナンわれ (そんなものいらない) 言うう (のです)、いらん言う事を。おら (俺は) そいな物、イナンわれ言うて、イナン言うのも有るし、いだん言うて、だん付けるのもあるし。おら (俺) そや (それは) イナン言うし、いらん言うて言うにげ (人間) も有るし (有ります)。**

**いなんいなんのじゅうさんばい【俚諺】** 遠慮をしながら沢山食べることの例え [会話] いなんね (要りません) いなんね言いもて (ながら) 十三杯も食うてなあ言うて、イナンイナンノジュウサンバイ 言うけどな あ。まあ いらん まあ いらん 言いもて (ながら) まあ そや食べんかい (それ食べなさい) 言うと、まあ ええね言いもて (よろしい言いながら) もつたると (よそってやると) 食うてなあ、そすと、まあ こんで (これで) 腹一杯やわい (です) 言うと そげん言わんと (そんなに言わずに) 食ええ (食べなさい) 言うて もつたると また 食いすんのなあ (食

べるのです)、イナンイナンノジュウサンバイ 言うて。

**いなんか。いなんかあ。いなんかい。いなんかな** 1) いりませんか 不要ですか 2) 買って下さい[会話] 2) 昔は、こおてくれ (買ってください)、イナンカイ、言うて。そしたや (そうしたら) こおとこかいなあ (買っておきましょうか) 言うて。1) 目上の人ん (に) 言う時は イナンカナ言うし 目下のもん (者) に言う時は イナンカ 言うて イナンカア言うな (のは)、目下のもん (者) に こやまあ (これは) イナンカア、ほったんねない (捨ててしまうのだ) 言うて。

**いなんこと【名詞】** よけいな事、いらぬ事 [会話] なんやかや (色々と) 人のイナンコトをこぜり (ほぜって) 出して、人が隠しときたい (ておきたい) よおな事を、隠しとる (て居る) 事を、ほじくって (ほり出して) 言う事。

**いなんこといい【名詞】** 人の悪口を言いふらす人 お喋りの人 [会話] 人の いなんことばっか (いらぬことばかり) 言うて イナンコトイイやなあ (だ) 言うてな。人の わりくちばっか (悪口ばかり) 言うとる (言っている) 人なおって (が居て) わりくちばっか いいまあるにげ (言いふらす人間) を イナンコトイイや (だ) 言うてな。

**いなんことし【名詞】** 1) お節介者 2) いたずら者

**いなんせわ【名詞】** いらぬ世話 節介 [会話] そいな (そんな) イナンセワやわい (です)。そげん (そんなに) したら はざんやんかい (駄目です) 言うと、イナンセワ やかんで ええわ (よろしい)。要らん言わんと イナン 言うの (のです)。

**いなんせわや** 要らないおせっかいだ [会話] いらぬ世話 言う事を、イナンセワや (だ) 言うの (のです)。イナンセワや言うて、おらな (俺の) 事、そげん (そんなに) 世話やかんでええわれ (やかないでよろしい) 言う言葉やなあ (です)。いなん事ばっか (ばかり)、イナンセワやいて言うて、そげな事言われんでも (そんな事言われなくても) 知つとん (知っている) のに言うよおな意味や (です)。

**いなんてわい。いなんてわな【女性語】。いなんてわら。いなんてわれ** 要らないそうです

**いなんもん** 1) 不要の物 (志) 2) いりません [会話] 1) 畑にこおぶし、田にびりも、本家におば (未婚の女性) は イナンモン 言うて。本家へ (に) おばな 有ると 邪魔ん (に) なるやんない (なるでし

よう)、そやもんで (それで) 本家に おば は イナンモン。畑に こおぶし言うて ももな (実が) いくら 取っても 絶えんのおな (のが) 有って、畑こおぶしな (が) 生えると、皆 おぞげたてるわな (いやがります) 絶やすのん (のに) 弱るもんで (困るので)、たあ (田) に びりも言うて、たあい (田に) びりもな (が) すると、それも また すかんねてや (嫌なのです) 稲の害するもんで (ので)。2) イナンモンは、要らない、いらぬ言うのを いなん 言うね (言うのです)。おら (俺は) そいなもん (そんな物) イナンモン 使い道な (が) 無いもん (無いから)、イナンモン 言うて いなんわれ (いりません) 言うて、くよ (あげよう) 言うて そいなもん イナンモン 言うて 持てけ言うても (持っていけ言っても) 持てかせん (持っていかない) となあ、なし (何故) 持てかせんねど (持っていけないのか) 言うて おら イナンモン 言うて。

**いなんよめならつきずえに【俚語】** 価値のない嫁でも貰うかと言って選んだ嫁 [会話] イナンヨメナツキズエニ 言うて、書き出して (選んだ名前を)、此れでも言うて、そのでもな (が) その家の嫁な なってくね (になつて行くのです)。あれやこれや言うて、選んだどると (で居ると)、月末ん (に) な ってくね。そげな (そんな) 時ん (に)、その嫁な (が) いらんでも (いらなくても)、此れでも もおとくか (貰っておくか)、言うよおな話して、樽入れ (婚約) すると、月末ん (に) な ってくね。そやもんで (それで)、月末はいなん嫁言うて、貰う家はええけど (良いが)、くれる家は、ねうちが無い言うて嫌うわい (嫌います)。

**いなんわ** 要らない 要りません [会話] これ もてかんかれ (持って行きなさい) 言うと おら (俺は) まあ イナンワ 言うて。

**いなんわい。いなんわな【女性語】。いなんわら。いなんわれ** いりません 不要だ [会話] おら (俺は) そいなもん、いなんもん (そんな物いらぬ) 使い道な (が) ないもん、イナンワレ (無いからいりません) 言うて、くよ (あげましよう) 言うて そいなもん (そんなもの) イナンワレ言うて。

**いにくさらん。いにさらさん** 要らないの卑語 (志 (布施田))

**いぬ【往去】【自ナ変】** ある場所から立ち去って別の場所へ行く。(志、鈴市、安、一、上、阿、張)

**いぬい【乾、戌、亥】【名詞】** 1) 十二支による方角の

一 戌と亥（西北西と北々西）の間（員）2）北西又は北西から吹く風（伊）[会話] <sub>1</sub> イヌイ言うて 方角の事 イヌイ 当たって言うやんかい（言います）。ひつじもと 言うな（のは）まぜ（南）の事 いなさもとと言うと こおしまい（小島に）当たる方を いなさもと言うてな。

**いぬおえぎ【名詞】** 犬泳ぎ、犬掻き、犬の泳ぐ様に両手を交互に腹の下に掻く泳ぎ方

**いぬき（居抜）【名詞】** 引続き。もとのままで有る事。住居、商店、工場などで、家具調度設備、商品なども含め、そっくりそのままの状態又そのような家屋、売買、貸借の時に言う[会話] 一切合財 言う事かいな あ（でしょうか）一切合財をつけて 売ったとか 言う言葉やな（です）。家も道具も そんなり こおた（そのまま買った）言う事や（です）。一切合財付けて こおた言うやんかい（買った言います）家もそんなり（そのまま）イヌキ 言うて おらんよん（居ないように）なつてた（なつて行った）家をなあ。

**いぬご【名詞】** 1）股の付根（員）2）リンパ腺の炎症。化膿により近くのリンパ腺の膨大した状態。多くは、ソケイ部（大腿の付根）リンパ腺をさす。（志（布施田、鶴方、甲賀、神明、安乗）、上、阿、鳥（鳥羽））[会話] <sub>2</sub> できもんな（出来物 腫れ物が）どこやかやへ出来ると、イヌゴダマな（が）出来て、ぐりぐりなここへ出て来て 寒気がして来て。わしら、よおおこりおったんよお（よく悪寒がしてきました）。イヌゴオコリ言うて。イヌゴオコリがして言うて、イヌゴが出来ると、さぶけ（寒気）や、あつけ（発熱）で、おこつて、ぐりな（が）こんな所へ出来て、イヌゴが、おこつて 上の方へ行く こちょこちょ（腋窩 腋の下）へ 出来て来るし、こちょこちょへ出来んの（出来るのは）どいらい痛かりおった（大変痛かった）。

**いぬごおこり【名詞】** リンパ腺が腫れて、悪寒を伴い発熱する事 いぬご参照

**いぬごだま【名詞】** リンパ腺の腫れたもの いぬご参照

**いぬごもと【名詞】** 単蹠部

**いぬごろし【名詞】** スズキ目チョオセンバカマ科の海魚。体は高く楕円形で強く側扁する。背鰭第3棘と臀鰭第2棘は美しく長い。体長20cm、体は一様に灰褐色で両顎歯は太短かく密な歯帯を形成する。

**いぬごろし（犬殺）【名詞】** 野犬の捕獲人（上、阿）

**いぬのねたけ【名詞】** 短い時間、犬が寝て居る時に出来る影 少し[会話] 十二月の二十二日 冬至やんな（でしょう）。冬至から先は 毎日 イヌノネタケだ

け 犬の寝る影ぐらいつ（づつ）今日から、日な（が）なあごおなる（長くなる）言うて。

**いぬばしり（犬走）【名詞】** 雨垂れおち 建築物の外壁に沿った周囲の部分コンクリートや砂利敷いたもの。（南）

**いぬめ（犬目）【名詞】** 1）涙の出ない目 2）泣かない人 泣く事を知らない非情な人[会話] <sub>1</sub> イヌメ。あや（彼は）イヌメで 涙な（が）出やせん（出ない）。犬なだ（が）涙な（が）出やせんよつて（出ないから）それん（に）例えて あんねやろ（有るのでしよう）。にげ（人間）でも 悲し事な（が）有つても 涙な（が）出やんにげや（出ない人は）あや（彼は）イヌメやなあ（だ）言うてな。

**いねつむ（稲積）** 大晦日に寝る事を言う。つむは稲の縁語、寝る意の正月に用いられる言葉 こもつて居る事を原則とする習慣にもとずき、寝ると言う言葉を使う事も、忌んだ。一説にいねふす（寝伏）が病気を連想させる事から忌んだ。（志（布施田、甲賀）、北）[会話] 寝よ言う事を、はよ（早く）イネツモヤ（つみましよう）言うて、早よイネツメ 言うて、除夜の鐘撞いたよつて（から）早よ つまなはざんわれ（なければいけない）言うて、子供らん（に）。正月でも寝る言わんと、イネツム言うて、まあ（もう）イネツマンカレ（積みなさい）言うて、正月のおつごもんん（大晦日に）なる。

**いねぶり（居眠）【名詞】** すわったり、腰掛けたりしたまま眠る事。いねむり。（志、鳥、鈴、阿、張、名、北、南）

**いねぼちぼ（稲持棒）** 天秤棒のように使用するが、天秤棒が楕円形であるのに対し、全体が丸くなって居る担い棒。稲持ち棒の訛[会話] イネボチボチ言うのは稲、担う棒、おく（天秤棒）とも違う、丸太を削って先を ちょんがらかして（尖らして）物を吊んの（吊るのを）おもたいもん（重い物）吊る時に、イネボチボで吊らな（なければ）おくでしとたら（して居たら）言うて。イネボチボ言うのは、さしといて（刺しておいて）かずいて（担って）あれ よおせんで（出来なくて）ほんとに（本当に）弱りおったわ（弱りました）。こつちへ かずいといて（居て）こんだ（今度は）前のを刺して 上げるんやんかい（上げるのです）。そおすと 抜けてくねてや（そうすると抜けて行くのです）。刺し方な（が）下手なと（だと）後ろな（が）。かい山（一年の焚物を用意する材の切り出し）へ 行て（行つて）きい（木）出しする時、みな

あれでえっさっさ (担いました)。そやもんで (だから) イネモチが言うんやろ (言うのでしょうか)。先をちょんがらがしといて、ひとつ さいて (刺して) かずいといて (担っておいて)、又 前え、ちゅつと刺してすと (すると) 後ろな (が)、そのこつな (要領が) 判らんで 始めてした時は、馴れて来るとええんけど (良いが) あっちい (あちらへ) 行くと、そんげんしいよった (そんなにしました)。昔や (昔は) 買山のきい (木) 出し 行くと、皆 えっさっさすんね (するのです)。昔しや (昔は) げろな (下郎が) えっさっさ、あかまめ来い言うて 駕籠かきな (が) えっさっさ、あかまめこい言うて、しおったやんない (して居たでしょう)。そやもんで (それで) かづくのを (担うのを) えっさっさ言う (言います)。

**いのかい (貽貝) 【名詞】** いがい。イガイ科の二枚貝、岩礁に足糸と言う細い糸を出して付着する。三角形、又は長円形で長さ約15cm、外面は黒褐色、内面は真珠色で肉は春に美味。ひめがい にたりがい (志 (鶴方、神明、立神 国府 安乗)、鳥、伊) [会話] イノカイ言うて くうろいのおな (黒いのです)。鳴神い (に) 行くと、イノカイなおって (が居て) そやまた (それは) どいらいのおな (大きいのです)。口あけると 取られんねけど (取れるのですが) 口あけんと (開けないと) 一つ取ろ (取ろう) 言うても なかなか 取られやせん (取れないのです)。鳴神は 波な (が) 荒いとこやもんでなあ (所なので)、確かに きぬいとで 結びついとて (ていて) てえ (手) で もじこ (もごう) 言うても もじかれやせんね (もげないのです)。のみで (金のへらで) 口あけてすると ころん ころんと取れんねけど (取れるのだが)、その口 あけんのな (あけるのが) 一つ 取ろ (取ろう) 言うて、なかなか 取られやせん (取れないのです)。かなもん (金物) で 口あけてなあ きぬいと切つといて (ておいて) からやなけな (でなければ) 取られやせんね (取れないのです)。よけおんねけどな (沢山居るのだが) 鳴神ん (に) 島い (に) 一杯なあ 付いどんねけど (ていいるのだが) 波は 荒おて (荒くて) 危のおて (危なくて) うっかり風のわりひい (悪い日) に 出来やせんね (出来ないのです)。波のなんも (全く) 無い あきうみの すうっとしたおりやなけな (時でなければ) なかなかイノカイ 取りん行かれやせん (に行けません)。養殖しとる (している) 時な (に) イノカイな (が) ちっさいのおな (小さいのが) 一杯ついて かなみな

(金網の) めえな (目が) 塞がって 弱った事な (が) あんの (有るのです)。

**いのく (動) 【自力五】** 動く うごく いごく (動) の変化した語 (志 (立神、鶴方、安乗)、桑郡、桑市、員、三、四、鈴市、鈴郡、鳥)

**いのしくび (猪首) 【名詞】** 1) 人の首の太くて短いのを言う 2) 首が回らなくなる [会話] 首な (が) イノシシビん (に) なつてた (なつていった) 言うて、首な (が) 曲らんで (曲がらなくて) イノシシビん (に) なつてた。いのししや (は) 首玉な (が) ふつとおて (太くて) 首な (が) いごかせんやんない (動かないでしょう)。体ごち (体ごと) もおてくのな (回って行くのです) イノシシビやよお (だ) 言うて、首な (が) 痛とおて (痛くて) イノシシビやよお 言うて 体ごち まう (体と共に回る) 痛いよお 言うて、ふつとおて (太くて) 短いのも イノシシビや (だ) 言うて 首玉な (が) 無いよつてなあ (から) 猪や (は)。

**いのちさだめ (命定) 【名詞】** 生か死か決定するもの。近世幼児にとっての天然痘。麻疹 赤痢を言う。麻疹は命定め、痘疹は眉目定め。[会話] イノチサダめ みめさだめ (器量定め) 言うて、ほおそかな (疱疹です) 顔い (に) いもくさな (あばたが) 出来てな みめさだめや (だ) 言うて 菊石みたよん (のように) なつてなあ ほおそ (疱疹) すると あげん (あんなに) なりよった (なりました)。

**いのちしごと 【名詞】** 大変な仕事、困難な仕事、危険な仕事、一生懸命にする仕事 (志 (布施田)) [会話] 危険な仕事すると、イノチシゴトやなあ (だ) 言うて、がけちちよい (崖の端に) 登ったり きい (木) のすてっぺんえ (頂上に) 登ったりすると そや (それは) イノチシゴトやなあ 落ちたら 終いやよつて (終わりだから) 言うてなあ。難かし (難しい)、言うんか (言うのか) 危ないとこいなあ (所え) がけちちよい 登ったりすると、きいやどけでも (木などでも) きんのん (切るのに) 危ないとこん (所に) 生えとんの (ていいるのを) 切ると、そのきい (木) 切りん (に) いたら (行ったら) イノチシゴトやれ (だ) 言うやんかい (言います)。

**いのちづな (命綱) 【名詞】** 夫婦舟で漁をする海女と船上に居る夫とを結ぶ綱。海女の合図で夫が此れで海女を引き上げる。(志、鳥) [会話] おけづなと 一緒や (です) イノチづな。

**いのちとられる** 大変な目にあう [会話] 婆な (の) 銭

ぬすで(盗んで)石碑の下い かくして そして 婆  
ん(に) 見つけれられると イノチトラレンネやんかい  
(るのです)。

いのちぬすつと(命盗人)【名詞】長寿者。いたずらに  
長生きする人。

いのちぬすむ(命盗)長寿をする事【会話】イノチムス  
ム 言うな(のは)長生きする この世盗みや(だ)。  
此の世 盗んどる(でいる)言うな(のは)言うけど  
な(言います)イノチヌスンドル 言うな 聞かへん  
なあ(聞きません)。あや(彼は)此の世 盗んどん  
ねよって(でいるのだから)言うて 長生きすると。  
まあ あの 婆なあ 何時 死んでたてて(で行って  
も)だいじかれ(かまわない、大事でない)此の世  
盗すんどんねよってん言うて。

いのちはがれる 死ぬ様な目にあう 酷使される

いのちふてる 命をなくす 死ぬ 特に事故などで死ぬ  
こと(志(布施田))

いのりくぎ(祈釘)丑の刻参りに用いる五寸釘 他人を  
怨み 呪うために打つ釘【会話】四十九本のイノリク  
ギ 言うてなあ、昔 ひとがた(人形) こさえといて  
なあ(作っておいて) 藁で、そして イノリクギ打  
つ 言うて 四十九本のイノリクギ 言うて 言うや  
んない(言うでしょう)。憎いのおなあ。おおた ま  
はよ(早く)死んできやええのん(行けばよいのに)  
おもても(思っても)死んでかせんと(行かないと)  
殺してやりたいなあ おもて、そげな(そんな)人ら  
な(が) すんねやろなあ(するのでしょうか)イノリク  
ギ 打って てえ(手)も 足も打ってなあ、喉笛い  
一本打つと 命な(が)絶える 言うて。

いのりごと(祈事)【名詞】神佛に祈る事【会話】イノ  
リゴト 言うて、まあ あげなもん(あんな奴) はよ  
(早く)死んできやええのん(で行けばよいのに)言  
うのを イノリゴト 言うて。あいなすかんのん(あ  
んな嫌だのに) はよ 死んできやええのん 井戸い  
落ちて死んできやええのんとか、どげんすやええのん  
(どんなにすればよいのに)とか 言うて その人を  
恨んで 言う事を イノリゴト 言うて。

いのりころす(祈殺)【他サ五】神仏に祈禱しその力で  
人を殺す。【会話】イノリコロシタロン(てやる)言  
うてなあ 拝んで、病氣して、死んでくれ(下さい)  
とか 落ちて死んでくれ とか 言うのなあ、いのり  
こと 言うて。昔、よお(よく) そいなのおな、あよ  
おったもんなあ(そんなのが有りました)いのりこと  
を。

いのる(祈)【他ラ五】1) 願う。祈願する。2) 呪う  
【会話】<sup>2)</sup> 佛ん(に) とりつかれると、なんやら(何  
か) みよおな(変な) 事言うたりしてくんねなし(言  
ったりしてくるのです)。生き霊に取りつかれた言う  
て、生きた人な(が)、その人イノッテ、いのり釘打  
ったとか言うて、どいらい(大変) 執念な(が) 深い  
人やろなあ(でしょう)。その人な祈り事みたよおん  
(に) 言うんやろなあ(言うのでしょうか)それをイノ  
ル。そして(そおして)すると、相手な(が) 具合な  
(が) わりなつて来て(悪くなって来て)。

いはいもち(位牌持)【名詞】葬列の位牌を持つ事から、  
長男、後継者【会話】死んでたおりんなあ(死んでい  
った時に)イハイモチ 言うのを、イハイモチ 言わ  
んと(言わずに) いわいもち言うね(のです)。いわ  
いもちも 無いねない(無いのだ)言うてな、その家  
の跡取り 言うんか。

いばしよ(居場所)【名詞】居る所 いどころに同じ

いばら【名詞】さるとりいばら しおでに似て居る。つ  
る性の山野に生える落葉低木、ユリ科 地下に太くて  
堅い根茎が横たわって居る 茎は堅く斜上し上部はつ  
る性で、節ごとにジグザグに屈曲し、1~2mに達し、  
まばらに棘がある。葉は、互生し、円形、広卵形、又  
は広楕円形で長さ3~12cm 幅2~10cm位、  
先は円頭又は凸端で、基部は略円形、短い葉柄が有る。  
表面は鮮緑色で時に蠟を分泌して居る。葉はいばら餅  
を作るのに用いられる。

さるとりいばら 刺が有って猿がこれにひっかかるい  
ばらの意(志、鈴市、安、津、一、阿、多、張、名、  
度、南)2) 植物の棘 針(桑郡、員、四、鈴市、安、  
一、飯、張、度、尾、南、熊)【会話】<sup>1)</sup> サルトリイ  
バラ 棘な(が) あるわい(有ります)。“おらな(俺  
が) 山行きや、イバラが とめる、イバラそっちのき  
や(のきなさい?のけて居ると?) 日な(が) 暮れ  
る” 言うてなあ。イバラ ちまきのはあ(葉)のずん  
ぼろ。ずんぼろ言うね(のです)。イバラのねえ  
(根)を煎じて飲むと、おなご(女) らな(が) 股ず  
れする言うやんな(でしょう)。よお肥えとんのおな  
(よく肥えて居る人が)、そんな治んので(それが治  
るので) わしら、朝鮮で 皆、若い血気やもんで(な  
ので) あついのん(暑いの)に 山へ水取りに行くとか  
(汲みに行くとか) 擦れて よお歩かんで(よく歩けな  
くて)、川へ尻突っ込んだいて(でにおいて) べちゃべ  
ちゃ言うて洗て、こんだ(洗って今度は)イバラのね  
え(根) ほぜって(掘って) 来て。それ煎じて飲むと、

その すれんの (するるのが) 治りおった (治って行きました)。

**いばらばたん【名詞】** ばら (松、多、尾) [会話] イバラボタン言うのは、いばらに咲くのを、イバラボタン言うやんかい (いいます)。 しろい (白い) 花も 咲くしだ (咲きますし)、 ええ (よい) のは、 まっか (真赤) なのおが (のが) イバラボタンや (です)。

**いばり【尿】【名詞】** 小便 ゆはりの変化した語 ユバリの転 (広辞苑)

**いばりたおす** よく威張る

**いばりたがりや【名詞】** 何時も威張っていたい人。人の上に立ちたがる人

**いばりや【名詞】** よく威張る人 [会話] あんまり (あまり) えらっそぶとると (偉ぶっていると) あの人イバリヤでまあ かすいばりん (実のない威張りに) 威張って 言うて。

**いび【名詞】** 指 ゆびの転訛 (志 (志島、甲賀、国府、片田、浜島、磯部、鶴方、安乗)、鳥 (国崎、坂手、答志、加茂)) [会話] 指、指の事なあ (です)。指、言うの こちらでは、イビ言うて。 オヤイビや (親指とか) コイビ (小指)、 ヒトサシイビ (人差指) 言うて。イビキリげんまん言うて、此処らの ひとんのは (人ののは) かたことやわい (片語、中途半端なものの言い方です)。イビの先を ちょいと (少し) 切ったら、 どいらい (大変) 痛いよお言うて。

**いびきり【名詞】** ゆびきり 約束 (松、上、阿、張、名、尾)

**いびさき【名詞】** ゆびさき 指の突端

**いびさし【名詞】** 縫い物の時に用いる指輪 (上、阿)

**いびたれ【名詞】** 寒がり屋 いび 萎靡 なえしおれる事。元気がなくなる事。たれ 垂れ 体言について、その性質や状態をはっきり表す。人をのしって言うのに用いる。ツタレ (志 (甲賀、神明、国府)) [会話] イビタレテ今日は、 さぶうて (寒くて)、イビタレ 言うねけど (言うのだが) はじこんだ (縮んだ) よおに しとんのなあ (しているのです)。

**いびたれる** 寒がって縮んで居る いびたれ参照 (志 (志島、甲賀、安乗))

**いびつ【歪、飯櫃】** ゆがんで正常でない事。飯櫃は長方形のことから、ゆがんで居るさま。円、方すべてゆがんで居る時に使用。時には、性格等形のないものにも使用する。 いびつ (飯櫃) の変化した語。(志 (浜島、布施田) 鳥) [会話] ちょいと (少し) 凸凹の事なあ (です)。鍋 落としたたら (落としてやった

ら) イビツに したたよお (してしまった) 言うて。まあ、これ、イビツに なつたない (なつていった) とびやげて (突き当たって) 言うて。

**いびぬき【名詞】** ゆびぬき。縫い物のとき用いる指輪。

**いびる【他ラ五】** いじめる。からかう。もてあそぶ。(上、阿) [会話] イビル言うのは、いじめる事やわい (です)。

**いびわ【名詞】** 指輪 (員、三、鈴市、名、伊、南、熊) [会話] 指輪の事を リングの事を イビワ。 今しゃ (今は) 指輪 言うけど (が)、イビワを さいて (さして) 言うてな。

**いぶくろ【名詞】** 胃。胃の俗な言い方。(一) [会話] おらん (俺のは) イブクロ (が) おつきいねよつて (大きいから) いくらでも 飯 よお (よく) 食う 言うて。芋飯や 麦飯よけ (沢山) 食うて、イブクロな (が) おつきいなつとんね (大きくなっているのだ)。

**いぶす【焦】【他サ五】** 1) 物を燃やして煙を立てる 2) 嫌味を言う

**いぶる【自ラ五】** けむる。くすぶる。十分に燃えず煙が出る。 [会話] イブル 言うね (言うのです)。いぶつとる 言うねやんかい (言うのです)。くすぶつとんのを、イブル言うやんかい (言います)。

**いばがえる (いばかへる)【蛙蛙】【名詞】** つちがえる、アカガエル科のカエル、体長4~5cm、背に線状の隆起や疣状の突起が有る。背面は暗褐色、腹面は灰白色の地に暗色の不規則な斑紋が有る。

**いばだ** 化膿した

**いばだい【名詞】** いばだい。イボダイ科の海魚。体長20cm 体は側扁し、頭部は丸みを帯びる。全体に銀白色で、鰓孔の上方に一個の黒褐色斑が有る。体側の中央部から上下に浅い溝が十数条走り、全身が小さい疣状になる。夏に美味

**いばむ** 化膿する

**いばる【焦】【自ラ五】** 1) よく燃えないで煙が出る。けむる くすぶる 2) 傷が化膿する。特に灸のあと (志 (鶴方、国府)、張、名) [会話] ② 傷すると 膿んで くんのを (来るのを) 傷な (が) イボル言うてな あ、膿んで きよおったわい (来ました)。傷すると 薬も つけんと おいとくと (つけずに置いておくと) 黴菌な (が) あんで (あれで) いんねやろな (入るのでしょうか)。そんななあ (それが) 腐肉な (が) ついて 膿 持って くんね (来るのです)。イボデマア、灸な (が) イボル てやら (とか)、傷な (が) イボル

てやら 言うてな 灸やくと、灸なイボデ 言うて  
うじゃけて 来ると 言うし、かやぎれ (かやで切っ  
た傷) しても 薬つけんと おると そんな (それ  
が) イボデ 膿んできよあったわい。

**いまいち (今一)** 少し不足しても。足りないさま

**いまいまし (忌忌) 【形容詞】** しゃくにさわる してや  
られて腹立たしい 苛々しい [会話] イマイマシな  
って来てまあ、あんなすんの (彼がするのを) 見とる  
と (見ていると) めんどくそ (面倒くさく) なってく  
る 言うのを、めんどくそなって来る様な (だ) 言う  
てな、てえな (手が) ねばいのおな (おそいのが) し  
たり、どんくさい (下手な) ことしとると (している  
と) イマイマシなって来る イマイマシよおななあ  
言うて、せせかしなつてくんのなあ (いらいらして来  
るのです)。苛苛して来る イマイマシヨよおななあ  
(だ) しよおし (笑止) な よおななあ (ようだ) 言  
うて。

**いまがた (今方) 【名詞】** 今。少し前。先刻。いましが  
た参照。(員、三、鈴郡)

**いまき (湯巻き) 【名詞】** こしまき 腰巻 初めは武家  
社会の婦人の礼装として用いられた表着 (うぶぎ) を  
さしたが、江戸時代の後期主として庶民社会の女性が  
湯文字の上に着装した蹴出しの事を腰巻きと言うよう  
になった。さらに現代ではその意味が拡大され湯文字  
も含め、腰から脚部にかけてまとう布を腰巻きと総称  
して居る。湯巻きの変化した語。(志 (浜島、国府、  
布施田、片田、的矢、磯部、鶴方、神明、安乗)、松、  
北、鳥 (鳥羽、相差)、桑郡、桑市、員、三、四、安、  
多、上、阿、張、名、度、伊、尾、南、熊) [会話]  
腰巻きなあ (です) イマキ。なかね。なかね言いおっ  
たなあ (言っていました)。腰巻きや (だ) 言わんと  
(言わずに) なかね言う。

**いまさっき (今先) 【名詞】** ほんの少し前 つい先刻  
(鈴市、亀、上、阿、張)

**いまし (今) 【副詞】** 現在 たった今 ちょうど今、し  
は強調を表す助詞 むかし (昔) のしと、対応するか  
(志摩市全域、鳥、津、一、松、多、度、伊) [会話]  
今の事。唯今。

**いましがた (今方) 【名詞】** つい先程。先刻。(志 (神  
明、布施田、鶴方、立神、甲賀、国府、安乗)、三、  
一、松、多、北) [会話] たったいまし (唯今) 言う  
のは、今 言う事や (です)。イマシガタ言うのは、ち  
よいとすんだ (少し終わった) 時、イマシガタ言うて  
言うやんかい (言います)。いまし、ちよいとすむと

(少し過ぎると) イマシガタやったなあ (だった)。

**いましごい 【名詞】** 堆肥。うましごえ [会話] 今し  
(今) は 堆肥作る言うやんない (でしょう)。それ  
を 昔やなあ (は)、土、沃やすのん (のに) 其処ら  
の ごみくたも 皆 積んで イマシゴイこさえな  
(作らなければ) 言うて イマシゴイや (だ) 言うね  
(言うのです)。今しの 堆肥を。

**いましごえ 【名詞】** 堆肥 [会話] イマシゴエ 言うなな  
あ (のは)、勝手のもんや (物とか) 其処らの要らん  
ごみくたを ひととこい (一カ所に) 積んで イマシ  
ゴイに ふとけ (捨てておけ) 言うて、ちよいと  
(少し) 穴 掘って そこい (え) 食い滓やとか (だ  
とか) 要らんもん (物) を こやし (肥料) に すん  
の (するのを) イマシゴエ。うましごえ 言うねやろ  
けど (言うのだろうが) それを イマシゴエ 言うて、  
イマシゴイこさえて (作って) 言うて。イマシゴエイ  
(に) ほっとけ (捨てておけ) 言うて 堆肥をこさえ  
る (作る) 事なあ (です)。うましごえや (だ) 言う  
て 今しは言うねけど (今は言うのだが) イマシゴエ。

**いましごろ (今頃) 【名詞】** 今どき 今頃 今時分

**いまじぶん 【名詞】** 1) 今頃 (志、上、阿) 2) 時期に  
遅れた今、今どき [会話] <sub>1)</sub> イマジブンは まあ 丁  
度 柿な (が) 出る時やなあ (だ)。柿や梨の旬やな  
あ イマジブンは 言うてな 今頃 言うて。

**いましのうち 【名詞】** 今の間 [会話] イマシノウチ な  
んもかも (何も彼も) くとかな (食べておかなけれ  
ば) 言うて、イマシノウチも いまのうちも一緒や  
(です)。

**いましのとこ。いましんとこ 【名詞】** 今 現在 いまの  
とこ参照

**いましや** いましはの略 今 [会話] 今のことを  
イマシヤ 言うね (言うのです)。イマシヤ なんも  
よおせんで (少しも出来なくて) 言うてな 若い時や  
(は) しよおったけど (して居たが) イマシヤ なん  
もよおせん (全く出来ません)。

**いまだに (今、末) 【副詞】** まだ (未だに)

**いまだき (今時) 【名詞】** 今と言う時期、時代、今時分  
副詞的に用いて、現在行われて居る事にしてはふさわ  
しくない。(志 (布施田)) [会話] その時ん (に) 言  
うてくれや (言ってくれれば) ええけど (よいが)、  
イマドキ 言うたてて (言っても) はざをかいてな  
(駄目ですと言うような) 事や (です)。

**いまに (今) 【副詞】** 間もなく その内に

**いまのうち 【名詞】** 今の間 [会話] イマノウチん (に)

しとかな (しておかなければ) そや (それ) よおせん  
よんなつてくよつてん (出来ないようになって行くか  
ら) 今しなんもかも (今すべて) よお (よく) する  
内 しとけよお (しておきなさい) 言うて。何時 死  
んでくやら (で行くか) 判らせんねよつてん (判らな  
いのだから) 言うて、イマノウチん (に) 言うたり  
したり しとかな。食うのも イマシノウチ 食うと  
かな そや (それ) 死んでくと (で行くと) 食われや  
せんど (食べられないぞ) 言うなあ。イマシノウチ  
まあ なんもかも (何も彼も) くとかな (食べておか  
なければ) 言うてな イマシノウチモ イマノウチも  
一緒や (です)。

**いまのこと** 現在の事 [会話] イマノコトを 直ぐん  
(に) 忘れたんねない (忘れてしまうのだ) イマノコ  
トでも すぐん (に) 忘れたんね (忘れてしまうの  
だ) 言うてな。

**いまのさっき。いんまのさっき (今先) 【名詞】** 今少し  
前 いましがた参照 さっき 先 ほんの少し前 [会  
話] イマシ言うて、サッキ言うて言うのもあるし (有  
ります)。ちよいと (少し) さき程言うの (のを) サ  
ッキ言うて、今し (今) のこた (事は) いましゃけど  
(だが) サッキ言うな (言うのは) ちよいとさき (少  
し前) のこと。サッキなれ (ですね) あんな (彼が)  
来てなれ言うて、人が 今しいた (帰った) のは、い  
まやのおて (なくて) こんだ (今度は) サッキ行たな  
あ言うね (言うのです)。サッキその人な来て いた  
われ (行った、帰った) 言うて。

**いまのとこ (今所) 【名詞】** 今 現在 [会話] イマノ  
トコ なんもないわれ (なにも有りません) 言うて、  
あるかあ (ありますか) こいなもんでや (こんな物と  
言えば) 昔 有りおったけど (有ったが) イマノトカ  
(所は) そいなもんなあ (そんな物な) 使わせんもん  
なあ (使わないから) 言うて。

**いまひとつ (今一)** 更にもう少し いまがもうの意味に  
なっている [会話] イマノヒトツ まあ 言うて置き  
たい事な (が) あられ (有ります) なんも (何も) 言  
うこたねえけど (事は無いが) まるまったかね (まと  
まった金) あの子ん (に) やってくれえ (やって下さ  
い) 言うて イマヒトツ まあ 人ん (に) 言うて  
置きたい事な (が) あられ とかな。

**いまめ 【名詞】** 植物。うまめ。うばめ。うばめ榎。ブナ  
科の常緑小高木。海岸近くに生える 高さ10mに達  
す。葉は互生し、長さ3～6cmの倒卵形、又は長楕  
円形で質厚く、上半部の縁に低鋸歯が有る。雌雄同株、

四、五月頃、小形の黄褐色の花が咲く。材は堅い。  
(志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、  
多、度、伊、鳥、北、尾)

**いまれ (忌) 【名詞】** 忌むべき事。うまれ参照 又は忌  
を用いた語か (志 (鶴方、御座、浜島)、鳥 (桃取、  
坂手)、度、伊、北)

**いまわし (忌) 【形容詞】** 忌まわしい

**いまん** その内に 今に (津、南)

**いまんとこ** 今のところ (北)

**いまんはじまったことやない** 以前からそうであった  
(志 (布施田))

**いも (芋) 【名詞】** さつま芋 甘藷 ひるがお科に属す  
る唯一の主要食料、作物、根の一部が肥大し塊根とな  
り、内部に澱粉質に富む中心柱がある。(志 (立神)、  
四、亀、鈴市、安、津、一、松、多、上、張、名、度、  
伊、鳥、北、南、熊)

**いもがい (芋粥) 【名詞】** さつま芋を入れて炊いた粥  
(志 (片田)) [会話] 芋入れて お粥ん (に) すん  
の (するの) をイモガイ。

**いもがら (芋殻) 【名詞】** 薩摩芋の茎 葉 [会話] イモ  
ガラ干したよおん (に)、すじな (が) しとんのおを  
(して居るのを)、すじな (が) よけ出とんのおを  
(沢山出ているのを) あっちゃやこつちや (あちらこ  
ちら) から、すじな (が) よけ出とると (出ている  
と)、すじばつとんない (すじばつっている) 言うて。  
痩せとんな (て居るのは)、痩せぎすや (だ) 言うけ  
ど (けれど) すじな よけ出とると (出て居ると)、  
すじで、イモガラ干したよおん (ように) しとられ  
(して居る)。

**いもがらほしたよおんしとられ** 痩せて静脈が浮き出て  
いるさま

**いもくさ。いもくそ 【名詞】** 1) あばた おもくさ  
面蒼 顔に出来るにきび、そばかす。(志 (御座、布  
施田、鶴方、甲賀、立神) イモは痘痕 あばた (三重  
県、神奈川県、長野県、岐阜県、愛知県、佐渡、石川  
県) くさは吹出物 (群馬県、岐阜県) かさ (腫物) の  
意か 2) 人をのしる時にも使用する [会話] 1)  
でこぼこ、あばた、とびきのなまむしみたいな顔やな  
あ (だ) 言うて イモクソの人を。

**いもこじ 【名詞】** 1) 雑踏 混雑 (志 (神明、立神、志  
島、国府)) 2) 桶に入れた芋を交差した竹の棒や板  
でかき混ぜて洗う事。又その道具。(志 (神明、立神、  
志島、国府)、上、阿、南) [会話] 2) イモコジ言う  
な (のは)、芋 洗いんて (洗いに行って)、棒 二本

縛つという(縛っておいて) こじんの (力を入れて混ぜ合わせるのを) 芋洗うのに、イモコジ。

**いもじ(湯文字)【名詞】** ゆもじ 腰巻 ゆもじの転(志(浜島、越賀、鶴方)、鳥(桃取、加茂、長岡、鳥羽)、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、津、松、多、上、阿、名、度、伊、北) [会話] いまき (腰巻) 言うのなあ (のを) イモジとも言う。

**いもじる(薯汁)【名詞】** とろろ汁 とろろ薯の汁 (名、南)

**いもせんべ【名詞】** さつま芋の粉で作った煎餅

**いもだね(芋種)【名詞】** 種とするための芋 種芋 [会話] イモダネ。種芋、種芋やなあ。たないも言うな (のは)、あがったのおな (芽が出たのが) たないも。

**いもつぼ【名詞】** さつま芋を保存するための床下の堅穴。もみ殻と共に保存する。多くは入口すぐの部屋の下に作られて居り、大きさは上の部屋と略同大でやや小さめ。(志(浜島、神明、志島、甲賀、国府)、四、北、熊) [会話] いもいける (保存する)。むかしや (昔は) イモツボへ皆入れおった (入れて居ました)。部屋の下へ、一年中食べおった (食べて居た) それを。

**いもと(妹)【名詞】** 女の姉妹のうち下の方。いもうと、いもひとの変化した語(志、鳥、桑郡、桑市、三、四、鈴市、鈴郡、安、松、度、伊、北、南) [会話] イモトは わがとな (自分の) 下のことをな イモト 妹言うの (のを) イモト 言うてな。

**いもと【名詞】** 季助部 上腹部 胃元

**いもとむこ(妹婿)【名詞】** 妹の夫 [会話] イモトムコ 言うな (言うのは) 婿さんのことな (です)、いもと (妹) の旦那さん。

**いもとむすめ(妹娘)【名詞】** 次女以下の娘

**いもなえ(芋苗)【名詞】** 芋種から発芽した部分 それを切り取って移植し後、芋を収穫する。[会話] 芋植えるのん (のに) イモナエおろして めえな (芽が) 出てきた、イモナエな (が) 伸びて来たよってん (から) 芋植えな (なければ) 言うてな。

**いもなえどこ(芋苗床)【名詞】** 芋苗を作るため芋種をおろす処 [会話] 芋苗をおろす (作る) 畠のイモナエドコ。イモナエドコおろすのに、えらかりおったやんか (大変でした 苦労した)。あれをくりこして (ひっくり返して) 堆肥、底へひいてすんの (敷いてするので) イモナエドコ おこす。

**いもにやげ。いもんにやげ(芋煮上)【名詞】** さつま芋を煮上げたもの。蒸さずに煮る [会話] 芋を煮上げる言うの (のを)、イモンニャゲ言うてなあ。芋を煮上

げる事を、イモンニャゲ言うね (言うのです)。

**いものちち(芋乳)【名詞】** 薩摩芋。又はその茎、葉を切ったり傷つけたりした時に、その部から出る 乳白色の分泌物 後、かたまって黒色になる。[会話] イモノチチ言うのは、芋からあく (灰汁) が出て来て、かあ (皮) 剥いても てえな (手が) 真つ黒んなるやんかい (になるのです)。芋の茎やどけ (など) 切ると、しいろい (白いが) 汁な (が) 出て来る。あれなくろなる (黒くなる)、あれを 乳な (が) 出て来た言うて。出る時や (は) しいろおておって (白くてあつて) 乾くと真つ黒ん (に) くろおなつてくの (黒くなって行くのです)。イモノチチで真つ黒ん (に) なった言うて。

**いもぼたん【名詞】** ダリヤ ぼたん 華やかで大きい物の総称。いぼらぼたんもこの類

**いもむし【名詞】** 蝶や蛾の幼虫で、青虫、毛虫と呼ばれるもの以外の俗称。里芋や薩摩芋の葉を食べることからこの名がある。(志、鳥、伊) [会話] ありがたいなら イモムシや (は) 鯨、青いのおを (のを)、計りのめえみたよんしとて (目のようにしていて)。

**いもめし(芋飯)【名詞】** さつま芋を入れて炊いた飯(志) [会話] イモメシ。芋 切って、米ちよいと (少し) 入れてイモメシ、いしぐらぐわそやんか (石垣壊しましょう) 言うて、芋ばっかやもんで (ばかりなので) いしぐらぐわすぐらいや (くらいです)。ごろごろしとて (して居て)、しゃくし (杓子) 突っ込むと ぐわれて来んね (壊れて来るのです) 芋な (が)。そやもんで (だから) いしぐらぐわす。いしぐらてや(とは) いしかけ (石垣) の事やわな(です)。芋ばっかで、いしかけ積んだよん (ように) して、米はなんもいつとらせんもんで (何も、少しより入って居ないので)、そんで (それで) 御飯食べるよん (ように) になると、いしぐらぐわす言うて、食べおった (食べて居ました)。イモメシい (に) ちゃあ (茶) かけて食うと 美味いなあ 言うて。芋と米ところひちべえさん、芋な (が) 七分で 米な (が) 三分や (です) そやもんで (それで) ころひちべえさん 言うて、ころ (芋の切ったもの) 七の べえ (米) 三かあ 言うて。

**いもんにやげ【名詞】** 薩摩芋を炊いたもの 芋煮上げ [会話] 芋を炊いたのおをなあ (のを) イモンニャゲ言うの (のです)。芋の煮上げ言わんと (言わずに)、イモンニャゲして言うてな、きみ芋で イモンニャゲしたね (したのです) 早よ (早く) 隣い (に) も も

てけ (持って行け) 言うて こばよおったね (配って居たのです)。ぬくたい (温かい) の炊いたね (のです) 早よ 一つ 食えまあえ (食べなさい) 言うて。

**いや (言)** 言えば

**いやあす (居)** 居あわす 同席して居る

**いやあるいて (言)** 言って 言いふらして [会話] あげん (あんなに) イヤアルイテ言うて なんやかや (いろいろ) 言うと。

**いやあるく** 言いふらす 言い廻る いいあるく参照

**いやい【名詞】** いあひ 居合の詠

**いやいや【副詞】【感動詞】** 1) 否定 どうしまして  
2) 恐縮 3) 嫌やでありながら

**いやがる** 居るの卑語 (桑郡、員、上、張)

**いやき (嫌気)【名詞】** 1) 嫌気 いやけに同じ 2)  
いやみ [会話] <sub>1)</sub> 嫌いん (に) になって来た言うの  
(のです) イヤキな (が) さして来た言うてな いや  
け言うて 言うけど (が) イヤキな (が) さいて来た  
言うの (のです)。

**いやく (違約)【名詞】** 1) だます事 約束に違う事  
2) 不要 (志) [会話] <sub>1)</sub> 約束を違える言う事。イヤ  
クして、ことわんのを (断るのを) 断る言う事や (で  
す)。破る事や。注文しといたけど (しておいたが)、  
イヤクしたた (してしまった)。

**いやけ (嫌気)【名詞】** いやだと思ふ心。気の進まない  
事 いや否の語源説 イナ (否) の転 [会話] イヤケ  
な (が) さして来た、まあ嫌いん になって来た言うの  
(のです)。イヤキな (が) さいて (さして) 来た、  
言うの (のです)。イヤキな (が) さいて 来て まあ  
あの家 嫁さんな (が) 戻ってたんてない (たそう  
だ) 言うて。

**いやし【形容詞】** 飲食物に対し意地がきたない。卑し  
い。ヤ (野) に通じる (続国語語源辞典) (志 (布施  
田、甲賀、鶴方、立神、安乗)) [会話] よお (よ  
く) なんやかやくう (何も彼も食う) のな (が) つま  
み食いたりすん (するの) あや (彼) イヤシンよ  
ってん (だから) 言うて。

**いやし【名詞】** 埋め合わせ いやしする参照 (北)

**いやしする** 埋め合わせする 償う (北) [会話] それ  
の イヤシに なんなと もてきて (なんでも持って  
来て) 食わしたろん (てやろうに) 言うてな。 なん  
か (何か) 世話ん (に) になると、世話んな った イヤ  
シに なんなと こおて (なにでも買って) あの人ら  
ん (に) くて (食べて) 貰うか言うてな。イヤシに  
言うて それの礼やわい (です)。その イヤシに言

うてな 礼にするこたなあ (事です)。あげん (あんなに) して もおたよって (貰ったから) その イヤ  
シに 俺も なんなとするわい (なにでもします) 言  
うてな、埋め合わせ言うことな (です) お礼すんのを  
(するのを) イヤシスル。

**いやしんば。いやしんば (賤坊)【名詞】** 物、特に飲食  
物をやたらと欲しがること。又その人。食いしん坊い  
ちきたなしを擬人化した語。(大言海) (志 (片田、浜  
島、布施田、鶴方、神明、志島、甲賀、国府、安乗)、  
上、阿、張、名、南) [会話] イヤシンボや (です)。  
くいしんぼと一緒や (だ) くいちろも一緒や (だ)。  
なんでも喰うて (食べて) イヤシンボよ (め)、イヤ  
シンボ言うのを 乞食たろ (太郎) の果てなしよ  
(め)。

**いやす (癒、治)【他サ五】** 1) 治療する。不健全な状  
態を治す。2) 損失の穴埋めをする。 [会話] <sub>2)</sub> 鯉  
舟やなんやで (とかで、親方ん (に) 借り込んだて  
(でしまつて)、さがり (赤字) になって、又 らい  
ね (来年) も行かなはざん (なければいけない)。さ  
がり、イヤスのん (のに) 言うて。

**いやみ (嫌味)【名詞】【形容詞】** 人に不快な感じを与え  
る言い方。身なり、態度をする事。又それから受ける  
不快感。(上) [会話] すかん (嫌な) ことばっか  
(ばかり) 言うて、人の イヤミいいや (言いだ) 言  
うてな、イヤミばっか (ばかり) 言うて。

**いやみたらし (厭味)【形容詞】** いかにも嫌味である  
[会話] イヤミタラシ 嫌味みたよん (のように) 嫌  
味な事ばっか (ばかり) 言うて しとん (している)  
のを言うねわいな (言うのです) イヤミタラシ 言う  
ななあ (のは)。

**いやみたらたら。いやみだらだら** 言わなくても、また  
しなくてもいいと思われるような、しかも相手の氣に  
障るような事を甚だしく言ったりしたりするさま (志  
(布施田)) [会話] イヤミダラダラ言うて 嫌味ば  
っか (ばかり) 言うとな、イヤミタラタラ 言われた  
よお言うて 筈 呉れたら、藪医者と言わんばかりの  
筈を、言うて。

**いやみらし (嫌味)【形容詞】** いかに嫌味である。

**いやや。いややわ (嫌やわ)** 自分の気持ちとしてある動  
作をする事、ある人や物に接することを、欲しないさ  
ま。嫌うこと。不愉快なさま。好ましくないさま。や  
わ やは反語の意味を表す。(志 (畔名、神明、布施  
田)、張、名) [会話] いやらし言うのとよお (よ  
く) 似た事やんかい (です) イヤヤ言うのは。

**いやらし**【嫌】【形容詞】 1) 好ましくない。嫌だ。やらし同義。(志(布施田)、上、阿、張、名、伊) 2) 下品だ(張)【会話】 1) イヤラシ言うな(のは)うるさいなあ、あのひた(人は)言うて。おおた(ああ) イヤラシわ言うて。

**いやれ**【感動詞】 あれあれ(南)【会話】 イヤレ まあ あげん言うたや(あんなに言ったら) 顔色な(が) 変 わったれ(変わった) 言うて。

**いやわす**【自サ五】 丁度その時その場に居る いやわす

**いやわせる** 丁度その場に居る

**いよか** 入れようか

**いよかい** 1) 入れましょうか 2) 入れないであらう 3) 入れません

**いよかれ** 1) 入れないであらう 2) 入れません

**いら**【名詞】 棘

**いらいら**【苛々】【名詞】【副詞】 短気な人。落ち着きのない人。じれったい 気の苛立つさま **いらち**参照(志(布施田、甲賀))【会話】 イライラする言うのと、よお(よく) 似た事やんかい(ではありませんか)、イライラとまあ。やせつびへ蚤な(が) 入った よん(ように) 言うて、昔の人ら(は) 皆 そげん(そんなに) 言うもんなあ(言います)。イライラ言ううと。

**いらいらする** 1) 自分の思い通りにならないため焦って心が落ち着かないさま。いらだたしいさま。2) 皮膚などに刺激を感じる。【会話】 1) やきもきして言うて、する事やるな(でしよう) イライラスル。

**いらう**【弄う】【他ワ五】 手でさわる。触れる。もてあそぶ。いじる。いろいろの変化した語(志(浜島、鶴方、神明、志島)、松、桑郡、桑市、三、鈴市、安、津、多、上、阿、張、名、度、伊、鳥、北、尾、南、熊)【会話】 よけ イラウなまあ 言うてな、いろいろな言う人もあるし なぶんな(触るな) 言う人もあるしなあ。

**いらぎ**【名詞】 1) 鮫 あおざめ よしきりざめ ネズミザメ科、体長は7mにも達す。背は暗青色、腹部は白い、歯が長く鋭く尖って人を襲う事も有る。肉はカマボコ、はんぺんの材料、鱈は中料理に使う。(伊、南、熊) 2) 苛々と駄々を言う子供【会話】 1) イラギ鮫や(だ) 言うけどなあ、2) 子供らな **いらいら**言うのも イラギや(だ) 言うて イラギよ 言うてな **いらいら**言ううと イラギや(だ) 言うて。

**いらくさ**【名詞】 **いらいら** せつかち いつも苛々と言う人 いつも苛々と駄々を言う子供 **いらくそ**はの訛

【会話】 イラクサよ(め) 言うて 苛々と あんまり(あまり) 嫌らし すねたり しとんの(しているのを) イラクサよ 言うて 言うけど(が)、イラクサよ 言うたり いらぎよ(め) 言うたり するけどな(します)。 あんまり 苛々と すねたり ごねたりしとる(駄々言うたりしている) こお(子) をなあ ほん(本当に) イラクサやなあ(だ) 言うて 言よおった(言っていました)。 イラクサ(ぐずぐず) 言う 言うてなあ、いじってばっか(駄々こねてばかり) おるやんない(居るでしょう)、まあ すねてばっかおんのをなあ(ばかり居るのを)、熱な(が) して 今日 は かざけんなかして(風邪気味なのか) イラクサ 言うて 言うけどな(言います)。

**いらくそ**。**いらち**【名詞】 性急で落ち着きのない事。又そういう人(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府)、松、上、阿、張、伊、鳥、北、南)【会話】 イラチ 言うな(のは) あれも、これもして、忙がして(忙しくて) 忙がして 言うて 言うの、イラチ 言うわい(言います)。気持ちの事。

**いらくら**【副詞】【名詞】 1) いつもいらいらして居る。いらくさ参照。(志(布施田)) 2) いつも苛々と駄々を言う子供。

**いらつ**【苛】【自タ五】 1) **いらつく** 苛つ 気持ちが落ち着かずいらいらする。いらだつ。早くするようにせき立てる。2) 皮膚などに刺激を感じる。(志(鶴方、神明、立神、志島)、鳥、松)【会話】 1) **いらいら**でまあ言うて、**いらいら**、**いらち**と一緒にの事。 イラツ 言うわい(言います)。

**いられ** 必要です【会話】 おんな(俺が) 要るもんやれ(物だ) 言うのをな、おんな 要るもんやれ そや(それは) 呉れられんわ(あげられません) 言うてな、おんな、イラレ のおん、やられやへんわ(お前にあげられません) 言うてな おや 今し(俺は今) そや(それは) 要るもんやのんなあ(物だのに) 言うてな。

**いられる** 射たれる

**いられる** 気忙しくさせられる

**いらん** 1) 不要だ **いらない**(志、鳥(神島)、阿、張、名、尾、南) 2) よけいな事 **いらぬ**の訛【会話】 1) こや(これは) イランよって(から) 呉れられ(あげます) 言うてな。要りません言うのをな イラン 言うて 使わんもんを(使わない物を) イランよって まあ のおん(お前に) 呉れる 言うてな こや(これは) イランもんやれ(物だ) 言うてな。

いらんか。いらんかあ。いらんかい。いらんかな 要り  
ませんか(尾) [会話] 目上の人ん(に)言う時はな  
あ、イランカナ言うしなあ、かな言うてな とまあ  
(すると)目下のもん(者)に言う時、イランカ こ  
や(これは)言うしな(言います)。大人のらに言  
う時は イランカイ。イランカア言うな(のは)目下  
のもん(者)に こやまあ(これは)イランカア ほ  
ったんねない(捨ててしまうのだ)言うてなあ。おら  
も そいなもんな(俺もそんな物) いなんわれ(要り  
ません) ほったれ(捨ててしまえ)言うてな。

いらんこと【**名詞**】 不要な事 おせっかい いなんこと  
参照(志(鵜方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、  
鳥、上、阿、張、名、南) [会話] いなんこと よけ  
(沢山)言うな 言うて。イランコト言うの(のを)  
いなんこと 言うのな(のです)。人な(が) しとる  
(している)事をな そげんせんと(そんなにせず  
に)、こげんすやええのん(こんなにすればよいの  
に)言うとお前らな(が) そいな(そんな)イラン  
コト 言うな 言うてな。

いらんことし【**名詞**】 1) お節介者 2) 悪戯者

いらんせわ よけいなこと よけいな世話 差し出口  
お節介(熊、南) [会話] そいな(そんな)イランセ  
ワやわい(だ)。そげんしたら、はざんやんかい(そ  
んなにしたら駄目です)言うといなん世話やかんで  
ええわ(よろしい)要らん 言わんと(言わずに)い  
なん 言うの(のです)。

いらんならん どうしても必要だ(志(布施田))

いらんねてや 要りません 要らないのです [会話] わ  
がと(自分)物な(が)いらん時 ええてや言うて  
いらん イランネテヤ 言う事を ええてや言うの  
(のです) わしげや(私の家は) そんで(それで)え  
えてや 言うて そげんいわんと(そんなに言わず  
に) もおちょいと持てけてや(少し持って行きな  
さい)言うたや(たら)まあ ええてや。

いらんもん 1) 要らない物(志(浜島、鵜方)) 2)  
要りません [会話] 2) おら(俺は) まあ イランモ  
ン ほったれ(捨ててしまえ)言うてな、こや要らせ  
んかい(此は要りませんか)言うとお、まあ おら、そ  
いなもな(俺はそんな物)は イランモンなあ ほった  
やええわれ(捨ててやればよろしい)言うてな。此の  
時は 要りません。1) イランモン 言うて 自分が必  
要としない品物 それを イランモンや(だ)言うの。  
なんも(全く)間にあわんで(合わなくて) 使かわん  
もん(使わない物)を こや(此は)イランモンや

(だ)イランモンや 言うてな。要らん言うのを い  
なんもんや(だ)言うてな。いなんもんやよって(だ  
から) ほったてもええわ(捨ててもよろしい)言うて  
な。

いらんわ 要りません(志) [会話] 要らんとなあ 此  
もてかんかれ(持っていきなさい)言うといランワ  
言うてな。

いらんわい。いらんわな(女性語)。いらんわれ いり  
ません いらん 不要である いなん参照 相手の  
話や行動を拒む時に言う語。嫌だ いけない いる  
(要)に打消しの助動詞の連用形のぬ(ん)のついた  
もの。わい、わな、われ 文末にあつて詠嘆を込めた  
確認を表す(志) [会話] ほしくない(欲しくない)言  
う事をいらん。いらん言う事や(です)。イランワ  
イそいなもん(そんな物)言うて。

いり(入)【**名詞**】 1) いりしごと 費やした時間や手  
間で賃金を得る仕事。入り手間で報酬を受ける仕事。  
2) 収入 受け取って自分のものとする金銭。[会話]  
2) かね(金銭)が入って来たのも、イリや(だ)言う  
し。

いり(要)【**名詞**】 ある事をするのに必要な金銭。費用  
で支出(北)

いりかげん(入加減)【**名詞**】 1) 湯など人の入るのに  
適当な温度。2) 収入の程度

いりくさらん 要らない 不用だ [会話] イリクサラン  
そいなもん要らんわ(そんなもの要りません)言うの  
(のを)、イリクサランわ 言うてな。くよかあ(あ  
げようか)言うとい そいなもん イリクサランわ 言  
うて まあなあ 腹な(が)立とて(ていて) もら  
いたない(貰いたくない) 人んなあ(に) あいなすか  
ん(あんな嫌な)人 なんやかや(いろいろ) もら  
いたない 思うと、ほしもん(欲しい物)でも そげん  
言うたんのな(そんなに言ってしまうのです)。のら  
なもん(お前の物)イリクサランわ言うて、腹な立っ  
とる(ている)時な(です)イリクサランわ そいな  
もん 言うて 欲しいても(欲しくても)。

いりくじ 不規則に入り混んで居ること [会話] 藁を切  
ったのを イリクジンして 蚕のとこ(所)へ 置く  
と それい(に)皆 まい(繭) すんの(するので  
す)。

いりぐち(入口)【**名詞**】 そこから入って行く所。はい  
りぐち いりくち [会話] 入って来るとこ(所)イリ  
グチ ふせんどて(塞いでいて)まあ言うてな。

いりこ【**名詞**】 小さなイワシなどの雑魚を煮立て干した

もの 煮干 いりこいわし参照

**いりこいわし【名詞】** いりこに同じ〔会話〕煮干しにする鯛は、イリコ言うて、ちっちゃあい (小さい) のは、イリコイワシ言うて、にだしんすんのや (煮出しにするのとか) たつくりんすんのを (田作にするのを)、イリコイワシ言うて干すの (のです)。

**いりこみびそ【名詞】** へこんで居る臍

**いりこむ (入込)【自マ五】** 1) 物事の状態が複雑になる 2) 入いり込む 押して入る〔会話〕<sub>2)</sub> 入り込んで来る言うの イリコンデ来てまあ、いなんもんな (要らぬ物が) よけ (沢山) イリコンデ来て言う時も有るし、なんやかや、よけ (いろいろ沢山) イリコンデ来てまあ こんだ、せぼおて (今度は狭くて) おられやせんわれ (居られない) とかな。物、入れて来てもなあ イリコンデ来て言う時も有るし、人が来てもイリコム 言うしなあ。<sub>1)</sub> ぐちゃぐちゃ人の話しとるとこい (している所へ) イリコンデ がわ (側) から、話してくるやんない (でしょう) それも イリコム言うね (言うのです)。話が あっちゃこっちゃい (あちらこちらに) 入れ違いん (に) になって、イリコンデ言うの (のです)。話な どっちゃんかつちん になると、むつかし (むつかしく) になって来て イリコンデ来て。

**いりさらさん** いらない

**いりちがう (いりちがふ) (入違)【自ワ五】** 入れ違う

**いりつく (煎付)【自カ五】** 煮詰って焦げる

**いりつく【自カ五】** 夏の日射しが強い。〔会話〕日な (が) 照って イリツクよおななあ (ようだ) 言うて。

**いりつける (煎付)【他カ下一】** 激しく夏の太陽が射す

**いりど【名詞】** 海女 いるは海に潜る意 (志)

**いりにいく (潜行) 海女作業に行く (鳥)**

**いりにくい。いりのくい (潜難)** 潜ぐるのが困難だ

**いりびと (入人)【名詞】** 1) 他家から入って来る人。嫁 婿 養子等 2) 他処から来る人 (松)〔会話〕<sub>2)</sub> イリビト。他所から来た人な (が) 有ると、おらげや (俺の家は) イリビトな (が) 有ってまあ 言うてな、その家から出たにげ (人間) でも 戻って来るとなあ まあ イリビトな (が) 来て言うてな。家内や っても (であつても) 一旦出でといて (ておいて) また来ると イリビトな (です)。<sub>1)</sub> 婿さんや (とか) なんかは 皆 イリビトやわいな (です)。嫁でもイリビトのくせん (だのに) えらっそぶって (偉そうにして) 言うて 嫁な (が) きつい事 言うとなあ わがた (自分は) イリビトのくせん 言うてな。

**いりふね (入船)【名詞】** 1) 港に入ってくる船 帰港 帰漁 2) 棺〔会話〕<sub>1)</sub> 出船 イリフネ 言うて 港い (に) 入れて来ると イリフネで 出てく (出ていく) 時 出船。

**いりむこ (入婿)【名詞】** 他家に婿として入る事

**いりもせんくせん。いりもせんのおん** いらないのに

**いりやい (いりやひ) (入相)【名詞】** 太陽の沈む頃、たそがれ、いりあいの変化した語〔会話〕朝と夕方と、イリヤイト、でやい (日の出) と。

**いりやい【名詞】** 共同作業

**いりよ。いりよお (入用)【名詞】** 経費 必要な支出〔会話〕かしん こおた (菓子買った) とか、米こお たとか、かね (金銭) のいんのを (いるのを) イリヨオ。

**いる (要る)【自ラ五】** 必要である。〔会話〕物な (が) よけ (多く) イル言うんかい (言うのですか)。ぜんな (金銭、ぜにが) よけイルかい (ですか)。ぜんなよけイッテ言うのも有るし。此処にイル言うのも、言うし (言います)。此処ん (ここに) 居るわい (居ります) 言う事も言うし。かねな (金銭が) よけ要って言うのもイルやし (いるです)。豆 煎ったり、あられ 煎ったりもイル。あれもイルや (です)。イル発音な違うね (違うのです)。鉄砲 撃つのも、イル。てっぽ (鉄砲) 撃ってイッた (撃った)、いられた (撃たれた)、てっぽで、射られた。鳩いったんて われ (射ってやったそうだと) 言うやんか (言います)。海女さんな (が) そこいり (底入り) 底い (海底へ) 行くのを イッテタ言うの (のです)。底へ もぐてく事 (て行く事) をイッテタ、底 イッテタ (て行った) 底入りしてた (して行った) 言うの (のです)。

**いる (居る)** 一定の場所に存在する 前項参照 (亀)

**いる (煎る)** えると発音することもある。水分がなくなるまで熱を加えながら掻き混ぜる 前々項参照

**いる (射る)** 弓や鉄砲などで、矢や弾丸を飛ばして目的物に当てる。前々々項参照 いられる 射たれる いられた 射たれた

**いる (苛る)** いらつ参照 急ぐ 居ても立っても居られない。心がそわそわして落ち付けない。

**いる (潜る、入る)** 1) 海の中に潜って海女が作業する状態。前々々々々項参照 (志 (布施田、甲賀、鵜方、神明、立神、安乗)、北、尾) 2) 人が意図的に内側に移動する状態 (志、鳥、北、尾)

**いる** 揺る、揺れる 地震なイル ヌル (揺) の転 (方言俗語語源辞典)

いるかい。いるかな（女性語）要りますか。必要ですか。  
いるんかい。いるんかな。いるんかれ 必要なのですか、  
要るのですか

いれあげる（入揚）【他ガ下一】 ある事に執着して金銭  
を使い果す 特に男女 情人について言う。あげるは  
終る、果すの意（大言海）

いれがみ（入髪）【名詞】 髪毛の少ない人や短い人が髪  
を結う時、補って入れる毛。[会話] 盆のかさぶく。  
男は男の一式。煙草入れに、剃刀に、てのざい（手  
拭）おなごは（女は）又 イレガミとか、なんとか、  
おなごの持つ道具さんがらかして（吊がらして）。

いれかわり（いれかはり）（入代）【名詞】 入れ代る事  
交替

いれぐい（入喰）【名詞】 釣りで鉤を水中に入れるとす  
ぐ魚のかかる事。やりぐいとも。[会話] イレグイ言  
うな（のは）魚 つんのん（釣るのに）やりぐい言う。  
まあ 魚をえささいて（餌つけて）すぐんと（すぐ  
に）くわえて来るやんない（でしょう）。そすと は  
ずしといて（ておいて）やると また 啜えてくんの  
（くるのを）やりぐいやよお（だ）言うてな。

いれこ【名詞】 櫓杭を入れるため 櫓の下部につく小さ  
な木片 ろべそが堀って有る。（志（浜島、布施田）、  
鳥、桑市、鈴市、津、北、熊）[会話] イレコ言うの  
は 漕ぐときん（時に）櫓の真ん中ん（に）付いとて  
（付いて居て）どまくらに ちんぼみしたいな（陰茎の  
ような）おのな（物が）あって、その あない（へ）  
入れといて（入れておいて）漕ぐね（のです）。そす  
となあ（すると）稽古すんうち（する間）は、そんな  
（それが）じっき（すぐ）に外れてて（行って）おっ  
てくんやんかな（外れて行くのです）。上手ん（に）  
なると、そんな（それが）めったん落ちやへんのやん  
かい（絶対に外れないのです）。穴から出てかせんの  
（出て行かないのです）。そやけど（しかし）稽古の  
うちは しゃくる（強く引張る）と、しゃくりとばし  
たて（強く引っ張り過ぎて）、落としたて（落として  
しまつて）なかなか稽古するときや（時は）、そんな  
出来やせんの（それが出来ないのです）。とも櫓 漕  
ぐと、とも櫓のイレコから じっきんでてくんやんか  
い（すぐに出て行くのです）。どまくらに出とんのは  
（出て居るのは）、おきざ。おきざへ、その ちんぼ  
を刺すんやんかい（刺すのです）。おきざ言うて こ  
いな（こんな）四角なのへ おきざ言うのを、ろま  
くらへ、はめてあって、おきざへ その棒を入れといて  
（入れておいて）こんだ（今度は）櫓に穴があいとて

（あいて居て）おきざに棒な（が）さいてあるやんない  
（刺してあるでしょう）。それへ入れて、ろお漕ぐ  
んやんかい（漕ぐのです）。そすと漕ぎ漕ぎすると、  
しゃくると、へしよれてく（折れて行く）時があんね  
（有るのです）。そおすと、どてっばら（腹）打って  
まあ 舞いきんねてや（飛び上がるのです）。しゃく  
つたると、ろおぐい（櫓杭）がへしよれてくね（折  
れて行くのです）。どおぐいな（が）新しうち（間）  
はええんけど（良いが）漕ぎ漕ぎすると、ほつそおお  
なつて（細くなって行って）、しゃくるとへしよれ  
てて、そすと、こちら（腹）打って舞い切んねやんか  
い（飛び上がるのです）。

いれこみ（入込）【名詞】 1) 物入れ 物置き 2) 入  
港 [会話] 2) 今日は かとぶねな（艀船が）イレコ  
ミで言うて、入って来る ひいな（日が）判つとるも  
んでなあ（ているので）、幾、幾日にや（には）入れ  
て来る言うの、そすと（すると）かとぶねな 今日  
はイレコミや（だ）言うて。昼ん（に）なると、嬉らな  
（が）皆 浜い（に）でてくやんかい（出て行くので  
す）。1) 物入れや 物置やどけも（なども）、イレコミ  
言うて。

いれこむ（入込）【他マ五】 1) 他の物の中に入れて位  
置させる 2) 物を拾う。又だまって人の物を取って  
自分の物にする。盗む。3) 入港する 帰港する  
4) 熱中する のぼせる 5) 肩入れする 後援する  
[会話] 3) 舟な（が）大漁して入ってくんのは（来る  
のは）イレコム、大漁で いれこんで来たれ 言うて。  
2) ひんまるける（全部まるめる）。わがと（自分が）  
イレコンデ、もてく（持って行くのを）、誤魔かして  
もてくの（のを）イレコム。

いれこんでくる 入港して来る

いれこんどる 1) 夢中になって居る 2) 仕舞て居て  
出さない

いれしを（いれしほ）（入潮）【名詞】 満ちて来る潮 み  
ちしお [会話] イレシオな（が）、にちくち（満潮  
の始）の時を、にちやがりん（満ち上がりに）なつて  
来た言うて。

いれしゃね【名詞】 1) 性交 2) 狭い間に物を入れる  
事。二つの物の間に入れること。[会話] 1) あれ（性  
交）の事やねえんかい（事ではありませんか）イレシャ  
ネは。ろおぐいとおきざは、さねみたいん（核、陰核  
のように）しとるもんで（ので）それ言わへんのかい  
（言わないのですか）。

いれそこのた 入れ違つた 入れるのを間違えた

**いれちがえ (いれちがへ) (入違) 【自ワ五】** 1) 間違  
って入れる事。2) 一方が出た後ですぐ他方が入る。  
又一方が入った後で他方が出る。いれちがえい。[会話]  
2) イレチガエん (に) になってまあ 言うてな、すりち  
ん (入れ違い) する事をなあ (です)。かたつぽ (片  
一方) が出て来て、かたつぽが入って来る すりちん  
して言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。すり  
ちんやったんなあ (だったのだ) 言うて、イレチガエ  
言うのをな すりちんしたんなあ (したのです) 言う  
て。

**いれちごた** 1) 間違って入れた 2) 一方が出てすぐ  
他の人が入って来る すれ違い

**いれといて** 1) 入れて置いて (松) 2) 入れておいて  
下さい

**いれのくい** 入れにくい 入れるのが難しい [会話] 口  
な (が) ちっそおて (小さくて) イレノクイ 言う時  
も有るしなあ。港な (が) 波な (が) 有って 今日  
はイレノクイ ひいや (日だ) 言うて 言う時も有るし  
なあ。物入れんのもな (入れるのも) つぶもん (粒  
物・穀類) 入れんのも、口な (が) ちっそおて イレ  
ノクイわれ (です) もおちよいと (少し) 口 おっき  
いせな (大きくしなければ) 言う時も有るしなあ。

**いれのこり (入残) 【名詞】** 完全に入れて、他にある物。  
余分 [会話] 入れたや (たら) 入らんで 残しとけ  
(ておけ) 言うて、そやまあ なしたんどい (どうし  
ました) 言う こやまあ (これは) 入れたんけど  
(たのだが) 入いらんで、イレノコリやれ (だ) 言う  
てな。

**いれぼこ 【名詞】** 小さな箱 小物を入れる小箱 (志 (布  
施田)、度) [会話] こいな (こんな) 箱でも、イレ  
バコ言うしな。あつとふまえ 言うて、それも イレバ  
コん (に) してあって、ろお漕ぐのの台にしてあって、  
おきざやとか、いれこやとか、言うもん (物) のかえ  
な (替が) 入れてあって、道具な (が) 入れてあって、  
あつとふまえにしてあって。

**いれふだ (入札) 【名詞】** 多数の買い手が有る時、それ  
ぞれの見積価格を書いた札を提出させ、その結果を見  
て買い手を決める事。[会話] 札入れる、入札、市場  
のイレフダも有るしなあ、土地の売り買いのイレフダ  
も有るしなあ 札入れなあ

**いれぶつじ (入佛事) 【名詞】** 投資に見合う利益の無い  
事。骨折り損。佛事の営みの施物に起れる語 (大言  
海) (志 (布施田、志島)、鳥)

**いれもん (入物) 【名詞】** 1) 容器、物を入れる器 (鈴

市、張、伊、鳥) 2) 中へ入れる品物 [会話] 1) 穴  
へこじこで (押し込んで)、言うて、穴でも、イレモ  
ンでも、ちっちゃいもん (小さい物) へよけ (沢山)  
つめると、こじこむ、押し込む事なあ (です)。

**いれもんごち** 容器と共に

**いれる (入) 【他ラ下一】** 帰港する 帰漁する [会話]  
沖なますして 握ってくると、うもおて (うまくて)  
浜ん (に) 待とて (て居て) とおやんらな (お父さ  
んが) イレテクんのを (来るのを)、かとぶねな (鰐  
船が)、イレレル言うと、夕方になると、浜い (へ) 来  
て待とんね (て居るのです)。

**いれる 入 【他ラ下一】** 入る。風なイレレル。イル (入  
る) の口語 (大言海)

**いれる** 苛立つ じれる 肝なイレレル 気なイレレル等  
炒らる 煎らるの約 (大言海)

**いろ** 1) 情事の相手 情夫 情婦 (志 (越賀)、鳥  
(坂手)) 2) 気持ちによって変化する顔色や表情。  
又態度。[会話] 2) 顔のイロも有るし、1) 男とおなご  
(女) とのイロも有るし、色事も有るしなあ。

**いろあい (いろあひ) (色合) 【名詞】** 色の具合。調子。  
[会話] イロアイのじみなのも (派手さが無いのも)  
こおと。

**いろいと (色糸) 【名詞】** 白、黒以外の色の糸 [会話]  
いろいろの糸をなあ、赤や きい (黄) や 紫や 言う  
てな、イロイトをつこて (使って) 言うてな、しゅげ  
えすんの (手芸するのに) イロイトよけ (沢山) 使う。

**いろう (いろふ) 【自ワ五】** 1) 触れる さわる いじる  
もてあそぶ (志 (布施田、甲賀、鵜方、神明、国府、  
安乗)、鳥 (桃取)、度、桑郡、桑市、員、三、鈴市、  
津、松、多、伊) 2) 墮胎する [会話] 1) さわる、  
それ よけ (余計 多く) イロウな言うて、当たる事  
を よけさわる 言う事を、よけイロウな 言うて。な  
ぶりこたらにも。

**いろおかい (いらうくわい) (慰労会) 【名詞】** 仕事の後  
で慰労のために催す会 [会話] 残飯でするもんで  
ざん言うて。残ったもん (物) で、やうち (家内、親  
類等親しい人) のもん (者) が、ごっつお (御馳走)  
した後で 家族や 濃いもん (血縁の近い人) や  
てつともろた (手伝って貰った) もんらは (者達  
は)、イロオカイみたいいなあ (のように)。いっか  
(幾日) でも しとりおったわい (して居ました)。

**いろおとこ (色男) 【名詞】** 1) 美男子 いろおなご参  
照 2) 情夫

**いろおなご (色女) 【名詞】** 1) 情婦 (志 (布施田))

2) 美人 [会話] <sup>2)</sup> イロオナゴ、うつくしおなご (美しい女) を、綺麗な おなご を、あや (彼女は) イロオナゴやなあ (だ) 言うしなあ。イロオトコ、立派な人も イロオトコ 言うしなあ。イロオトコ めっちゃ (不美人) 嫌わず 言うてなあ、めっちゃでも嫌わせん (嫌いません) イロオトコが (は) ええおなご (よい女) しやせん (しません) <sup>1)</sup> 自分の これ (小指、情婦) も イロオナゴ。

いろいろ (要) 必要ない、要らない

いろいろ 必要ない、要らない

いろいろ **【名詞】** 種々の色のついた紙 [会話] 赤、白、きい (黄) の色が、折紙 すんのなあ (するのです)、イログミ 使うやんかいなあ (使います)。

いろいろ **【名詞】** 必要ない、要らない [用例] あの家 そい なもん (そんなもの) イロカレ。

いろき **【名詞】** 色気違い 色情狂 好色な人 [会話] イロキやどお (だぞ) あや (彼は) 言うてなあ、色気違い言うのを イロキや (だ) 言うてなあ。

いろぐるい (いろぐるひ) (色狂) 女色に溺れ遊びふける事。女狂い。

いろけ (色気) **【名詞】** 性的な感情や雰囲気。人をひきつける性的魅力、異性を意識する感情。[会話] イロケ去って 食い気やれ (だ) 言うて、食いさいしやええね (さえすればよいのです)。

いろげづく (色気付) **【自カ五】** 1) 花や果物などが成熟して色がついて来る。2) 性的感情に目覚める。いろいろ参照 (志 (布施田) [会話] <sup>2)</sup> イロケヅイタラ親達 要らん お気の毒やな (だな) 死んでくれ言うて。

いろけなし (色気無) 性的感情の乏しい者 [会話] イロケナシ 言うて、ごつくさあいのなあ (野暮のです)。ごつくさあて、あやま (彼女は) 天保銭やれ (だ) 穴な (が) 無いんやれ (のだ) 言うてな。おなご (女) の人なあ。あやまあ (彼女は) 天保銭やどお (だ)、言うてな イロケナシをなあ あやまあ (彼女は) 天保銭で 穴な (が) 無いんどお (無いのだ) 言うて。

いろごと (色事) **【名詞】** 男女間の恋愛に関する行為、情事。

いろごとし (色事師) **【名詞】** 多くの女性と関係する男。多情者。女たらし。

いろさば **【名詞】** 情夫 [会話] イロサバ くちさばちんぐさば、中にや せんだくさば も有る。

いろたた 墮胎した 墮胎する、墮胎に失敗して子供が不具になった。(志 (布施田) [会話] おろしそこ

のた (そこなった、失敗した) 事をイロタタ、おろすのにおに (のに) あちら ひねり、こちら ひねり してなあ 片輪ん (に) になって。親らな (が) いちやごやもんでなあ (一度の性交で出来た子供なので)、南瓜の こえんしたんねやった (肥料にしてしまうのだ) 言うて。

いろづく 色付 **【自カ五】** 1) 果実 野菜 穀物が成熟する 2) 子供が生成し、青年期に入り、性的に成長する。[会話] <sup>1)</sup> 桃な (が) あからんで (赤くなって) 来ても、蜜柑でも あからみかけ (熟しかけ) の時をイロヅク、イロヅイテ来た言うの (のです)。<sup>2)</sup> 娘さんや、わかいしゅな (若い衆が) イロヅク言うのも一緒やわい (です)。もみじな (が) イロヅキや秋な (が) 来る。娘や息子な (が) イロヅイテ来たんかし (て (来たのか) 体の格好も違て来たれ (来た) 言うて。

いろつける (色付) **【他力下一】** 1) 値引きする おまけする 相手に少し有利にする 2) 仲直りする [会話] <sup>2)</sup> イロツケル 言うの、喧嘩してもなあ、仲直り すんのをなあ (するのを)。<sup>1)</sup> 物、売っても ちよいと (少し) イロツケル言うて 値段をやさうしてくれ (安くして下さい) 言うの (のです)。ちよいと イロツケテくれえ (下さい) それい (に) 言うて、まあ ちよいと 引いて (値引きして) 呉れ 言う事やわいな (です)。

いろっぱい (色) **【形容詞】** なまめかしい 情欲をそそるような魅力が有る。多くは女性の姿態について言う。[会話] イロッポイなあ 言うて ま じっぱん (立派に) して、しとると (していると) さいご (その時)、おおた あの人 ええなあ言うんけどなあ (よいなあ言うのだが)、イロッポイなあ。

いろつや (色艶) **【名詞】** 顔の色や光沢。その人の健康状態。(志 (布施田) [会話] 顔色のなあ、艶が ええ (よい) とか、わり (悪い) とか 言うのなあ。イロツヤな (が) よおて (よくて) いかつつおななあ (健康そうだ) 言うて。

いろどり (色取、彩) **【名詞】** 配色 着物など各種組み合わせた状態 [会話] いろいろの色すんの (するのを)、イロドリ よお (よく) すると よお見せん なあ (よく見せません) 言うて。今しで言うて 配色の事をなあ、イロドリ よおして (よくして) 言うてな。

いろとる 触っている

いろなかわる 驚き 怖れ、怒りなどで顔色が変わる。特に青ざめる [会話] イロナカワツタレ (ていった)。あんな (彼の) イロナカワツタド 顔色な

(が) 変った 言うて ごおわかしとる (腹立てている) 時なあ、腹な立つ時なあ、いやあれまあ (あれ) あんげん言うたや (あんなに言ったら) 顔色な (が) 変ったれまあ 言うてな。

**いろない (色がな)** 1) 顔色が青ざめる。貧血して居る。病弱状態。2) 怖さのため顔色が青くなる [会話] 1) 具合なわりいてなあ (様子が悪くて) しとる (している) 人 見るとなあ、おた あの人まあ イロナナイない (無いです)、あやれまあ 具合な (健康が) わりないんかいな (悪く無いのだろうか) 言うてな。2) びっくりして (驚いて) 色な (が) 青ざめる (青くなる) と、おおた まあ おどけて (驚いて) イロナナイよん (ように) なつてたない (なつて行った) 言う時も有るなあ。びっくりしてなあ、おどけたや (驚いたら) イロナナイよんなつてた (無いようになつていった) おとしかって (怖かって) 言うてなあ。

**いろばな (色花)** 1) 佛前に供える花をつけた草花。2) 葬式に使用する造花 (椿の木に紙で花を作る) [会話] 2) イロバナ言うの (のは) 葬式に使うの (のを) 言うんかい (言うのですか)。紙でなんすんのを (作るのを) 椿の花こしらいたり (作ったり、こしらえる) すんの (するのを)。

**いろはにこんべいと お ちりぬるちんぼ、よだれよぐそ たれもてながす** 【俚諺】 ざれ言葉 いろは歌の替え歌

**いろみ (色見) 【名詞】** 色の具合 色のつき具合 いろめ 衣服などに用いられる布などの色あい [会話] おつきさ (大きさ) も言うし、質も有るし、色も有るし、イロミも有るし、イロミでも、わがとな (自分が) 好みの色と較べて見ると、此の方な (が) ましやなあ (まだよい) とか言うて。あや どいらい (あれは大変) イロミな (が) ええ柄やなあ (よい模様だ) とか、なんでも 色な (が) ええとなあ (よいと) イロミな (が) ええなあ (よいなあ) おおた あの人な (が) きとる (着ている) 服な (が) イロミな (が) ええよお (よい) 言う。色のことは いろめもええし (よいし) イロミもええし いろめな (が) よおて (よくて) すいた (好ましい) 様な 色やなあ (だ) 言うて、きもんやどけの (着物などの) 色を選ぶ時んなあ (に)。

**いろむ (色) 【自マ五】** 色づく 熟す 色を動詞化した語 (方言俗語語源辞典) (員、鈴市、鈴郡)

**いろめ (色目) 【名詞】** 1) 色の調子。布や紙の色合い。色調。2) 異性に関心のあるような目つき。思いを目に表す事。[会話] 2) しりめつこて (使って)。横で見

ると、惚れとんねかして (惚れているとみえて) しりめつことんねよお (使って居るのだ) 言うて、イロメ使う言うて、男の人らん (に) 横目で、まともんよお 見やんもんで (真正面からよく見れないので) 尻目で 見んのを (見ているのを) イロメ使うねよお 言うて、男とおなご (女) と寄ると、ちょいと 心な (少し気が) あんのかして (有ると思えて) イロメつことんねよお 言うて。1) イロメな (が) ええなあ (よい) 言うて、イロメな (が) よおて (よくて)、すいたよおな (好ましい)、色やなあ (だ) 言うて、きもんやどけの (着物などの) 色を選ぶ時んなあ (に)。

**いろめつかい (いろめつかひ) (色目遣) 【名詞】** 色めかしい目付を送る人 常に女性に秋波を送る人 [会話] イロメツカイ 言う時は、ねろとんね (狙っているのです)。おなご (女) 見るめえな (目が) 尻目 (横目) で まともん (普通に) よお見やん (見れなくて) となあ よそ見したよん (ように) して みんのをなあ (見るのを) いろめつこて (使って) 言うて。

**いろもん 【名詞】** 色のついた品物。特に白黒以外に彩色したり、模様のあつたりする婦人の晴着 [会話] イロモンこおて (買って) 言うて、着るもん (物) でもなあ、色な (が) 変った色するとなあ。イロモンな (が) よけ来とて (沢山来ていて) みいん来いまあえ (見に来てさい)、どいらい きもん (大変着物) の イロモンな (が) よけ来とられ (沢山来ていて)、いろいろな模様な (が) あんのをな (有るのを) イロモン。模様でもなあ、じいもよお (地模様)、じいな (生地が) いろみな (が) 赤やとか 紫とか ピンクとか 言うてなあ、じいななあ 色を選ぶ時な (が) 有るもんで (ので)、地色をなあ 柄 (模様) も 選ぶけどなあ (が) 地色 選ぶ時も有るもんなあ (有ります)。あや (あれは) いろみな (が) ええなあ (よい) とか 言うてな。

**いろわけ (色分) 【名詞】** 種別によって区分する事 [会話] イロワケして 言うてな、いろいろと まあその色を 白でも赤でも イロワケしとかなはざんわれ (しておかなければ駄目だ) 言う時な (が) 有るもん (有ります)。色で分けるのもやし (ですし)、大、小で分けるのも 有るしなあ、大、小も分ける時なあ 選ばなはざんしなあ (なければいけないし)。

**いろんな** 色々な、さまざまな イロイロナルの約略 (安、鈴市) [会話] イロナナ事 言うて、いろいろな事言うのな (のです)、イロナナ事 言うたり、したりして、あの人まあ 言うてな、いろいろの事 言

うのを、イロンナ事言うてな、イロンナこと 言うたり、したりする 言うてな。

**いわ【名詞】** 1) 海中の岩礁 暗礁 (志、鳥 (坂手))  
2) 岩 [会話] <sub>1)</sub> 海<sup>ん</sup> (の) 中のイワになつとんのおは (なっているのは)、島や言うし (言います) 島の下、言うて鮑とん<sup>のん</sup> (取るのに) 島のちょいと (少し) 下のよおになつとんと (なっている) 島の下、下の鮑採る言うて、その下にすくんどんねてや (身を小さくして隠れているのです) 鮑<sup>な</sup> (が)、あの島の下、おら<sup>な</sup> (私の) あじろやよつて (秘密の場所、得意の場所だから) 言うて、すん<sup>の</sup> (するのを) 島や (だ) 言う。

**いはい (いはひ) (祝)【名詞】** 1) 祝賀の宴席。祝宴。次項参照 (志 (浜島)) 2) 祝賀の金品 (鳥 (相差))

**いはい【名詞】** 位牌 (志 (志島、甲賀)) [会話] 位牌の事も イワイや (だ) 言うわい (言います)。位牌や言わんと (言わずに)、イワイ言うて (言って) 早口で言うもんで (言うので)。目出度い事のイワイと、そのイワイの 区別<sup>な</sup> (が) 発音で違て来る (違て来ます)。イワイモチすんねてわれ (位牌持ちするそうです)。誰それ<sup>な</sup> (が) イワイモチや (だ) あのうち<sup>や</sup> (家は) 言うて。あの家や (は) イワイすんねてわれ、八十八のイワイすんねてわれ 言うのと、発音<sup>な</sup> (が) 違うのな<sup>あ</sup> (のです)。

**いはいうた (いはひうた) (祝歌)【名詞】** 祝宴の時に恒例として歌われる歌 伊勢音頭、よいこる節 [会話] めでた めでたの若松さん<sup>や</sup> (です) イワイウタ、それから 初午で歌う よいこる節のイワイウタ、お伊勢参り<sup>や</sup> (だ) とか、言うの<sup>な</sup> (が) イワイウタ。

**いはいごと (いはひごと) (祝事)【名詞】** 祝うべき事柄

**いはいざけ (いはひざけ) (祝酒)【名詞】** めでたい事を祝って飲む酒

**いわいつける (いはひつける) (結付)【他カ下一】** いわえつける 離れたり、ばらばらになつたりしないように綱や紐で他の物にしばりつける。ゆわえつけるの変化した語

**いわいもち (位牌持ち)【名詞】** 位牌持ち。長男。あととり。いはいもち。いはい参照 (張)

**いわう (祝)【他動五】** 祝う。祝宴を張る。元旦、大晦日の祝い。

**いわえつける (いはえつける) (結付)【他カ下一】** くくりつける 縛る いわいつける参照 [会話] イワイツケ<sup>トケ</sup> (ておけ)、それえ言うてな。括ることを 杭え<sup>なん</sup>か (何か) を縛る時、<sup>な</sup>あ (縄) その 杭え、

縛りつけとけ 言う イワエトケ言うのも有るし。

**いわえる (いはえる) (結)【他ア下一】** しばる。結ぶ ゆう。ゆわえるの変化した語 ゆはふるの口語 (志 (浜島)、上、阿、張、名、伊、北、熊) [会話] 括る事な<sup>あ</sup>、縛るとか、括るとか、イワエルとか、同じ意味やけどな<sup>あ</sup> (だけれど)。

**いわく (いはく)【名詞】** 理由。わけ。外からはわからない隠れた事情や理由特にあまり好ましくない事情 [会話] あのうち<sup>ち</sup> (家) のイワクも知らんとおつて<sup>ん</sup>な (知らないのに) わけも知らん言う事やろ<sup>な</sup> (でしょう)。イワクも知らんとおつて (知らないで居て) いろいろの事言うて。

**いわさしてもらう** 言う、言わせてもらう、態度の改まった時に使用する。

**いわされる** やっつけられる。盗られる。(熊、南) [会話] あれ<sup>ん</sup> (彼に) イワサレタよお (てしまった) 言う時もあ<sup>ん</sup>な<sup>あ</sup> (有ります)、負けると あれ<sup>ん</sup> (彼に) ユワサレタよお 言うて。盗られたるのもイワサレタ、いたされた言うの (のです)、いたして<sup>た</sup>ね (て行ったのだ) 言うてな<sup>あ</sup>、な<sup>つ</sup>とも言わんと (なんとも言わずに) もてくとな、あ<sup>ん</sup>な (持って行く) と彼が) いたして<sup>た</sup>んかして (たのか) <sup>ない</sup>われ (有りません) まあ 言うてな。

**いわし (鰯)【名詞】** うるめいわし。よわし (鰯)の転死しやすし、字は弱魚の合字 (大言海)

**いわしかい【名詞】** 鯉船が餌に使用する鰯を買い求める役目 同時に船の入港出港の世話をする (志、度、熊) [会話] かとぶ<sup>ね</sup> (鯉船) の餌 買うのをな<sup>あ</sup> 餌買い。えさかい<sup>ん</sup> (餌買いに) といやいいてな<sup>あ</sup> (問屋へ行って)、ひとかめいく<sup>ら</sup> 言うて イワシカイ<sup>な</sup> (が) いわしこ<sup>お</sup>て (買って) 船<sup>な</sup> (が) 入れ<sup>て</sup>く<sup>ん</sup>の (入港してくるのを)、待ちか<sup>ね</sup>と<sup>ん</sup>のな<sup>あ</sup> (待っているのです)。船<sup>な</sup> (が) 入れて来る言う<sup>と</sup> 餌買い<sup>な</sup> (が) い<sup>て</sup> (行って) 餌を ひとかめこ<sup>お</sup>た (買った) ふたかめこ<sup>お</sup>て (買って) 来た言うて 船<sup>な</sup> (が) い<sup>れ</sup>て来ると それい 渡す<sup>よ</sup>ん (ように) すぐ<sup>ん</sup> (に) す<sup>ん</sup>の<sup>な</sup> (するの)が イワシカイ。

**いわした** 盗った 自分のものにした やっつけた [会話] やっつけた<sup>た</sup> (てやった) 言うのイワシタ。

**いわしとる** 盗って自分の物にしている。苛めている。 [会話] イワシトルは、やっつけ<sup>と</sup>る (ている)、盗す<sup>ん</sup>で来たのも イワシトル。あ<sup>や</sup> (あれば) いわして来た<sup>た</sup>んど、あしこ<sup>で</sup>な<sup>あ</sup> (来たのだ、あすこで) 言う時<sup>な</sup> (が) 有<sup>る</sup>もん<sup>な</sup> (有ります)、いたして来た

とか、いわして来たとか、あれん（彼に）いわされ  
たよお 言うてな 盗られたと（とやると）さいご  
（その時）。

**いわす（言）【他サ五】** 1）ひどい目に合う。やっ  
つける。いじめる。負かす。納得させる。困った 参っ  
たなどと言わせる意から。（志（志島）、鳥、松、名、  
阿、張、南、熊）2）取る せしめる 盗む 3）言  
うようにし向ける〔会話〕<sub>2）</sub> イワシテキタ（盗んで  
来た）言うのと、一緒のよおな事。<sub>3）</sub> 言葉こんげん  
（こんなに）言うて、イワシテ、言う言葉も有るし。  
<sub>1）</sub> 相手をやっつけたる（やっつけてやる）言うのも。  
こちらから言うたれ（言うてやれ）言うて、あげん  
（あんなに）言え、こんげん（こんなに）言え、言うて、  
イワスのなあ。あんな 言わたんやれ（彼が言わた  
のだ）あげん 言え言うて、たきつける言う事やな  
あ（です）。

**いわむし（岩虫）【名詞】** 環形動物。イソメ科の一種。  
各地の海岸に分布し柔らかい岩石の中や砂地にもぐっ  
て生活する。体長は約40cm300内外の環節が有  
る。体の前部は円筒状で紫褐色を帯び、その他は赤褐  
色で平たくなる。頭部には五本の触手が有りそれに続  
く各節には、それぞれに剛毛を持って居る。釣りの餌  
に用いる。

**いわれ（いはれ）【名詞】** 由来として言われて居る事。  
来歴

**いわれ（言）** 言います

**いわれる** 言われる。言い込められる。〔会話〕イワレ  
テ まあ 言うて。お前 これ もてたやんかい（持  
っていったでないか）言うて イワレル 言うしな。  
あれん（彼に）イワレテ来てまあ、イワレテつらまし  
かったんよお（つらかったのだ）言うてな。

**いわん** 言わない

**いわんかい。いわんかな（女性語）。いわんかれ** 言い  
なさい 言え〔会話〕イワンカイ、そいな（そんな）  
言いのくいこた（にくい事は）おら（俺は）よお言わ  
んわい（言いません）、お前な（が）イワンカイ 言  
うてな。お前な（が）言うたれえ（言ってやりなさ  
い）言う、お前な（が）いいたりなさい（言ってやり  
なさい）言うのをな、おらそいなこた（俺はそんな事  
は）よお言わんわい、のな（お前が）イワンカレ 言  
うてな。

**いわんかて** 言わなくても〔用例〕そいな事（そんな  
事）イワンカテ 判つとる（判って居る）

**いわんこそ** 言わないから いわんこっちゃ参照

**いわんこっちゃ** 言った通りだ（尾）〔会話〕おんな  
（俺が）イワンコトヤレ（だ）、イワンコトヤ、イワ  
ンコッチャれ、そいな（そんな）事 して来るよつて  
ん（から）言うてな。おんな イワンコソナア 言う  
てな よおいよおつたな（言っていました）なんやか  
や あれん（いろいろ彼に）やられて来たとか しや  
れて（されて）来たとか 言うて そやみたけ（それ  
見たか）おんな イワンコトカ 言うて つね（いつ  
も）に まあ 言うとのん（言っているのに）、イ  
ワンコトカ、つねに そいなことな（が）判つとのん  
ん（判っているのに）言うてなあ、つねから 判つと  
んのんなあ（ているのに）言うのを それみたけ（そ  
れ見たか）イワンコトカ言うて こちら その人ら  
そげな（そんな）事する 言うの 判つとるもんでな  
あ（ているので）そんで（それで）イワンコトカ  
あんなしいそおな（彼がしそうな）事やれ（だ）言う  
てな。

**いわんことか。いわんことや。いわんことやない** 言っ  
た通りだ いわんこっちゃ参照

**いわんと** 言わずに〔会話〕臍曲りや（だ）イワント、  
あや（彼は）臍やど（だぞ）言うて。

**いん【感動詞】** 応答の語 はい（志（浜島）、鳥、阿）  
〔会話〕行て来たんか（行って来たのか）。あれ取っ  
たかてや（と云えば）うん言わんと、イン言うね（言  
うのです）。

**いん【名詞】** 犬 いぬの変化した語（志（布施田、片田、  
甲賀）、鳥（坂手、桃取、答志、菅島））〔会話〕犬も、  
犬言わんと（言わずに）、イン言うなあ（言います）。  
あそこの インな言うなあ（言います）。

**いんいん【感動詞】** 1）返事の言葉。はいはい 承諾  
2）泣く声〔会話〕<sub>2）</sub> インイン 言うて、泣いて来た  
言うてな。インイン 言うて 泣くまねするやんかい  
（します）。<sub>1）</sub> はい、はい、言うの イン言うね（言  
うのです）なんやかや（いろいろ）したか言うて イン  
言うてなあ、うん言う時も有るしなあ、これした  
かてや（と云えば）うん言う時も有るし、イン言う時  
も有るしな、はい言うのをな。

**いんが（いんぐわ）（因果）【名詞】** 不幸 不運 困っ  
た状態（上、阿）

**いんきょ（隠居）** 1）分家 別家 新宅（志摩市全域、  
松）2）老人〔会話〕<sub>1）</sub> インキョ 言うのは、分家の  
事をインキョ言う（言います）。そして、またそれか  
ら、わかれてたのは（分かれたのは）かんきょ 言うて、  
本屋、インキョ、閑居 言うて。

**いんぎょお (いんぎやう) 【名詞】** 印形 判 (上、阿)  
[会話] インギョオ押して 言うてな。インギョオ盗まれたて (てしまつて) まあ 言うて 印鑑の事をなあ、インギョオ 言うの (のです)。

**いんきよしごと (隠居仕事) 【名詞】** 生活に直接関係しない片手間の仕事。隠居してからするのに適当な仕事。  
(志 (立神)、南)

**いんきよじよ (隠居所) 【名詞】** 隠居した人の住む所  
分家 (南)

**いんきよする** 分家する (度) [会話] 分家やんかい (です) インキョスル言うのは。

**いんきよほんや 【名詞】** 本家と分家の関係 (志)

**いんけつ (淫血) 【名詞】** 精液

**いんご (いんごふ) (因業) 【形容詞】** 1) 頑固で思いやりのない様。冷酷で非人間的な様 2) 宿命的に不幸な事 [会話] ₂) インゴな人や (だ)、ゆうがや (だ) 言う。あの人ゆうがな人やなあ (だ)。因業な人 業曝し それ ゆうが言うの (のです)。因業言うて 物凄 業 (が) 深い人をなあ、それも ゆうがも よお (よく) 似たよおなもんや (ものです)、ゆうがな人や (だ)。あの人 まあ 物凄 い ゆうがな人やなあ (だ)、ゆうがじんやなあ (だ) 言うてなあ、ちっさいから (小さい時から) とくな、なんもせんとなあ (よいことが少しもせず)に わり (悪い) ことばつか (ばかり) 有る人をなあ ゆうがじんやなあ 言うてなあ。あの人 若いから ゆうがばっか (ばかり) でなあ 言よおったなあ (言っていました)。ゆうがじんや言うて、まあ ええ (よい) ことなし、わり ことばつか 続く人をなあ。

**いんころ 【名詞】** 子犬 (志 (片田、布施田)、鳥 (坂手)、鈴郡、鈴市、伊賀地方) [会話] 犬のこお (仔)、インコロ、小犬をインコロ 言よおったなあ (言っていました)。インコロこおとんねなあ (飼っているのだ) 言うて。

**いんころし。いんごろし (犬殺) 【名詞】** いぬごろし。  
野犬を捕まえて殺する事。又それを業とする人。[会話] 犬殺し言うて、鵜方から 取りん (に) 来る人 な (が) 有るやんかいなあ (有ります)。いなん (いらない) 野良犬を捕りん (に) 来るひた (人を)、インコロシな (が) 来たど (ぞ)、たので (頼んで) 言うたらな、此処い (に) も 来たや (来たら) インコロシな (が) 連れてて (ていつて) おららったやんかいなあ (居なかったです)。

**いんず (員数) 【名詞】** 人や物の数。特に粋が極まって

いる一定の数量や人数、員数とも、数の意。

**いんすい (淫水) 【名詞】** 性交時女性器から分泌される液。[会話] インスイ、そや インスイやんか (だ) 言うやんかい (言うのです)。あれの事を インスイノカタマリよ言うて、すけべ (助平) を あや (彼女は) インスイノカタマリやなあ (だ) 言うて。

**いんすいのかたまり 【名詞】** 多情な女性 いんすい参照  
**いんすけ (淫助) 【名詞】** 助平 性欲の強い男 [会話] インスケ 言うな (のは) すけべ (助平) のことな (です)。あや (彼は) インスケやどお (だ) 言うてな、すけべの にげ (人間) を 言うんな (言います)。あや (彼は) ま インスケで あいな (あんな) 事ば つか言うとなね (ばかり言っているのだ) 言うてな。

**いんちき 【名詞】** 勝負事 賭博などで相手にわからないように、不正をすること。ごまかしや手抜きがあつたり偽者であつたりする事。(員) [会話] だます だます事やわな (です) インチキ言うのは、人をだます言うのなあ (です)。あやまあ、インチキして来た言うて。あや (彼) インチキかじややれ (だ) 言うて、よお言いおったやんか (よく言っていました)。下手な鍛冶屋を インチキかじややれ (だ) 言うて。

**いんちじゃっぱ 【名詞】** 油を差す道具 [会話] インチジヤッパ 言うな (のは) 油 さすのな (注ぐのを)、インチジヤッパ。

**いんちば 【名詞】** 船の機関室 [会話] インチバ 言うな (のは) 機械場やなあ (です)、船長な (が) おるとこ (所)、らつとば言うんかい (言うのですか)。インチバ言うのは 機械場やし (ですし)。

**いんちらっぱ 【名詞】** 油差し いんちじゃっぱ参照 (南) [会話] インチラッパも いんちじゃっぱも一緒や (です) 油差すのやよつてんなあ (だから)。

**いんどいかり 【名詞】** 錨 (志)

**いんね** 要ります 必要です (鈴)

**いんの** 要ります 必要です (鈴)

**いんのくそ 【名詞】** 犬の糞

**いんのくそでせこせこや 【俚諺】** 犬の糞で 世古世古だ。あちらこちらに有る。歌などがあちらこちらにとんで歌われる。[会話] 歌うとても (歌つても) あつちや (あちら) 歌い、こつちや (こちら) 歌いすると まとまった歌、歌わんと (わないと) インノクソデセコセコヤ 言うて。いん (犬) の糞は 世古 (角) 世古ん 有るもんなあ (有ります)、そやもんで (それで) 歌も とぎれとぎれ歌うと、インノクソデセコセコヤなあ (だ) 言うて。

いんのこ (犬子) 【名詞】 子犬 いぬのこの訛

いんのこ (亥の子) 【名詞】 霜月 初亥の日 陰暦十月の亥の日、亥の子の祝いをして、万病除去 子孫繁栄を祝った。[会話] インノコモチは、霜月、なぬか (七日) になると インノコモチャ なんどれ ひろて食うた めつつぼや (飯粒だ) 今年らの年に 祝わんものは (祝わない人は) 鬼もおけ (産め) じゃ (蛇) もおけ つの (角) のはえた 子もおけ。藁のつとへ、あずきめし (赤飯) 供えて、むかしや (昔は) 山の神々へ 皆 供えに廻りよつたの (居たのです)。藁のまんなか (中央) を茶碗にして、その中に御飯な (が) 入って、さいら (さんま、秋刀魚) を一切すえて (置いて) 山の神を 祝う言うて、山の神さん (様) に供えて、そすとそこら (その辺り) の、こらな (子供が) それを たべんのな (食べるのが) うれして (嬉しくて)、わしら (私) もよお (よく) あげに行きおって (供えに行って居て)、あげて (供えて) 食うといて (ておいて)、それをからげ (結び) なおして、綱付けといて (ておいて)、インノコモチャ や (は) なんどれ言うて、打ちつけて (叩きつけて)。

いんのこ (要) 要るのですか 要りますか

いんのこもち 【名詞】 亥の子の祝いに食べる餅、その年の新穀で作り本来は亥の刻に食べる。いんのこ参照 亥の子の日、山の神に供える餅。転じて藁づとに赤飯又は餅を入れ供え、後に藁づとを束ねて土面を打つ遊び、本来は石を石で打ったと言う。

いんのばちやねこんあたる 【俚諺】 とばっちりを食う。罪も無いのに罰せられる。(志 (布施田))

いんのねたけ 【名詞】 犬の寝丈。少しの時間。距離を表すのに用いる。[会話] インノネタケ程 なあごおなんね (長くなるのです) 言うてな。五月の幾日になると 夏に至る 言うて書いてあんのなあ (有るのです)、あれからは インノネタケ程なあごおなる (長くなる) 言うて、ちゅう (中 春分 秋分の日) になると 真ん中ん (に) なんね (なるのです) 日の長と短かとの、ちゅうは言うて それから イヌノネタケ程なあ 日な (が) なあごお、みじこお (長く短かく) なる 言うの、五月は 日な (が) なあがい (長い) 最中や (です) それから ちゅうん になると、ちゅうから、インノネタケ程 一日に 日な (が) みじこおなって (短くなって) 夜な (が) なあごお (長く) なる 言うこと。ちよいとや (少しです) まあインノネタケ 言うたら こんだけやよってんなあ (だから) インノネタケ程、日な (が) みじこおなん

ねどお (短くなるのだ) 言うてなあ、ちよいとの時間 言うわけや (です)。

いんののみでかみあてる 【俚諺】 1) 噛みつぶす 2) 偶然の出来事 稀に生ずること [会話] ② いん (犬) は それ けえ (毛) の 上から がぶがぶと 噛む やんない (でしょう) そすと (すると) 蚤な (が) そんでも (それでも) よけおんねもんで (沢山居るので) 潰すんやろな (のでしょう)、インノノミデカミアテル 言うやんかい (言います・言うのです)、なんでも たま (稀、偶然) に当たると ああ、インノノミデカミアテタ 言うて、たま (稀) に 当たると さいごな (その時)。

いんばい (淫売) 【名詞】 売春する女性 隠れて色を売る事 (志 (畔名、布施田、御座、浜島、鶴方、片田)) [会話] インバイは、売春の事を言うんやろな (言うのでしょうか)。昔しや (昔は) わしらな (私(が))、こわかいしゅ (小若衆) の時に、インバイな (が) よけ居り居ったやんかい (沢山居ました・沢山居たで有りませんか)。“田舎のドインバイ、お粥な (が) えじき (餌食)、さいな (副食が) ひじきで、親方乞食” や (と) 言うて。わしらな、釜山から つばな行くと、インバイばつかやんかい (だけ、ばかりです)。そやもんで (それで) つばなのドインバヤ (淫売は)、お粥なえじき。さいなひじきで、親方乞食言うて、かまいおった (からかった)。

いんばいや (淫買屋) 【名詞】 売春婦の居る店 [会話] インバイヤ 今しや (今は) インバイヤも無いね (のだ) 言うて、そんでも (それでも) あんねやろんなあ (有るのでしょうか)。あんね (有るのです) 売春のなあ、今しや (今は) 売春な (が) よおあるやんかい (沢山有ります)。

いんびり 【名詞】 吞齋。けち。[会話] よくしんぼ (欲深い人) の事、インビリ、ちんびり言うてな、ちんびりやど (だぞ) あやなあ (彼は) 言うてな 欲なのおをなあ (欲深いのを)。

いんぼ 【名詞】 疣 (志 (片田、船越、布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、南) [会話] インボな (が) 出来て来て 言うてなあ。百インボ 言うて百も 出来てくんのな (来るのが) 有るやんかいなあ (有ります)、よつて (沢山) 出来てくんのななあ (来るのです)。こらんななあ (子供達が) あや (あれは) なとすんのやかなあ (何故でしょうか)、そすと、なっちゃら (するとなんとか) すると 無いよん (ように) なつてくのなあ (なっていくのです)、自

然と無いよんなつてくの（ようになつて行くのです）。

**いんま【名詞】** 今 いまの音訛（志、鈴市、鈴郡、安、津、松、多、阿、張、名、伊）

**いんまのさつき【名詞】** 先程 つい先刻（松） [会話]  
今 さつきがた（先刻）言うてな インマノサッキ  
言うのな、さつき（先刻）迄 言うてな 今さつきま  
で おったのんなあ（居たのに）言うてな。いましさ  
つき迄 言うてな その時 おったのおを（のを）ほ  
ん 今し（本当に今）さつき迄 おったのんなあ（居  
たのに）言うてな。

**いんらん（淫乱）【名詞】** 情欲のため節度の無い行為を  
ほしいままにする事。肉欲におぼれる女。いんだん  
[会話] インラン どすけべ 言う。インラン 淫水  
の塊よ 言うてなあ かまうのんなあ（からかうの  
に）、よお言よおったの（よく言っていました）。男で  
も おなご（女）でも すけべな（助平が）有るやん  
かい（有ります）男好きや おなご好きな（が）あや  
まあ（彼は）いんすけや（だ）なあ言うてな 淫水の  
塊よ言うて。